

# 第48回 市政世論調査

(令和3年度)

新 潟 市

# < 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調査結果	9
1. 新潟市に対する誇りや愛着について	11
（1）新潟市に対する誇りや愛着	11
（2）特に誇りや愛着を感じているもの	36
2. 消費生活について	46
（1）消費生活センターの認知度	46
（2）関心のある消費者問題	48
（3）購入した商品・サービスからの被害や不安	51
（4）購入した商品・サービスからの被害や不安についての相談先	57
（5）消費生活センターに相談しなかった理由	60
（6）クーリング・オフ制度の認知度	62
（7）必要だと思う年代別の「消費者教育」活動	64
（8）重要だと思う消費者教育を行う場	79
（9）市に期待する取り組み	83
（10）今後心がけたいと思う消費行動	87
3. 応急手当普及啓発の現況について	90
（1）応急手当講習会の受講経験	90
（2）応急手当の実施可否	92
（3）実施できる応急手当	94
4. 自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて	96
（1）アドバンス・ケア・プランニング（ACP）・人生会議の認知度	96

(2) 人生の最終段階における医療・ケアについて	98
(3) 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合いの有無	100
5. 地域活動の支援について	102
(1) 参加したいと思う地域活動	102
(2) 地域活動から得られるものや魅力	106
(3) 魅力を感じない、参加したいと思わない地域活動への参加	110
(4) 地域活動情報を取得しやすい方法	114
(5) 地域活動団体の役員交代	118
6. 市政全般と区政について	122
(1) 新潟市として良くなっているもの	122
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	130
(3) 区として良くなっているもの	138
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	146
7. 市の取り組みについて	154
(1) 新潟市に住み続けたいか	154
(2) 取り組みへの感想	156
(3) 取り組みへの満足度	178
Ⅲ 調査票様式	201

# I 調 査 概 要



## 1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

## 2. 調査の項目

(1) 新潟市に対する誇りや愛着について	本質問	2問
(2) 消費生活について	本質問	10問
(3) 応急手当普及啓発の現況について	本質問	3問
(4) 自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて	本質問	3問
(5) 地域活動の支援について	本質問	5問
(6) 市政全般と区政について	本質問	1問
(7) 市の取り組みについて	本質問	2問
(8) 対象者属性	本質問	5問

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：令和3年6月末現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：令和3年7月20日～8月6日

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 5. 回収結果

### (1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

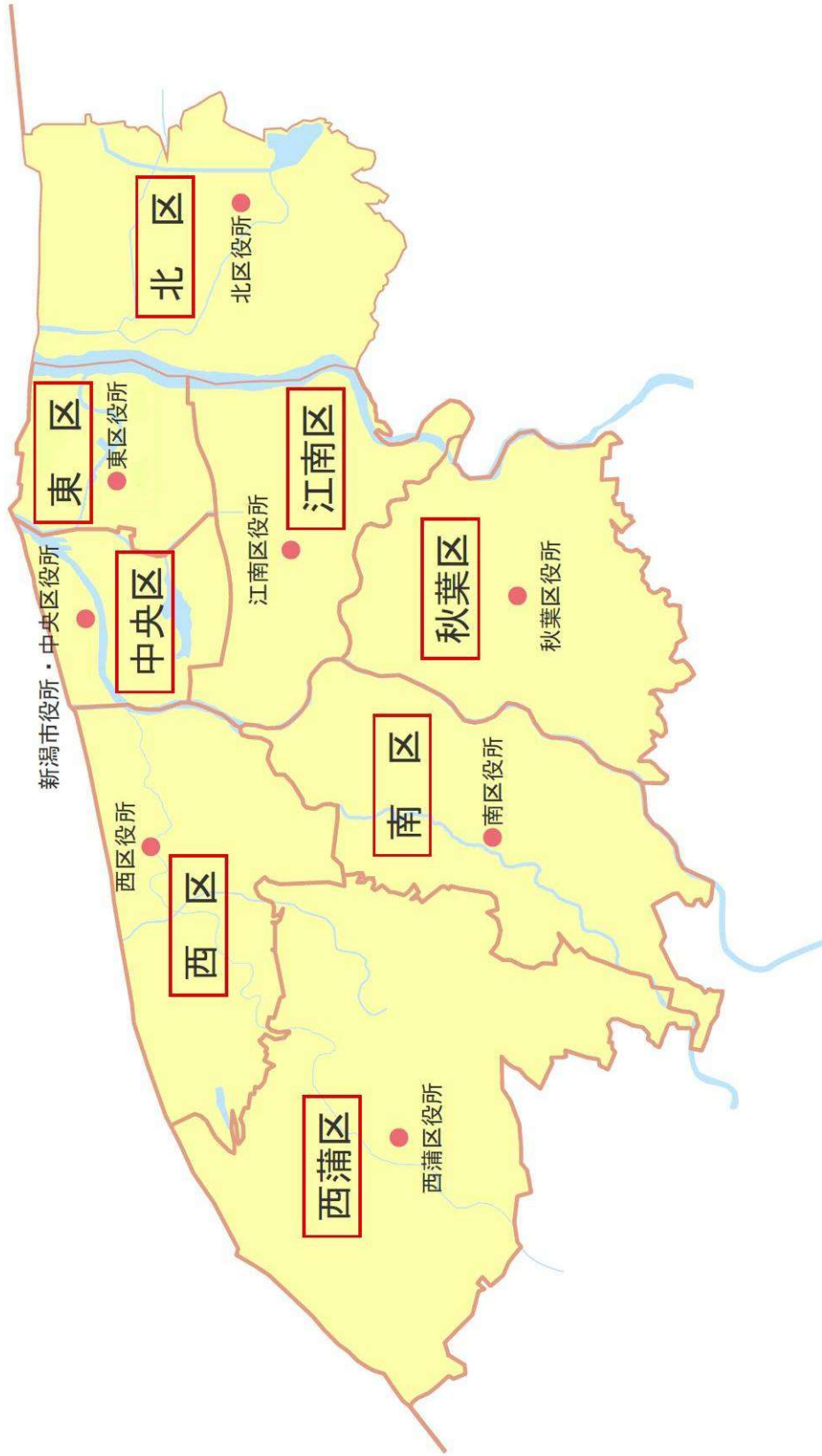
### (2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	663,746	100.0%	4,000	2,056	51.4%
北 区	61,786	9.3%	372	191	51.3%
東 区	114,790	17.3%	692	347	50.1%
中央区	148,533	22.4%	895	471	52.6%
江南区	57,283	8.6%	345	171	49.6%
秋葉区	64,524	9.7%	389	202	51.9%
南 区	37,486	5.6%	226	98	43.4%
西 区	131,470	19.8%	792	420	53.0%
西蒲区	47,874	7.2%	289	137	47.4%
区名無回答				19	

## 6. 区（行政区）の範囲

次頁区分図参照。

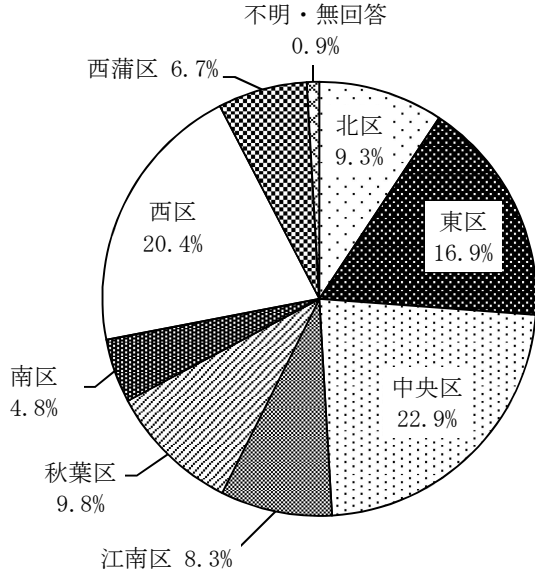
<区分图>



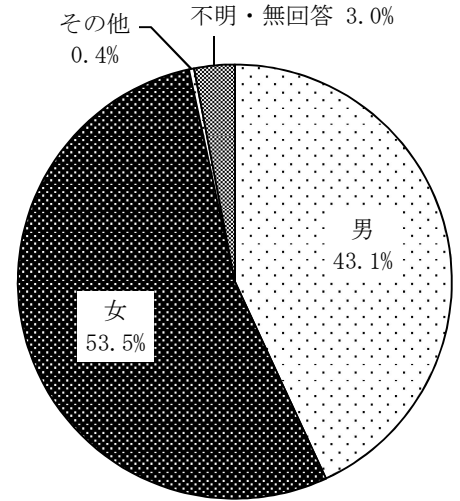


## 7. 回答者の特性

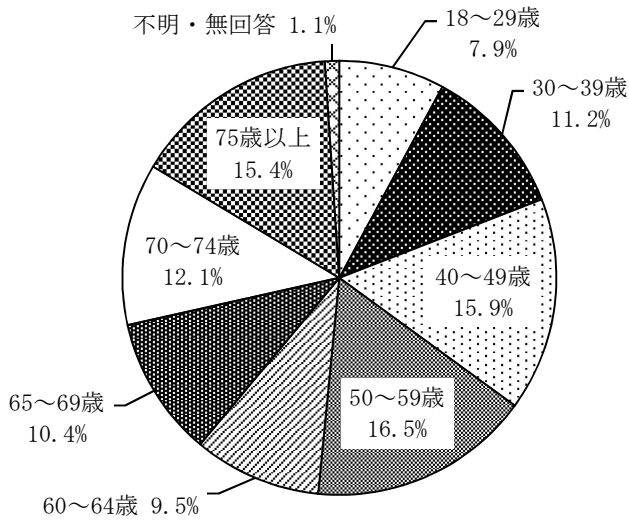
### ◆地区別



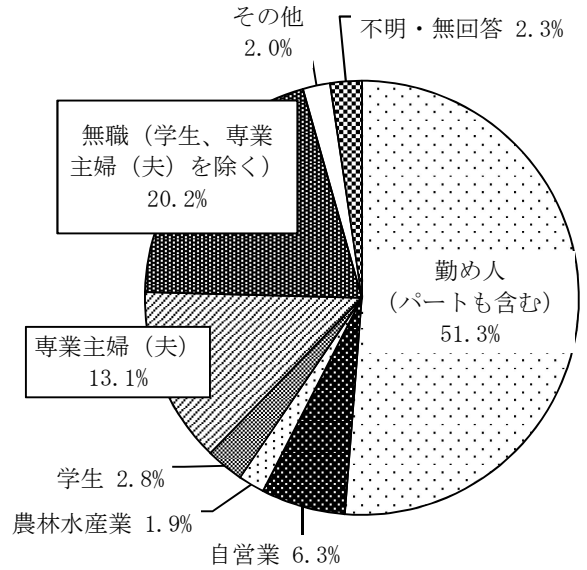
### ◆性別



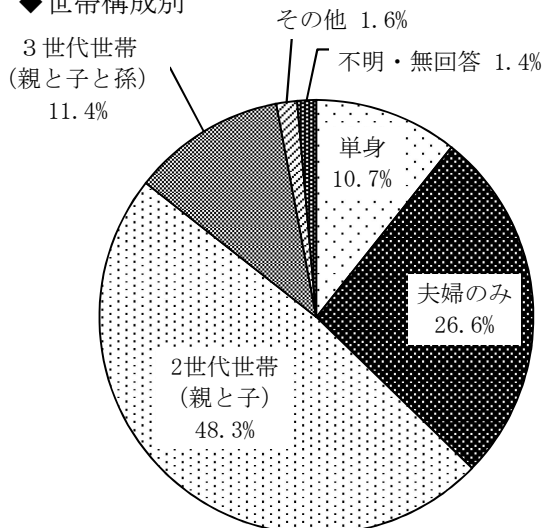
### ◆年齢別



### ◆職業別

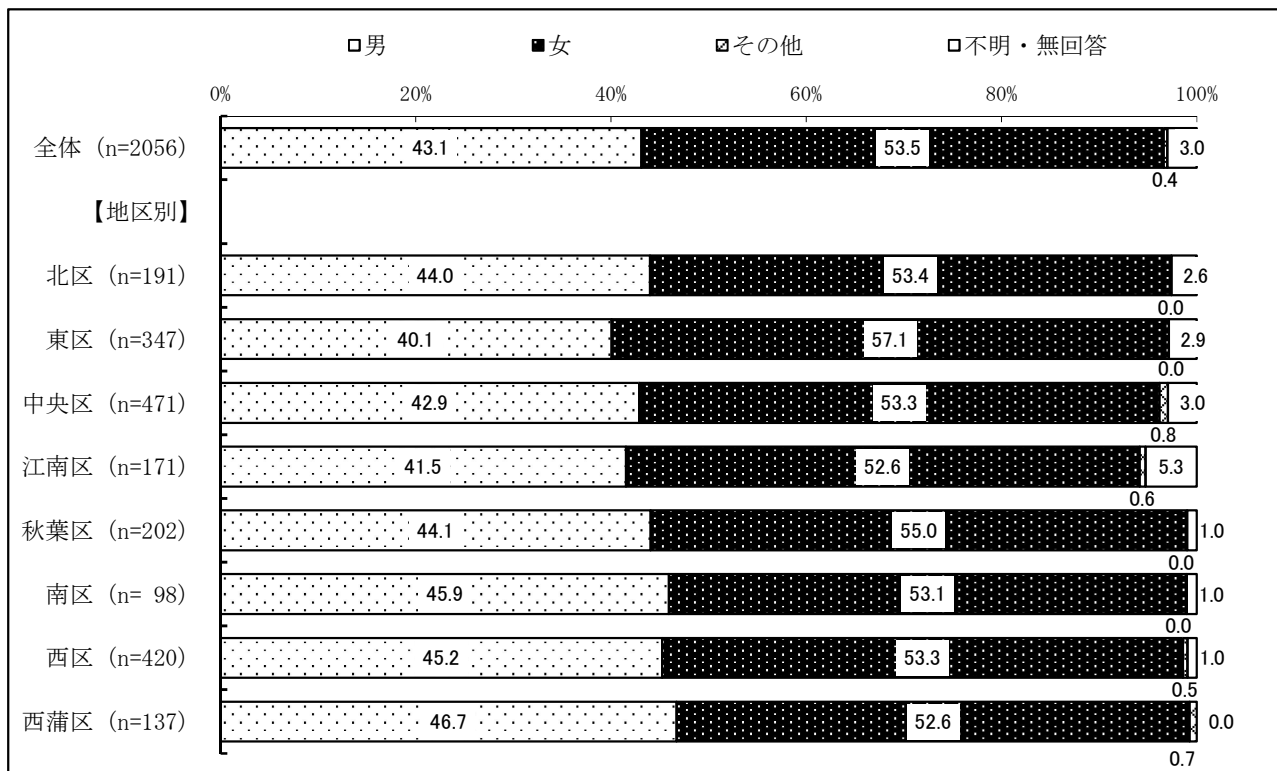


### ◆世帯構成別

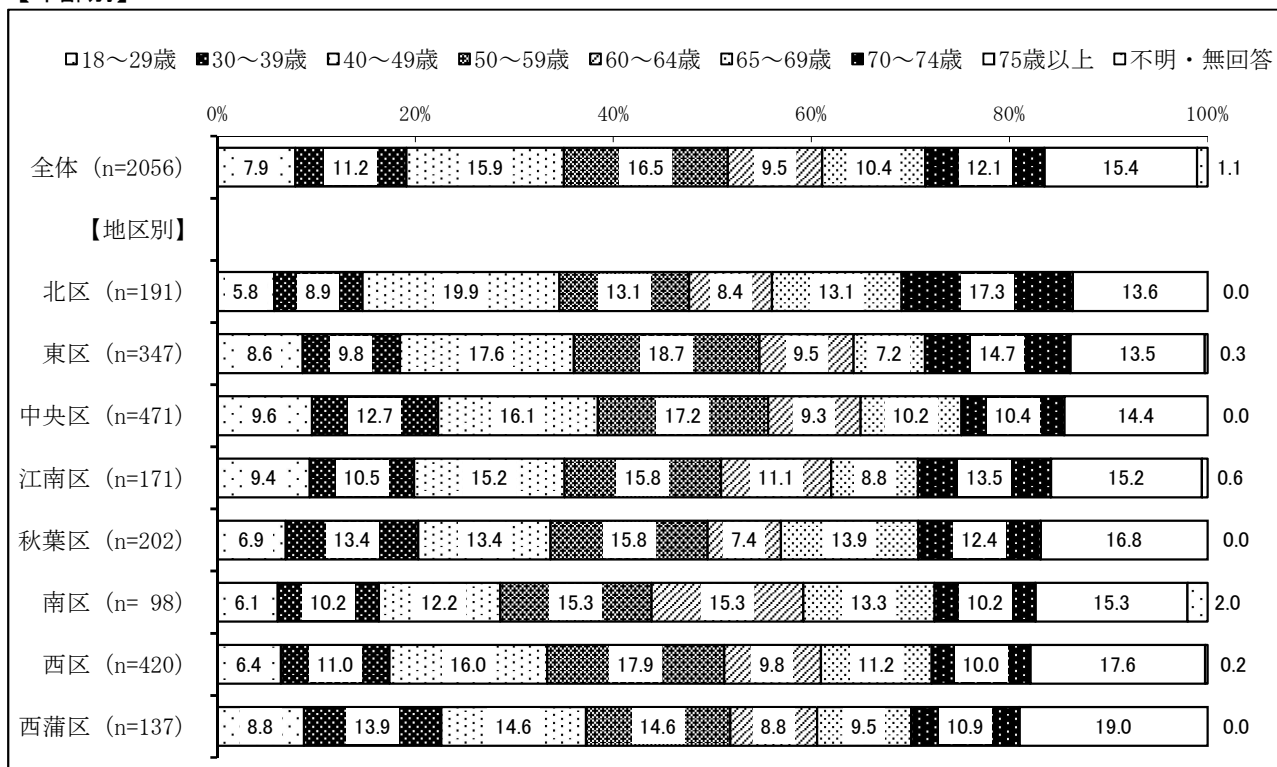


## 8. 回答者の特性（地区別集計）

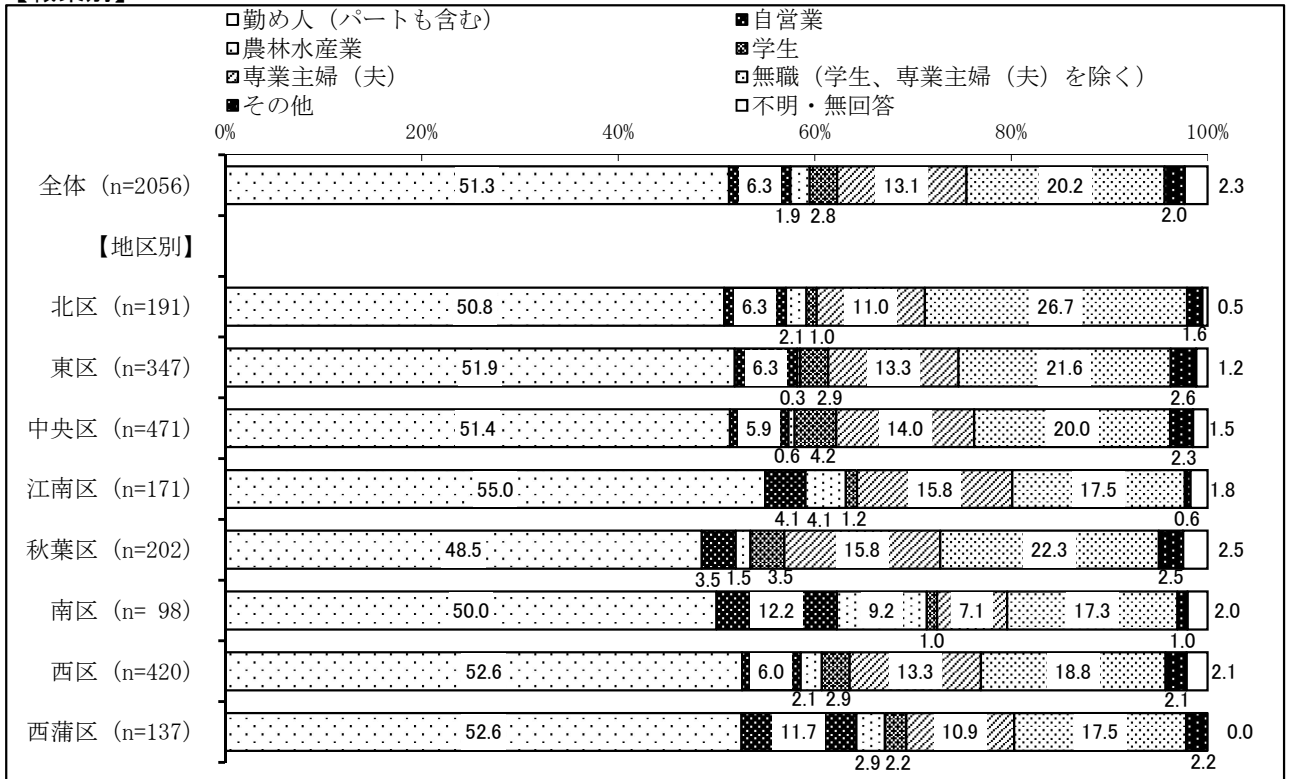
### 【性別】



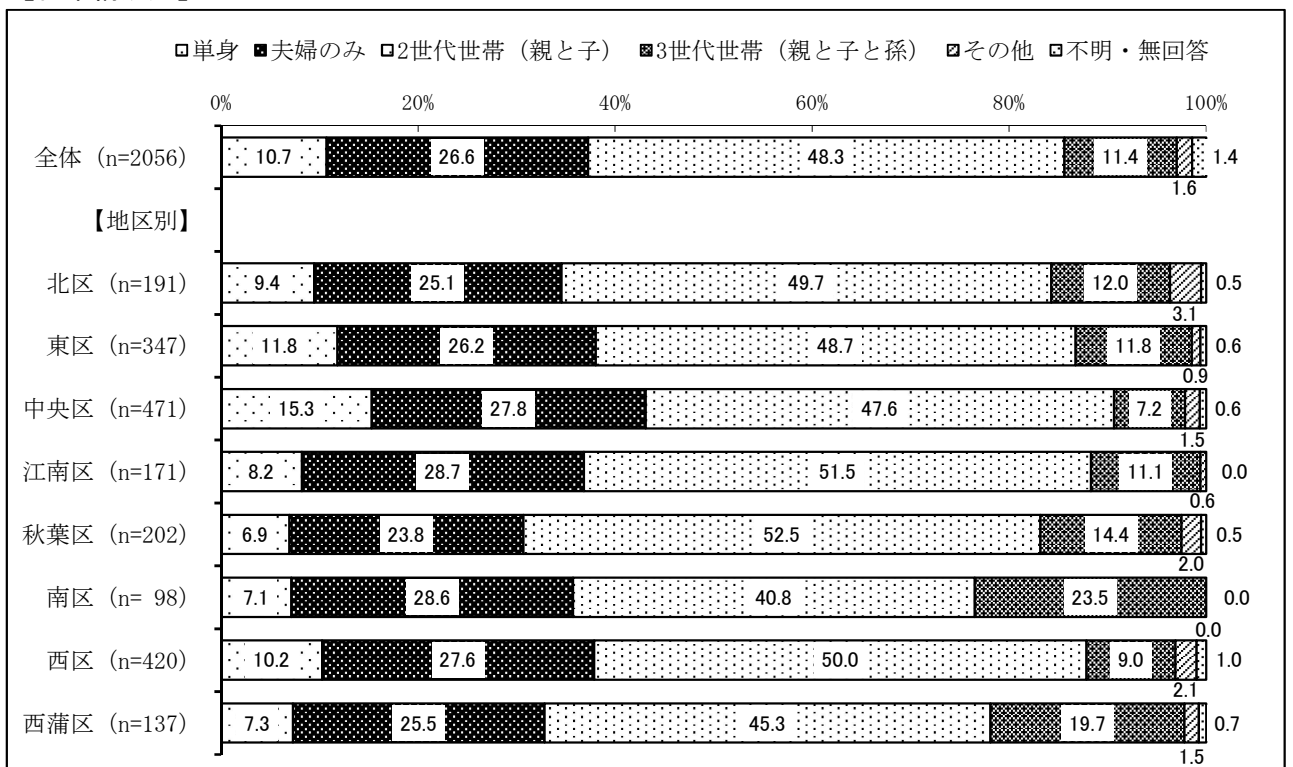
### 【年齢別】



【職業別】



【世帯構成別】



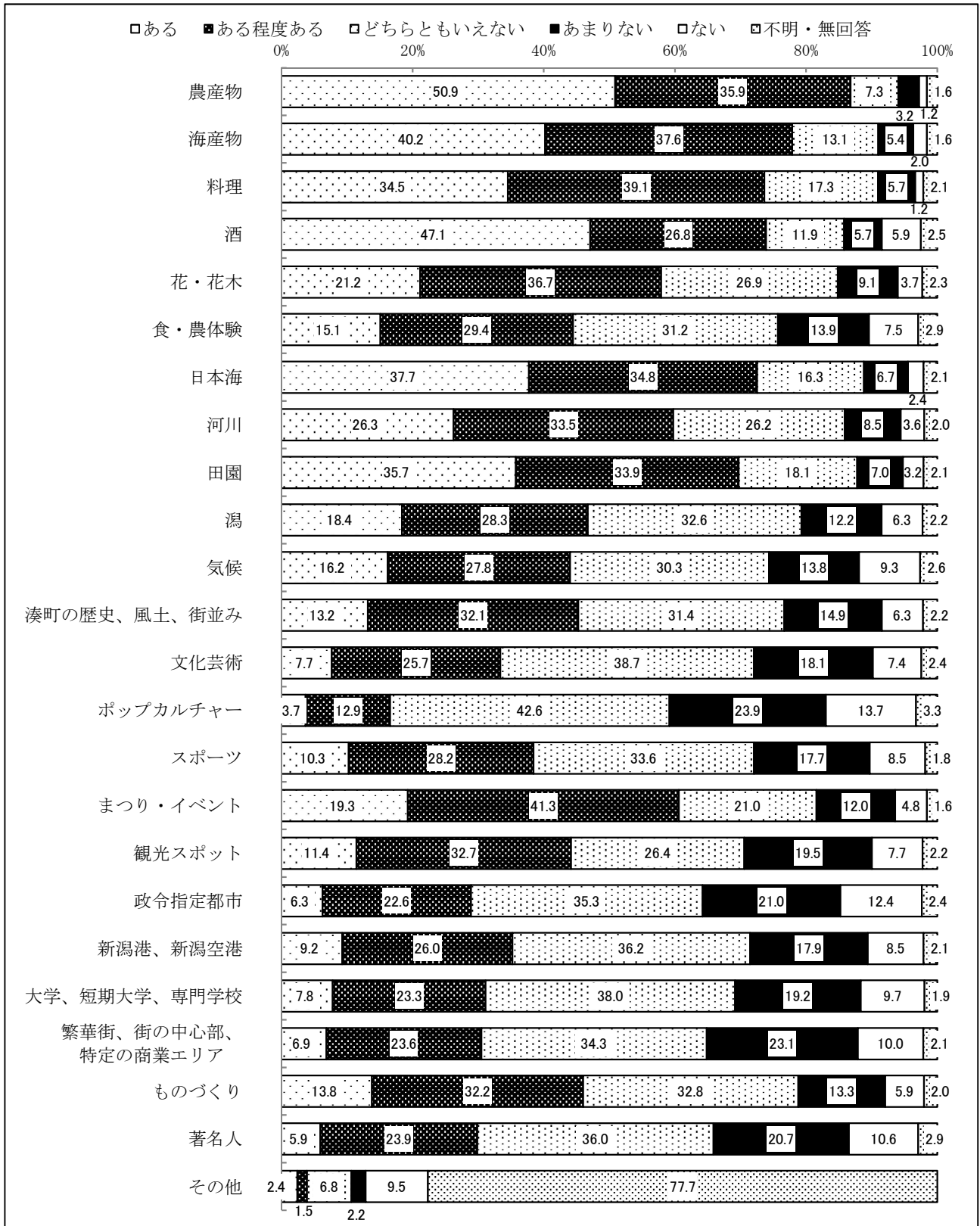
## II 調查結果



# 1. 新潟市に対する誇りや愛着について

## (1) 新潟市に対する誇りや愛着

問1 あなたは次の24の項目に対して、どの程度誇りや愛着を感じていますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



## — 約9割が「農産物」に誇りや愛着を感じている —

### 【全体結果】

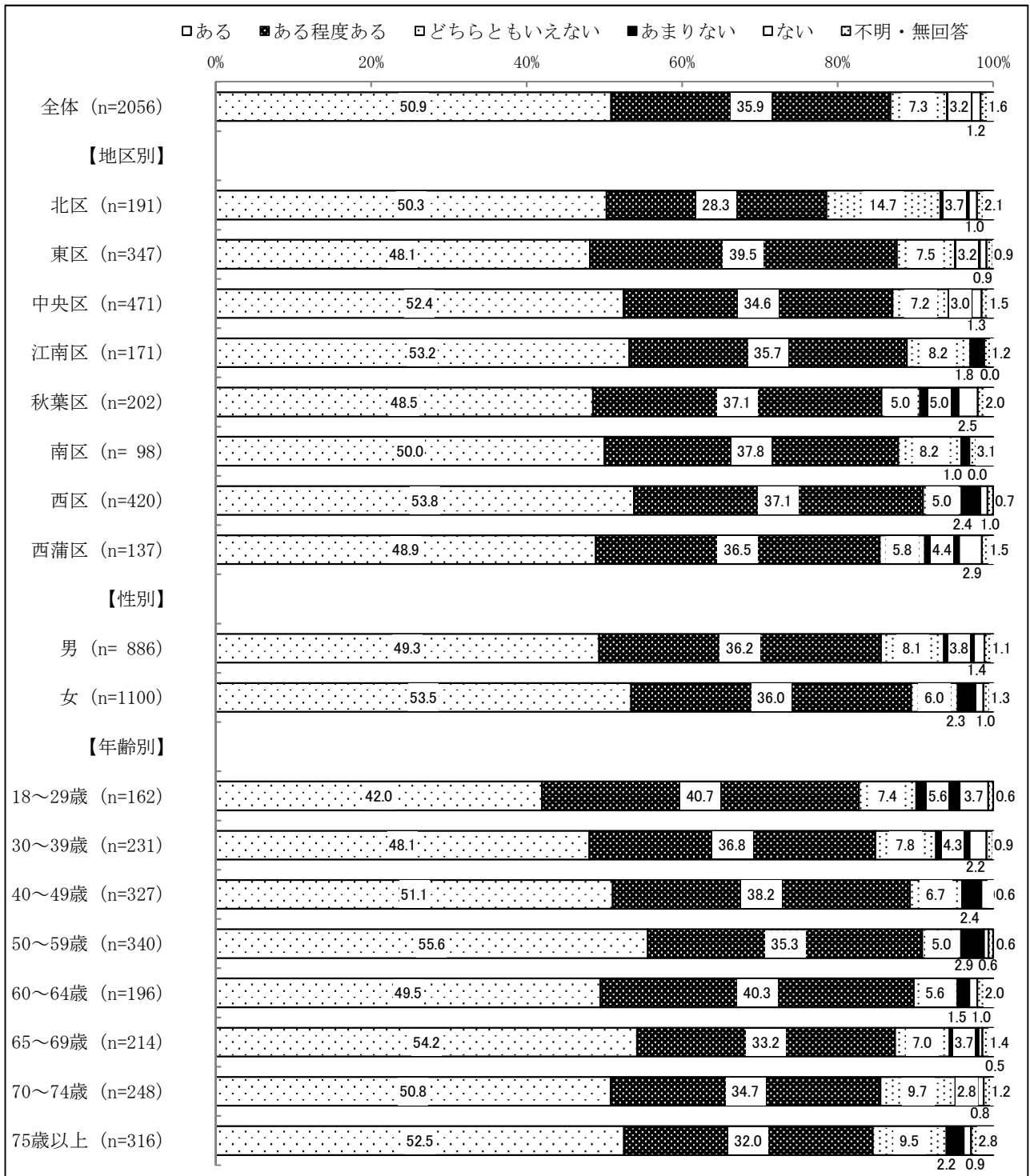
「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、「農作物」(86.8%)で最も高く、8割以上となった。次いで「海産物」(77.9%)、「酒」(73.9%)、「料理」(73.6%)、「日本海」(72.5%)と順に続き、7割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、「ポップカルチャー」(37.6%)で最も高く、以下、「政令指定都市」(33.4%)、「繁華街、街の中心部、特定の商業エリア」(33.0%)、「著名人」(31.2%)、「大学、短期大学、専門学校」(28.9%)の順に割合が高かった。

### 【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①農産物

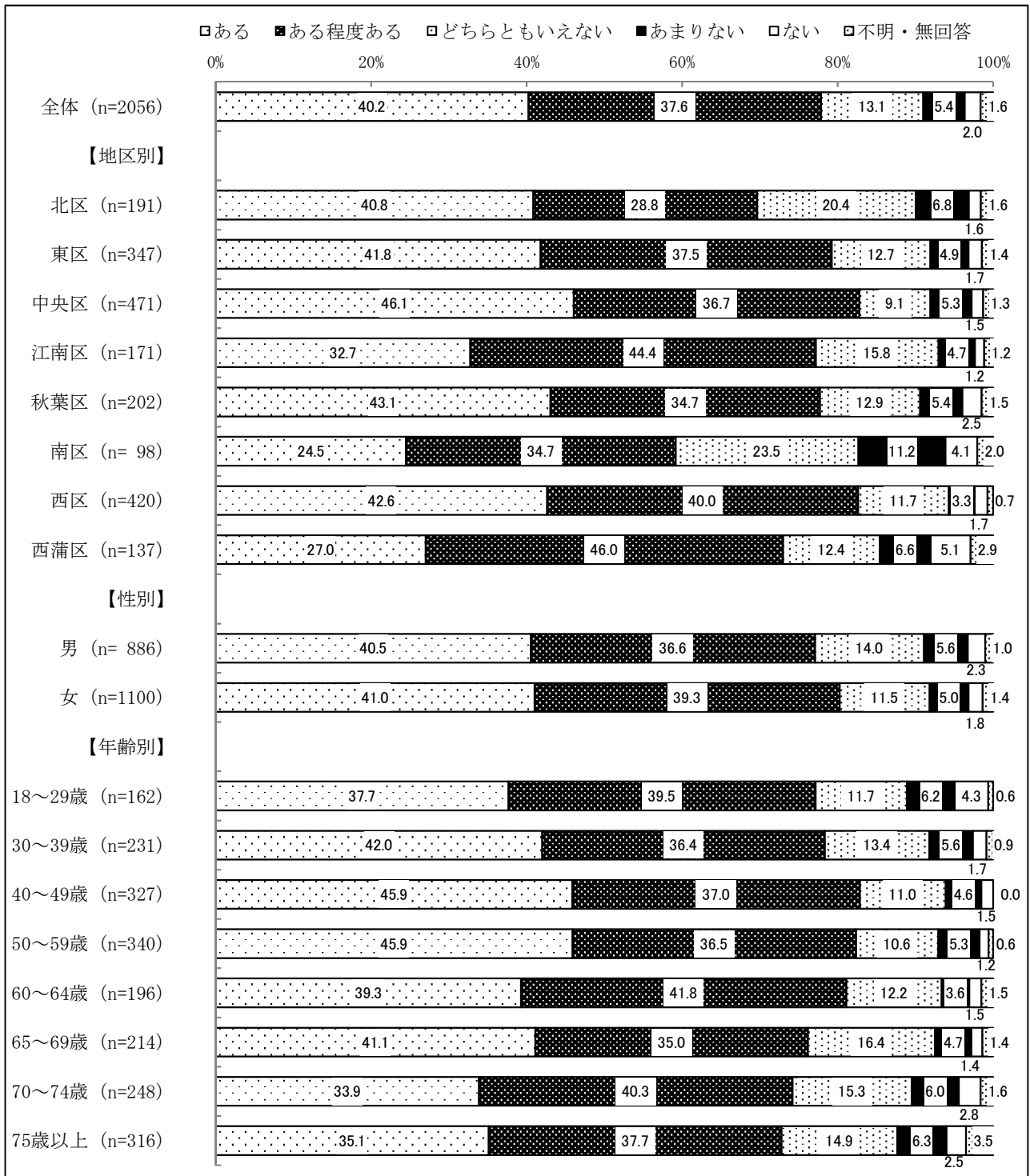


「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、北区を除き、地区別・性別・年齢別いずれで見ても、8割を超えた。地区別では、西区（91.0%）で、年齢別では、50～59歳（90.9%）で約9割となった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別・性別・年齢別いずれで見ても、1割に満たない。



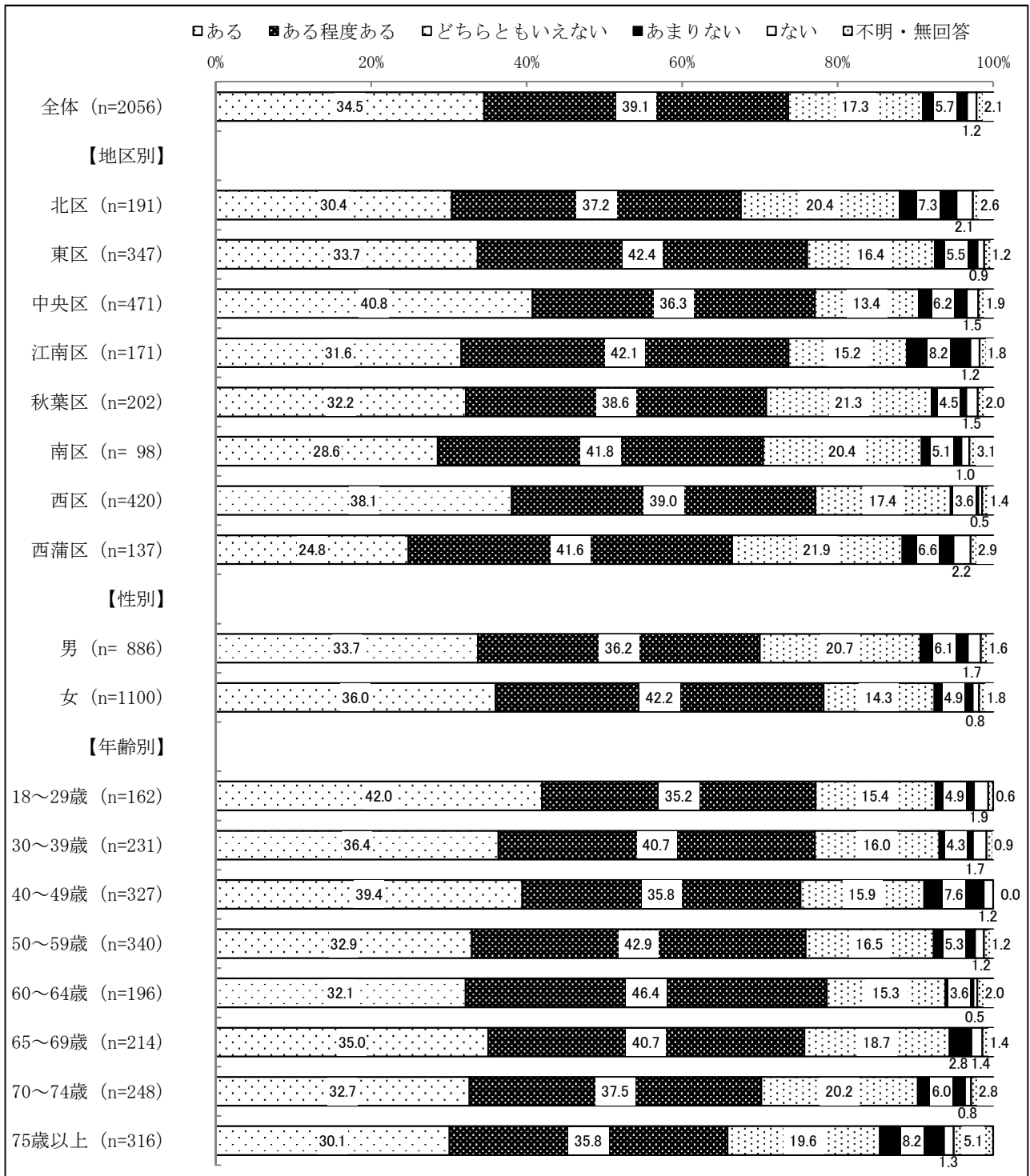
②海産物



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、中央区 (82.8%)、西区 (82.6%)、東区 (79.3%) で高く、約 8 割となった。性別では、男性 (77.1%) と比べて女性 (80.3%) で割合が高い。年齢別では、40～49 歳 (82.9%)、50～59 歳 (82.4%) で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区 (15.3%)、西蒲区 (11.7%) で、年齢別では、18～29 歳 (10.5%) で 1 割を超えたが、他の属性はいずれも、1 割に満たない。

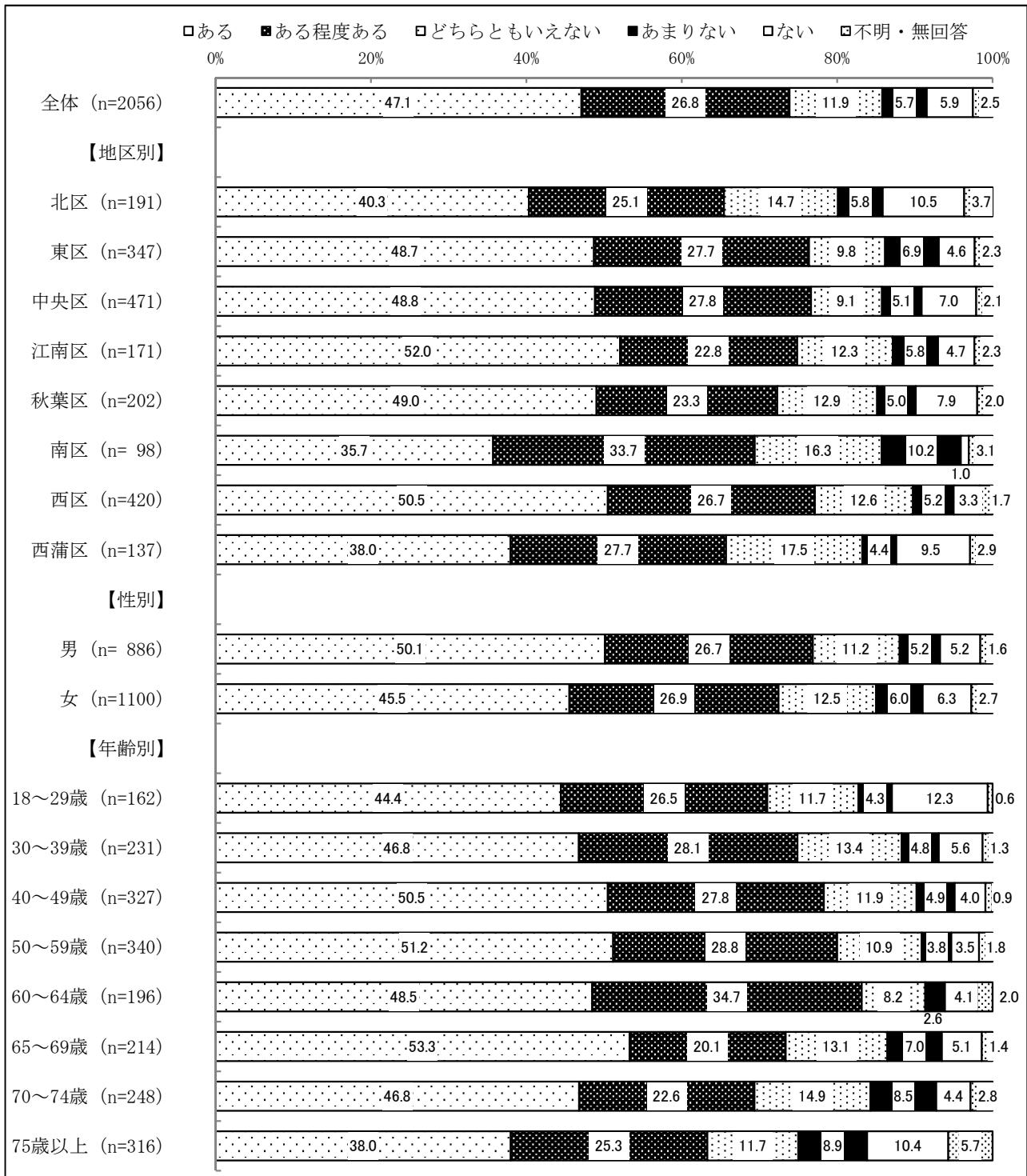
### ③料理



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、中央区、西区（ともに 77.1%）、東区（76.1%）で高い。性別では、男性（70.0%）と比べて女性（78.2%）で割合が高い。年齢別では、60～64歳（78.6%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別・性別・年齢別いずれで見ても、1割に満たない。

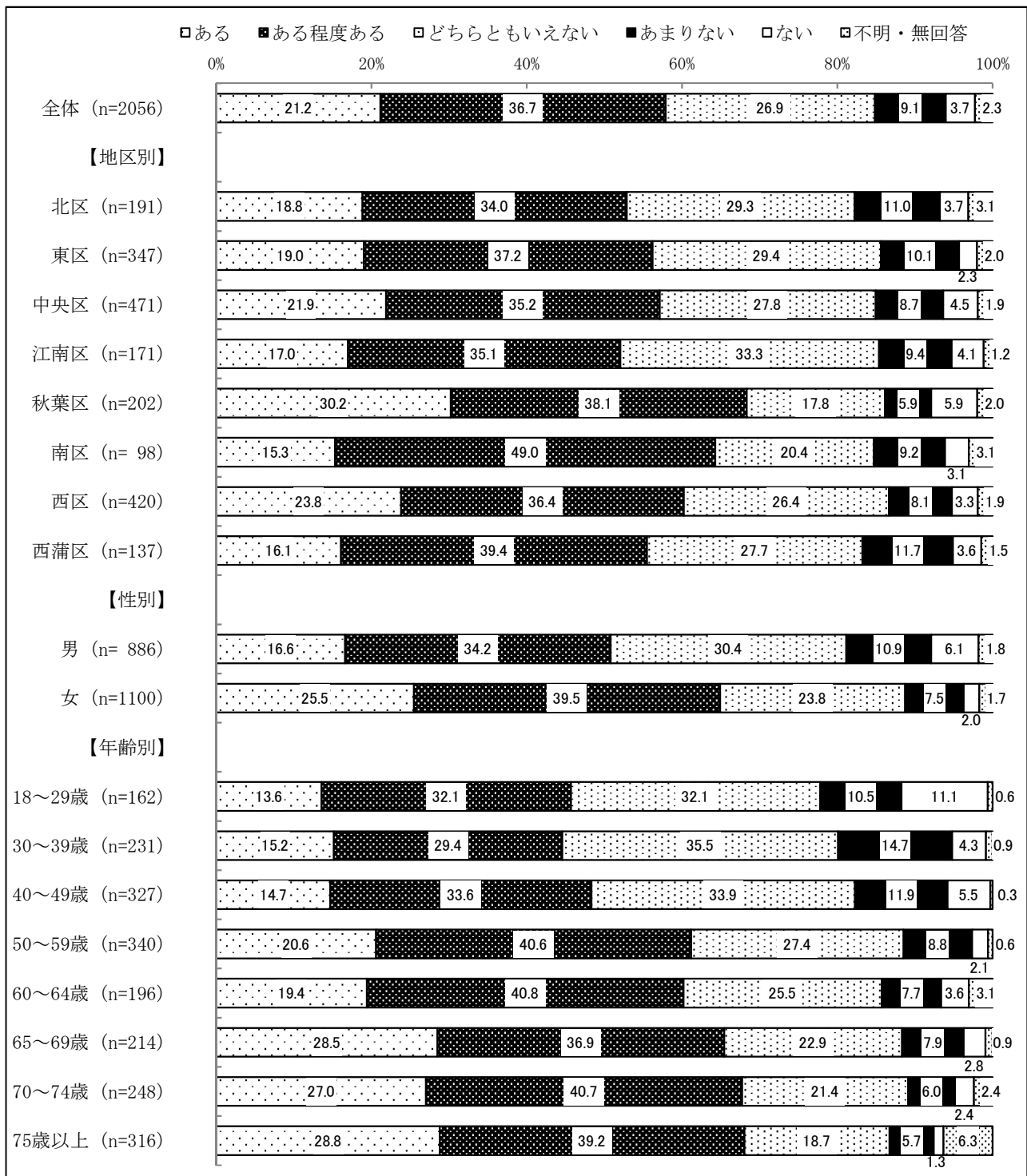
④酒



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、西区（77.1%）で最も高い。性別では、男性（76.9%）と比べて女性（72.5%）で割合が低い。年齢別では、40~64歳でそれぞれ約8割となった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、北区（16.2%）で最も高い。年齢別では75歳以上（19.3%）で最も高い。

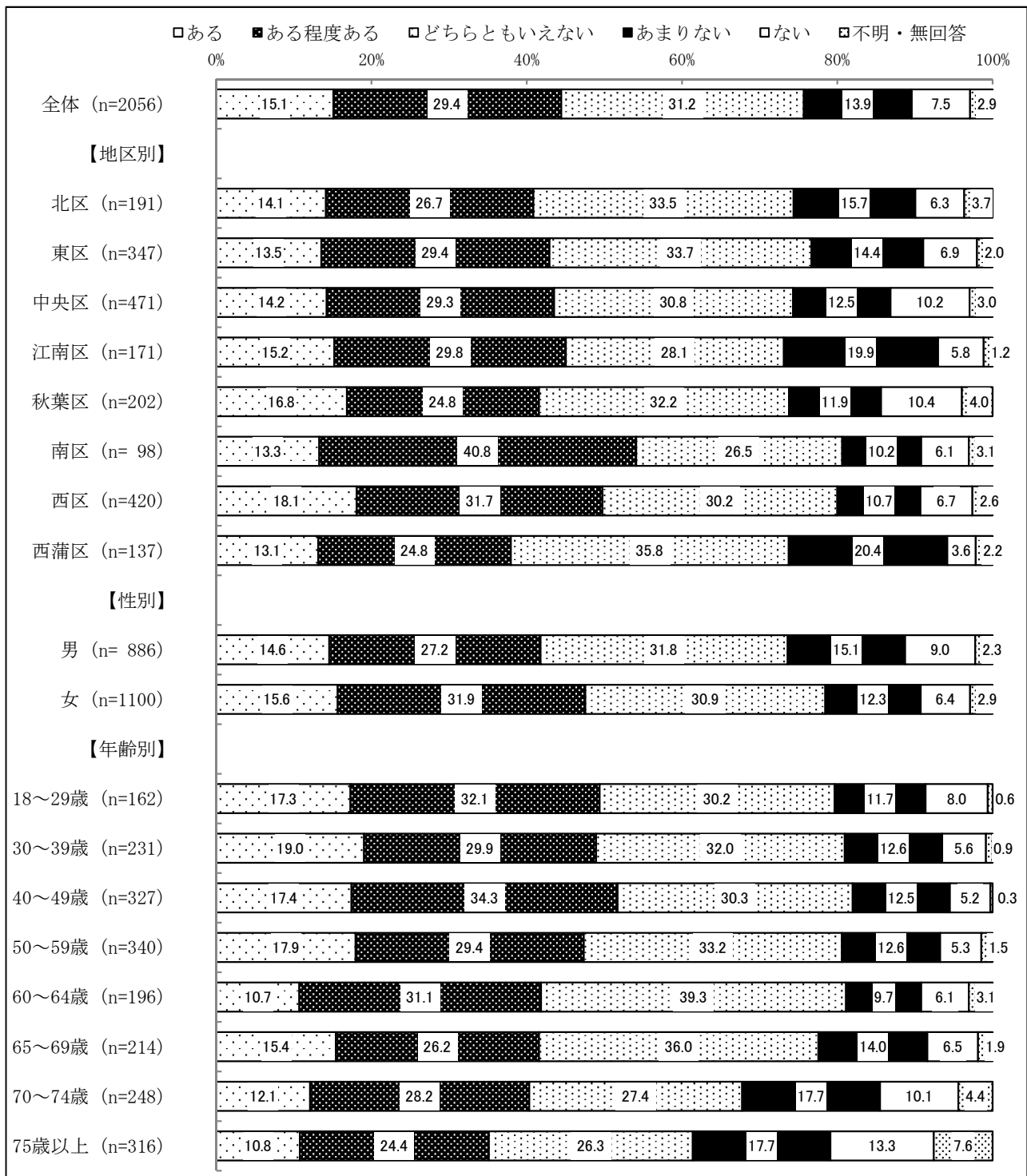
⑤花・花木



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（68.3%）で最も高い。性別では、男性（50.8%）と比べて女性（64.9%）で割合が高い。年齢別では、50歳以上で割合が高く、6割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（15.3%）が高い。年齢別では18～29歳（21.6%）で最も高い。

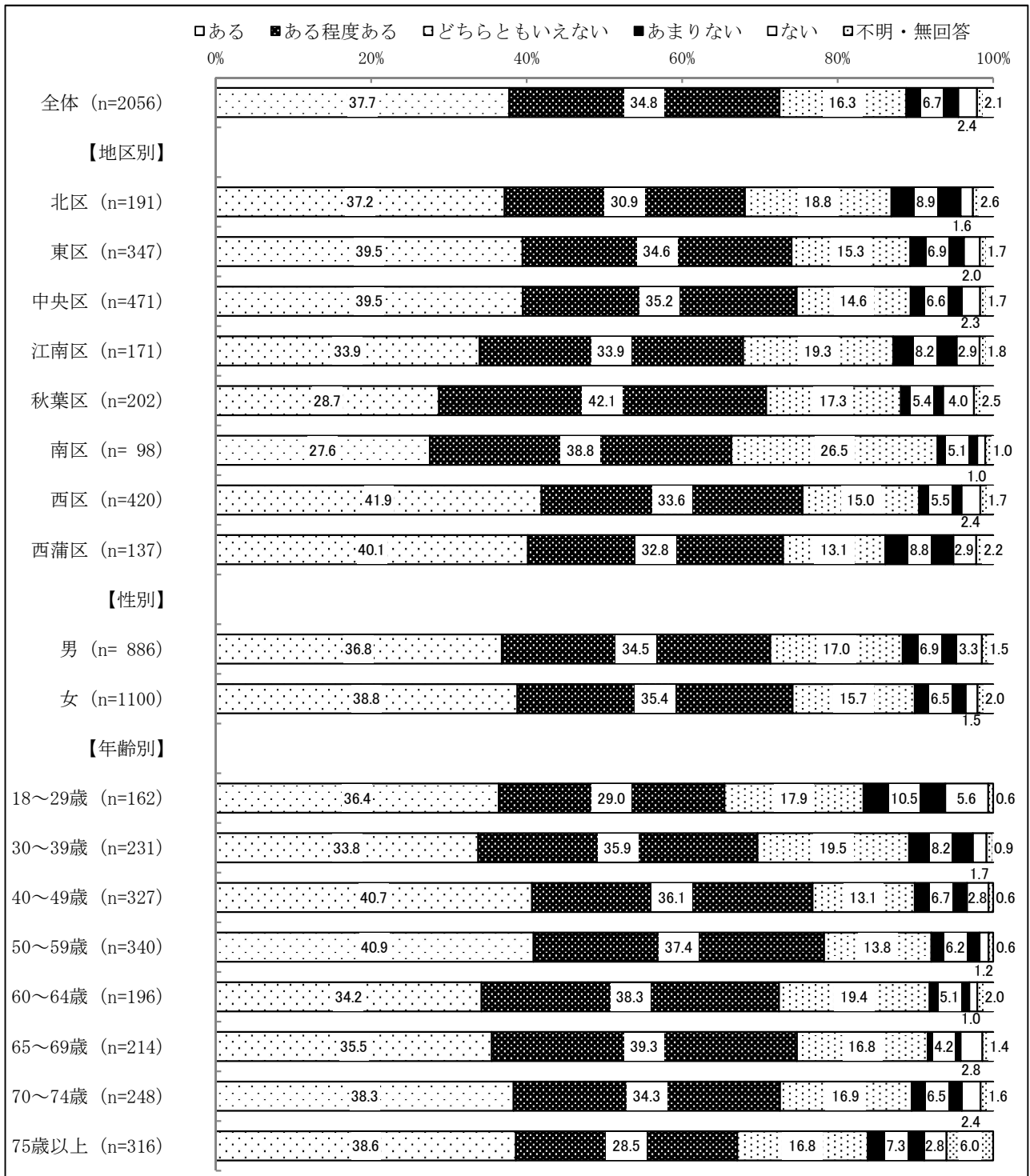
⑥食・農体験



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、南区（54.1%）で最も高い。性別では、男性（41.8%）と比べて女性（47.5%）で割合が高い。年齢別では、40～49歳（51.7%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（25.7%）で最も高い。年齢別では、75歳以上（31.0%）で最も高い。

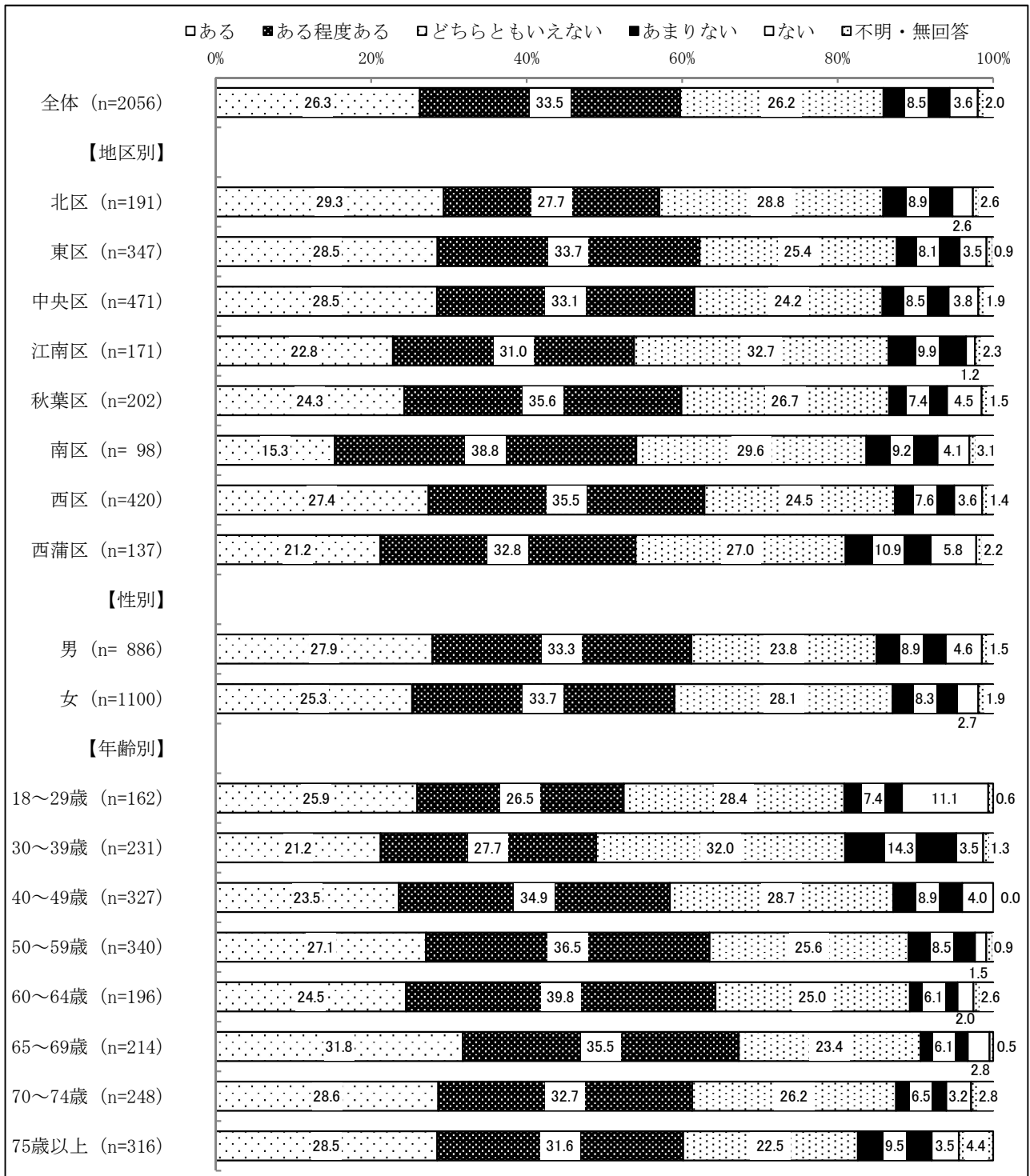
⑦日本海



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西区（75.5%）で最も高い。性別では、男性（71.3%）と比べて女性（74.2%）で割合がやや高い。年齢別では、50～59歳（78.2%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（11.7%）、江南区（11.1%）で高い。年齢別では18～29歳（16.0%）で最も高い。

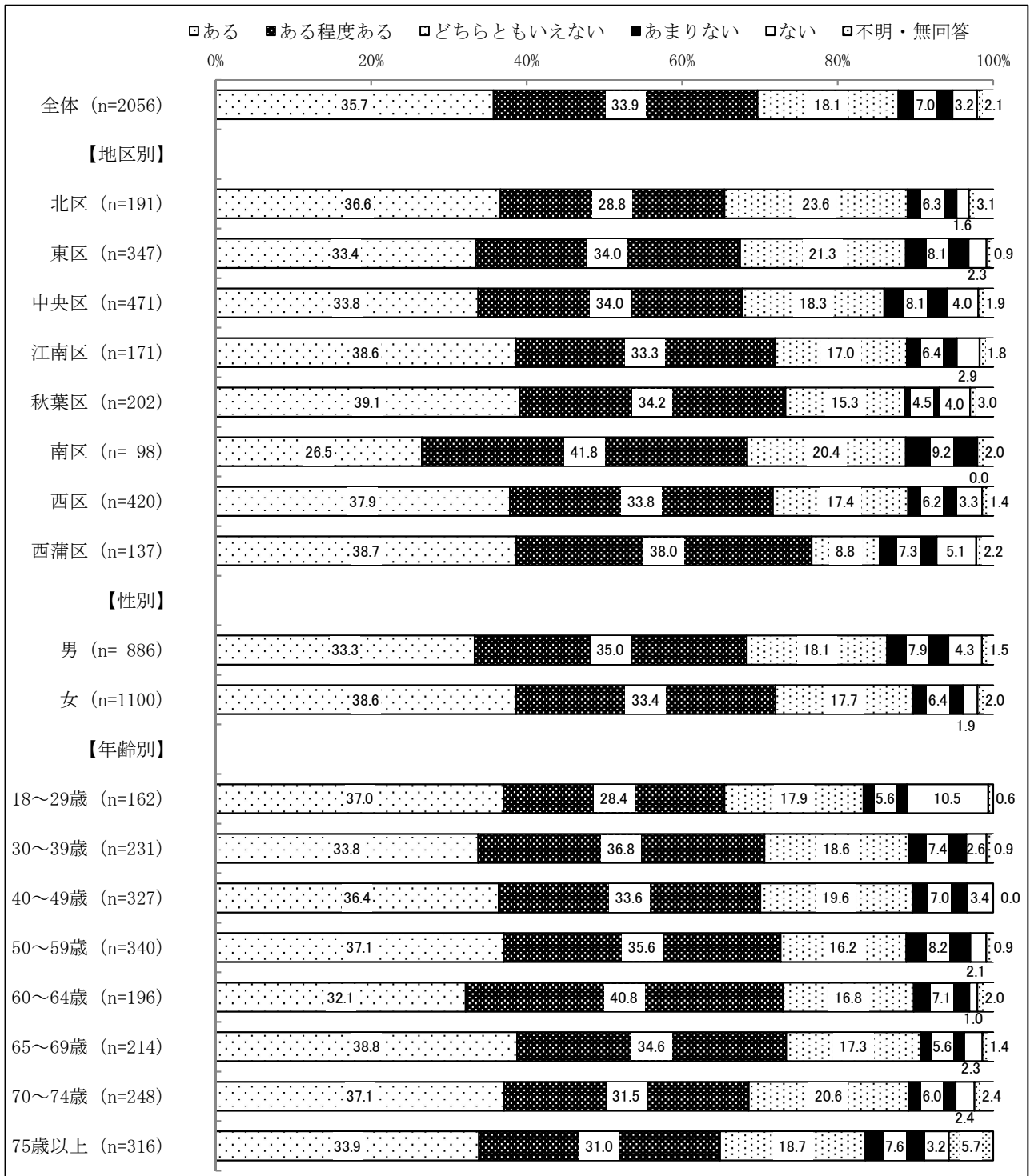
⑧河川



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西区（62.9%）、東区（62.2%）で高い。性別では、男性（61.2%）と比べて女性（59.0%）で割合がやや低い。年齢別では、65～69歳（67.3%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（16.8%）で最も高い。年齢別では18～29歳（18.5%）で最も高い。

⑨田園

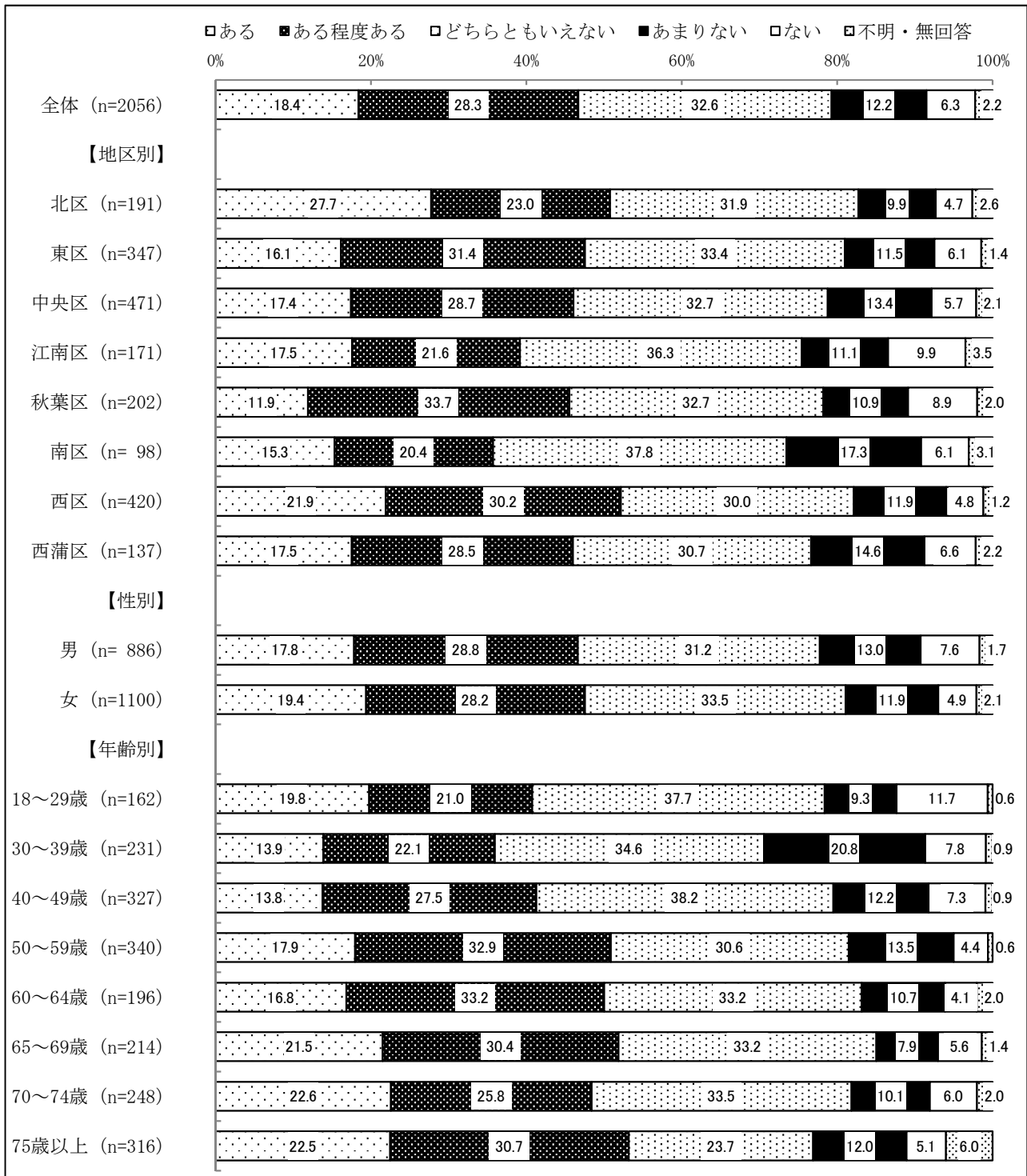


「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（76.6%）で最も高い。性別では、男性（68.3%）と比べて女性（72.0%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（73.4%）、60～64歳（73.0%）で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（12.4%）、中央区（12.1%）で高い。年齢別では18～29歳（16.0%）で最も高い。



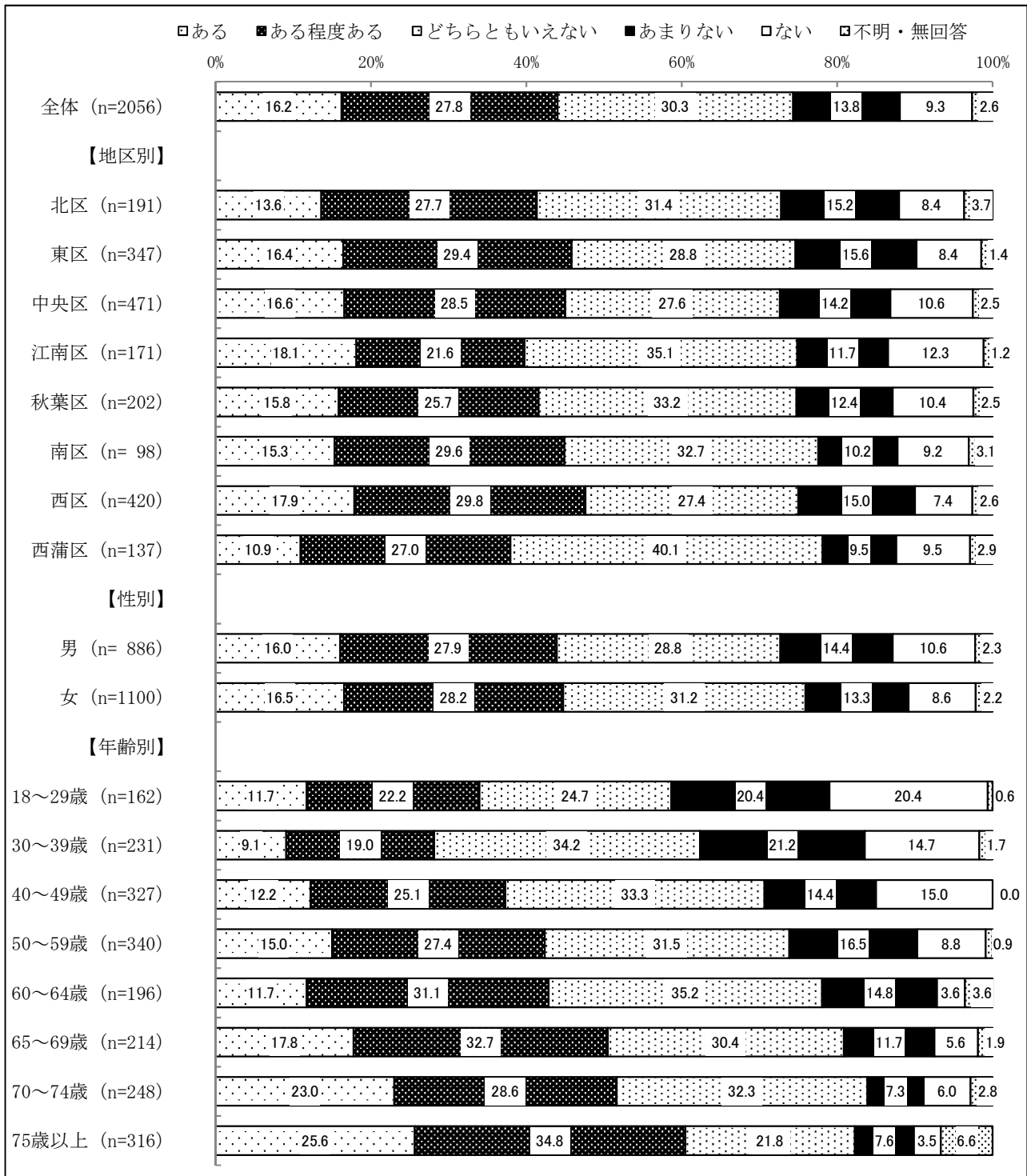
⑩ 瀉



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西区 (52.1%)、北区 (50.8%) で高い。性別では、男性 (46.6%) と比べて女性 (47.5%) で割合がやや高い。年齢別では、75歳以上 (53.2%) で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区 (23.5%) が最も高い。年齢別では 30～39歳 (28.6%) で最も高い。

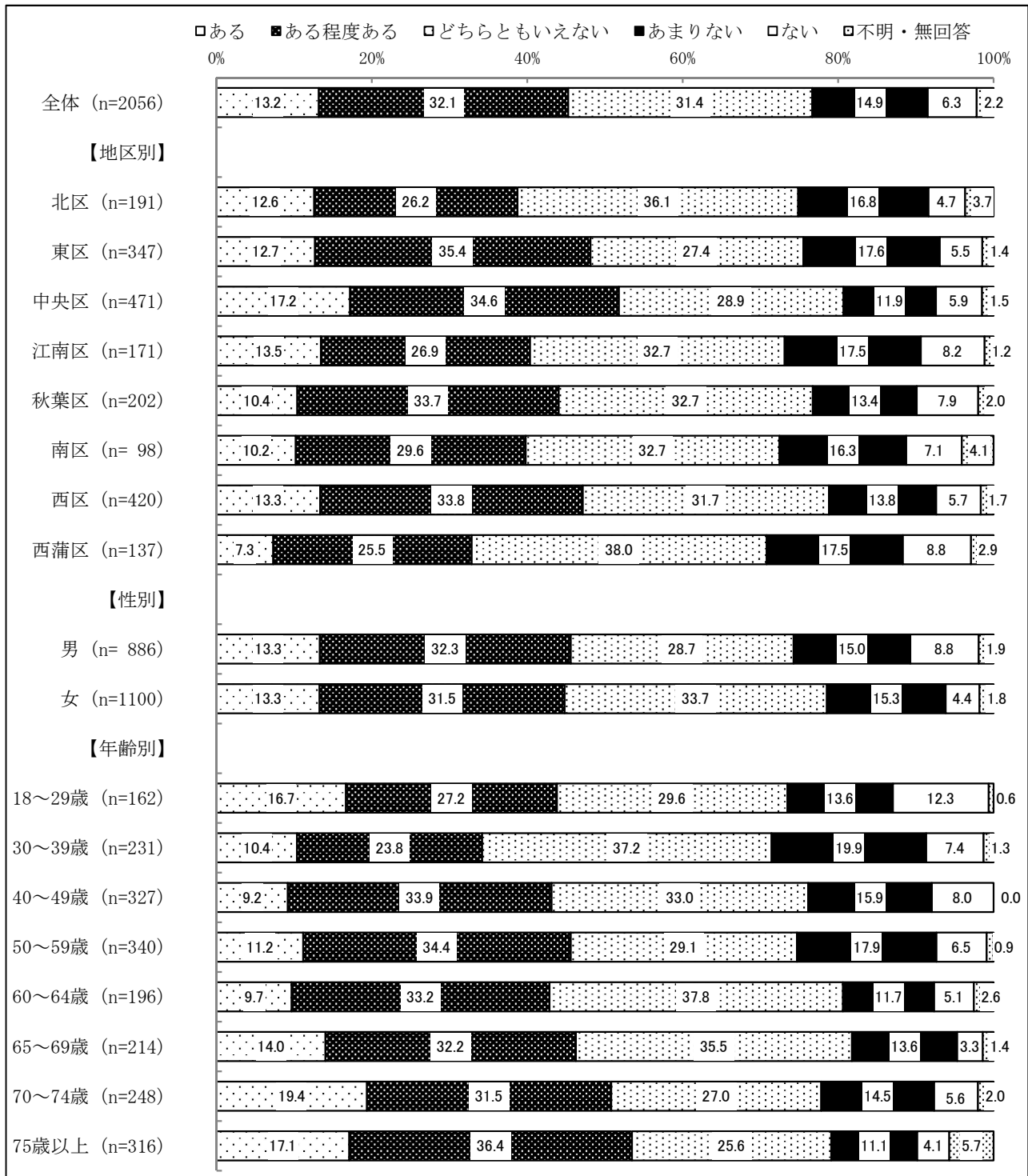
⑪気候



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西区（47.6%）で最も高い。性別では、男性（43.9%）と比べて女性（44.7%）で割合がやや高い。年齢別では、75歳以上（60.4%）で最も高い。年齢が高いほど割合も高くなる傾向にある。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（24.8%）で最も高い。

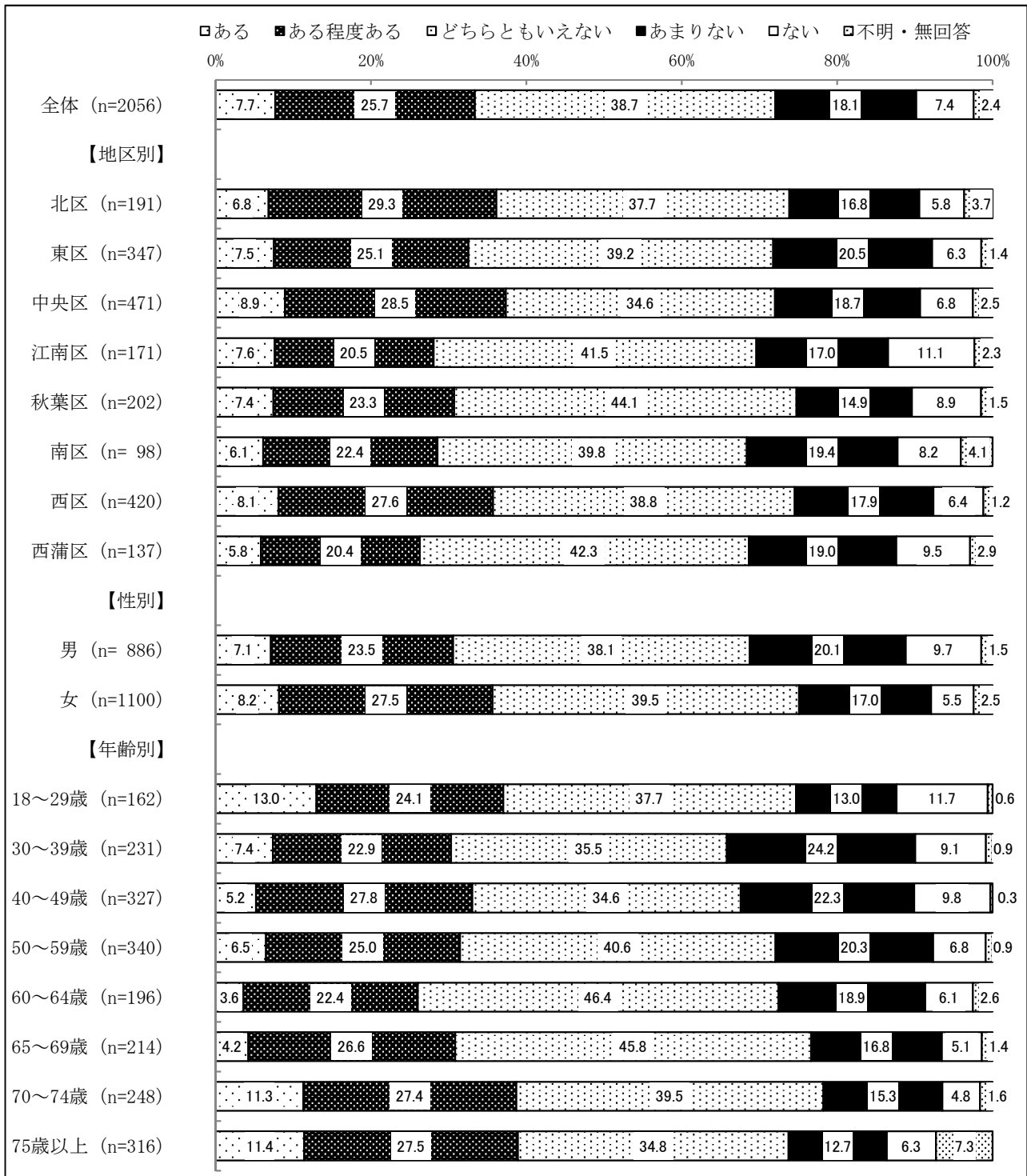
⑫湊町の歴史、風土、街並み



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、中央区（51.8%）で最も高い。性別では、男性（45.6%）と比べて女性（44.8%）で割合がやや低い。年齢別では、75歳以上（53.5%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（26.3%）で最も高い。年齢別では30～39歳（27.3%）で最も高い。

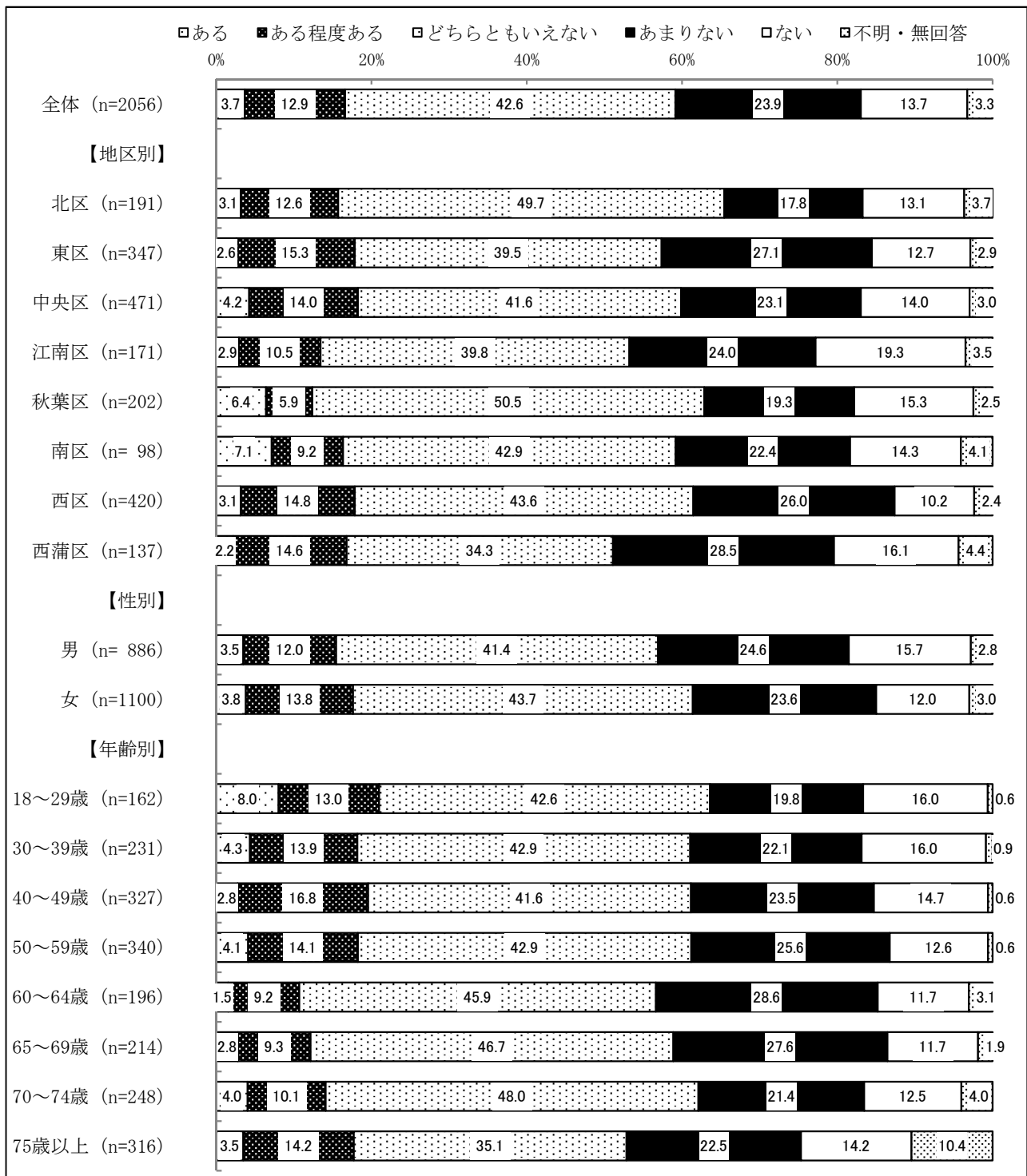
⑬文化芸術



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（37.4%）で最も高い。性別では、男性（30.6%）と比べて女性（35.6%）で割合が高い。年齢別では、70歳以上で高く、それぞれ約4割となった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（28.5%）、江南区（28.1%）が高い。年齢別では30～39歳（33.3%）で最も高い。

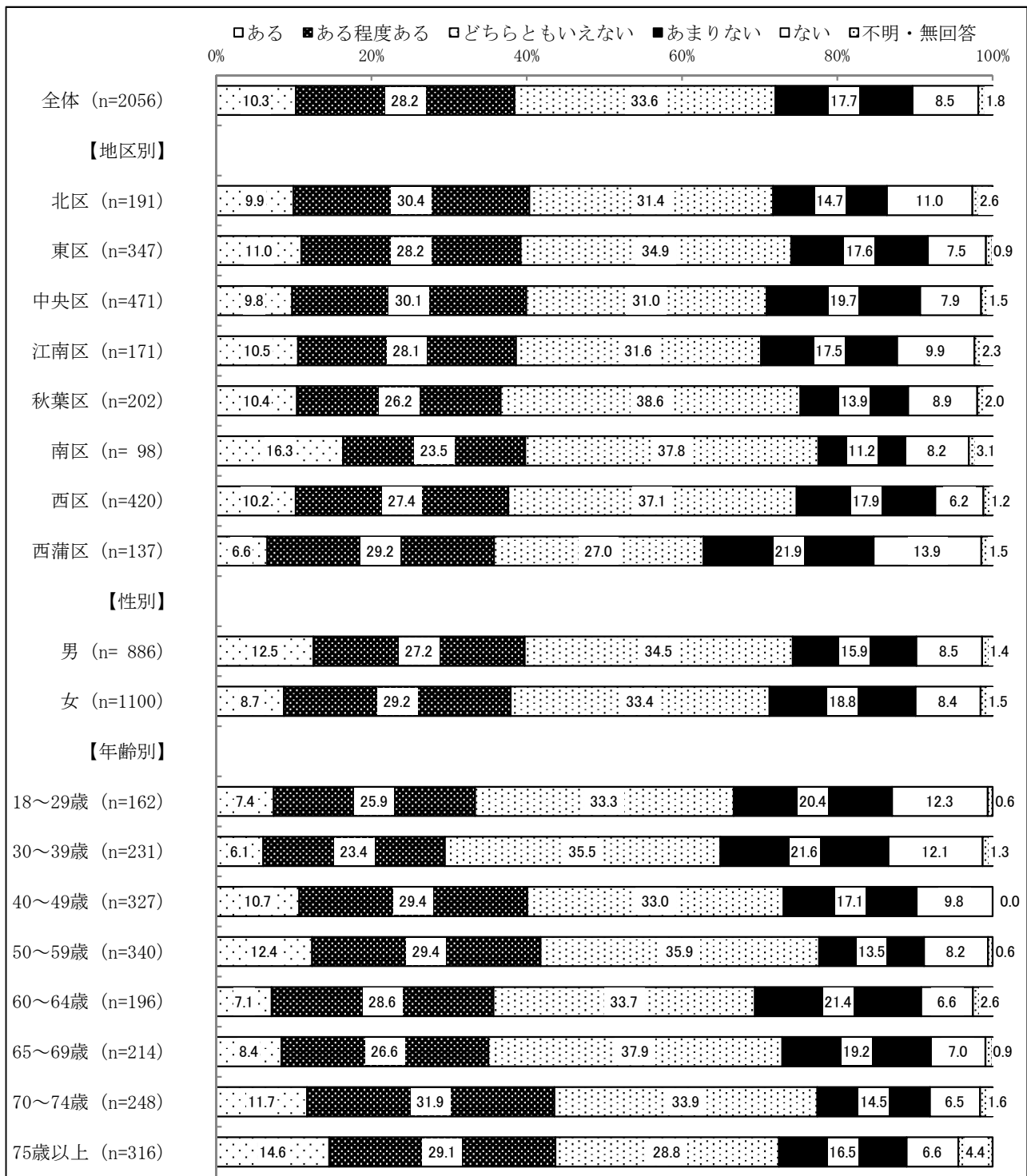
⑭ポップカルチャー



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、すべての地区で 2 割以下となったが、その中で、中央区 (18.3%) が最も高い。性別では、男性 (15.5%) と比べて女性 (17.6%) で割合がやや高い。年齢別では、18～29 歳 (21.0%) で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区 (44.5%)、江南区 (43.3%) で高い。年齢別では 60～64 歳 (40.3%) で最も高い。

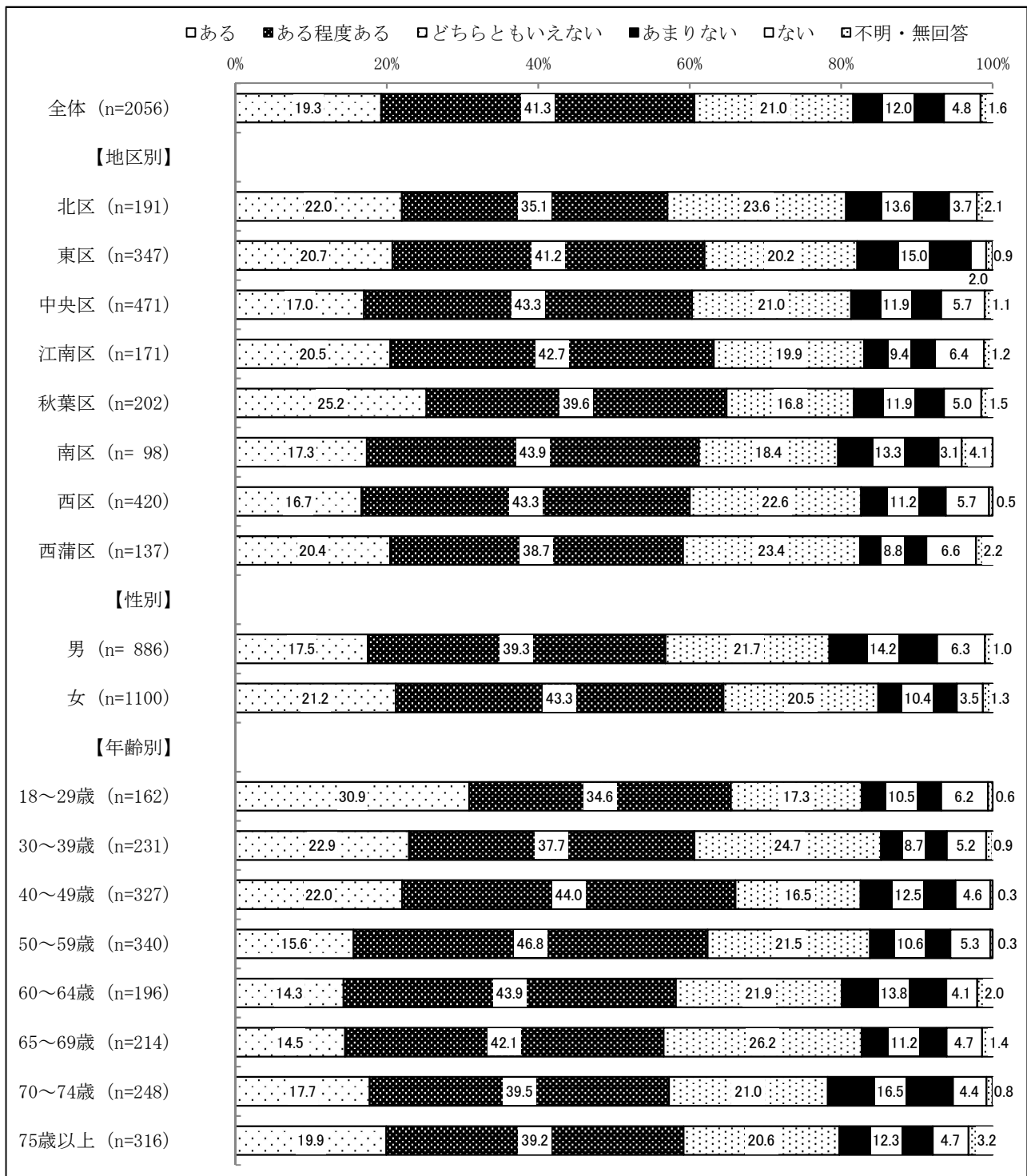
⑮スポーツ



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、北区（40.3%）、中央区（39.9%）、南区（39.8%）でやや高い。性別では、男性（39.7%）と比べて女性（37.9%）で割合がやや低い。年齢別では、75歳以上（43.7%）、70～74歳（43.5%）で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（35.8%）で最も高い。年齢別では30～39歳（33.8%）で最も高い。

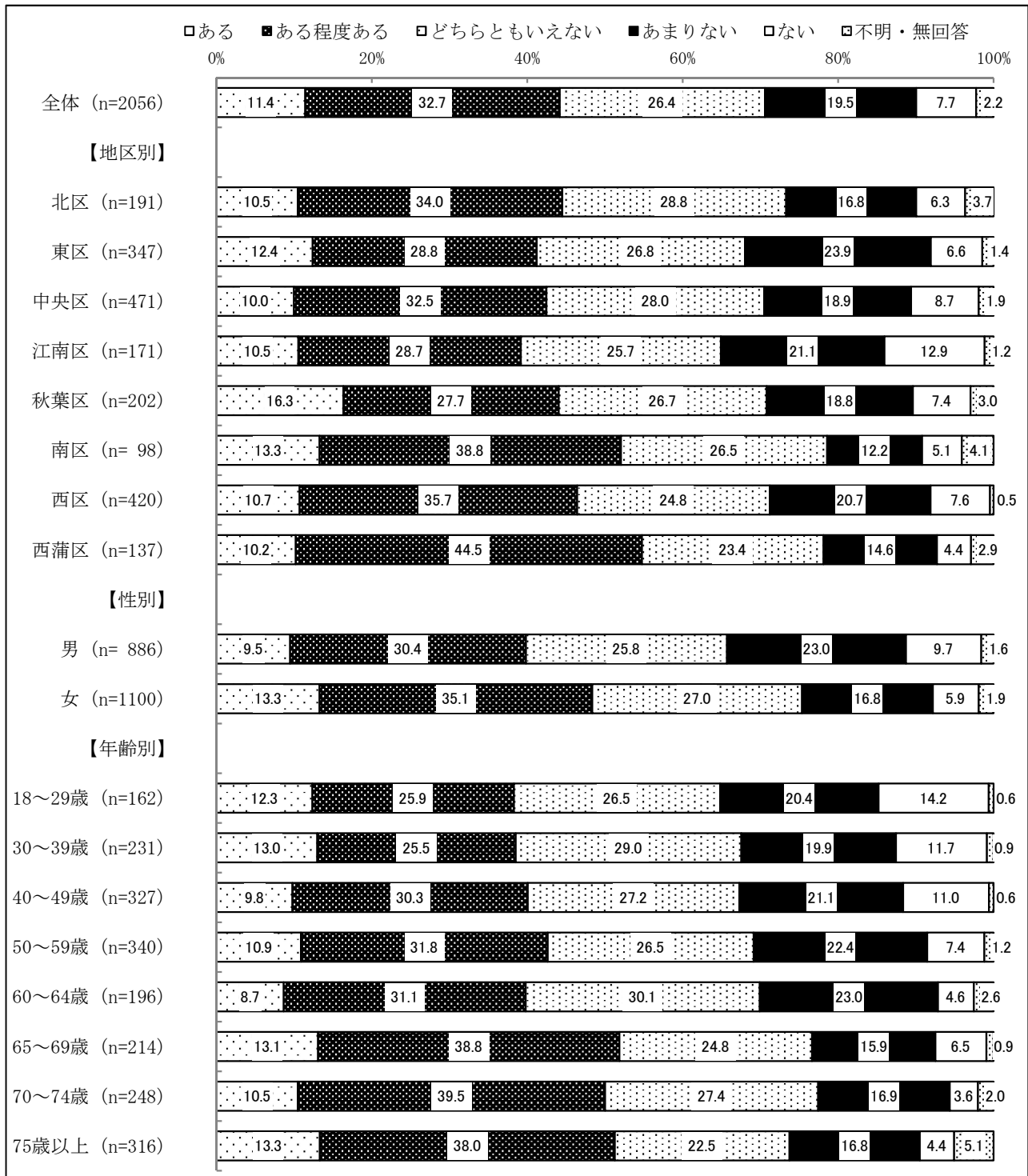
⑩まつり・イベント



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（64.9%）で最も高い。性別では、男性（56.8%）と比べて女性（64.5%）で割合が高い。年齢別では、40～49歳（66.1%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（17.6%）で最も高い。年齢別では70～74歳（21.0%）で最も高い。

⑰観光スポット

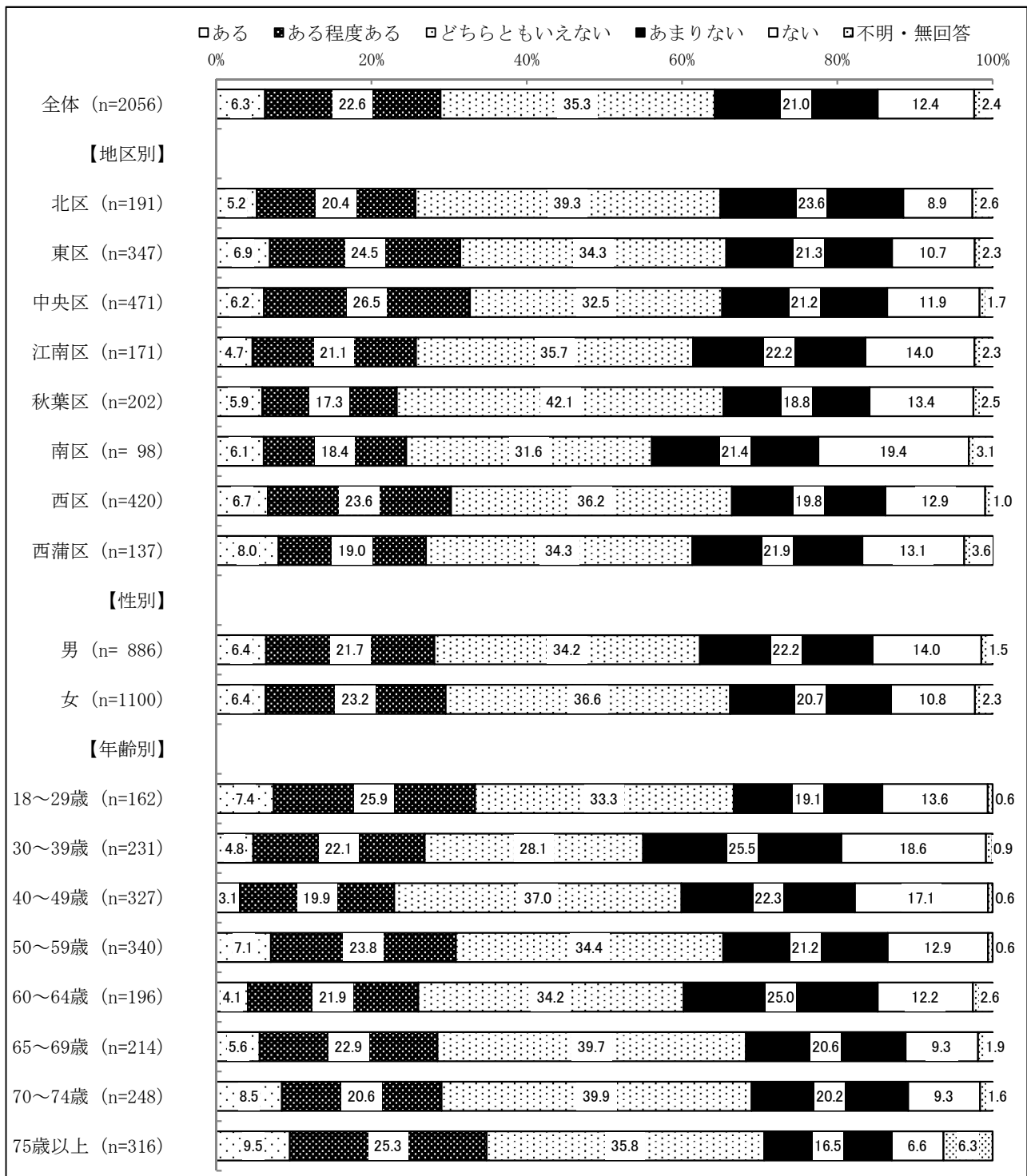


「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（54.7%）で最も高い。性別では、男性（39.8%）と比べて女性（48.4%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（51.9%）が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（33.9%）で割合が高い。年齢別では18～29歳（34.6%）が最も高い。



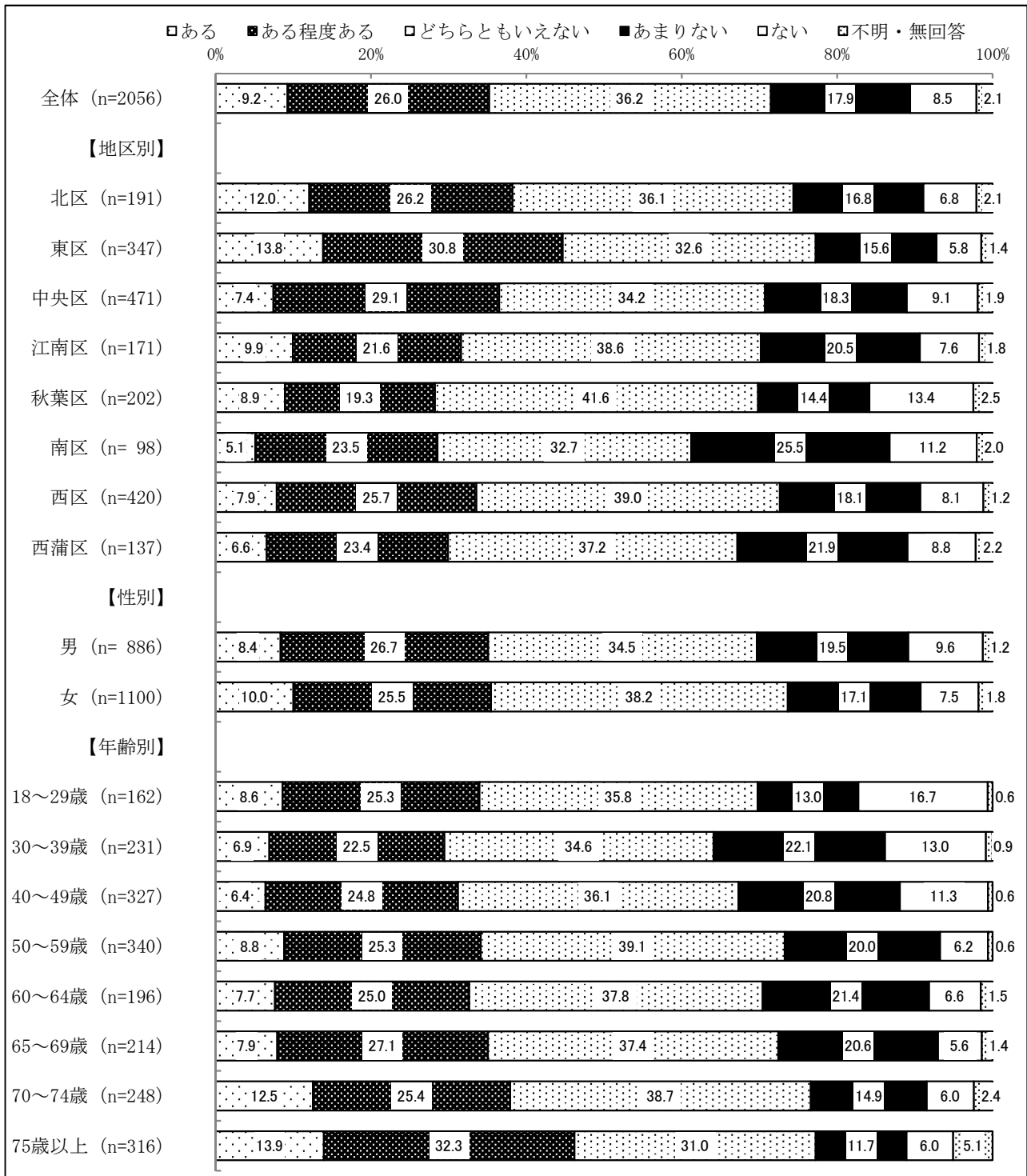
⑱政令指定都市



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（32.7%）で最も高い。性別では、男性（28.1%）と比べて女性（29.5%）で割合がやや高い。年齢別では、75歳以上（34.8%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（40.8%）で最も高い。年齢別では30～39歳（44.2%）で最も高い。

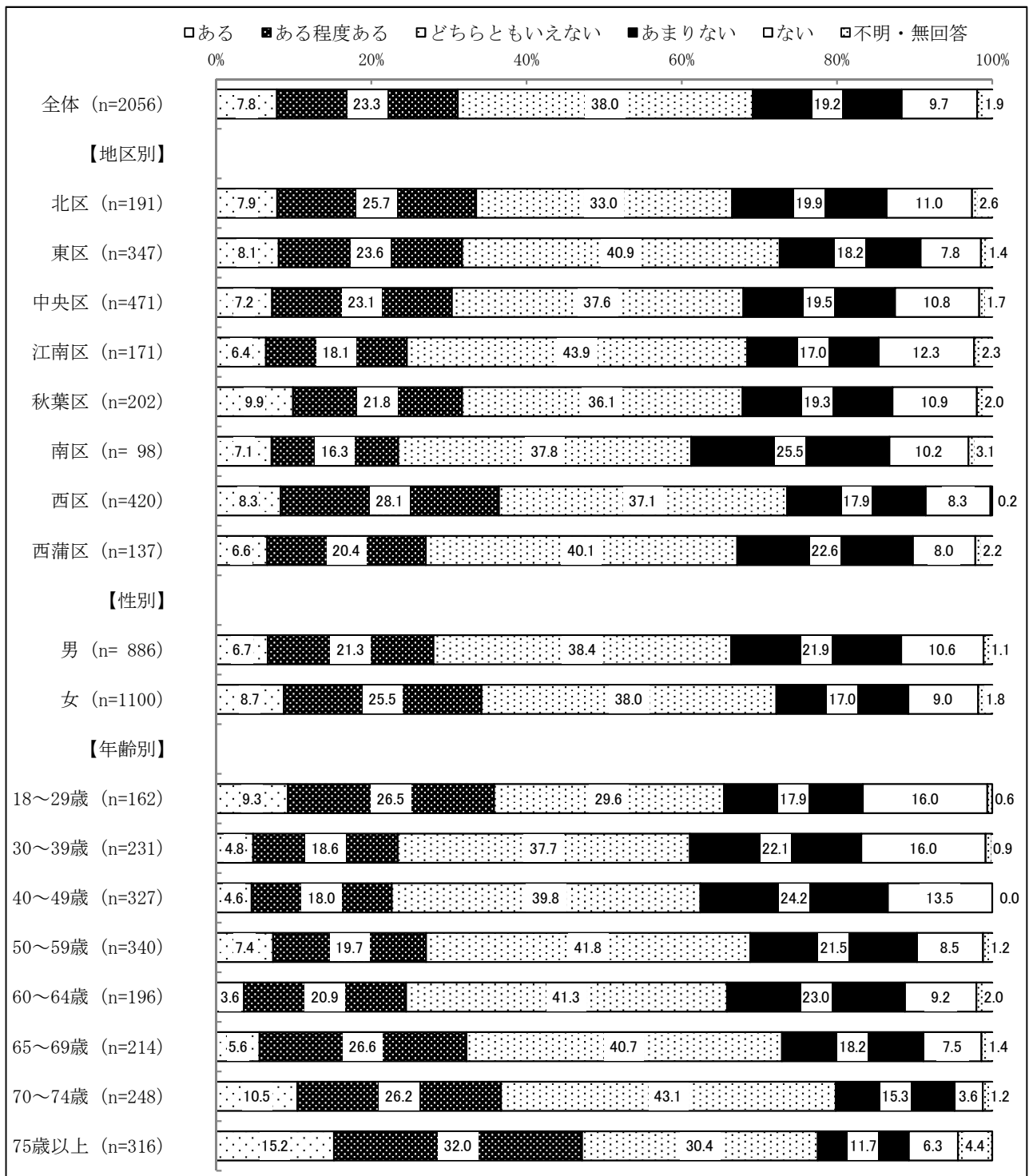
①新潟港、新潟空港



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、東区（44.7%）で最も高い。性別では、ほとんど差はみられない。年齢別では、75歳以上（46.2%）が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（36.7%）で最も高い。年齢別では30～39歳（35.1%）、40～49歳（32.1%）が高い。

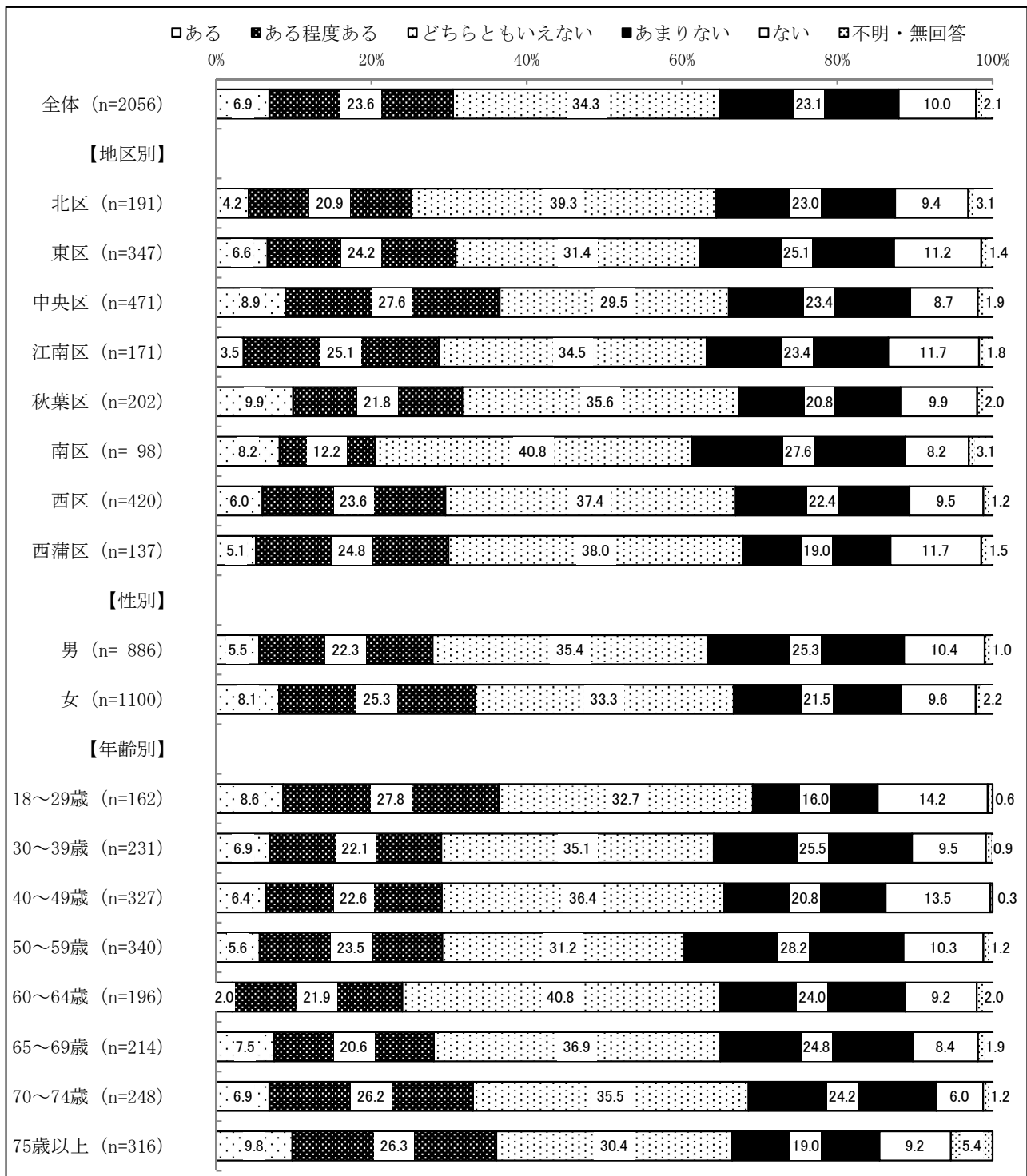
⑳大学、短期大学、専門学校



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、西区（36.4%）で最も高い。性別では、男性（28.0%）と比べて女性（34.2%）で割合が高い。年齢別では、75歳以上（47.2%）が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（35.7%）で最も高い。年齢別では30～39歳（38.1%）、40～49歳（37.6%）で高い。

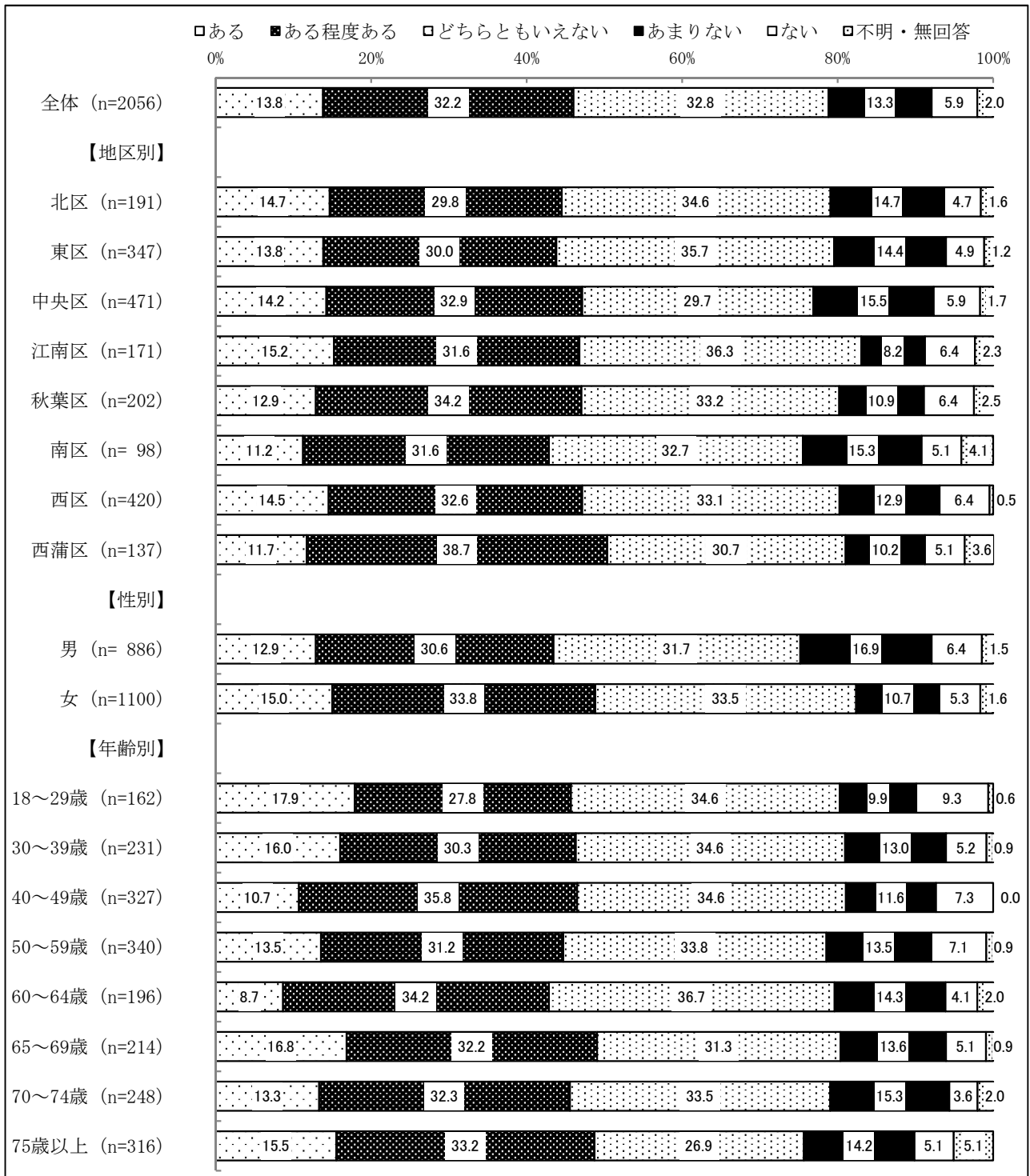
②1 繁華街、街の中心部、特定の商業エリア



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（36.5%）で最も高い。性別では、男性（27.9%）と比べて女性（33.4%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（36.4%）、75歳以上（36.1%）で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、東区（36.3%）で最も高い。年齢別では50～59歳（38.5%）で最も高い。

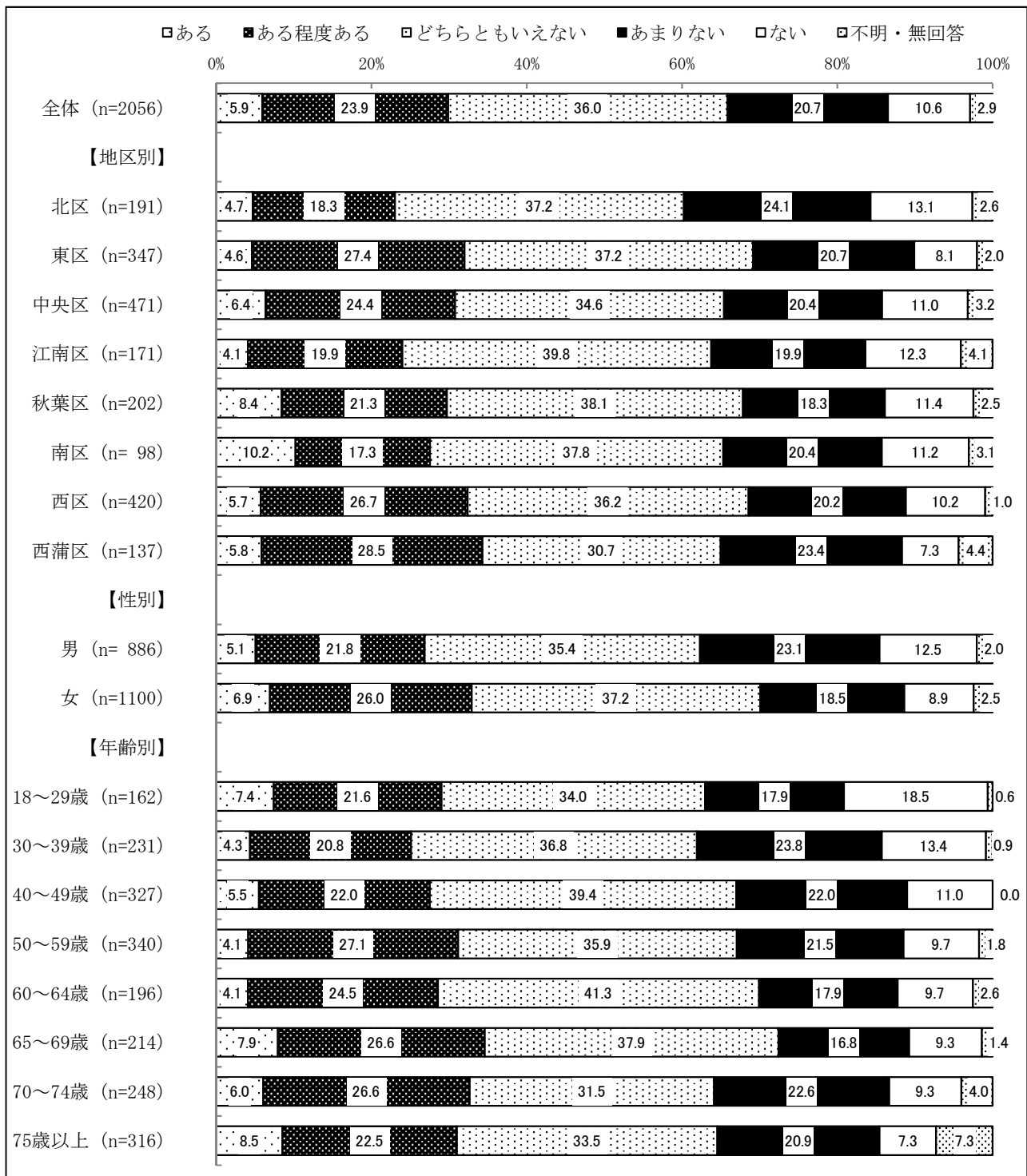
②ものづくり



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（50.4%）で最も高い。性別では、男性（43.5%）と比べて女性（48.8%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（49.1%）、75歳以上（48.7%）で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（21.4%）、南区（20.4%）で高い。年齢別では50～59歳（20.6%）が最も高い。

③著名人



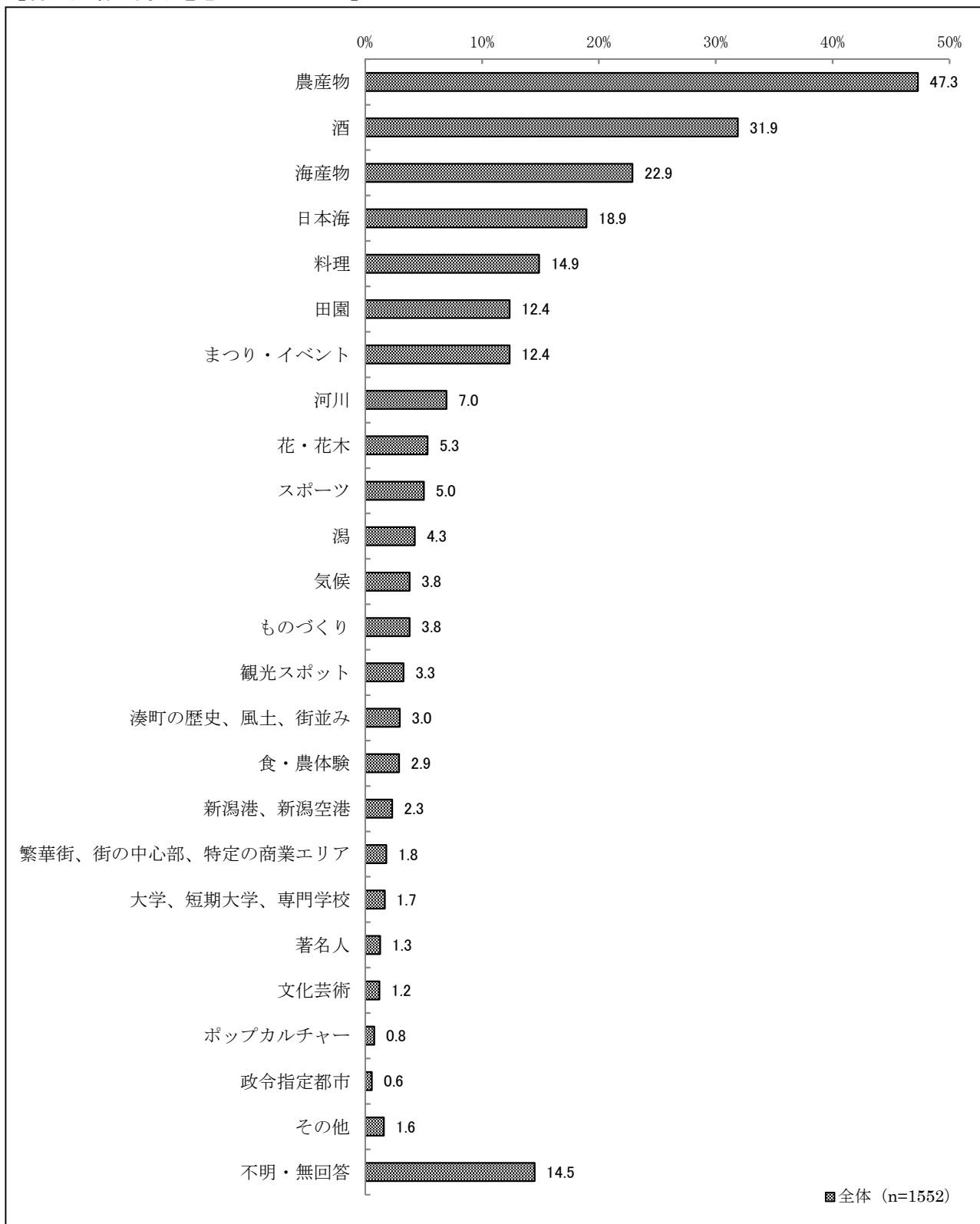
「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（34.3%）で最も高い。性別では、男性（26.9%）と比べて女性（32.9%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（34.6%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、北区（37.2%）で最も高い。年齢別では30～39歳（37.2%）、18～29歳（36.4%）で高い。

## (2) 特に誇りや愛着を感じているもの

問2 上記で、「1. ある」と回答した項目のうち、特に誇りや愛着を感じているもの上位3つを選んでください。また、これに関連した何かしらの「行動」をとっているかお答えください。

### 【特に愛着や誇りを感じているもの】



## — 特に誇りや愛着を感じているものは「農産物」が5割弱 —

### 【全体結果】

全体で、「農産物」(47.3%)の割合が最も高く、5割弱となった。次いで、「酒」(31.9%)が約3割となった。次に「海産物」(22.9%)、「日本酒」(18.9%)、「料理」(14.9%)、「田園」(12.4%)、「まつり・イベント」(12.4%)と続き、その他は1割未満となった。

### 【属性別結果】(次ページ図1-1参照)

#### ① 地区別

「農産物」については、西区(54.0%)で割合が最も高く、すべての地区で4割を超えた。

#### ② 性別

「農産物」については、男性(45.8%)と比べて女性(49.1%)で割合が高い。「酒」については、男性(38.4%)と比べて女性(27.3%)で割合が低い結果となった。

#### ③ 年齢別

「農産物」は、40～69歳で5割を超えた。

18～29歳では、「まつり・イベント」(28.5%)の割合が高く、他の年代と差がみられた。



図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 1/4

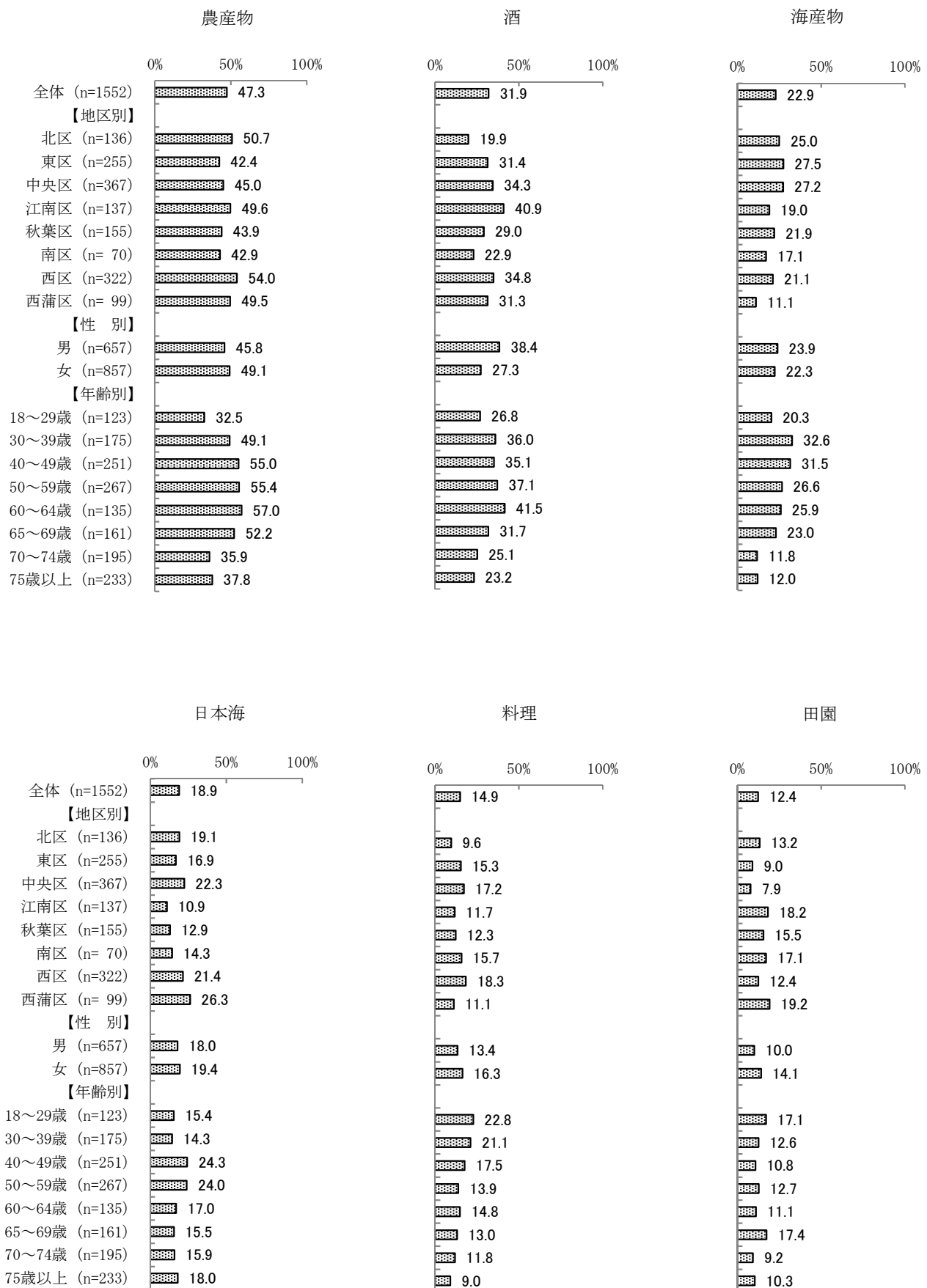


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 2/4

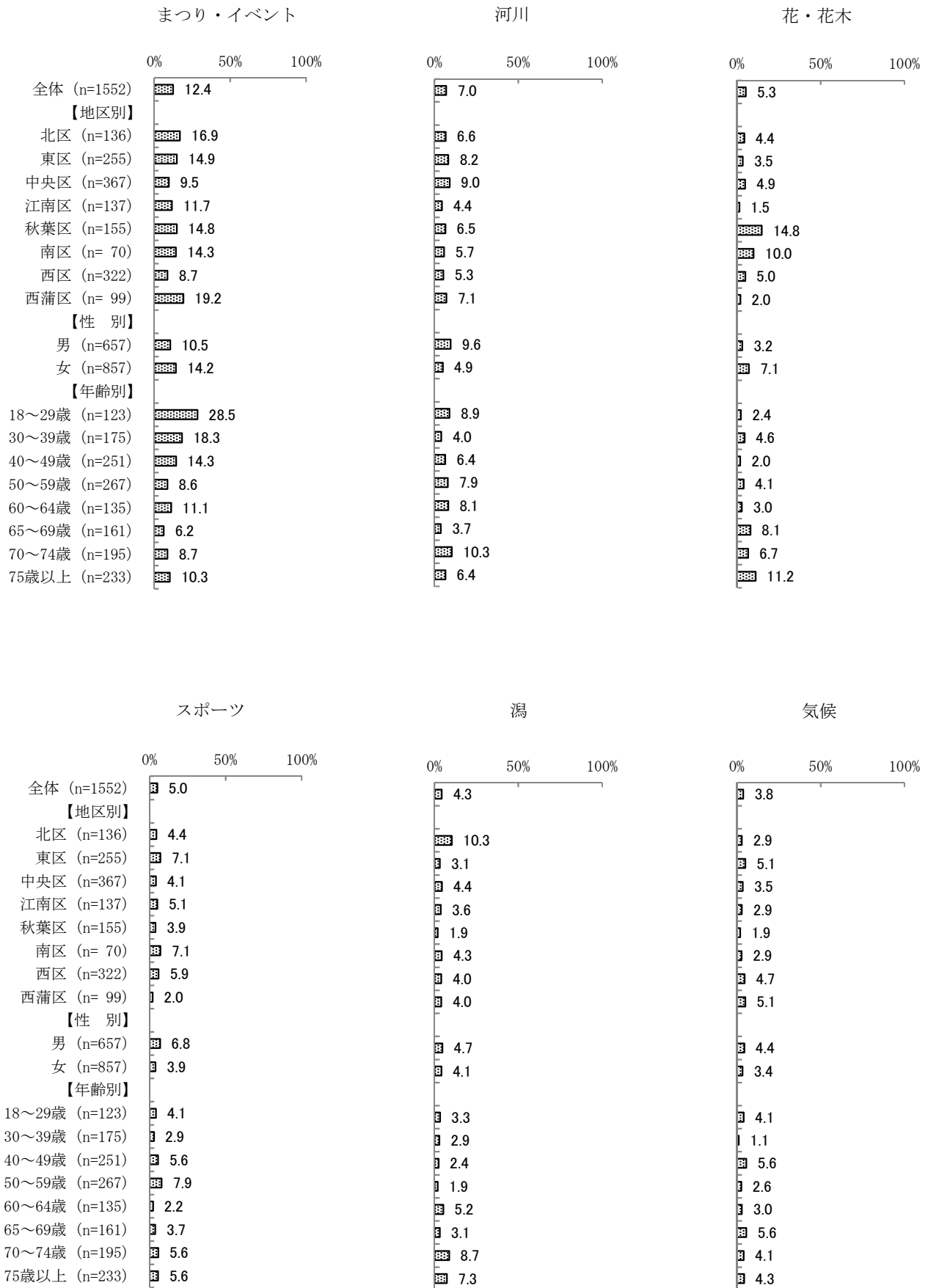


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 3/4

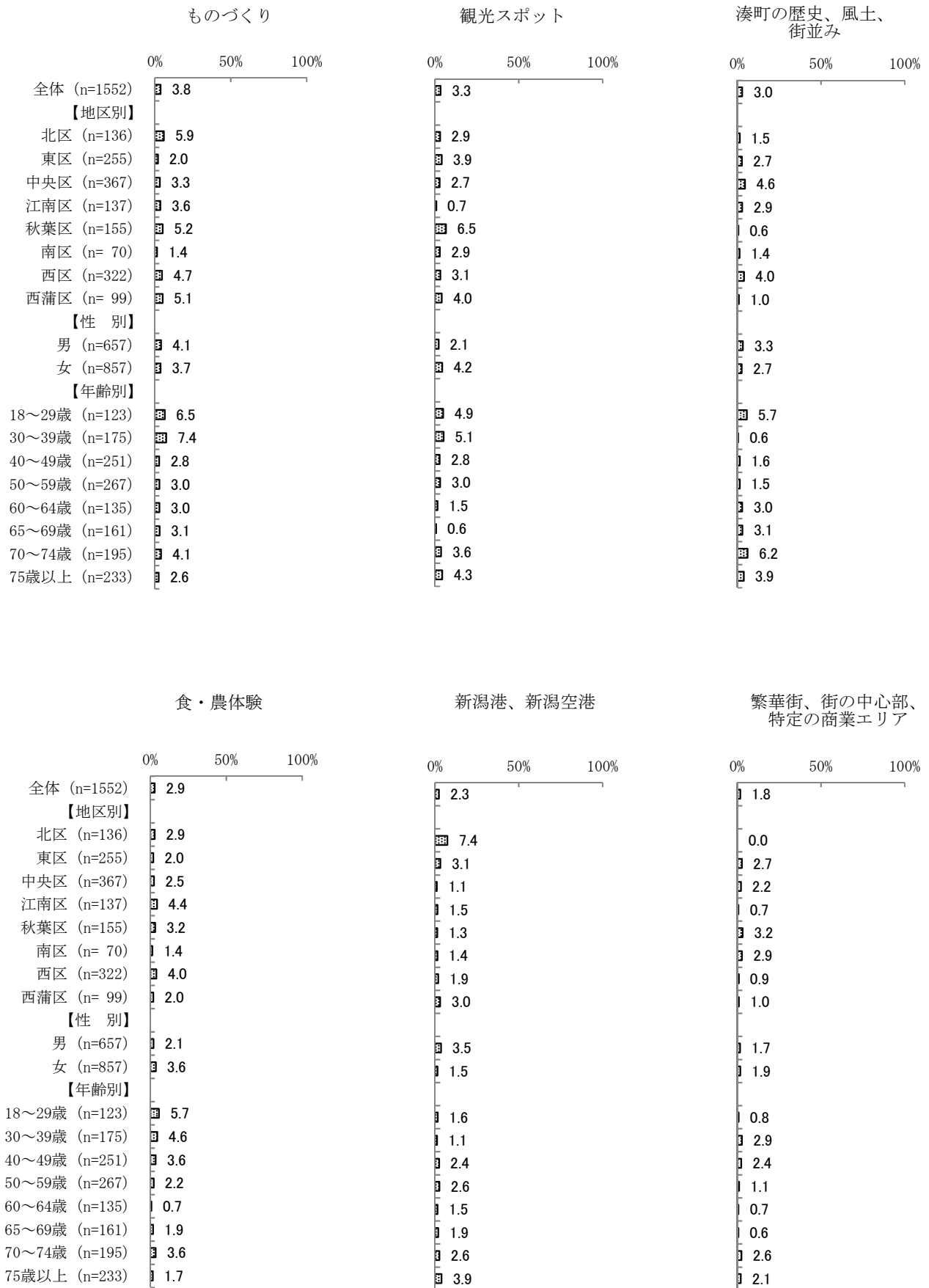
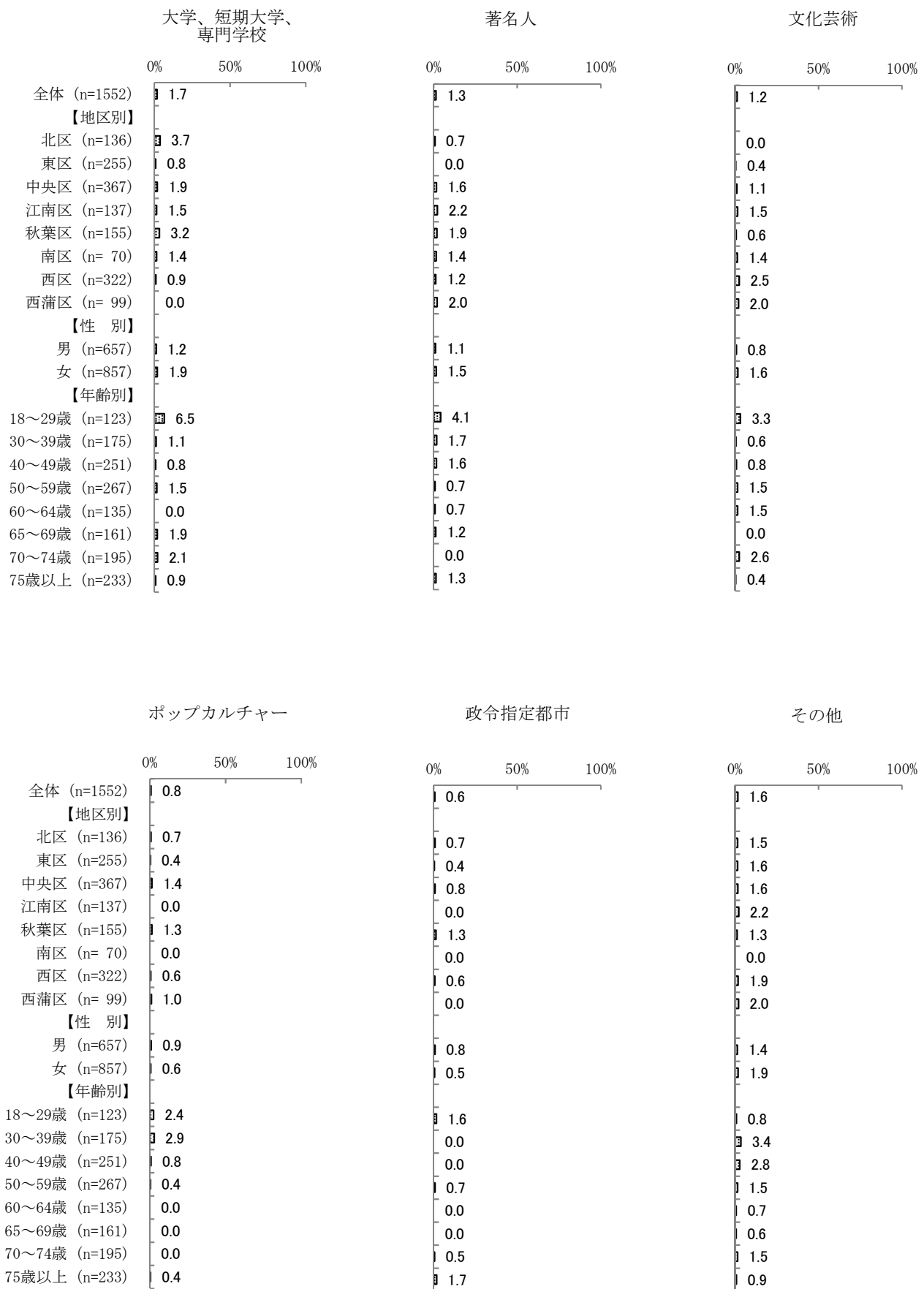
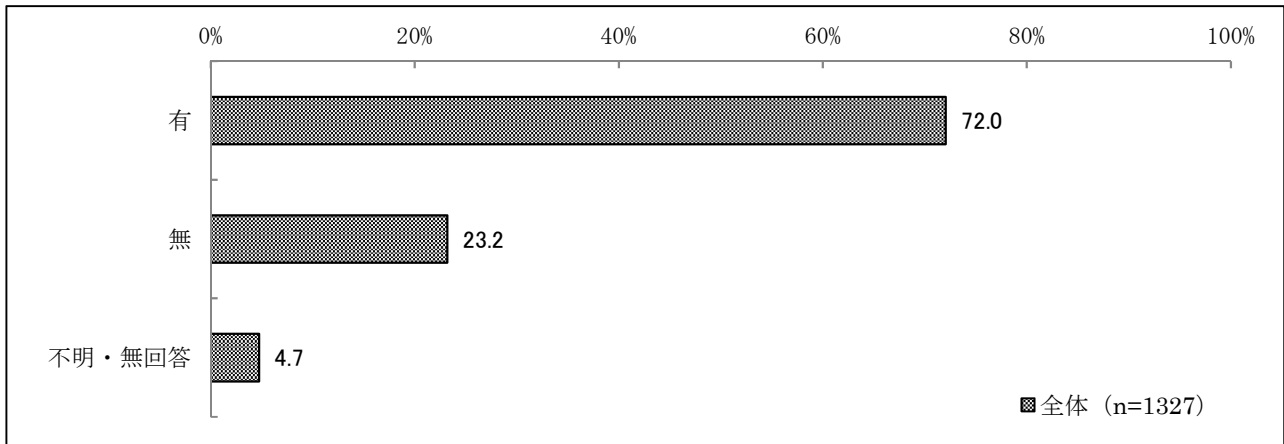


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 4/4



### 【何かしらの行動の有無】



— 約7割が何かしらの行動をとっている —

#### 【全体結果】

何かしらの行動「有」(72.0%)が約7割となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図1-2参照)

##### ① 地区別

何かしらの行動をとっている割合は、南区(94.6%)で最も高く、9割を超えた。

##### ② 性別

何かしらの行動をとっている割合は、男性(64.6%)と比較して女性(77.3%)で高い。

##### ③ 年齢別

何かしらの行動をとっている割合は、65～69歳(76.9%)で最も高い。

※各項目の行動の有無の割合に関しては、44ページ表1-3、主な行動内容に関しては、45ページ表1-4を参照。

図 1-2 何かしらの行動の有無 (地区別/性別/年齢別)

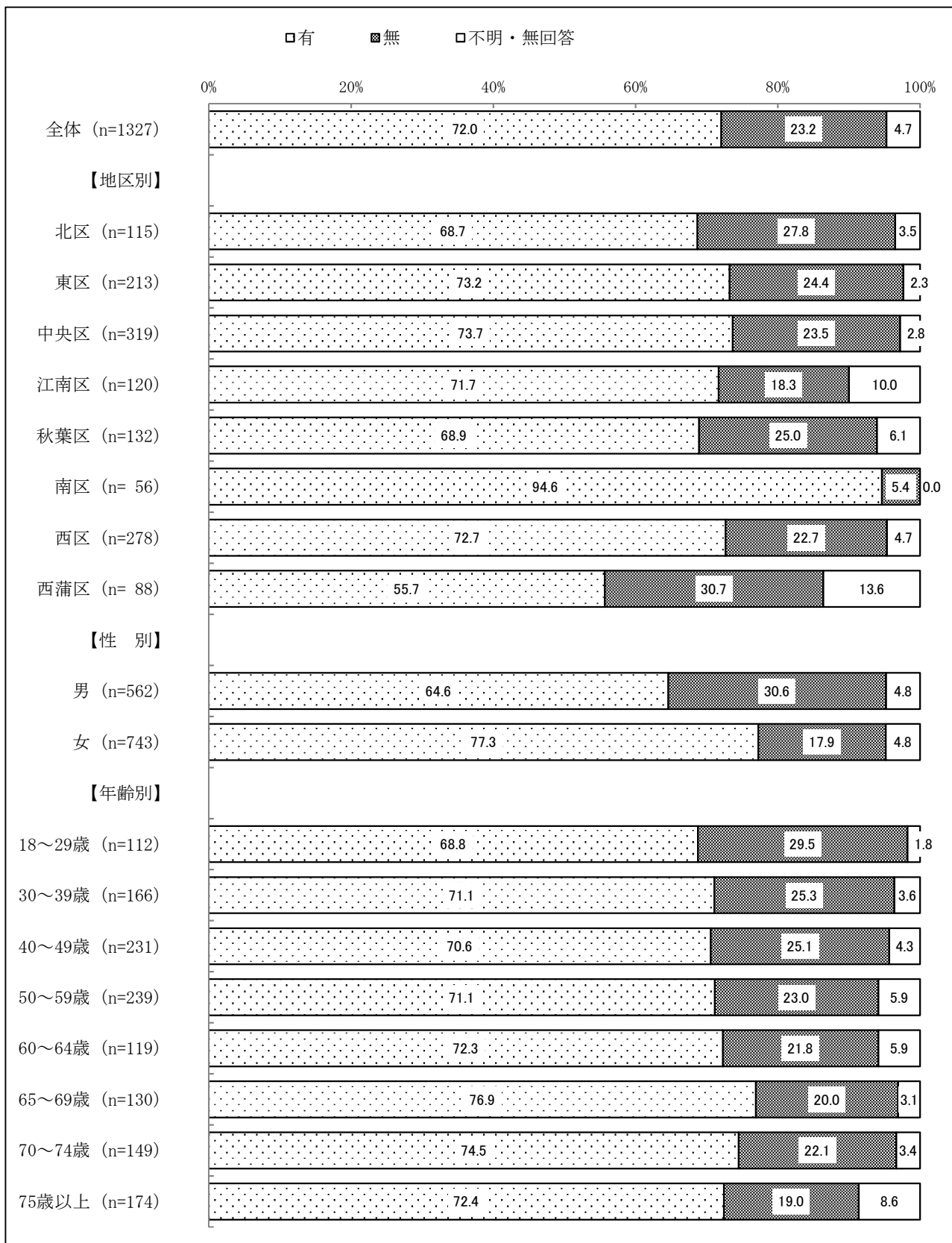


表 1-3 各項目の行動の有無

単位 (%)

No	誇りや愛着を感じている項目	何かしらの行動		不明・無回答
		有	無	
1	農産物	67.0	25.9	7.1
2	海産物	54.1	39.7	6.2
3	料理	55.4	38.1	6.5
4	酒	65.3	29.3	5.5
5	花・花木	65.1	28.9	6.0
6	食・農体験	66.7	24.4	8.9
7	日本海	53.7	37.1	9.2
8	河川	36.1	50.9	13.0
9	田園	32.8	54.2	13.0
10	潟	74.2	16.7	9.1
11	気候	39.0	50.8	10.2
12	湊町の歴史、風土、街並み	52.2	39.1	8.7
13	文化芸術	78.9	21.1	0.0
14	ポップカルチャー	41.7	58.3	0.0
15	スポーツ	78.2	14.1	7.7
16	まつり・イベント	77.6	17.2	5.2
17	観光スポット	78.4	21.6	0.0
18	政令指定都市	0.0	77.8	22.2
19	新潟港、新潟空港	47.2	38.9	13.9
20	大学、短期大学、専門学校	69.2	26.9	3.8
21	繁華街、街の中心部、特定の商業エリア	57.1	25.0	17.9
22	ものづくり	45.8	40.7	13.6
23	著名人	35.0	55.0	10.0
24	その他	72.0	24.0	4.0

表 1-4 各項目の主な行動内容

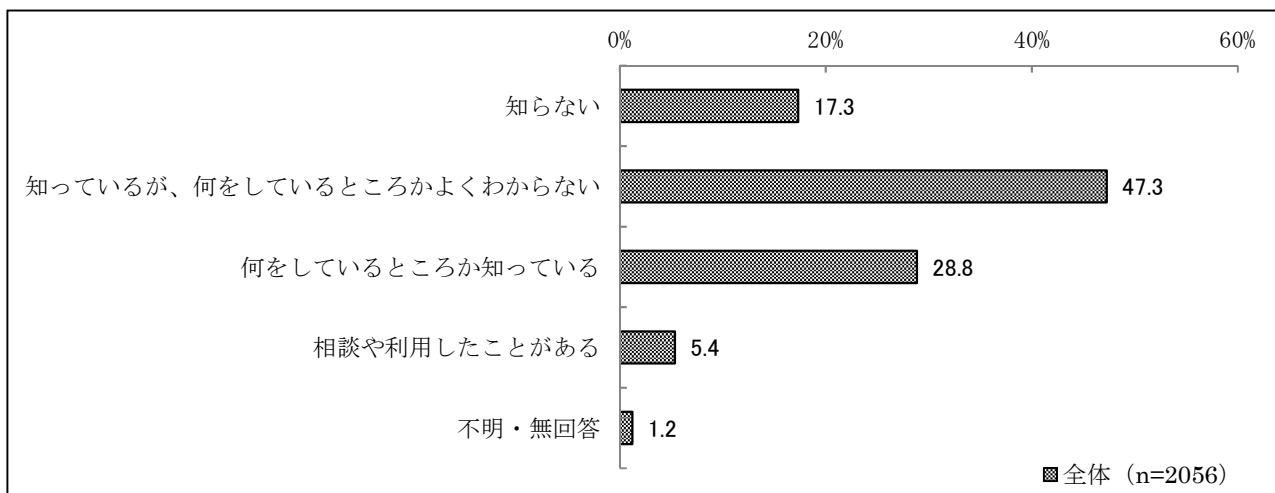
No	誇りや愛着を感じている項目 ※ ( ) 内は「特に誇りや愛着を感じている」と 回答された割合	主な行動例
1	農産物 (47.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟産を買うようにしている</li> <li>・自宅で米、野菜を生産している</li> <li>・県外にいる知り合いや親戚に新潟産の物を送った</li> </ul>
2	海産物 (22.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟産を買うようにしている</li> <li>・県外にいる知り合いや親戚に新潟産の物を送った</li> </ul>
3	料理 (14.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理 (のっぺ等) をよく作る</li> <li>・県外の人へ料理がおいしいお店を勧めた</li> </ul>
4	酒 (31.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外にいる知り合いに勧める (またはプレゼントする)</li> <li>・日頃からよく新潟の地酒を嗜む</li> </ul>
5	花・花木 (5.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく花を買って家にかざったり、自分でも育てたりする</li> </ul>
6	食・農体験 (2.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田植え、稲刈り体験をした</li> </ul>
7	日本海 (18.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく海に行く (散歩、ドライブ、海水浴等)</li> <li>・日本海の夕日が綺麗で、見に行く</li> </ul>
8	河川 (7.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やすらぎ堤を利用する (サイクリング、散歩等)</li> </ul>
9	田園 (12.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田園風景を県外の人に勧める</li> </ul>
10	潟 (4.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潟周辺で行われるイベントに参加する</li> </ul>
11	気候 (3.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春夏秋冬を楽しんでいる</li> </ul>
12	湊町の歴史、風土、街並み (3.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち歩きに参加した</li> </ul>
13	文化芸術 (1.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りゅーとぴあや美術館に行く</li> </ul>
14	ポップカルチャー (0.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身内に新潟市マンガ・アニメ情報館のことを勧めた</li> </ul>
15	スポーツ (5.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルビレックス新潟の応援をしている</li> </ul>
16	まつり・イベント (12.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元のまつりに参加した</li> </ul>
17	観光スポット (3.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人や家族と行く</li> </ul>
18	政令指定都市 (0.6%)	回答無し
19	新潟港、新潟空港 (2.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく利用している</li> </ul>
20	大学、短期大学、専門学校 (1.7%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の大学 (または専門学校) を卒業した</li> </ul>
21	繁華街、街の中心部、特定の商業エリア (1.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく買い物に行く</li> </ul>
22	ものづくり (3.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟の有名な食器を購入した</li> </ul>
23	著名人 (1.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガ家の先生やタレントが多くいることを友人に話す</li> </ul>
24	その他 (1.6%)	



## 2. 消費生活について

### (1) 消費生活センターの認知度

問3 あなたは、消費生活センターを知っていますか。(○は1つだけ)



— 『知っている』が約8割 —

#### 【全体結果】

「知っているが、何をしているところかよくわからない」(47.3%)、「何をしているところか知っている」(28.8%)、「相談や利用したことがある」(5.4%)を合わせた『知っている』(81.5%)は約8割となったが、「知っているが、何をしているところかよくわからない」(47.3%)が5割弱を占めている。

「知らない」(17.3%)と回答した割合は2割に満たなかった。

#### 【属性別結果】(次ページ図2-1参照)

##### ① 地区別

『知っている』の割合は、すべての地区で8割を超えた。

##### ② 性別

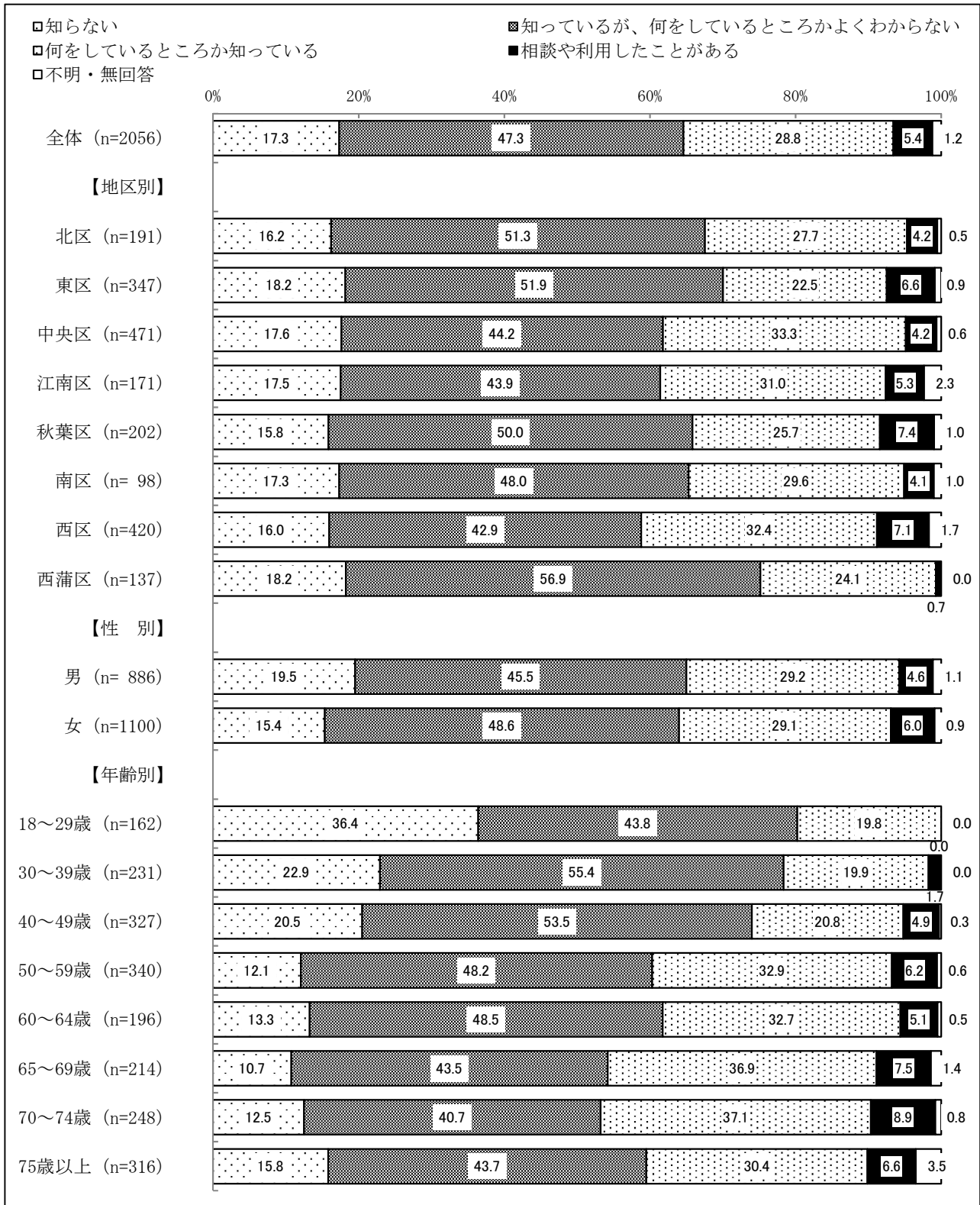
『知っている』は、男性(79.3%)と比較して女性(83.7%)で割合が高い。

##### ③ 年齢別

『知っている』の割合は、50歳以上では8割を超えた。

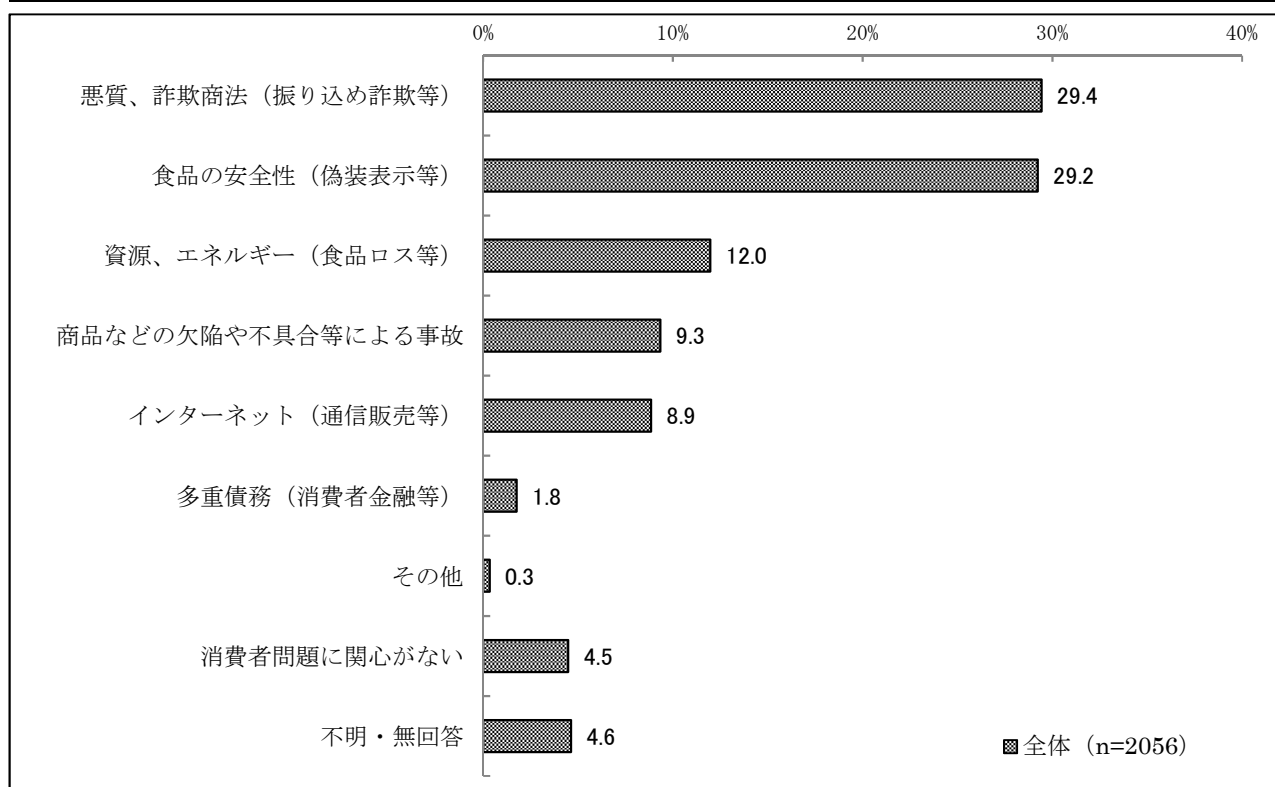
18～29歳で『知っている』(63.6%)の割合が最も低い。

図 2-1 消費生活センターの認知度（地区別/性別/年齢別）



## (2) 関心のある消費者問題

問4 あなたは、どのような消費者問題に最も関心がありますか。  
次のうちから選んでください。(〇は1つだけ)



— 「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」、「食品の安全性 (偽装表示等)」が約3割 —

### 【全体結果】

「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」(29.4%)、「食品の安全性 (偽装表示等)」(29.2%)の割合が高く、約3割となった。

### 【属性別結果】(次ページ図2-2参照)

#### ① 地区別

東区、江南区、秋葉区、西蒲区では「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」の割合が、北区、中央区、南区、西区では「食品の安全性 (偽装表示等)」の割合が最も高い。

#### ② 性別

「食品の安全性 (偽装表示等)」は、男性 (23.7%) と比較して女性 (33.8%) で割合が高い。

#### ③ 年齢別

18～64歳では「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」の割合が、65歳以上では「食品の安全性 (偽装表示等)」の割合が最も高い。

18～29歳では、他の年代と比べて「消費者問題に関心がない」(14.8%)の割合が高い。

図 2-2 関心のある消費者問題（地区別/性別/年齢別） 1/2

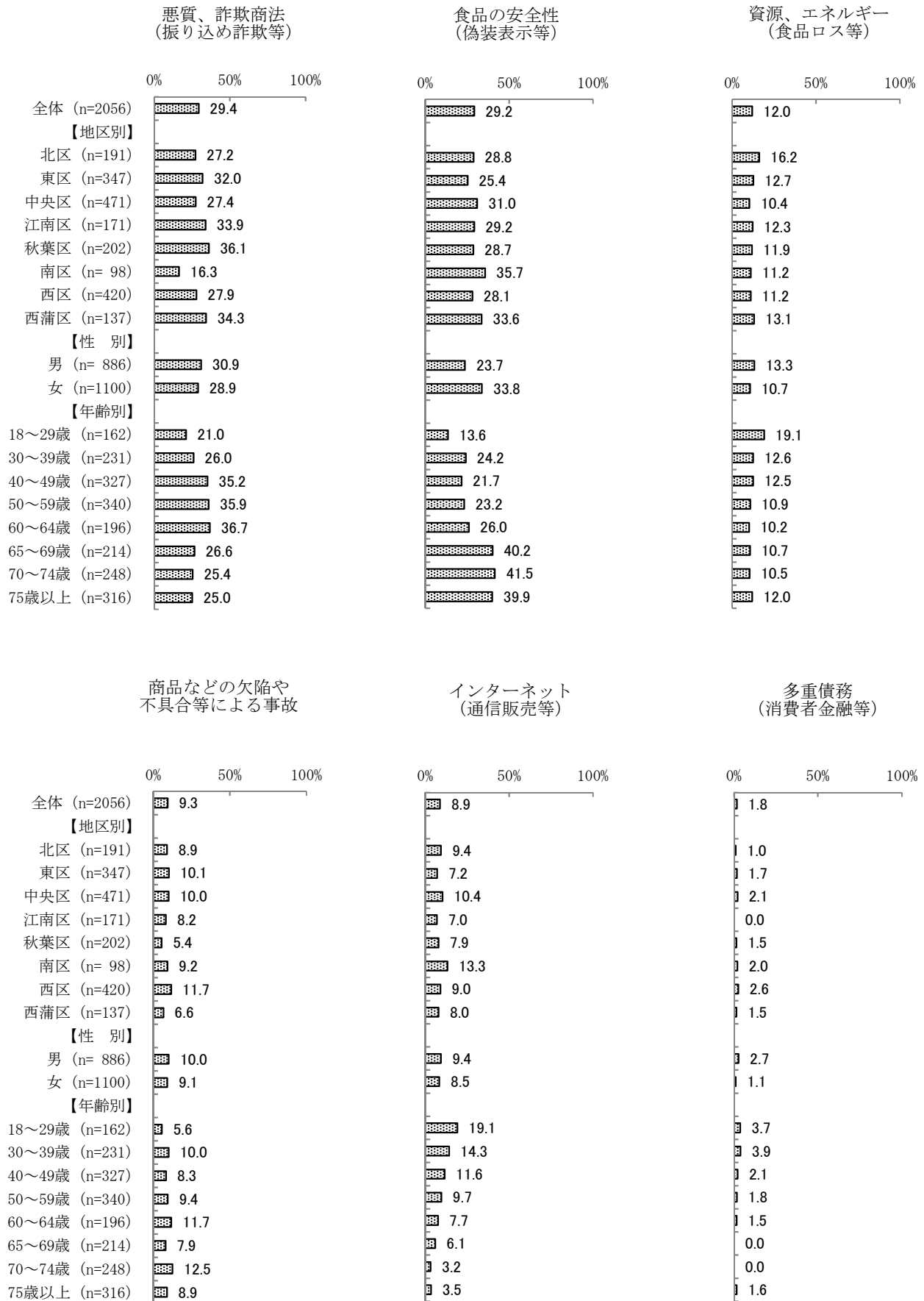
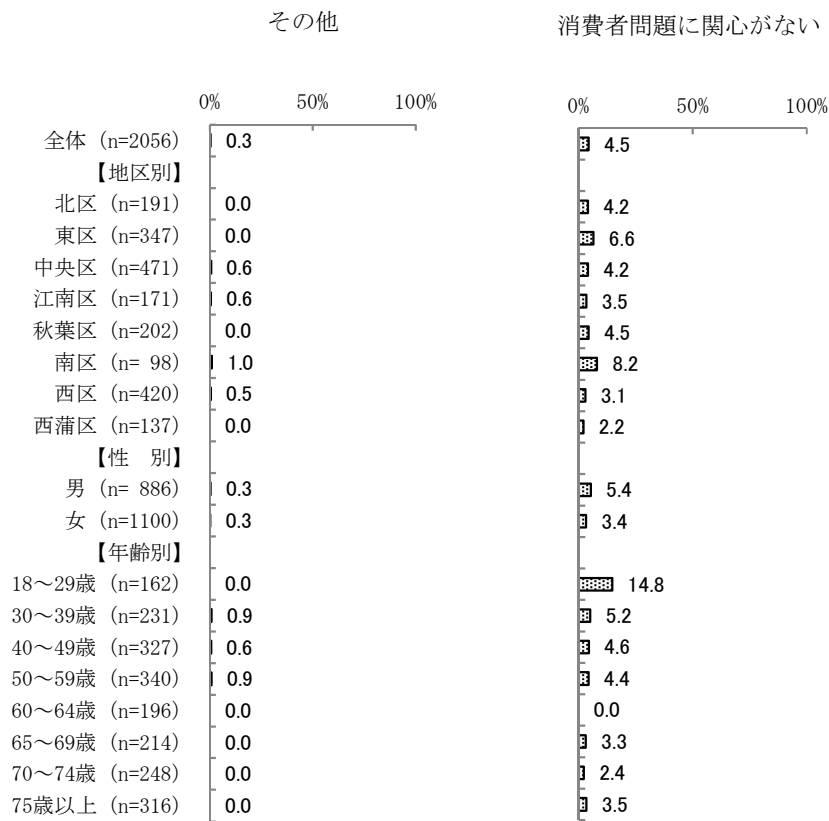


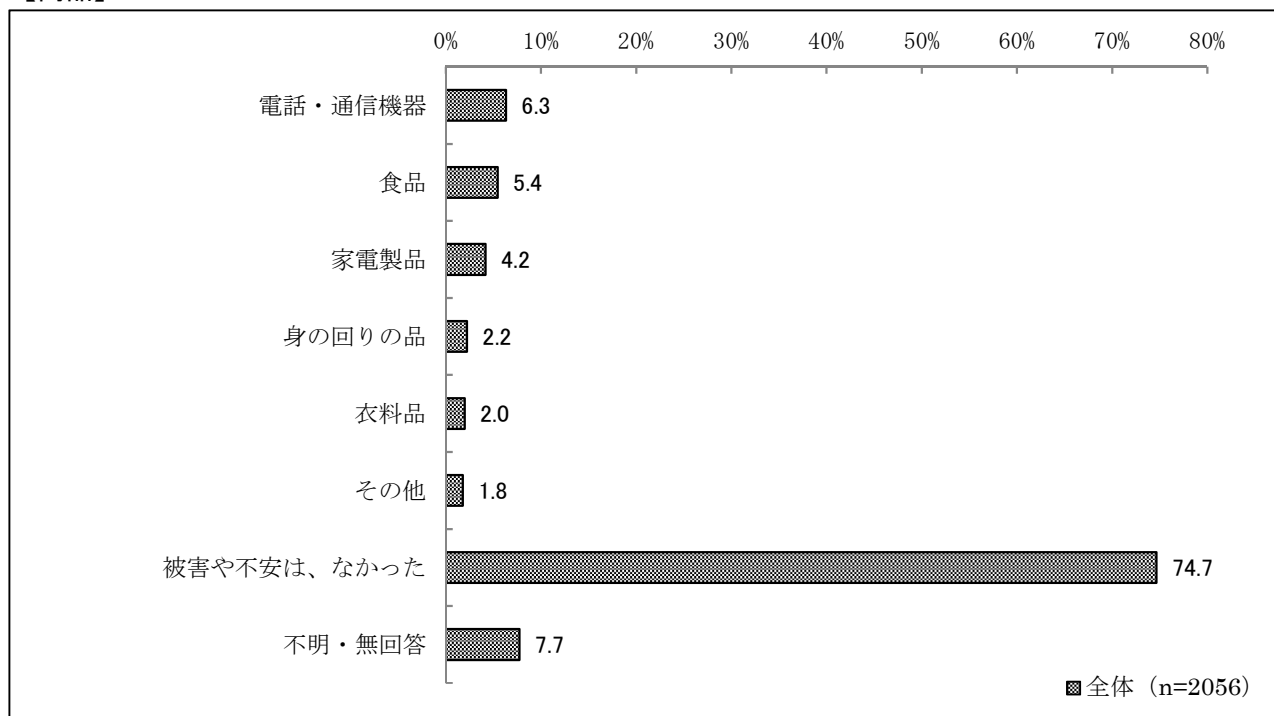
図 2-2 関心のある消費者問題（地区別/性別/年齢別） 2/2



### (3) 購入した商品・サービスからの被害や不安

問5 あなたは、購入した商品や利用したサービスから経済的または身体的な被害を受けたことや、何らかの不安を感じたことはありますか。最近1年間（令和2年1月～12月）に購入した「商品」と「サービス」別に該当するものを選んでください。（〇はいくつでも）

#### 【商品】



— 「被害や不安は、なかった」が7割以上 —

#### 【全体結果】

「被害や不安は、なかった」（74.7%）が7割以上を占めた。

「電話・通信機器」（6.3%）、「食品」（5.4%）、「家電製品」（4.2%）と続くが、いずれも1割に満たなかった。

#### 【属性別結果】（次ページ図2-3-1参照）

##### ① 地区別

全ての地区で「被害や不安は、なかった」が7割を超えた。

秋葉区では「電話・通信機器」（7.9%）、中央区では「食品」（7.0%）の割合がやや高い。

##### ② 性別

男女とも「被害や不安は、なかった」が7割を超えた。

##### ③ 年齢別

「被害や不安は、なかった」の割合は、18～29歳（86.4%）で最も高く、75歳以上（64.2%）で最も低い。年齢が高いほど割合が低くなる傾向にある。60～64歳、70～74歳で「電話・通信機器」（各10.7%、10.9%）が1割を超えた。

図 2-3-1 購入した商品・サービスからの被害や不安【商品】（地区別/性別/年齢別） 1/2

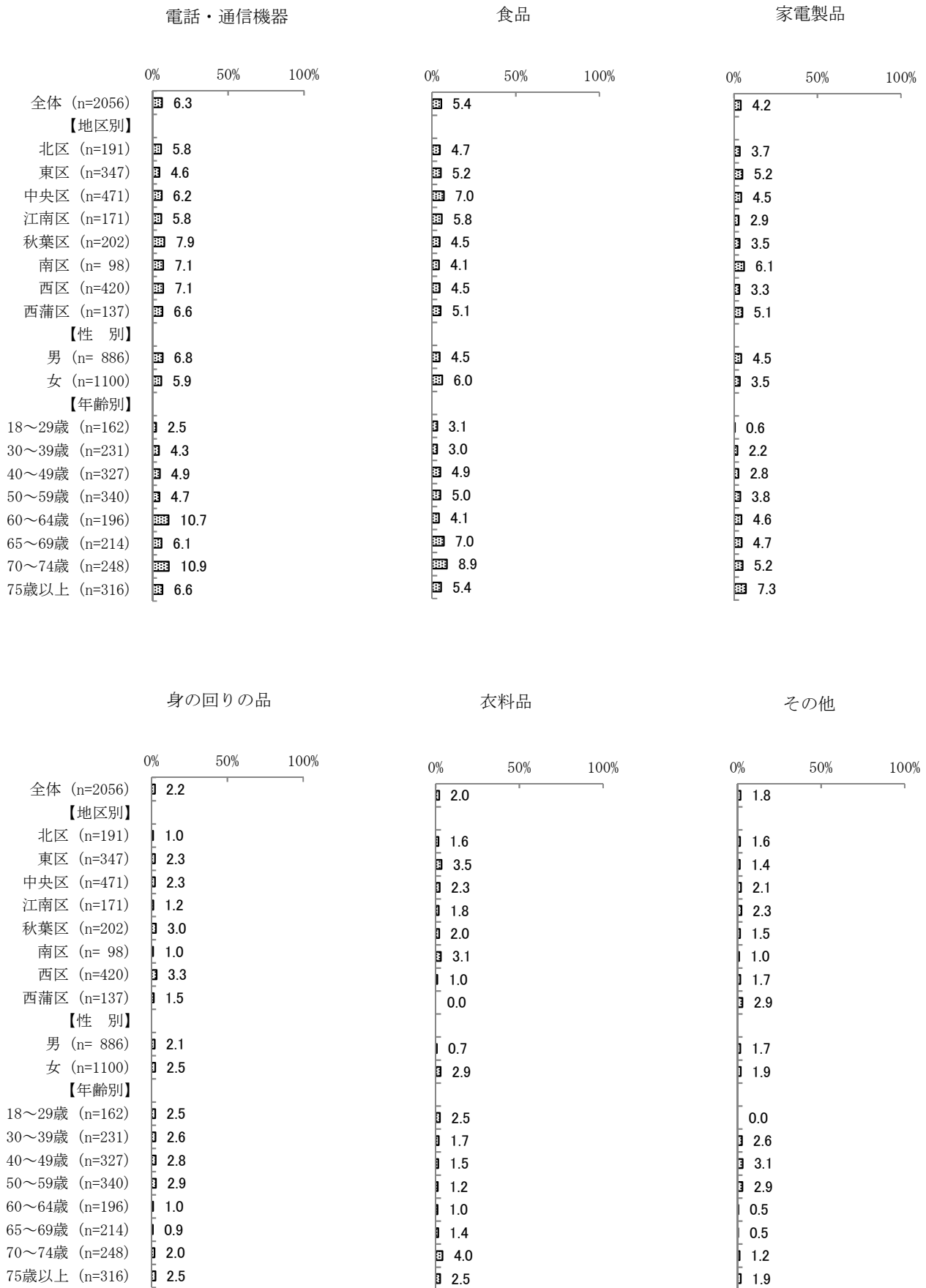
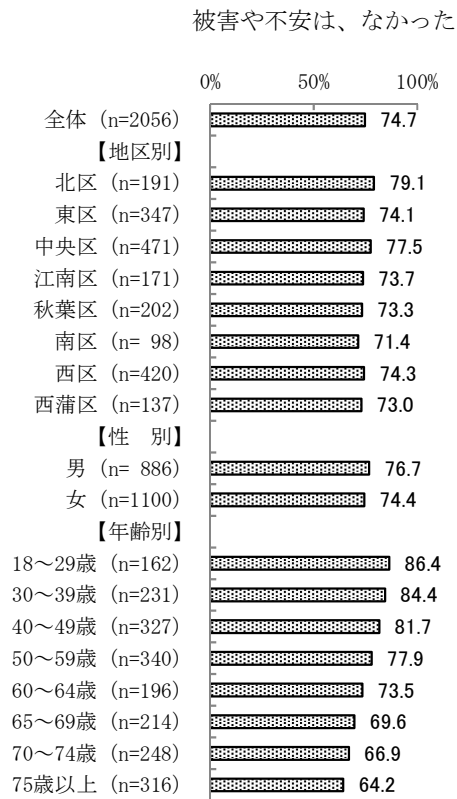
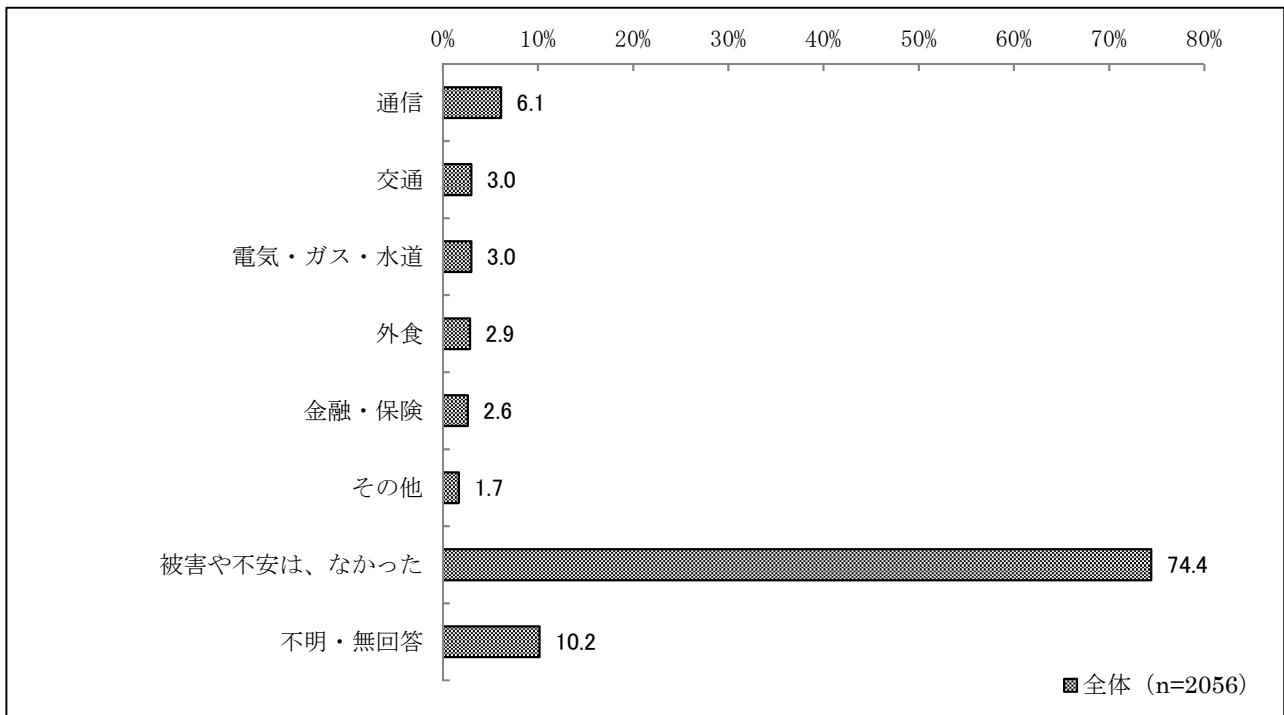


図 2-3-1 購入した商品・サービスからの被害や不安【商品】（地区別/性別/年齢別） 2/2





## 【サービス】



— 「被害や不安は、なかった」が7割以上 —

## 【全体結果】

「被害や不安は、なかった」(74.4%)が7割以上を占めた。

「通信」(6.1%)、「交通」(3.0%)、「電気・ガス・水道」(3.0%)と続くが、いずれも1割に満たなかった。

## 【属性別結果】(次ページ図2-3-2参照)

### ① 地区別

全ての地区で「被害や不安は、なかった」が7割を超えた。

### ② 性別

男女とも「被害や不安は、なかった」が7割を超えた。

### ③ 年齢別

「被害や不安は、なかった」の割合は、30～39歳(84.0%)で最も高く、65～69歳以上(66.8%)で最も低い。年齢が高いほど割合が低くなる傾向にある。

図 2-3-2 購入した商品・サービスからの被害や不安【サービス】（地区別/性別/年齢別） 1/2

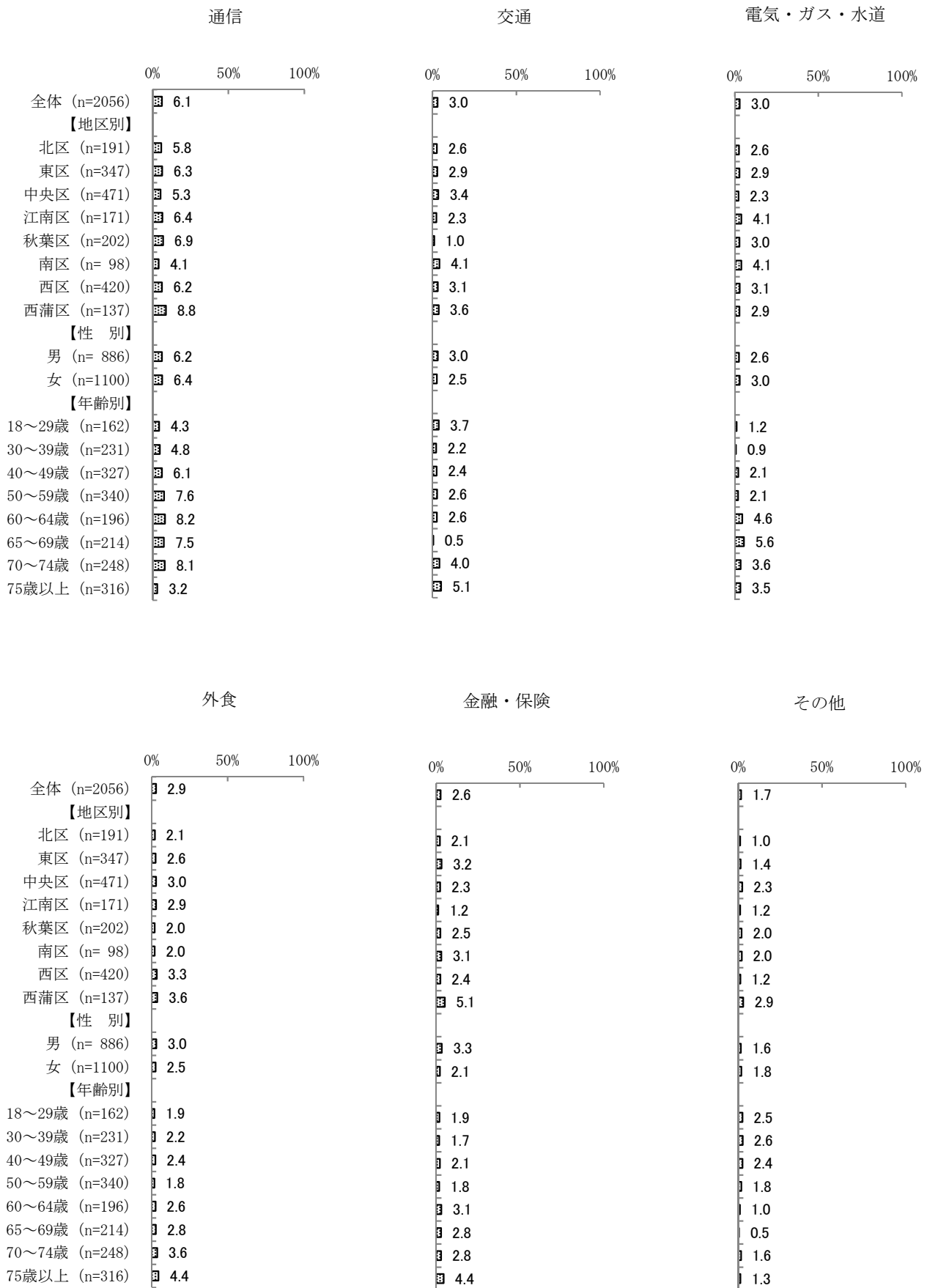
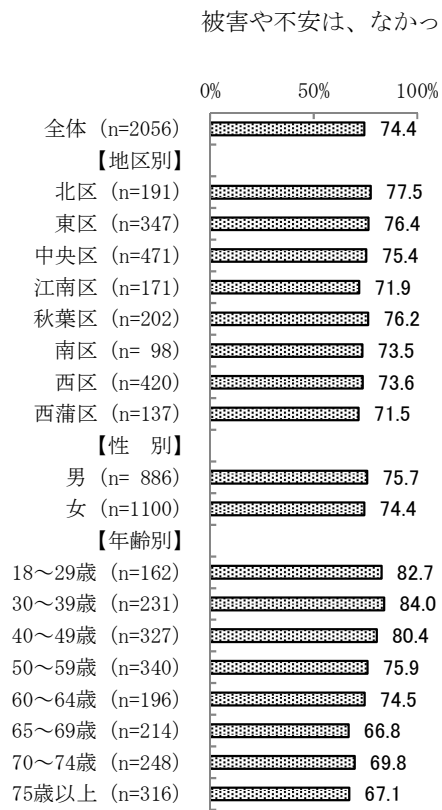
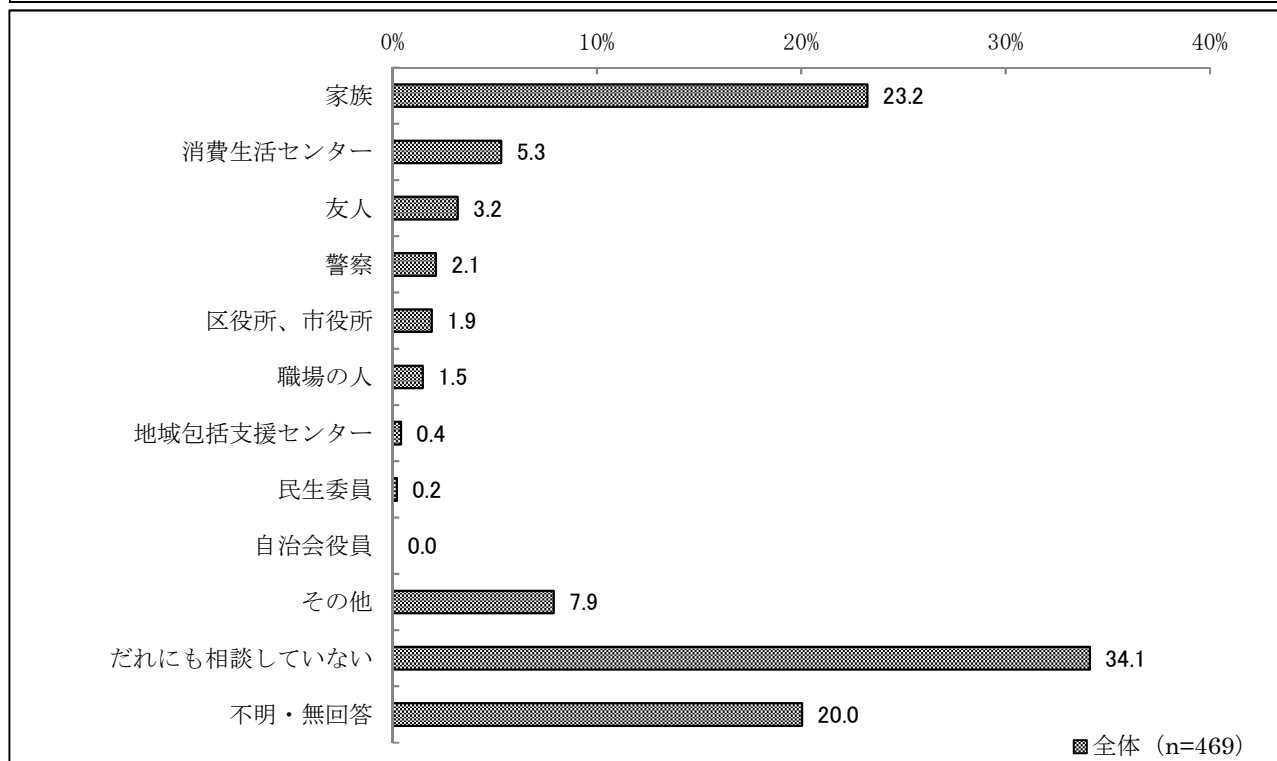


図 2-3-2 購入した商品・サービスからの被害や不安【サービス】（地区別/性別/年齢別） 2/2



#### (4) 購入した商品・サービスからの被害や不安についての相談先

問6 問5で「1～6」(被害や不安があった)と答えた方に質問です。あなたは、購入した商品・サービスからの被害や不安を誰に相談しましたか。※下記選択肢の中で、複数該当する場合は主な相談先を1つ選んでください



— 相談先は「家族」が2割強 —

#### 【全体結果】

「家族」(23.2%)の割合が最も高く、2割強となった。次いで、「消費生活センター」(5.3%)と続くが1割に満たない。

「だれにも相談していない」(34.1%)が3割以上を占めた。

#### 【属性別結果】(次ページ図2-4参照)

##### ① 地区別

「家族」については、北区(30.3%)で割合が最も高く、「だれにも相談していない」については、中央区(40.5%)で最も高く、約4割を占めた。

##### ② 性別

「家族」については、男性(17.3%)と比較して女性(27.3%)で割合が高く、「だれにも相談していない」については、女性(30.4%)と比較して男性(40.8%)で割合が高い。

##### ③ 年齢別

すべての年代で「家族」の割合が最も高い。「だれにも相談していない」については、30～39歳(53.5%)、18～29歳(47.8%)の若い年代で割合が高い。

図 2-4 購入した商品・サービスからの被害や不安の相談先（地区別/性別/年齢別） 1/2

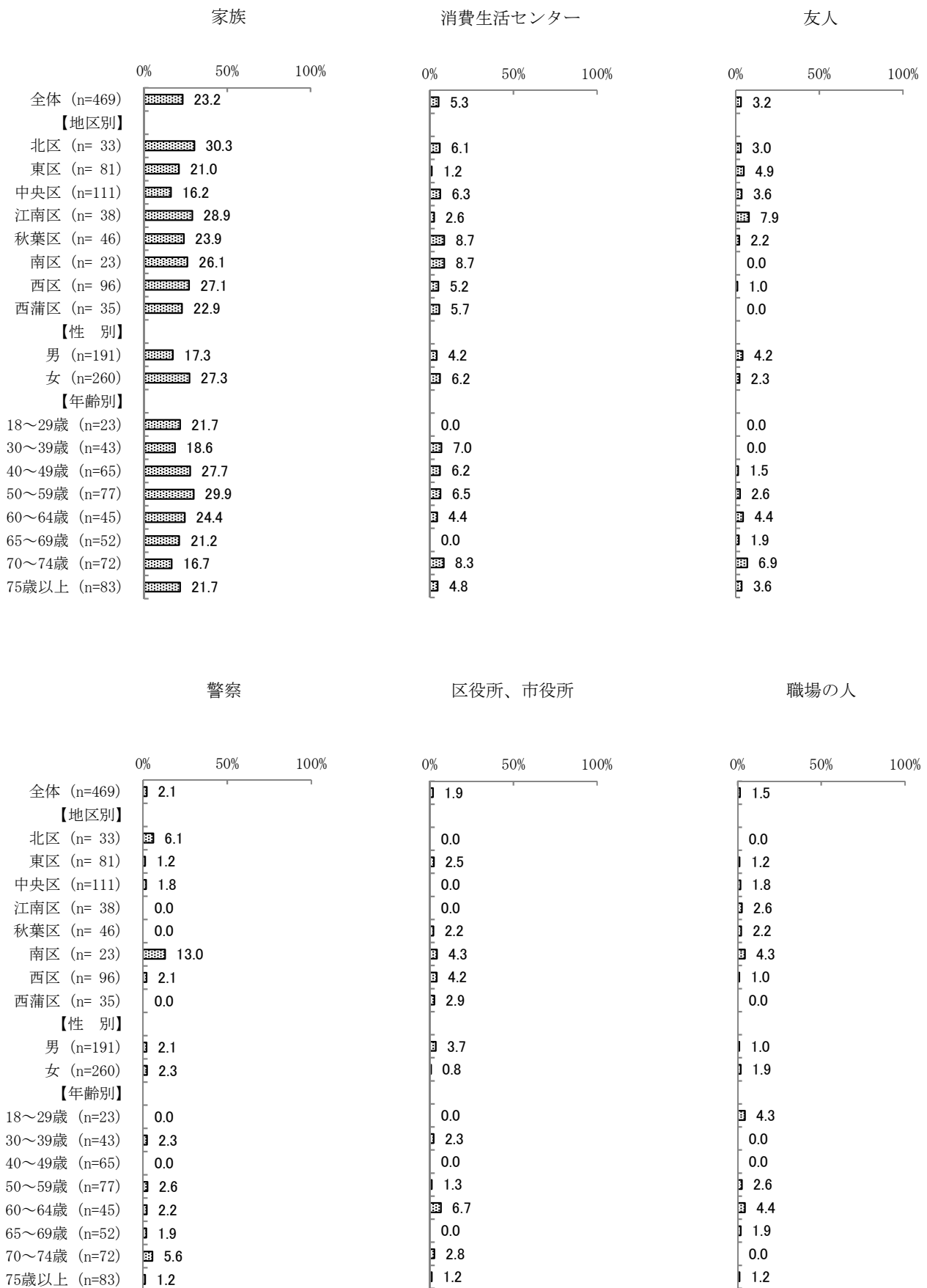
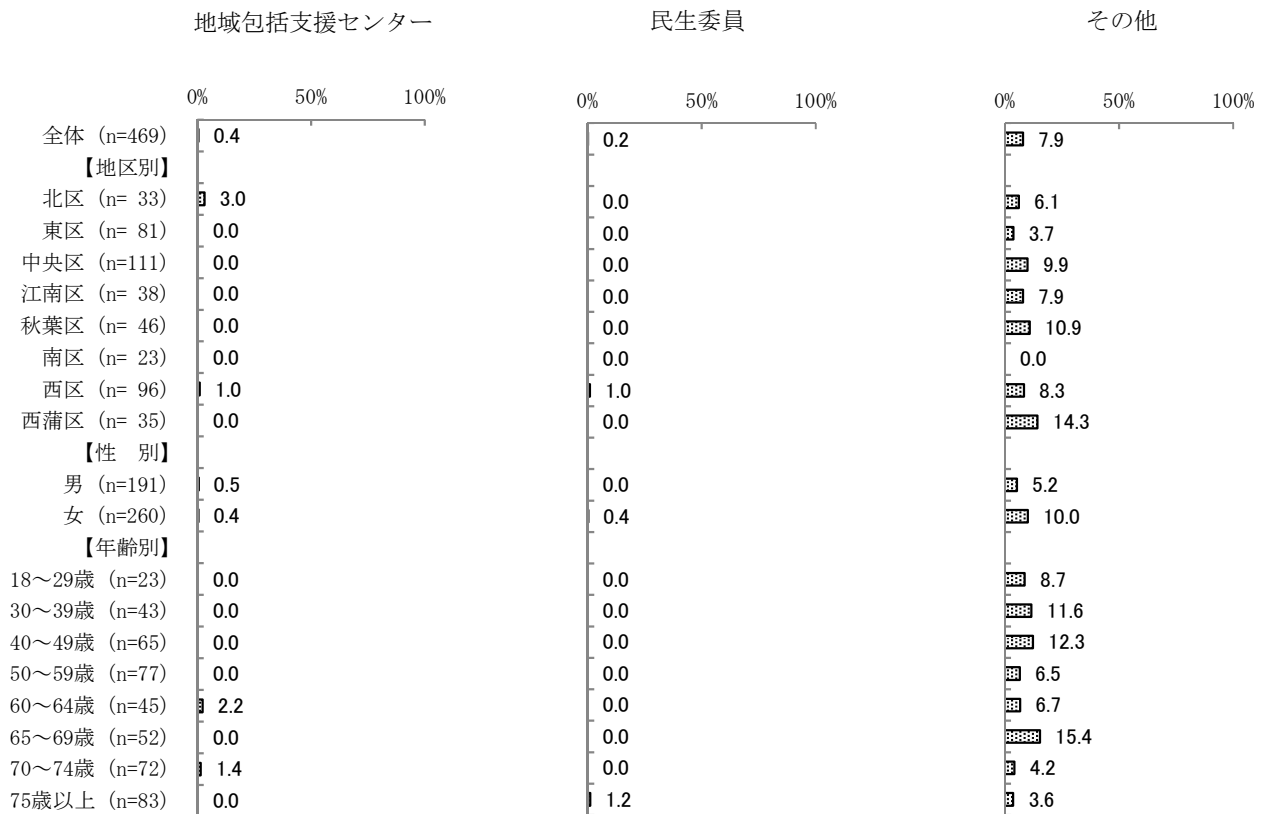
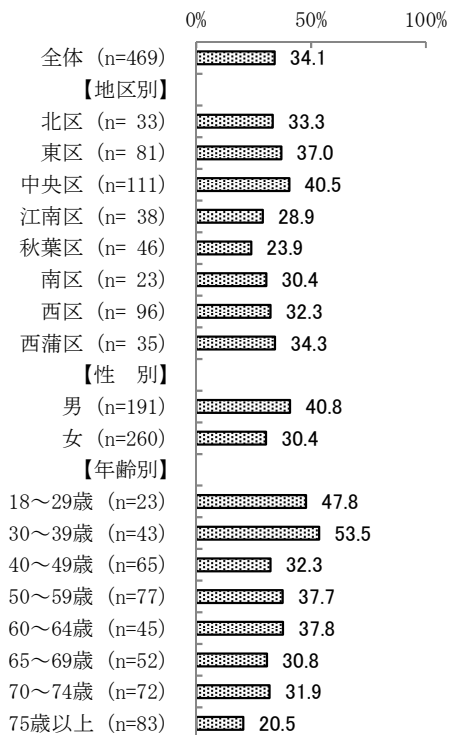


図 2-4 購入した商品・サービスからの被害や不安の相談先（地区別/性別/年齢別） 2/2

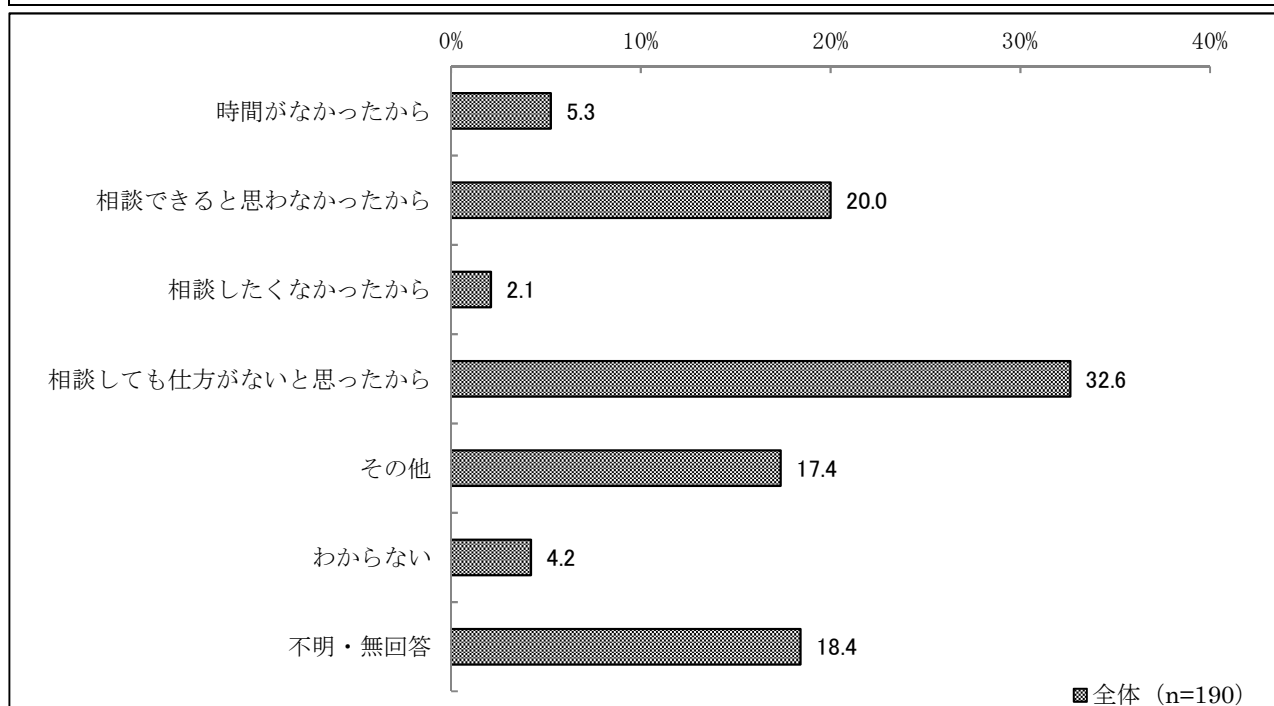


だれにも相談していない



## (5) 消費生活センターに相談しなかった理由

問7 上記問6で「2～10」（消費生活センター以外に相談した）と答えた方に質問です。  
あなたが消費生活センターに相談しなかった理由を教えてください。（○は1つだけ）



— 「相談しても仕方がないと思ったから」が約3割 —

### 【全体結果】

「相談しても仕方がないと思ったから」（32.6%）の割合が最も高く、約3割となった。次いで、「相談できると思わなかったから」（20.0%）、「時間がなかったから」（5.3%）、「相談したくなかったから」（2.1%）となった。

### 【属性別結果】（次ページ図2-5参照）

#### ① 地区別

「相談しても仕方がないと思ったから」については、秋葉区（47.4%）、南区（45.5%）で割合が高い。「相談できると思わなかったから」については、東区（28.6%）、中央区（27.0%）で他の地区と比べて割合が高い。

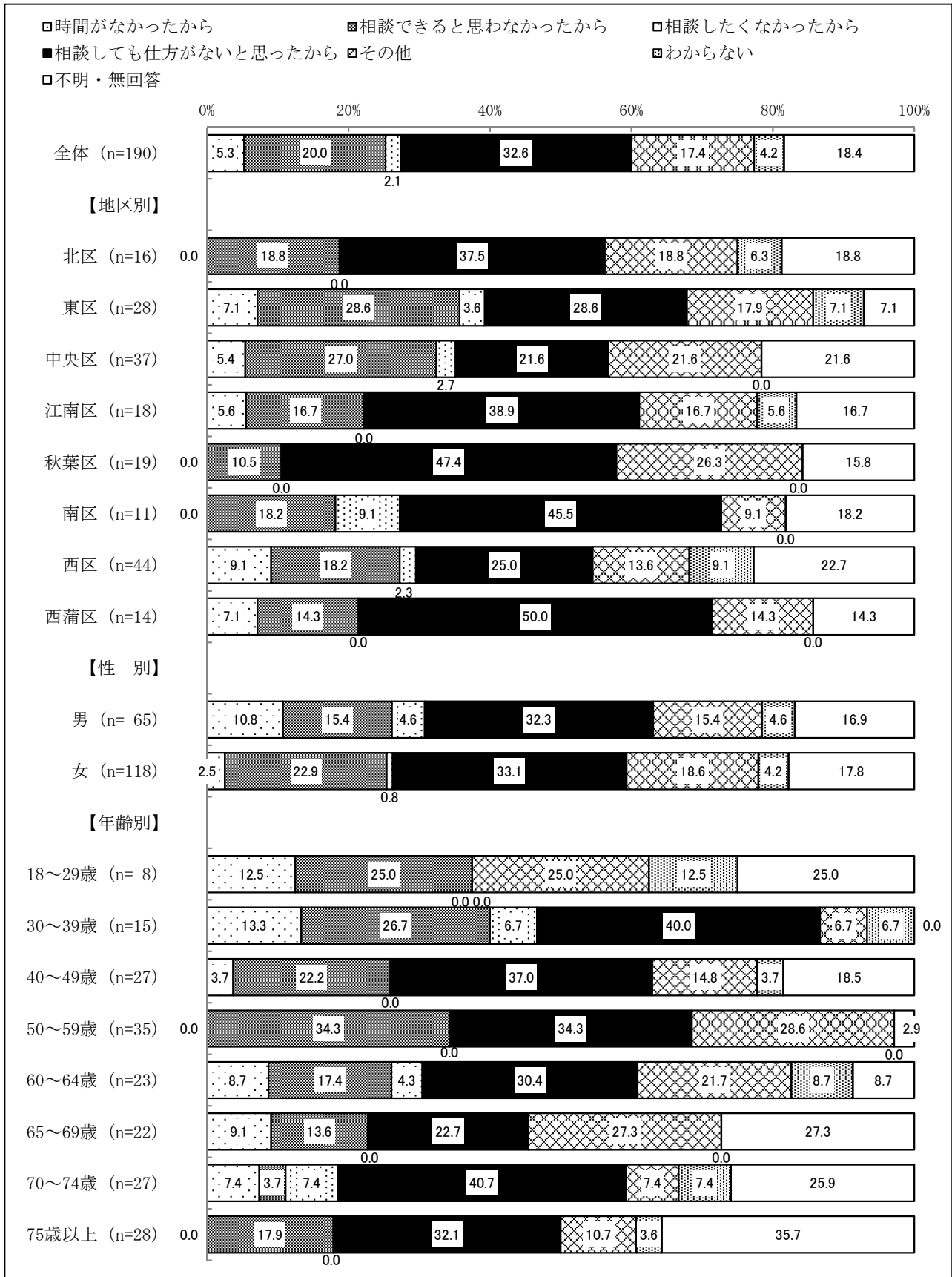
#### ② 性別

「相談できると思わなかったから」については、男性（15.4%）と比較して女性（22.9%）で割合が高く、「時間がなかったから」については、女性（2.5%）と比較して男性（10.8%）で割合が高い。

#### ③ 年齢別

「相談できると思わなかったから」については、50～59歳（34.3%）で他の年代と比べて割合が高い。

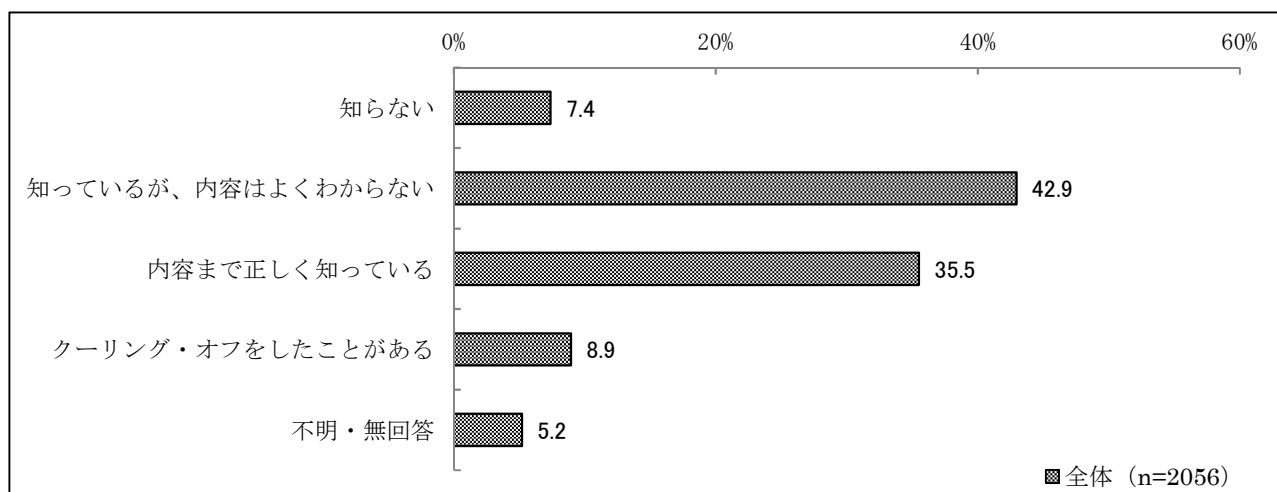
図 2-5 購入した商品・サービスからの被害や不安の相談先（地区別/性別/年齢別）





## (6) クーリング・オフ制度の認知度

問8 あなたは、クーリング・オフ制度を知っていますか。(○は1つだけ)



— 『知っている』が9割弱 —

### 【全体結果】

「知っているが、内容はよくわからない」(42.9%)、「内容まで正しく知っている」(35.5%)、「クーリング・オフをしたことがある」(8.9%)を合わせた『知っている』(87.4%)は9割弱となったが、「知っているが、内容はよくわからない」(42.9%)が約4割を占めている。

「知らない」(7.4%)と回答した割合は1割に満たなかった。

### 【属性別結果】(次ページ図2-6参照)

#### ① 地区別

南区を除くすべての地区で『知っている』の割合は、8割以上となった。

「内容まで正しく知っている」の割合は、西区(44.0%)で最も高い。

#### ② 性別

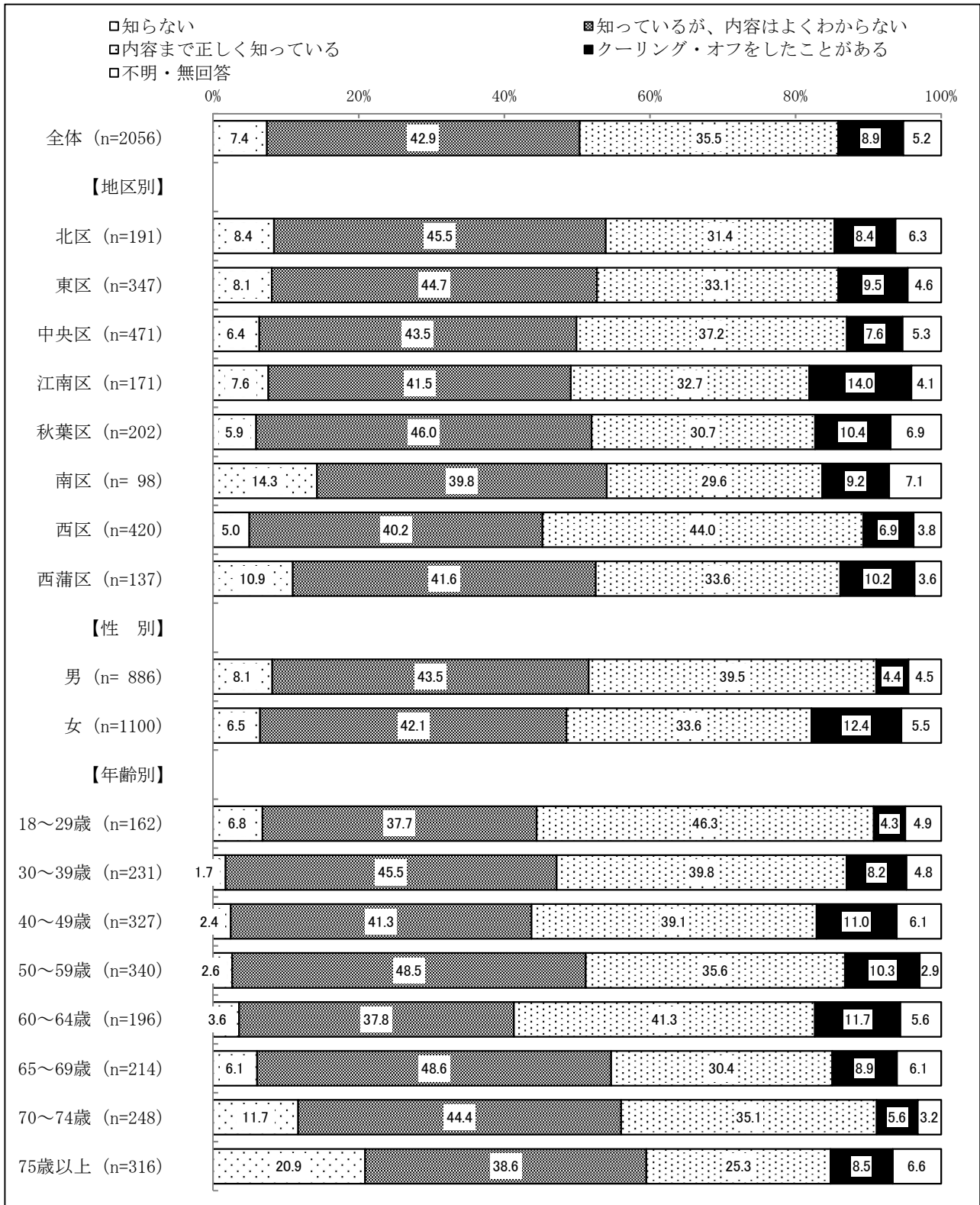
『知っている』は、男性(87.4%)と比較して女性(88.1%)で割合がやや高い。

#### ③ 年齢別

75歳以上を除くすべての年代で『知っている』の割合は、8割以上となった。

75歳以上では「知らない」(20.9%)の割合が約2割を占めた。

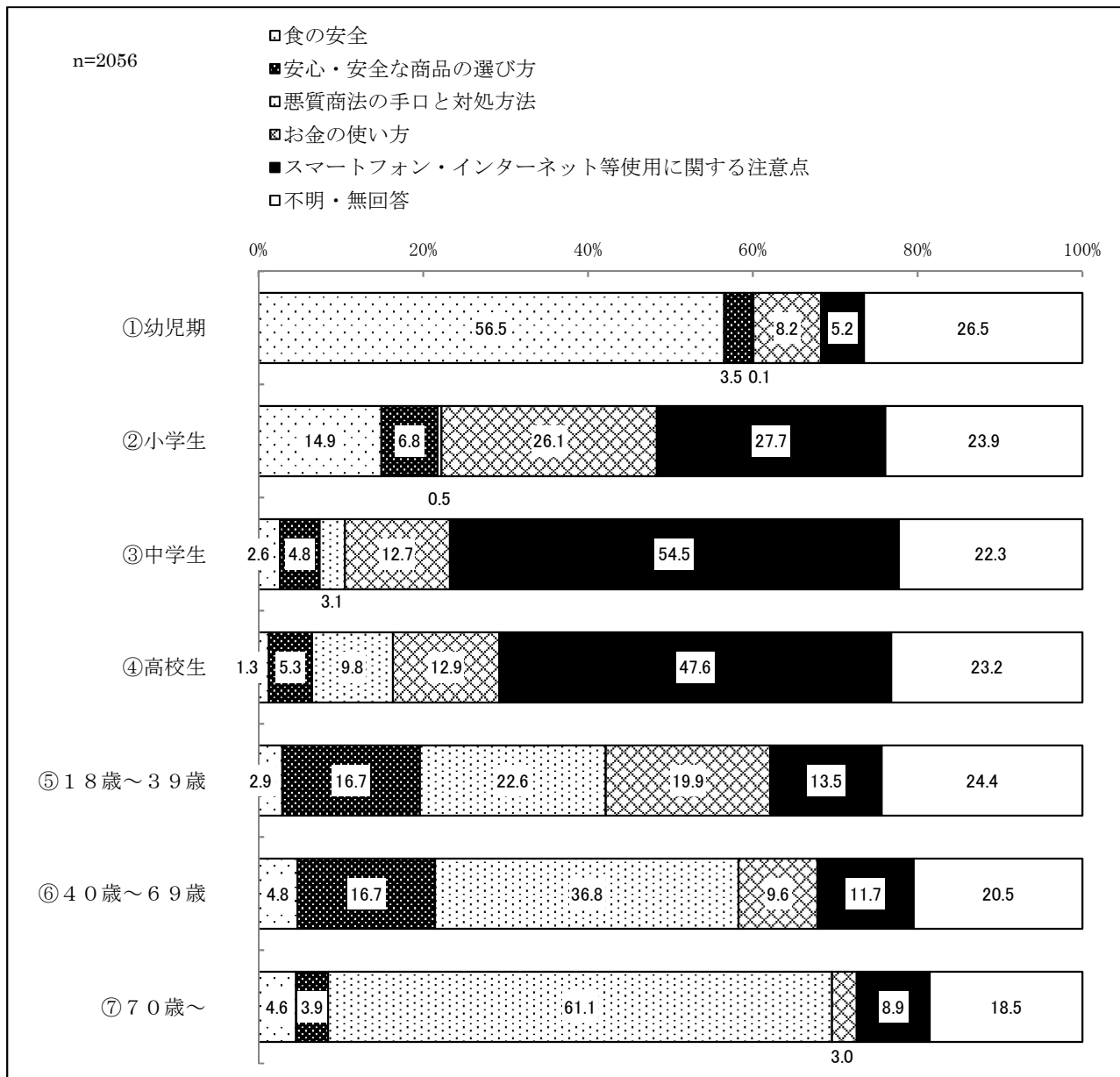
図 2-6 クーリング・オフ制度の認知度（地区別/性別/年齢別）



(7) 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動

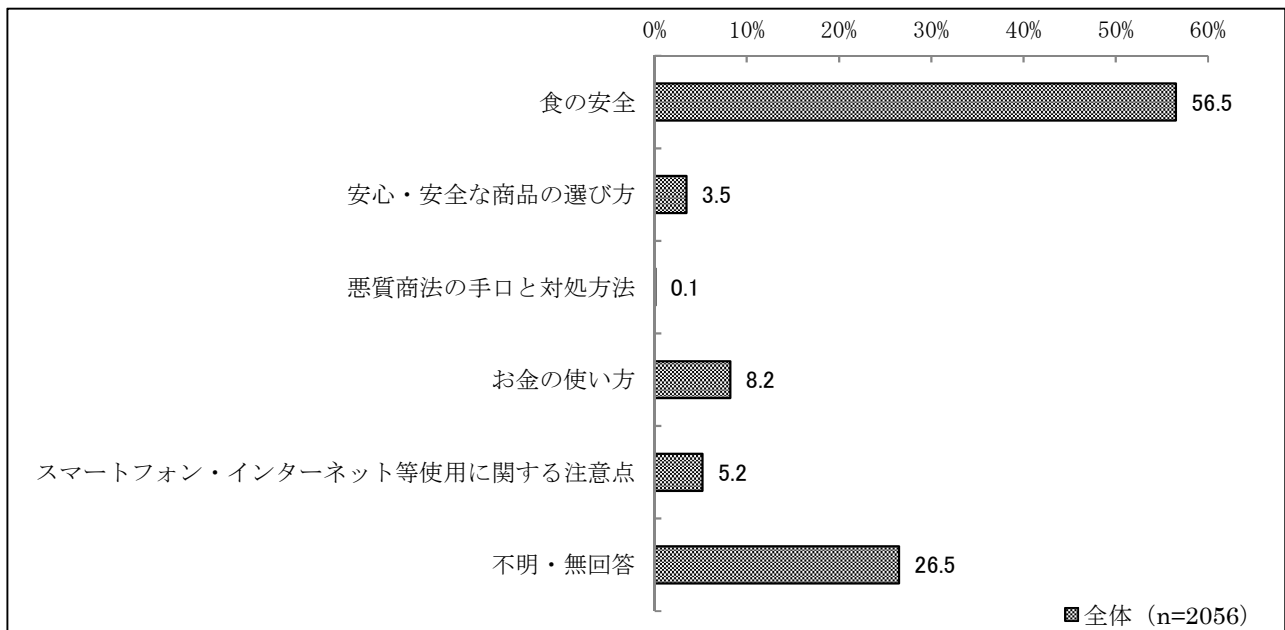
問9 あなたは、消費生活の被害や不安解消のために、年代別にどのような「消費者教育（※）」活動がもっとも必要だと思いますか。（各年代それぞれに○は1つだけ）

※…消費者自立を支援するために行われる、消費生活に関する教育およびこれに準ずる活動



①幼児期では「食の安全」(56.5%)、②小学生、③中学生、④高校生では「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(各27.7%、54.5%、47.6%)、⑤18歳～39歳、⑥40歳～69歳、⑦70歳～では「悪質商法の手口と対処方法」(各22.6%、36.8%、61.1%)の割合が最も高くなった。

## ① 幼児期



### — 「食の安全」が5割半ば —

#### 【全体結果】

「食の安全」(56.5%)の割合が最も高く、5割半ばとなった。

#### 【属性別結果】(次ページ図 2-7-1 参照)

##### ① 地区別

全ての地区で「食の安全」が5割を超えた。

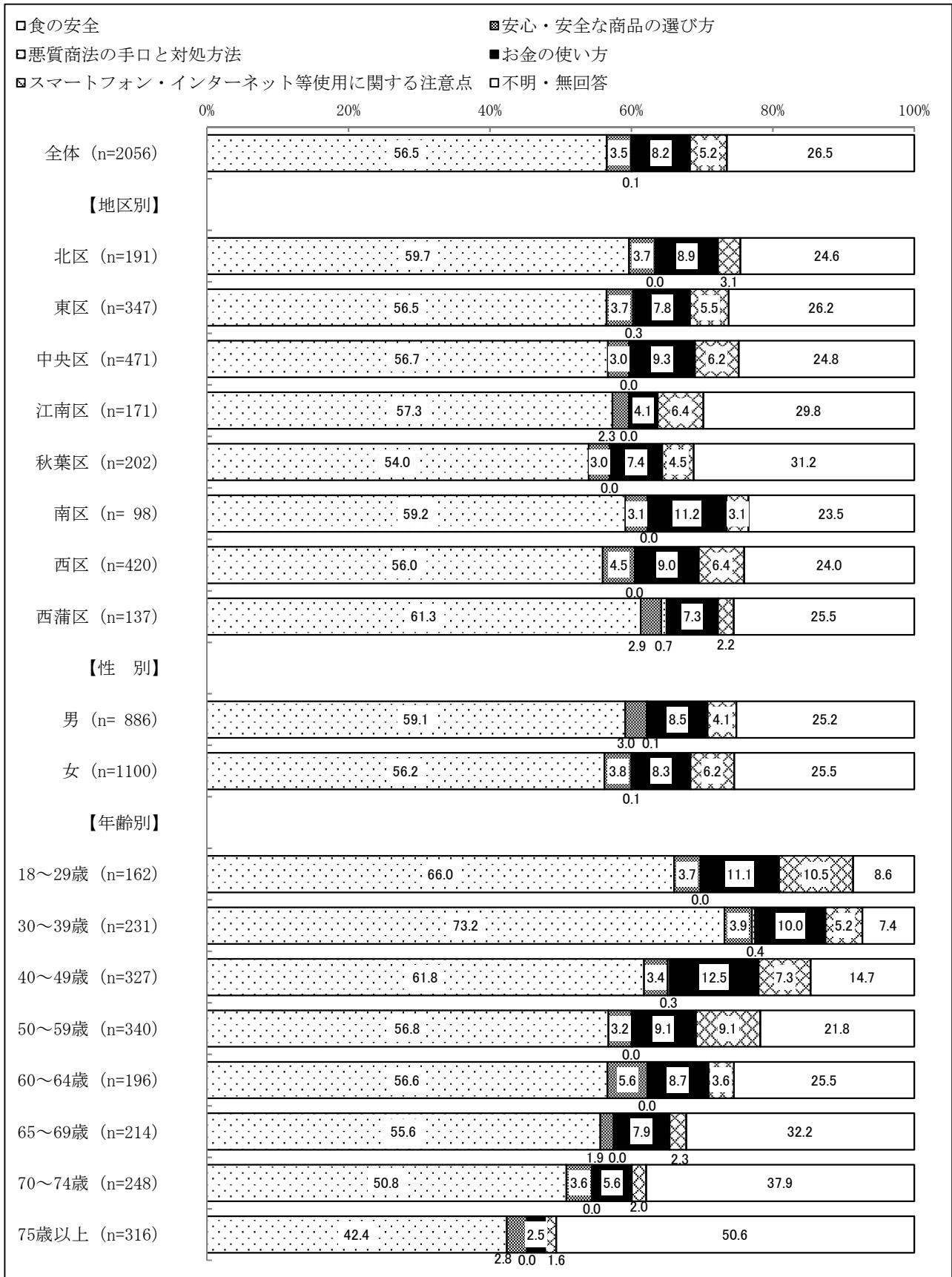
##### ② 性別

「食の安全」については、女性(56.2%)と比較して男性(59.1%)で割合が高い。

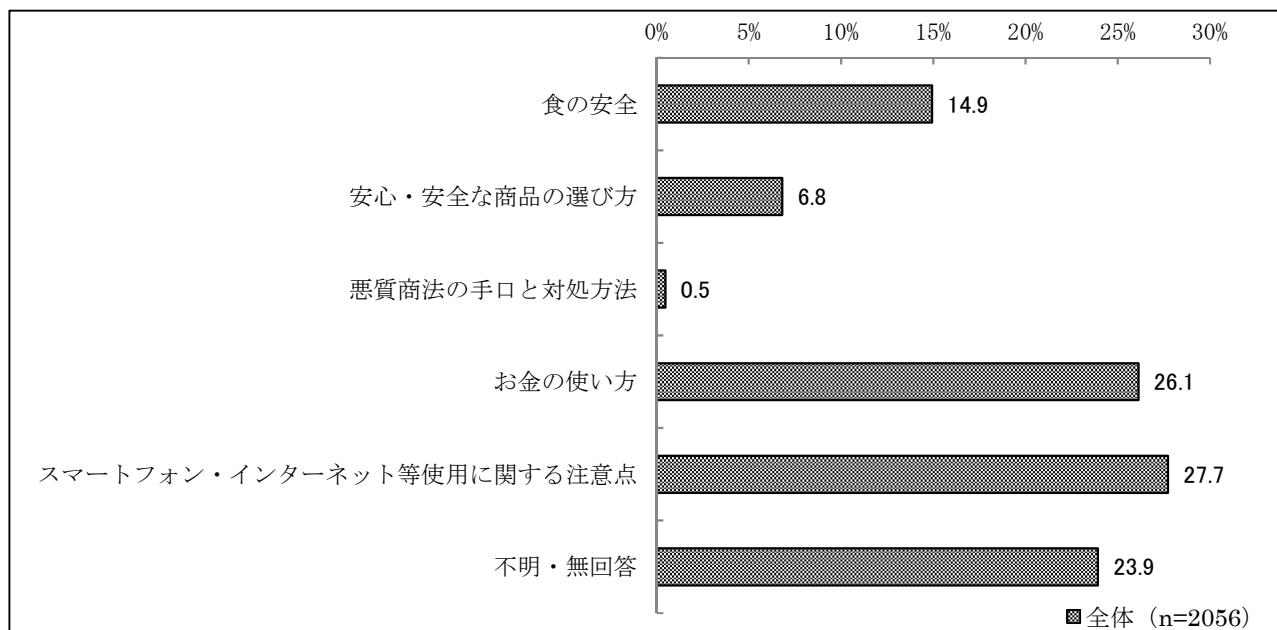
##### ③ 年齢別

「食の安全」については、75歳以上を除くすべての年代で5割を超えた。

図 2-7-1 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動 ①幼児期（地区別/性別/年齢別）



## ②小学生



### — 「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」が3割弱 —

#### 【全体結果】

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(27.7%)の割合が最も高く、3割弱となった。次いで、「お金の使い方」(26.1%)、「食の安全」(14.9%)と続く。

#### 【属性別結果】(次ページ図2-7-2参照)

##### ① 地区別

「お金の使い方」については、西蒲区(34.3%)で他の地区と比べて割合が高い。

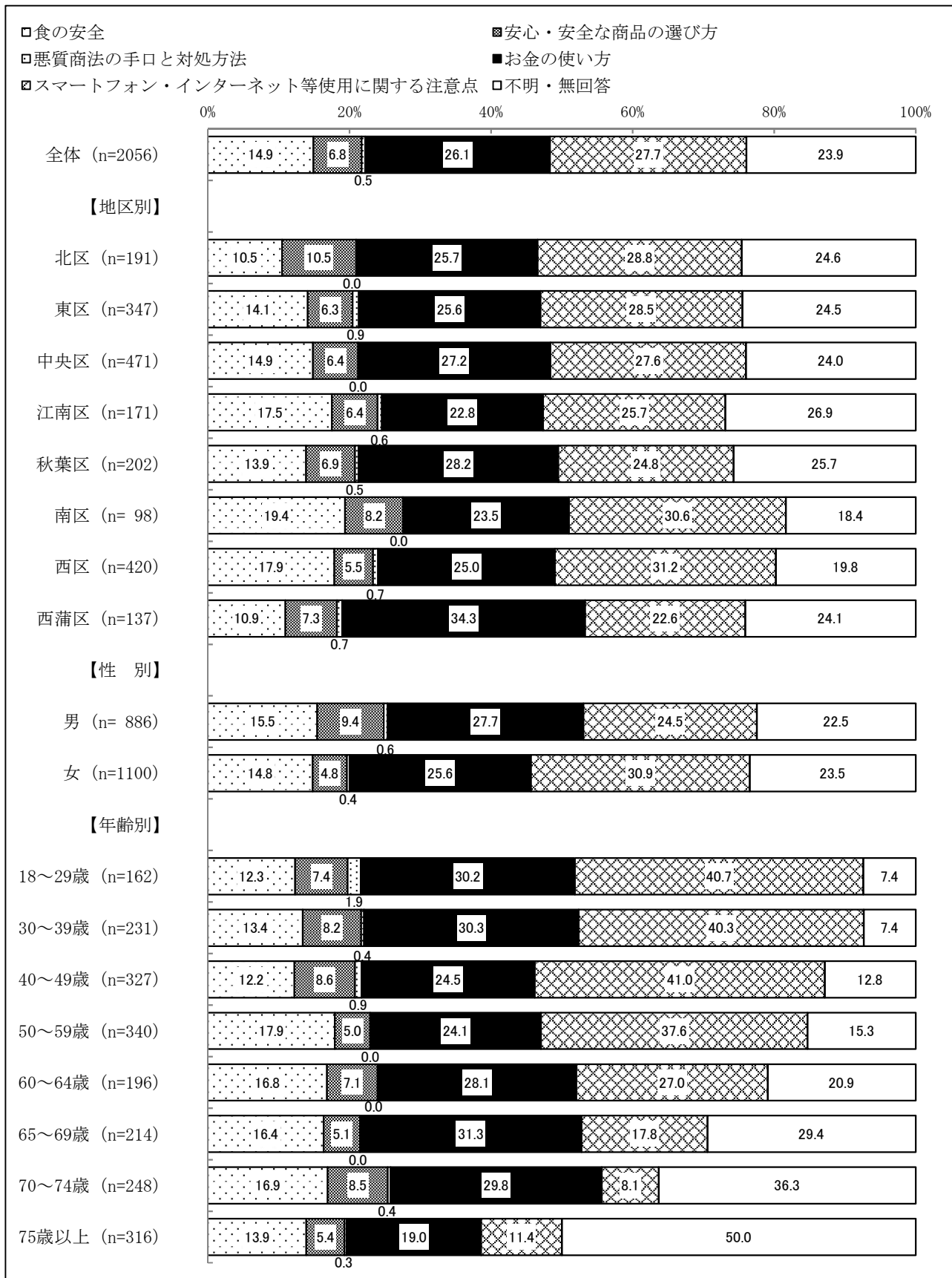
##### ② 性別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、男性(24.5%)と比較して女性(30.9%)で割合が高い。

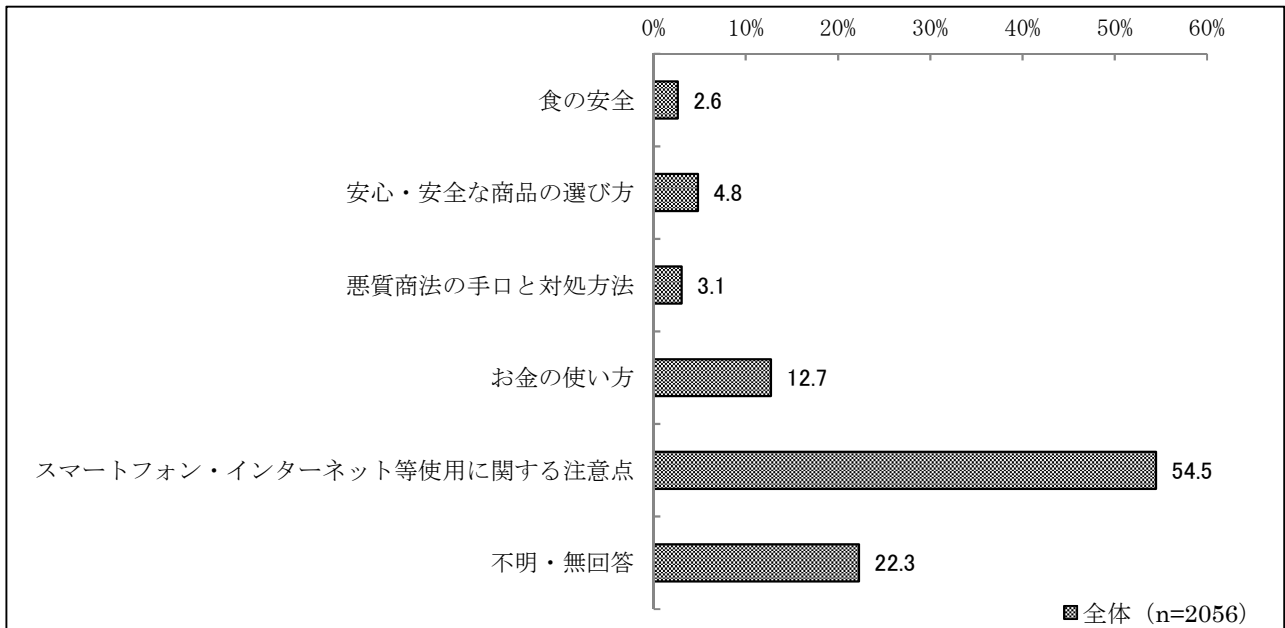
##### ③ 年齢別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、18～49歳で約4割となり、若い年代で割合が高い。

図 2-7-2 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動 ②小学生（地区別/性別/年齢別）



### ③中学生



#### — 「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」が5割半ば —

##### 【全体結果】

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(54.5%)の割合が最も高く、5割半ばとなった。次いで、「お金の使い方」(12.7%)、「安心・安全な商品の選び方」(4.8%)と続く。

##### 【属性別結果】(次ページ図2-7-3参照)

##### ① 地区別

全ての地区で「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」が5割を超えた。

##### ② 性別

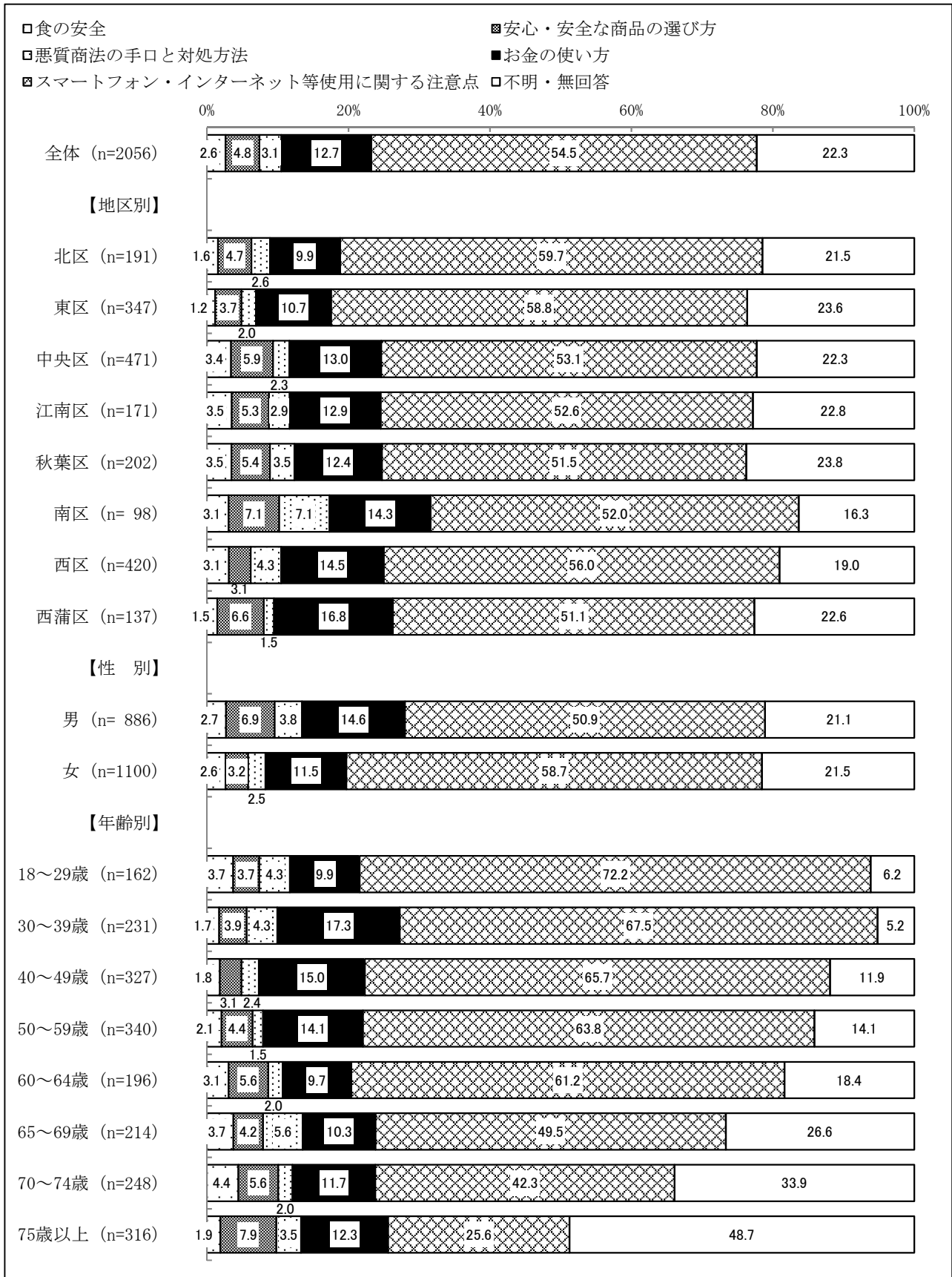
「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、男性(50.9%)と比較して女性(58.7%)で割合が高い。

##### ③ 年齢別

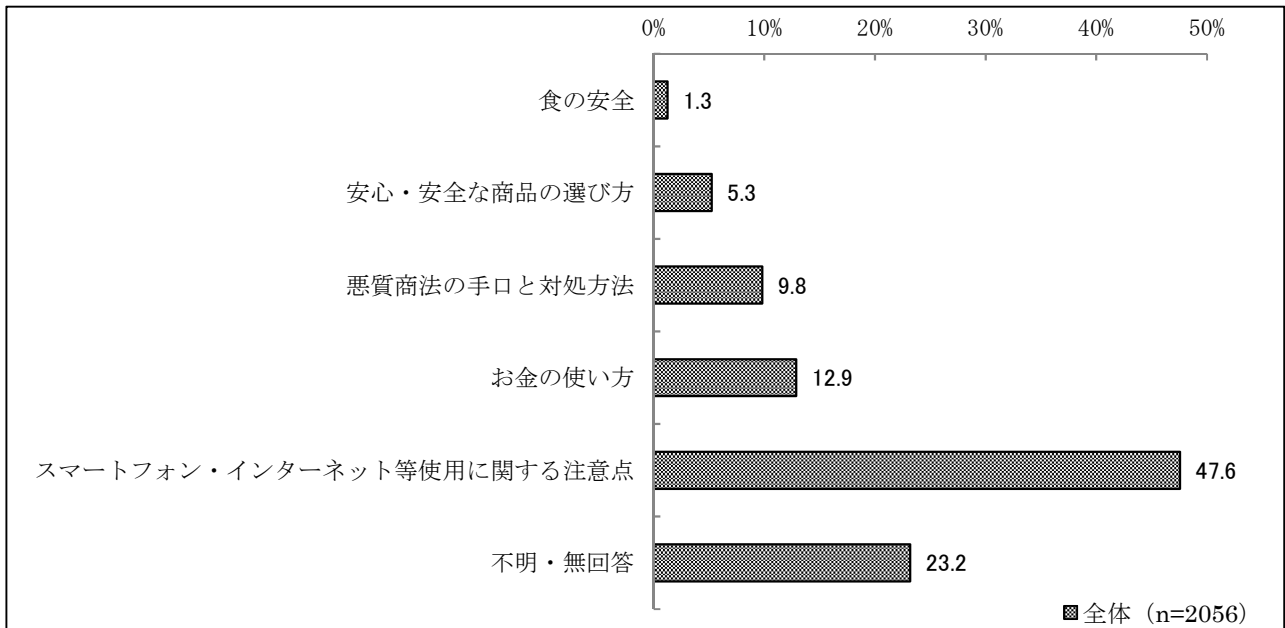
「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、18~29歳(72.2%)で割合が最も高く、若い年代ほど割合が高い傾向にある。



図 2-7-3 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動 ③中学生（地区別/性別/年齢別）



#### ④高校生



### — 「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」が5割弱 —

#### 【全体結果】

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(47.6%)の割合が最も高く、5割弱となった。次いで、「お金の使い方」(12.9%)、「悪質商法の手口と対処方法」(9.8%)と続く。

#### 【属性別結果】(次ページ図2-7-4参照)

##### ① 地区別

全ての地区で「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」が4割を超えた。

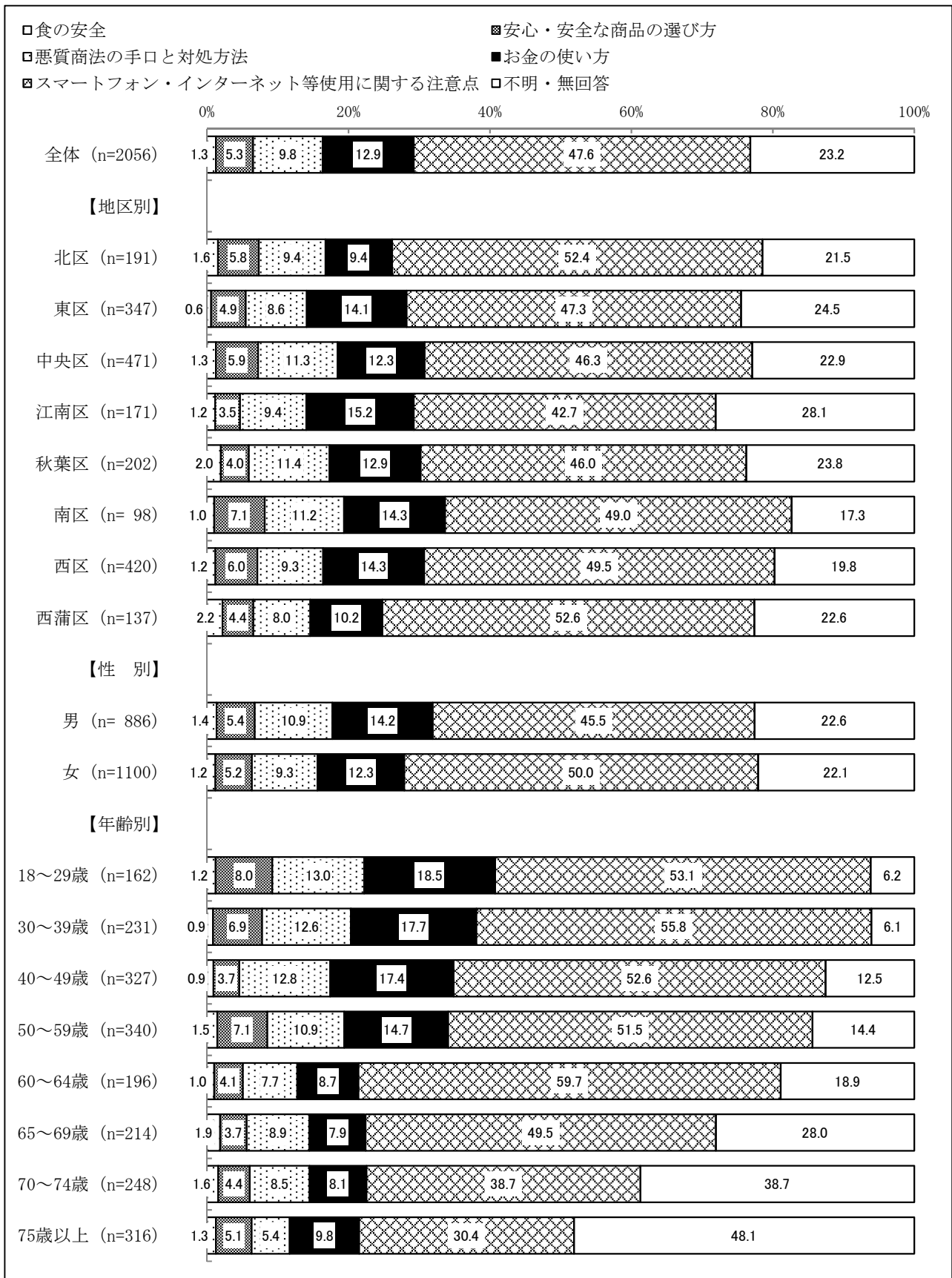
##### ② 性別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、男性(45.5%)と比較して女性(50.0%)で割合が高い。

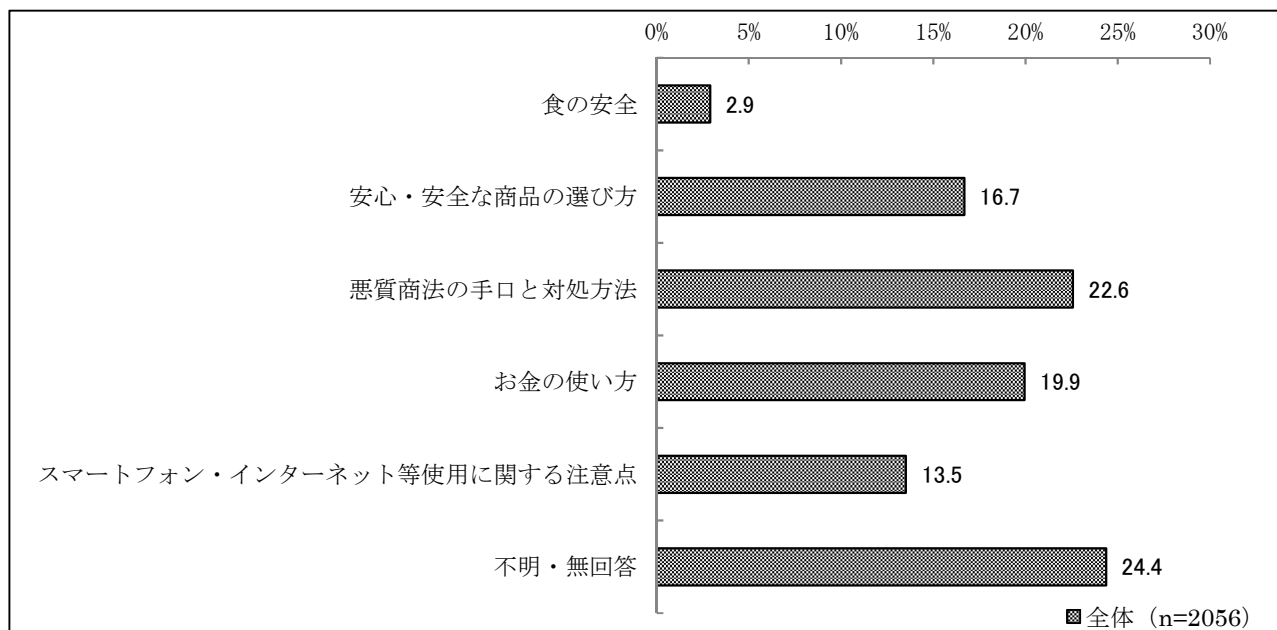
##### ③ 年齢別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、18~64歳で5割を超えた。

図 2-7-4 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動 ④高校生（地区別/性別/年齢別）



⑤ 18歳～39歳



— 「悪質商法の手口と対処方法」が約2割 —

【全体結果】

「悪質商法の手口と対処方法」(22.6%)の割合が最も高く、2割を超えた。次いで、「お金の使い方」(19.9%)、「安心・安全な商品の選び方」(16.7%)、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(13.5%)と続く。

【属性別結果】(次ページ図2-7-5参照)

① 地区別

「悪質商法の手口と対処方法」については、すべての地区で2割を超えた。「お金の使い方」については、西区(22.6%)、北区(22.0%)、南区(21.4%)、中央区(20.4%)で、「安心・安全な商品の選び方」については、南区(22.4%)、江南区(21.6%)で2割を超えた。

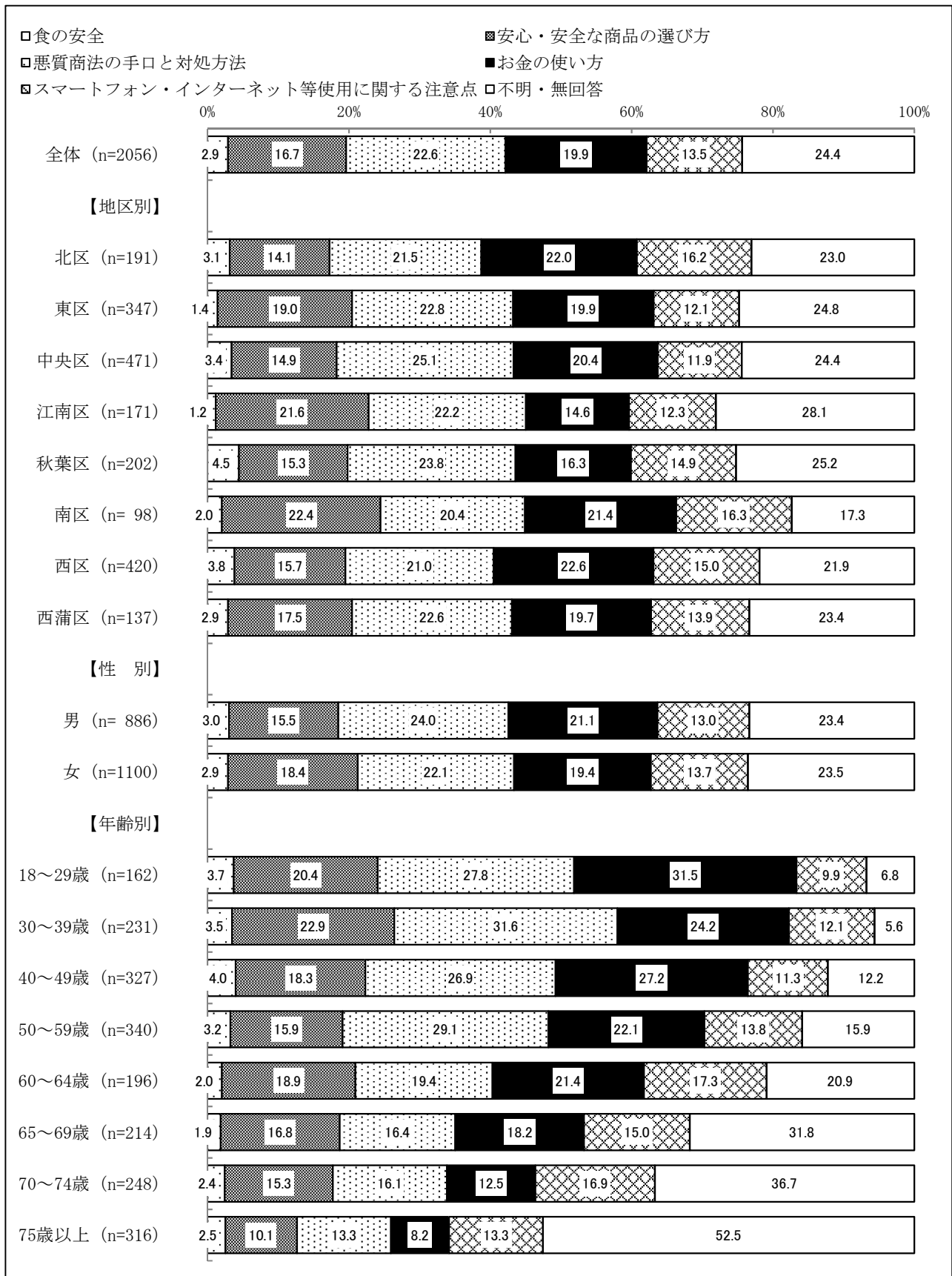
② 性別

性別による大きな差はみられない。

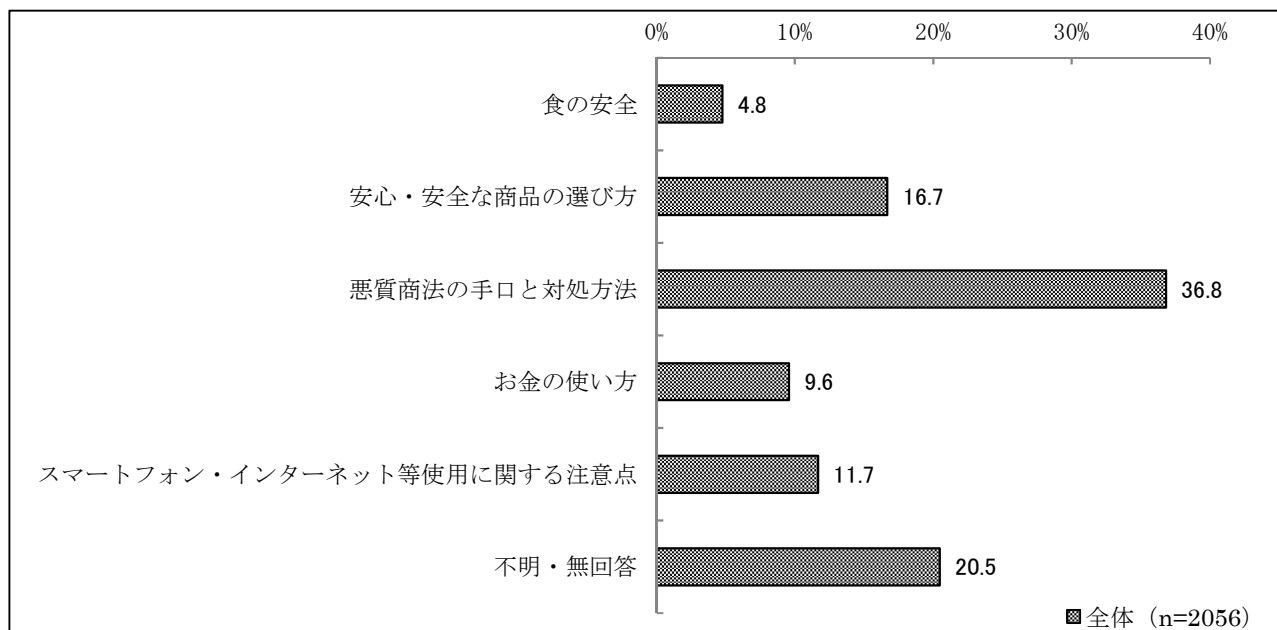
③ 年齢別

「悪質商法の手口と対処方法」については、30～39歳(31.6%)で、「お金の使い方」については、18～29歳(31.5%)で3割を超え、他の年代と比べて割合が高い。

図 2-7-5 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動 ⑤ 18歳～39歳（地区別/性別/年齢別）



## ⑥ 40歳～69歳



### — 「悪質商法の手口と対処方法」が3割半ば —

#### 【全体結果】

「悪質商法の手口と対処方法」(36.8%)の割合が最も高く、3割半ばとなった。次いで、「安心・安全な商品の選び方」(16.7%)、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(11.7%)、「お金の使い方」(9.6%)と続く。

#### 【属性別結果】(次ページ図2-7-6参照)

##### ① 地区別

「悪質商法の手口と対処方法」については、北区(46.1%)、南区(43.9%)で他の地区と比べて割合が高く、4割を超えた。

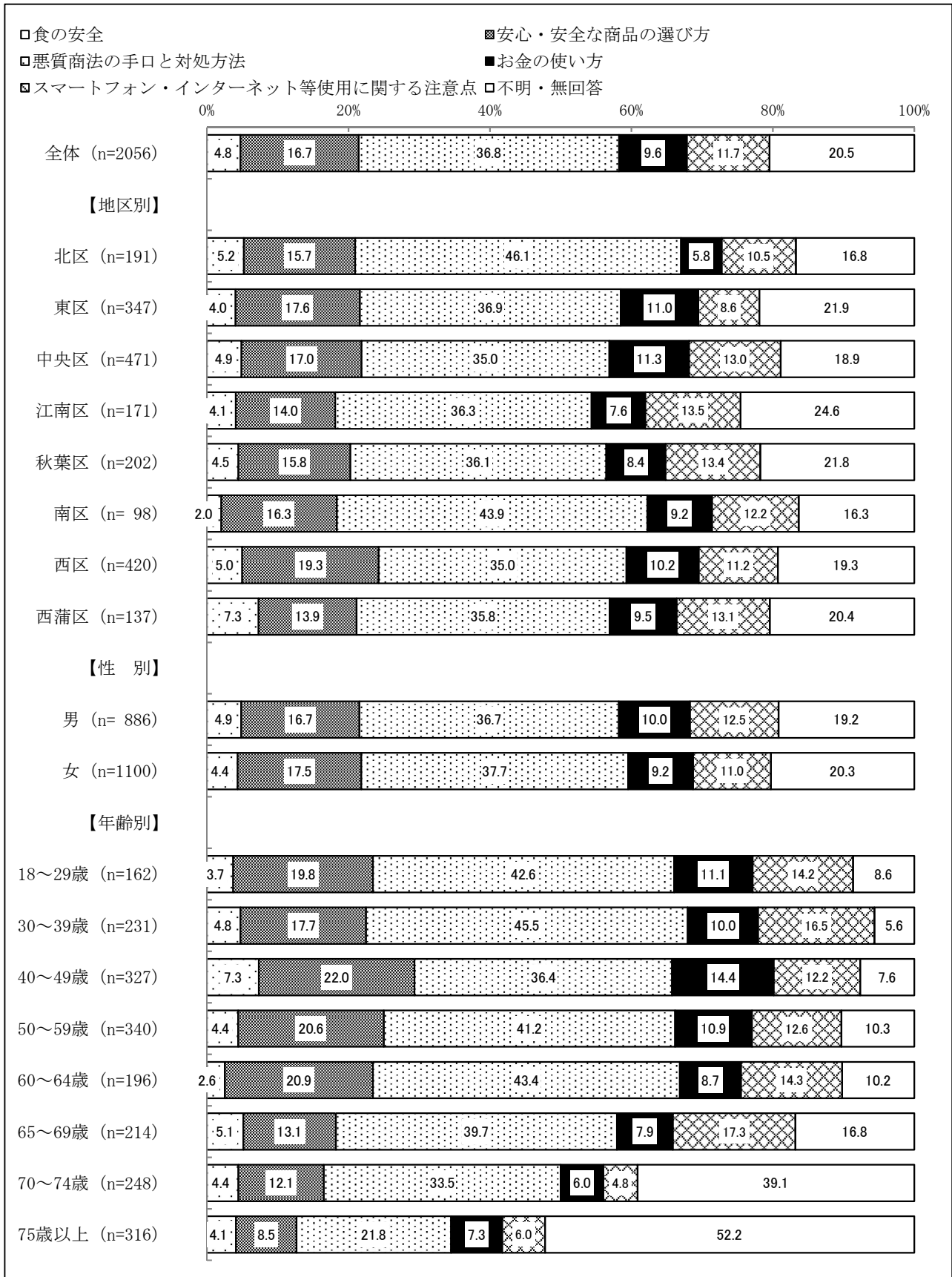
##### ② 性別

性別による差はほとんど見られない。

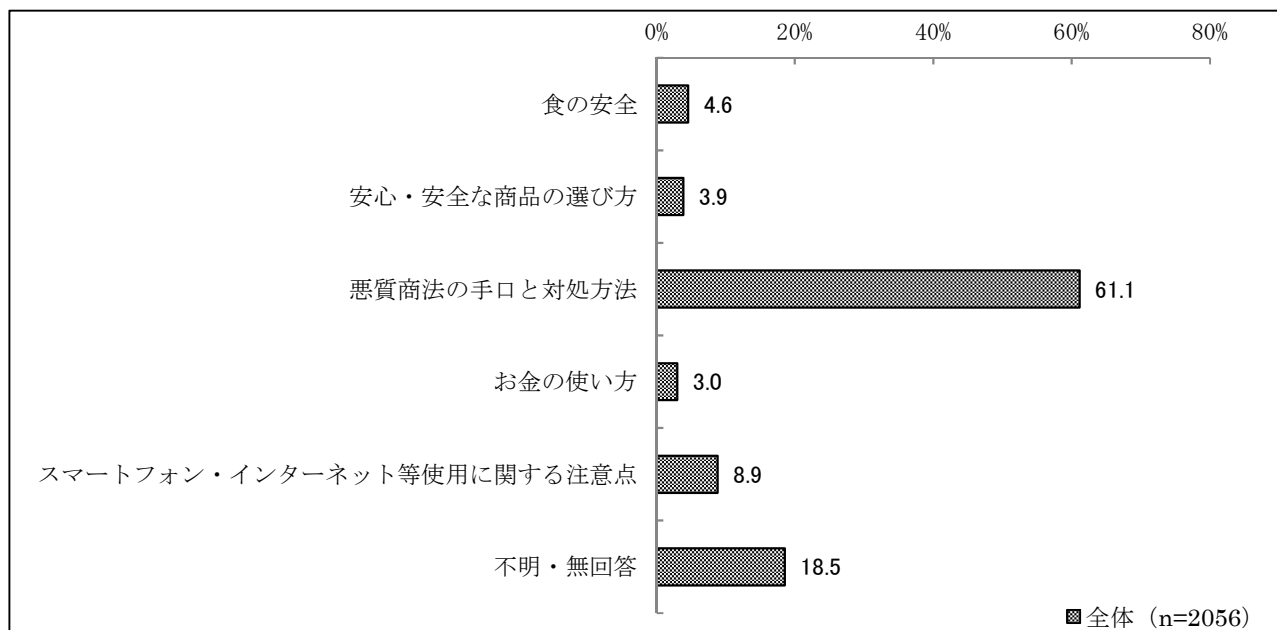
##### ③ 年齢別

「悪質商法の手口と対処方法」については、75歳以上を除くすべての年代で3割を超えた。

図 2-7-6 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動 ⑥ 40歳～69歳（地区別/性別/年齢別）



⑦ 70歳～



— 「悪質商法の手口と対処方法」が約6割 —

【全体結果】

「悪質商法の手口と対処方法」(61.1%)の割合が最も高く、約6割となった。次いで、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(8.9%)、「食の安全」(4.6%)、「安心・安全な商品の選び方」(3.9%)、「お金の使い方」(3.0%)と続く。

【属性別結果】(次ページ図2-7-7参照)

① 地区別

「悪質商法の手口と対処方法」については、江南区、秋葉区を除く全ての地区で6割を超えた。「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、南区(13.3%)、江南区(11.7%)で1割を超えた。

② 性別

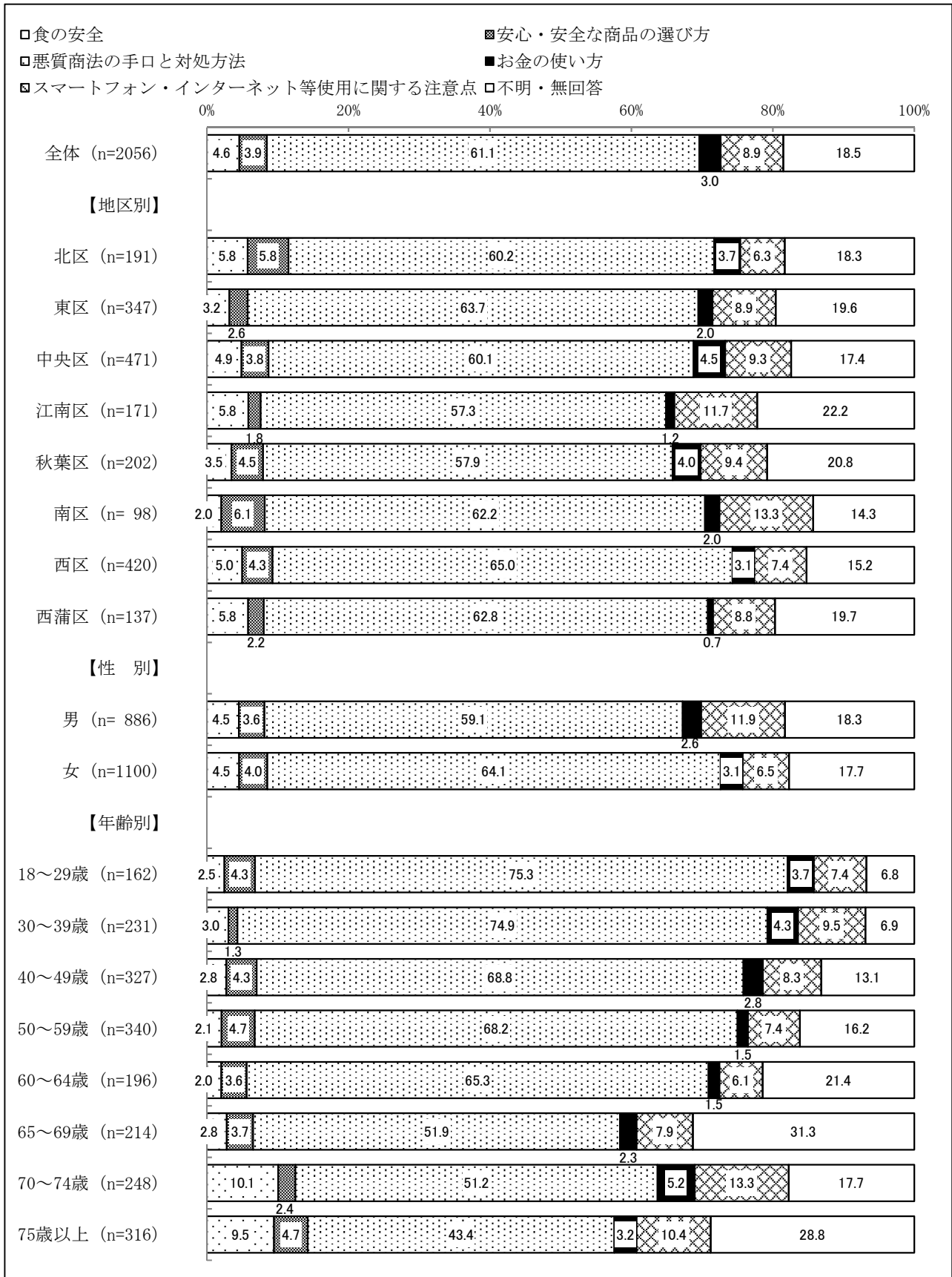
「悪質商法の手口と対処方法」については、男性(59.1%)と比較して女性(64.1%)で割合が高い。「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、女性(6.5%)と比較して男性(11.9%)で割合が高い。

③ 年齢別

「悪質商法の手口と対処方法」については、18～29歳(75.3%)で最も割合が高く、若い年齢ほど割合が高い。「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」については、70～74歳(13.3%)、75歳以上(10.4%)で1割を超え、高齢層で割合が高い傾向にある。

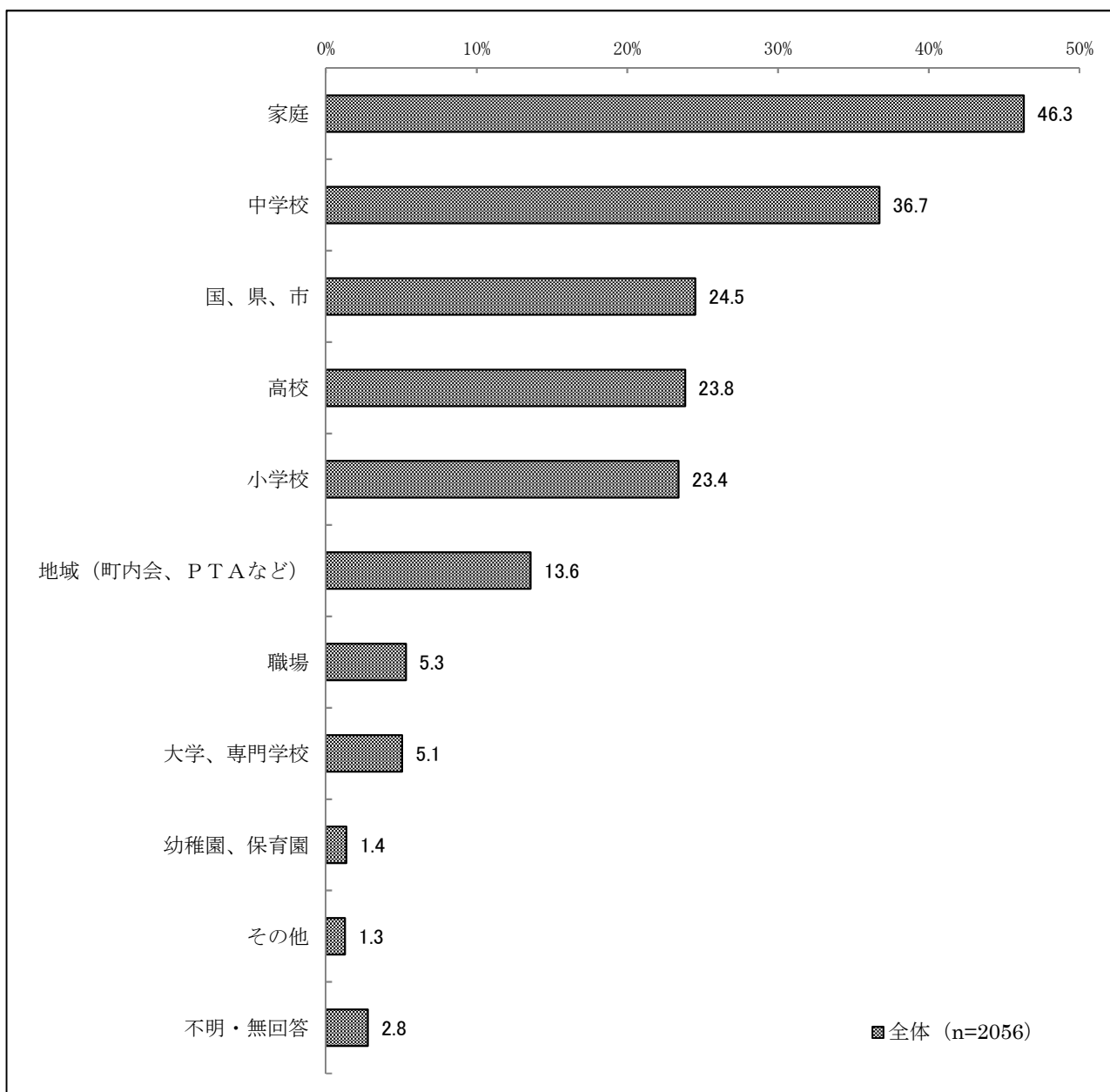


図 2-7-7 必要だと思う年代別の「消費者教育」活動 ⑦ 70歳～（地区別/性別/年齢別）



## (8) 重要だと思う消費者教育を行う場

問10 あなたが消費者教育を行う場として重要だと思うものはどれですか。(〇は2つまで)



— 「家庭」が4割半ば —

### 【全体結果】

「家庭」(46.3%)の割合が最も高く、4割半ばとなった。次いで、「中学校」(36.7%)が3割台、「国、県、市」(24.5%)、「高校」(23.8%)、「小学校」(23.4%)が2割台と続く。

**【属性別結果】（次ページ図 2-8 参照）**

**① 地区別**

「家庭」については、南区（52.0％）で割合が最も高く、いずれの地区でも4割を超えた。

**② 性別**

「家庭」については、男性（43.2％）と比較して、女性（49.4％）で割合が高い。「中学校」については、女性（35.1％）と比較して、男性（40.0％）で割合が高い。

**③ 年齢別**

「家庭」については、60歳以上で割合が高く、5割を超えた。

「中学校」については、18～49歳で割合が高く、5割に近い。「高校」については、18～29歳で割合が高く、4割強となっている。若い年代ほど高い傾向にある。

図 2-8 重要だと思う消費者教育を行う場（地区別/性別/年齢別） 1/2

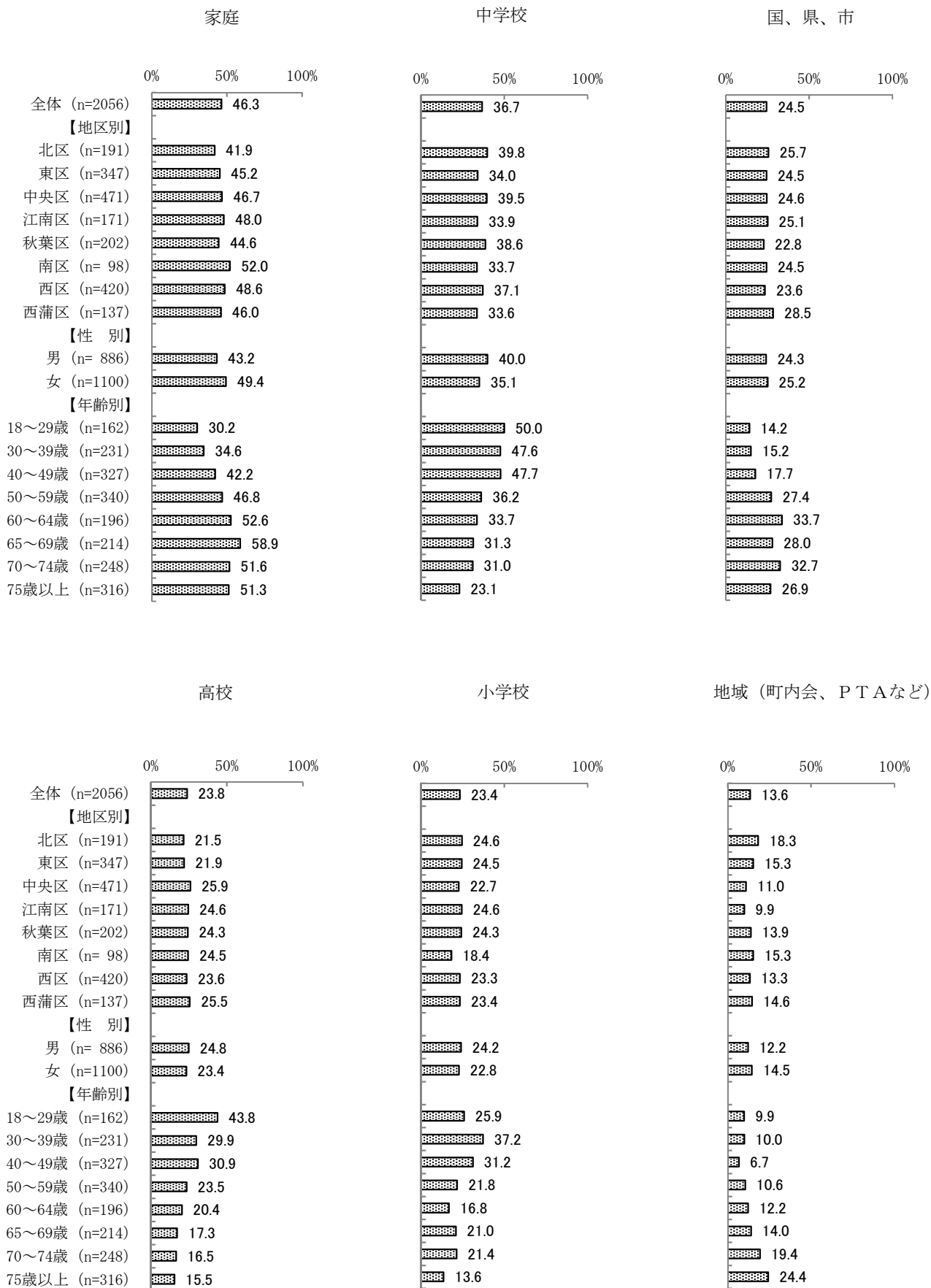
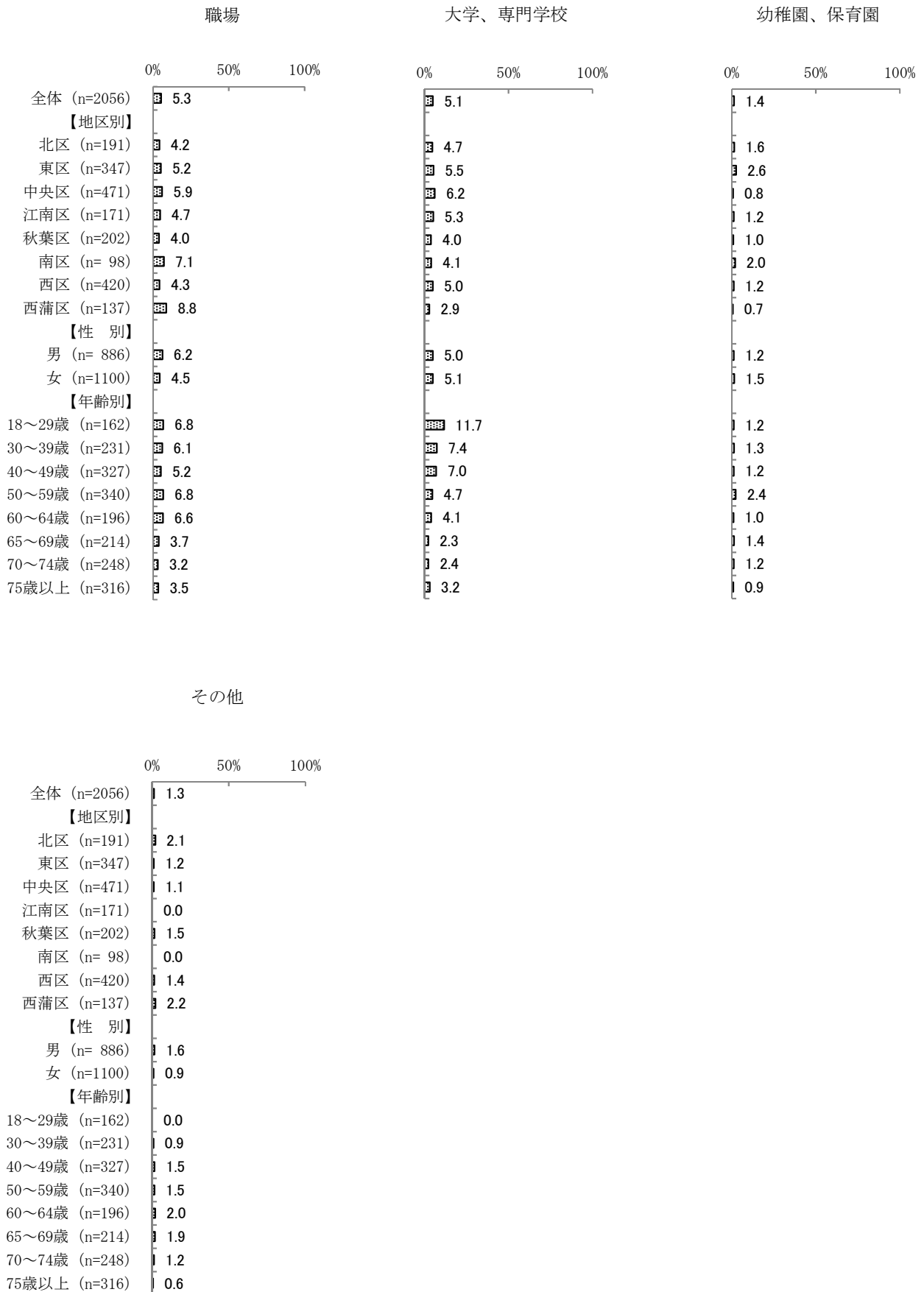
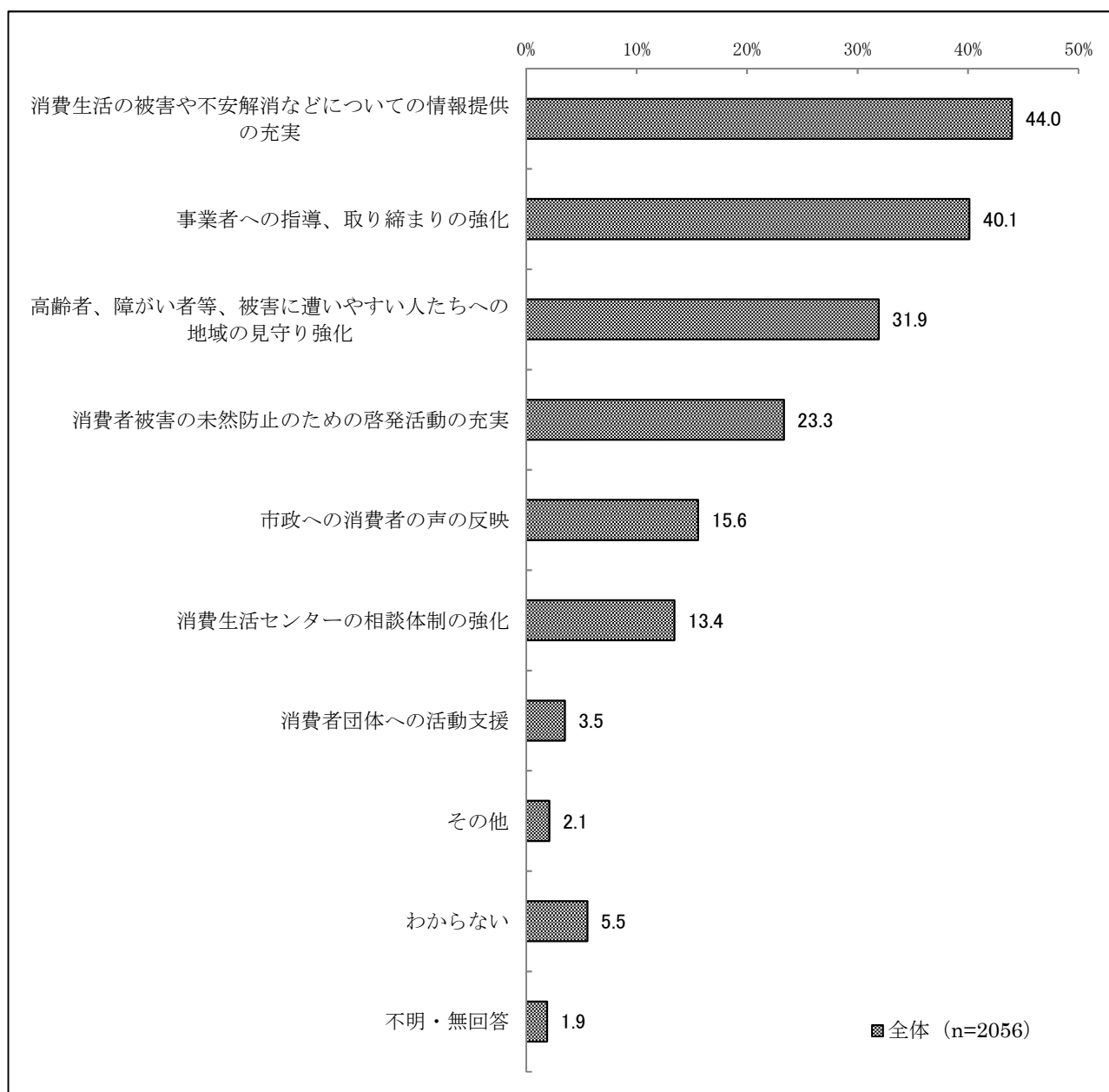


図 2-8 重要だと思う消費者教育を行う場（地区別/性別/年齢別） 2/2



## (9) 市に期待する取り組み

問 1 1 あなたは、消費生活の安定や向上のために、市にどのような取り組みを期待していますか。(〇は2つまで)



— 「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」が4割半ば —

### 【全体結果】

「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」(44.0%)の割合が最も高く、4割半ばとなった。次いで、「事業者への指導、取り締まりの強化」(40.1%)、「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」(31.9%)、「消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実」(23.3%)、「市政への消費者の声の反映」(15.6%)、「消費生活センターの相談体制の強化」(13.4%)と続く。

## 【属性別結果】（次ページ図 2-9 参照）

### ① 地区別

「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」については、東区、西蒲区を除くすべての地区で 4 割を超えた。「事業者への指導、取り締まりの強化」については、西蒲区（34.3%）で他の地区と比べて割合が低い。「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」については、西蒲区（39.4%）で割合が高かった。

### ② 性別

「事業者への指導、取り締まりの強化」については、女性（37.7%）と比較して、男性（43.8%）で割合が高い。「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」については、男性（27.5%）と比較して、女性（35.3%）で割合が高い。

### ③ 年齢別

「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」については、75 歳以上を除くすべての年代で 4 割を超えた。「事業者への指導、取り締まりの強化」については、30～39 歳（52.8%）で割合が高く、約 5 割となった。「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」については、75 歳以上（42.1%）で割合が高く、約 4 割となっている。

図 2-9 市に期待する取り組み（地区別/性別/年齢別） 1/2

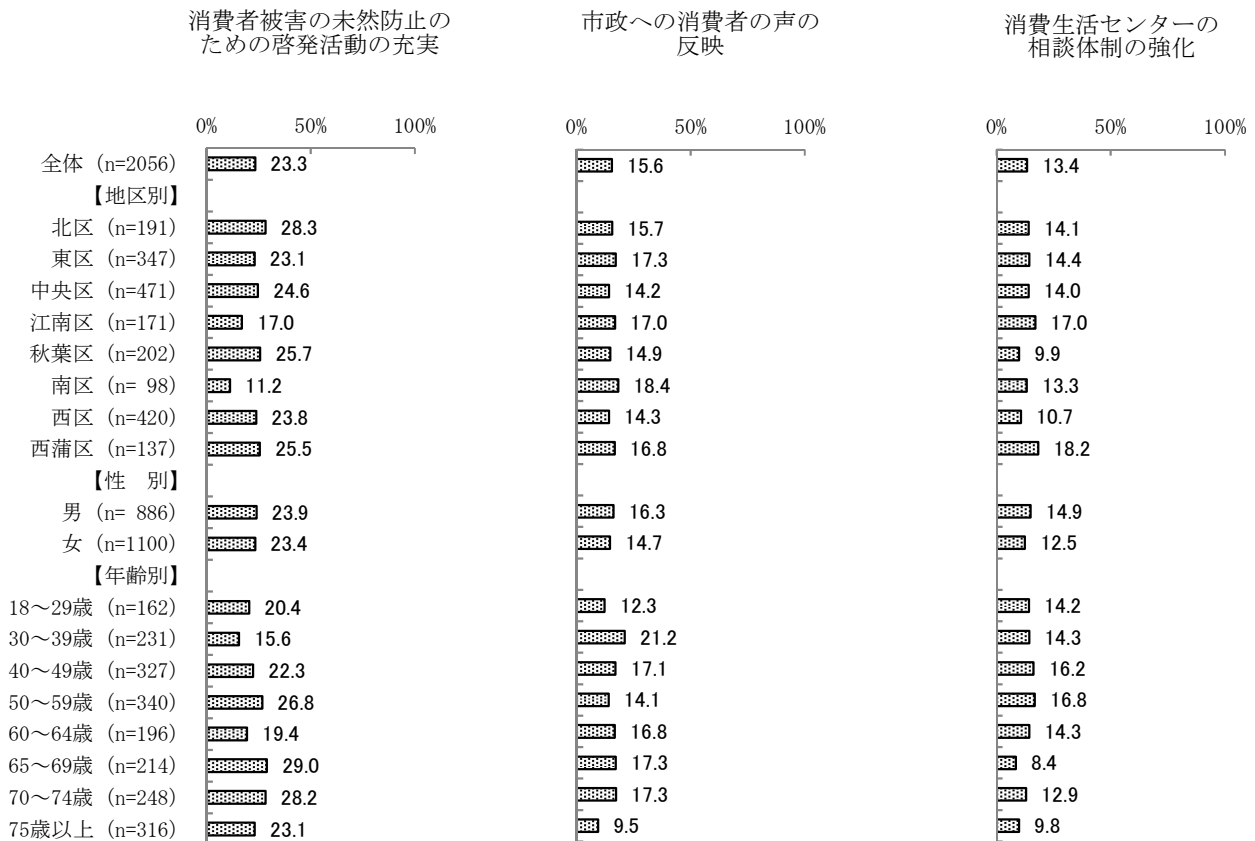
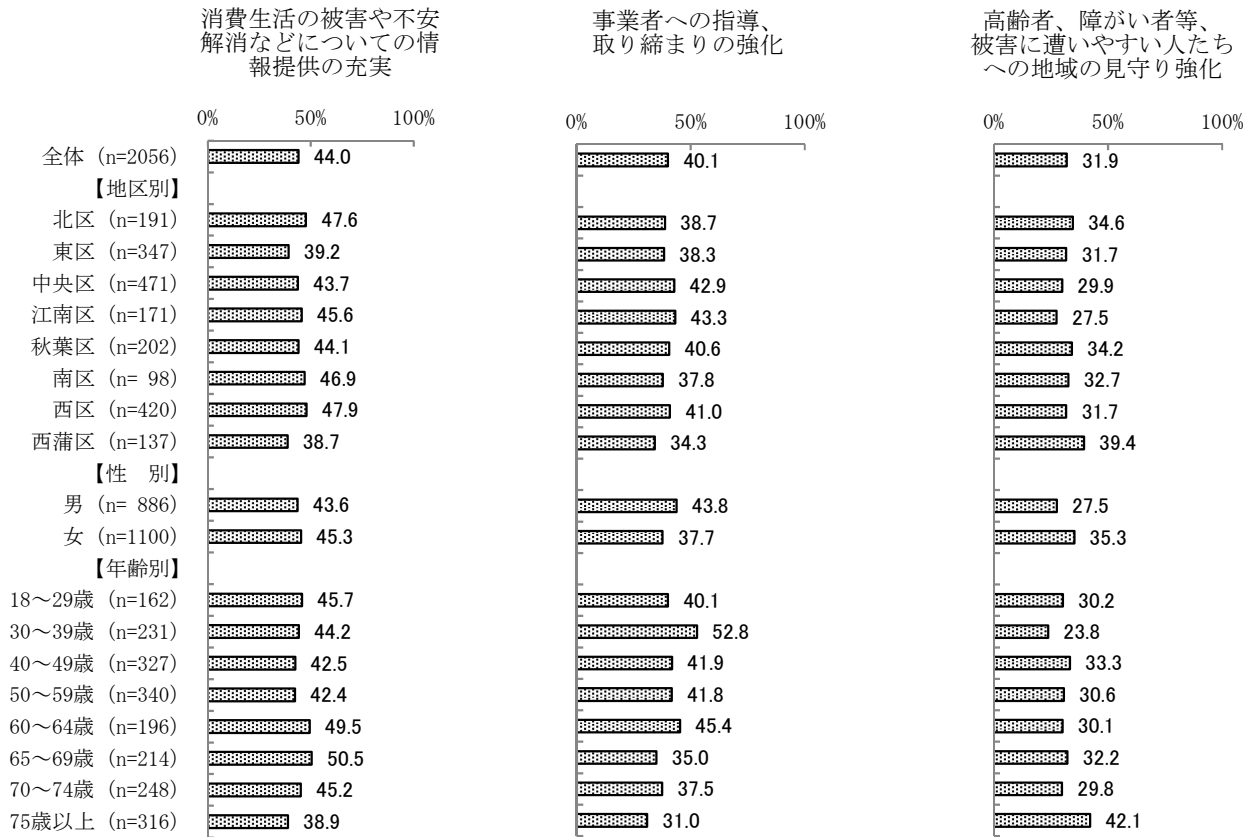
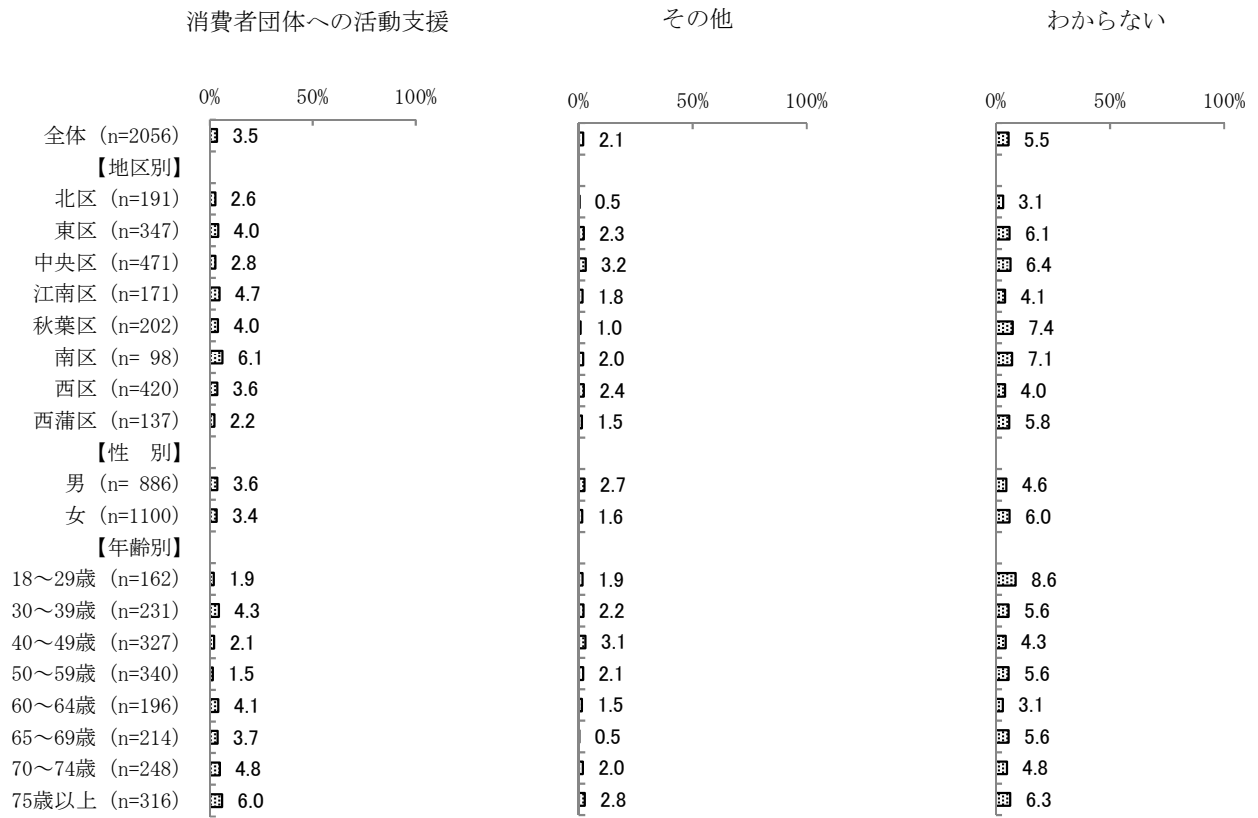


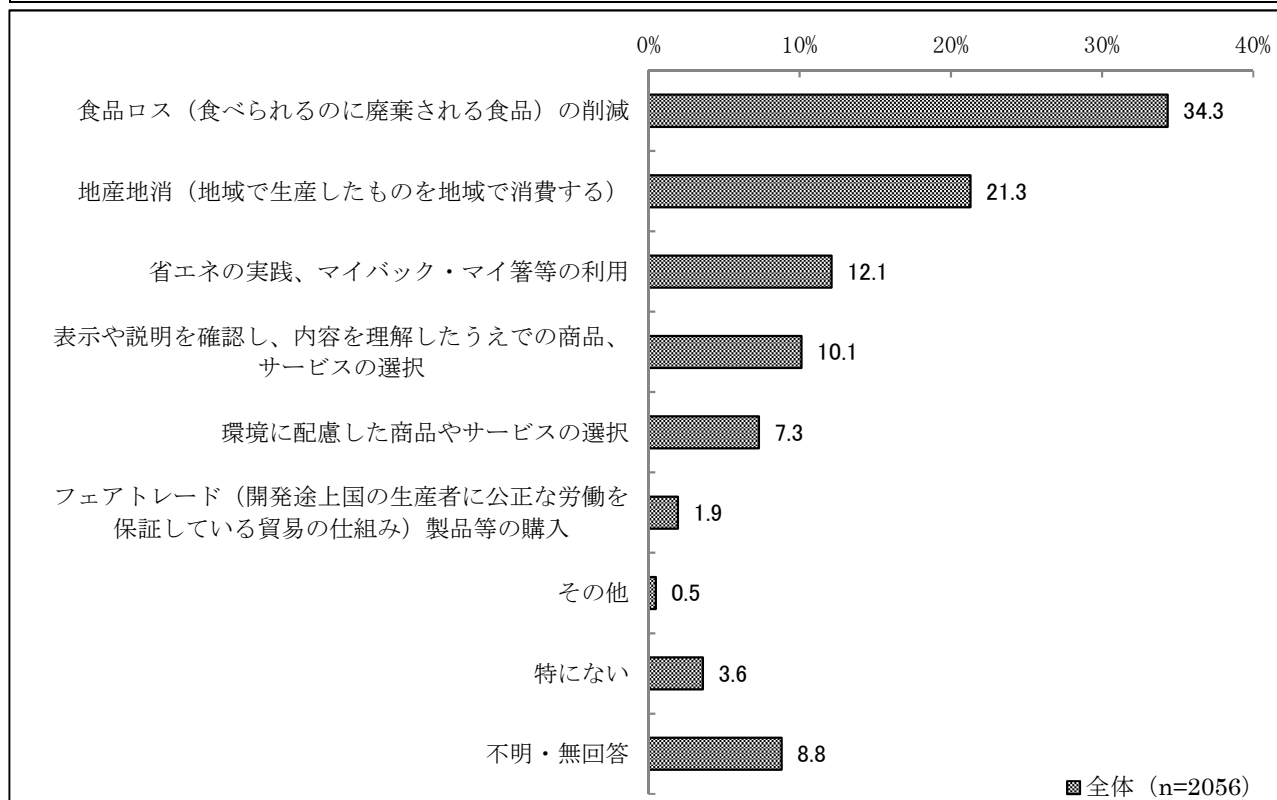


図 2-9 市に期待する取り組み（地区別/性別/年齢別） 2/2



## (10) 今後心がけたいと思う消費行動

問12 あなたが、今後心がけたいと思う消費行動はありますか。(〇は1つだけ)



— 「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」が3割半ば —

### 【全体結果】

「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」（34.3%）の割合が最も高く、3割半ばとなった。次いで、「地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）」（21.3%）、「省エネの実践、マイバック・マイ箸等の利用」（12.1%）、「表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択」（10.1%）と続く。

### 【属性別結果】（次ページ図2-10参照）

#### ① 地区別

「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」については、東区（38.9%）で割合が最も高く、いずれの地区でも3割を超えた。

#### ② 性別

「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」については、男性（31.8%）と比較して女性（36.3%）で割合が高い。

#### ③ 年齢別

すべての年代で「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」の割合が最も高く、特に70～74歳（41.5%）で高く、約4割となった。

図 2-10 今後心がけたいと思う消費行動（地区別/性別/年齢別） 1/2

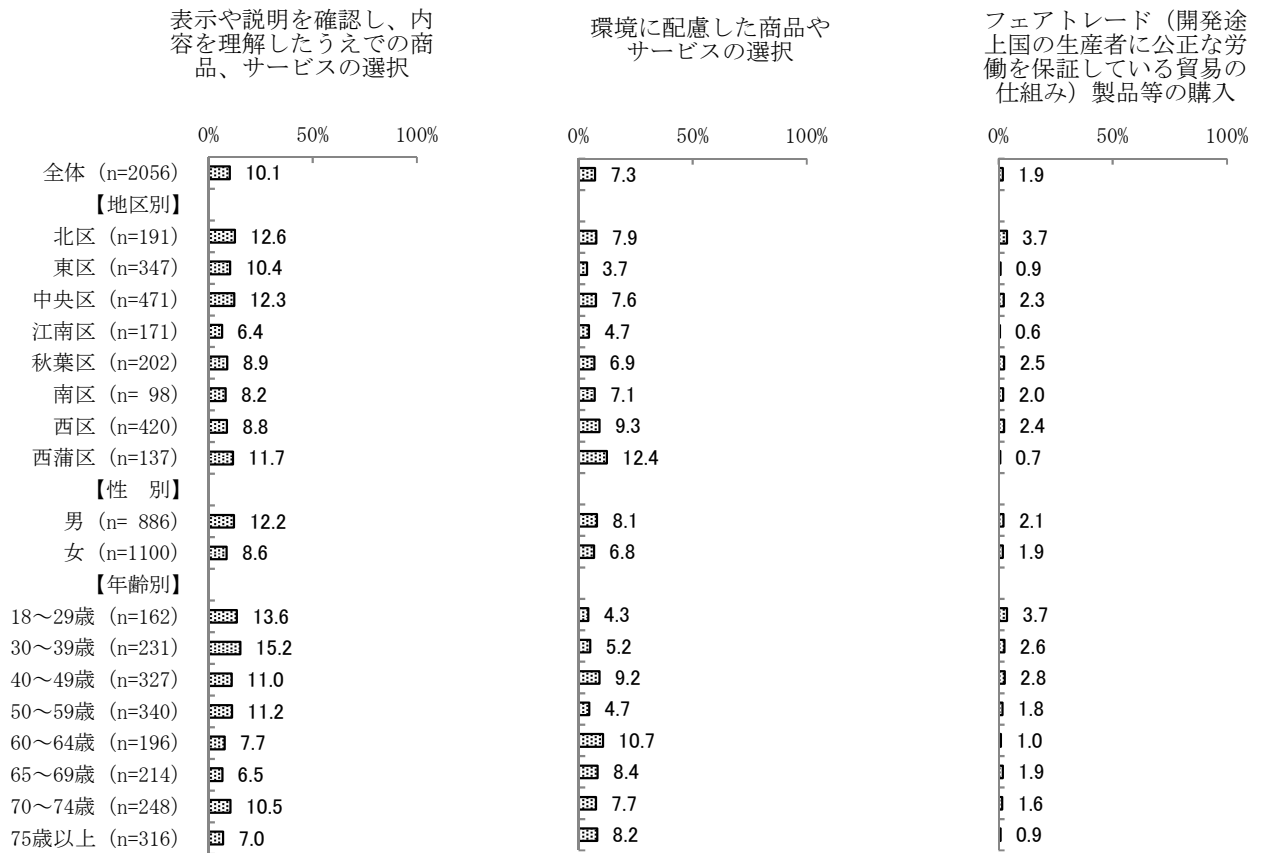
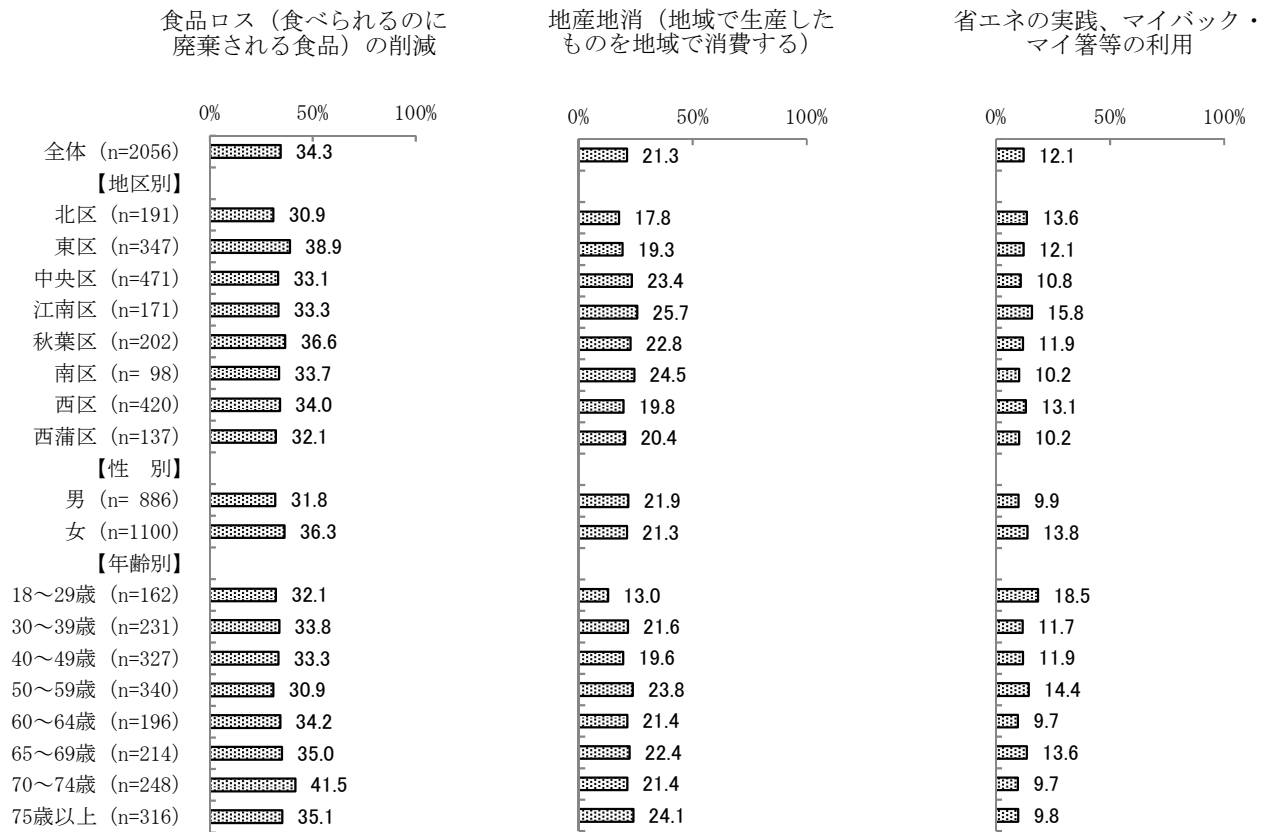
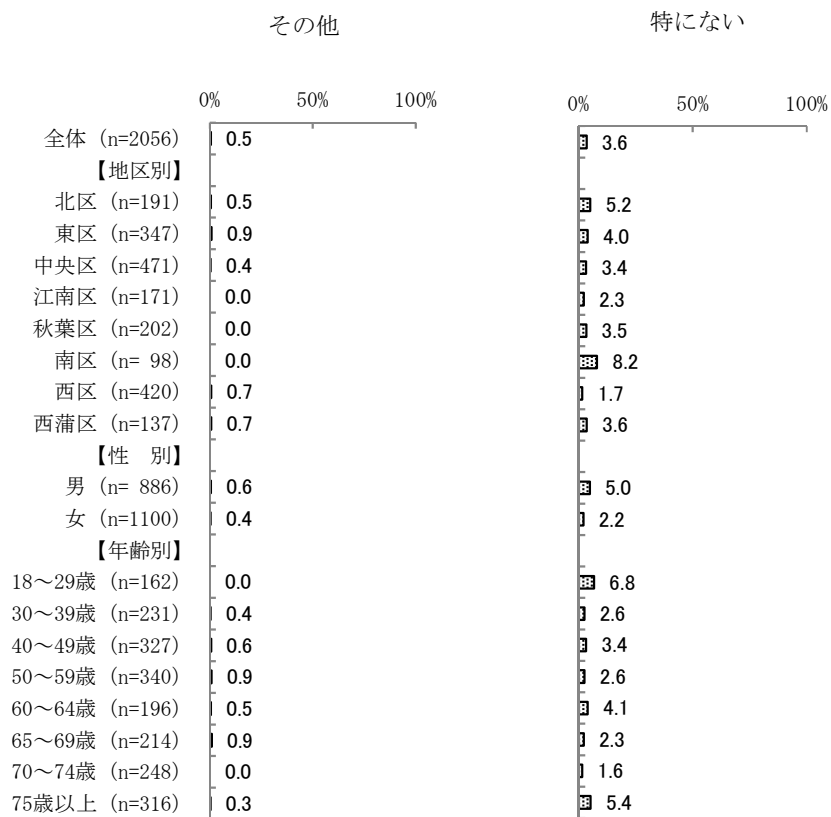


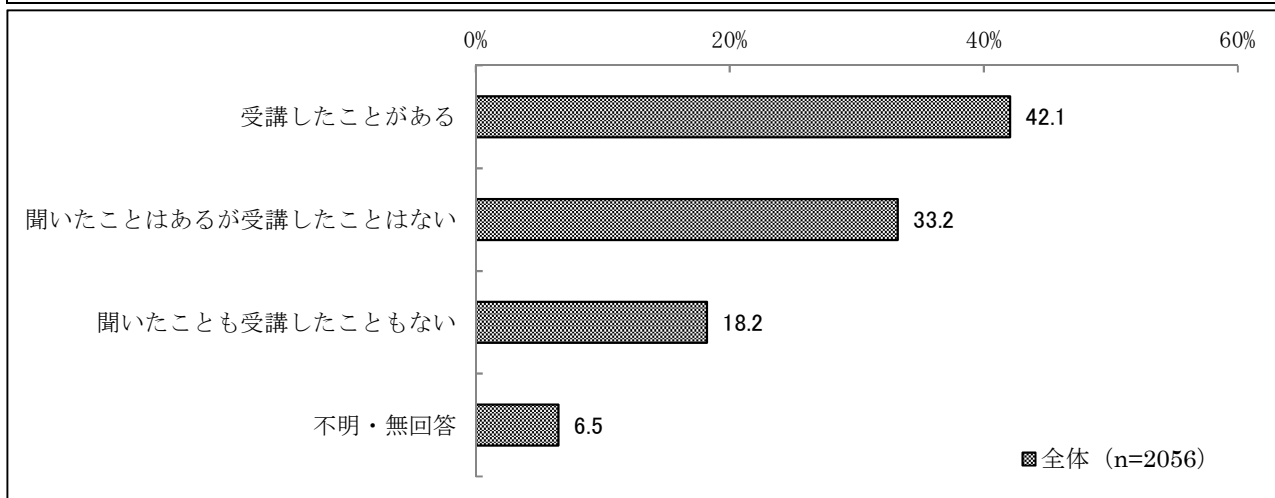
図 2-10 今後心がけたいと思う消費行動（地区別/性別/年齢別） 2/2



### 3. 応急手当普及啓発の現況について

#### (1) 応急手当講習会の受講経験

問13 消防局では「応急手当講習会※」を開催しています。あなたは、「応急手当講習会」について聞いたり受講したりした経験がありますか。(〇は1つだけ)  
※…心肺蘇生やAEDの取り扱いなどの普及啓発を目的とした事業



— 「受講したことがある」が約4割 —

#### 【全体結果】

「受講したことがある」(42.1%)が約4割となり、割合が最も高い。「聞いたことはあるが受講したことはない」(33.2%)は3割強、「聞いたことも受講したこともない」(18.2%)は約2割となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図3-1参照)

##### ① 地区別

中央区を除くすべての地区で「受講したことがある」が4割を超えている。

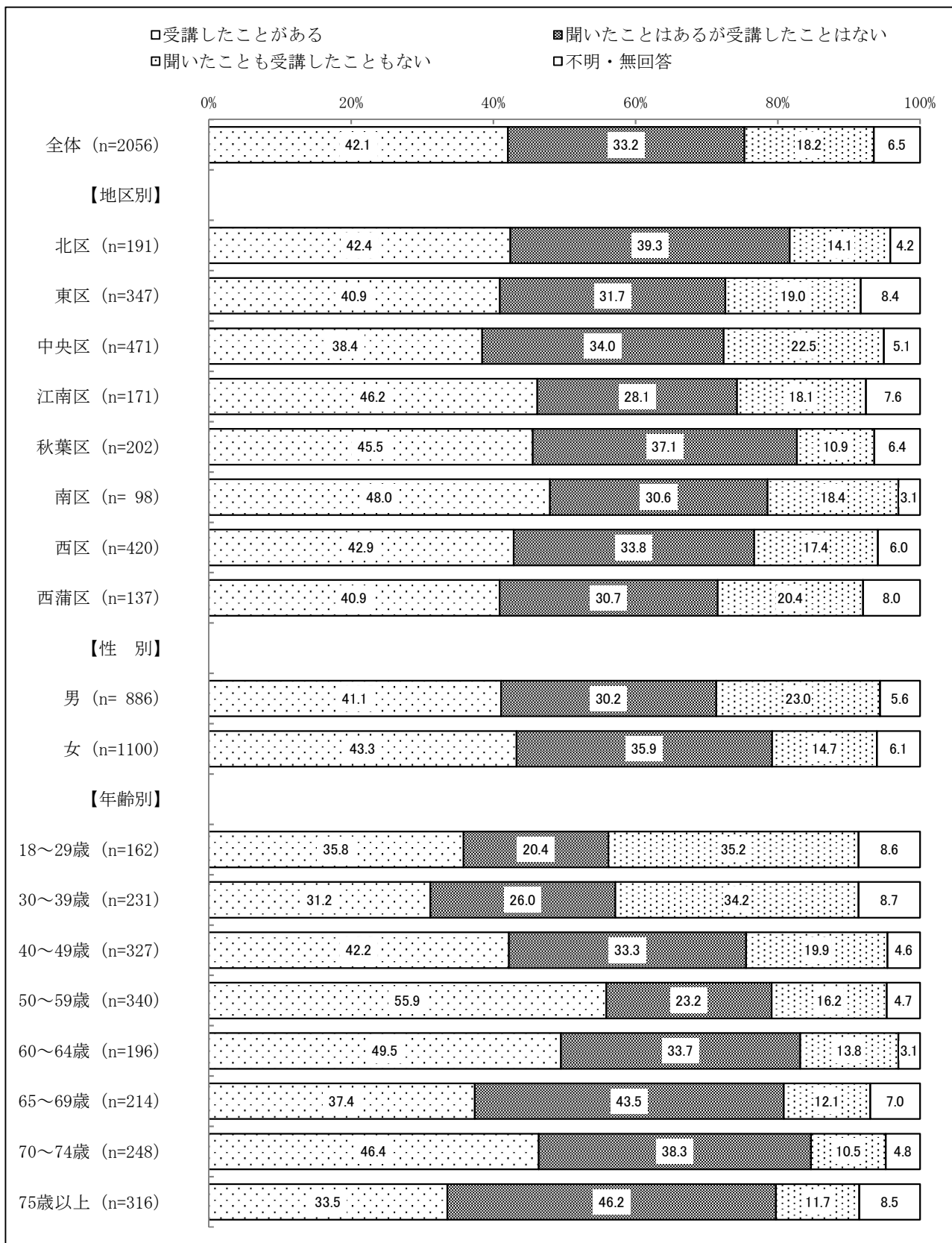
##### ② 性別

「受講したことがある」と回答した割合は、男性(41.1%)と比較して女性(43.3%)でやや高い。

##### ③ 年齢別

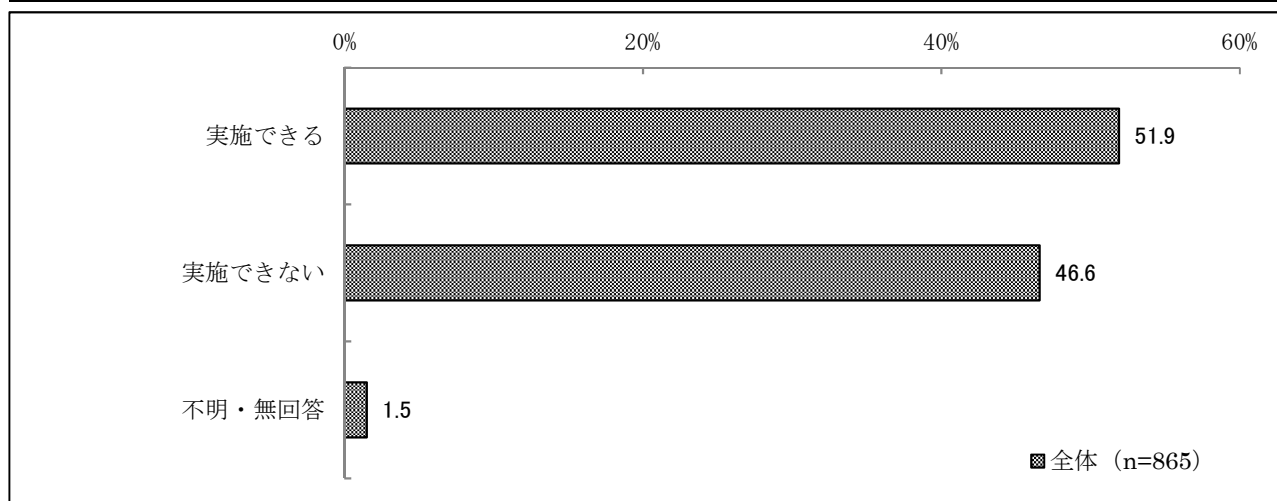
「受講したことがある」と回答した割合は、50～59歳(55.9%)で最も高く、5割を超えた。「聞いたことも受講したこともない」の割合は、18～39歳の若い年代で高く、3割以上となった。

図 3-1 応急手当講習会の受講経験（地区別/性別/年齢別）



## (2) 応急手当の実施可否

問14 上記問13で、「1. 受講したことがある」と回答した方へ質問です。あなたは目前で倒れた人がある場合、応急手当を実施できますか。(○は1つだけ)



— 「実施できる」が約5割 —

### 【全体結果】

「実施できる」(51.9%)が約5割、「実施できない」(46.6%)が4割半ばとなった。

### 【属性別結果】(次ページ図3-2参照)

#### ① 地区別

「実施できる」と回答した割合は、中央区(59.1%)、東区(57.7%)で高い。

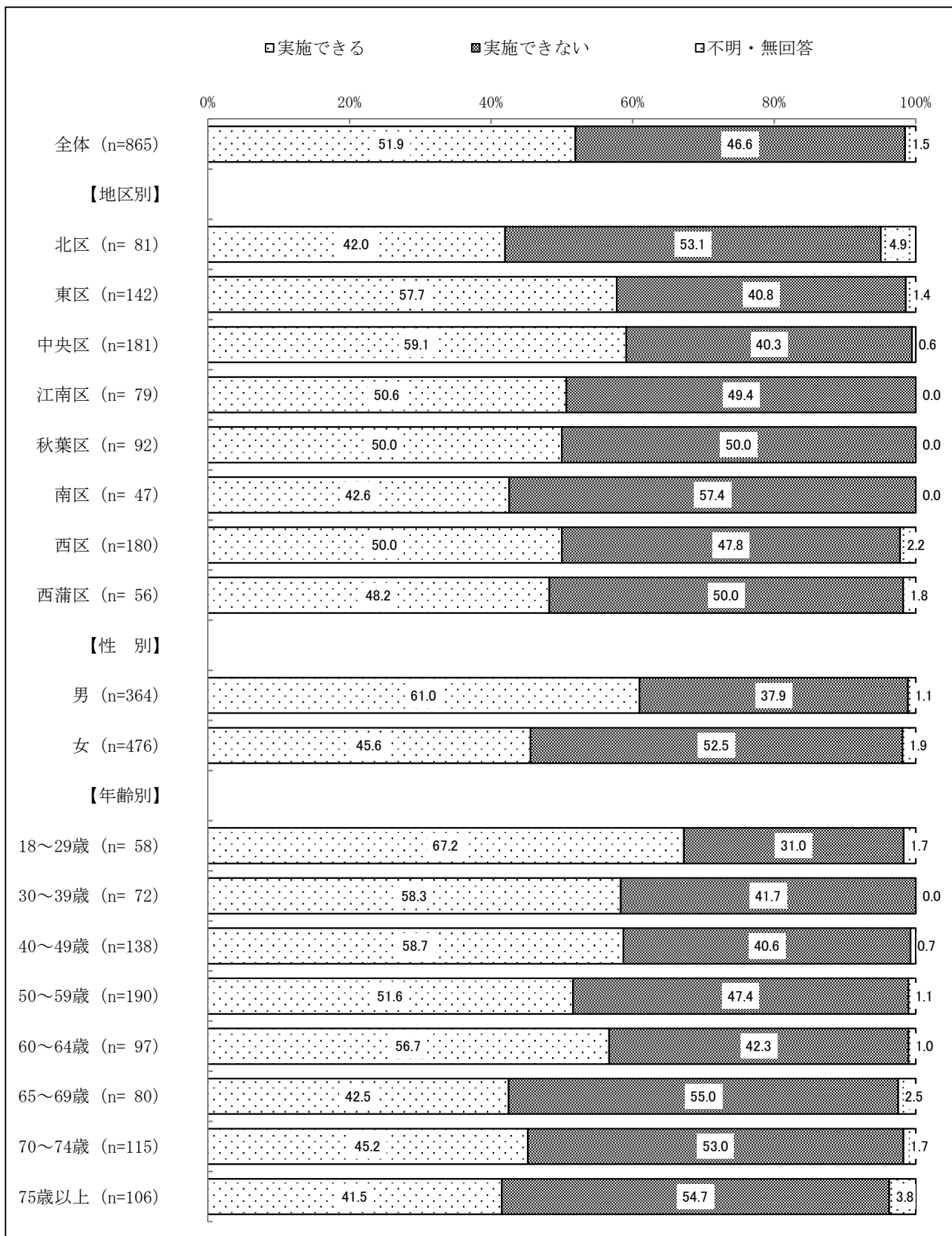
#### ② 性別

「実施できる」と回答した割合は、女性(45.6%)と比較して男性(61.0%)で高い。

#### ③ 年齢別

「実施できる」と回答した割合は、18~29歳(67.2%)で最も高く、7割弱となった。

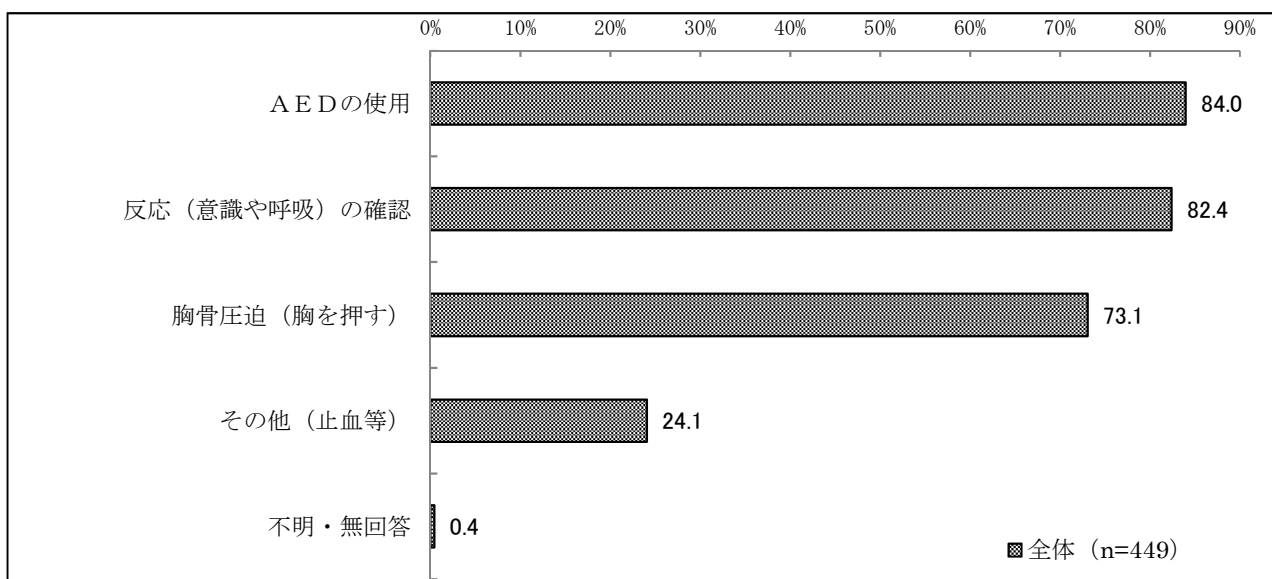
図 3-2 応急手当の実施可否（地区別/性別/年齢別）





### (3) 実施できる応急手当

問15 上記問14で「1. 実施できる」と答えた方に質問です。  
実施できる応急手当を選んでください。(〇はいくつでも)



— 8割以上が「AEDの使用」、「反応(意識や呼吸)の確認」を実施できると回答 —

#### 【全体結果】

「AEDの使用」(84.0%)、「反応(意識や呼吸)の確認」(82.4%)の割合が高く、8割を超えた。「胸骨圧迫(胸を押す)」(73.1%)は7割強となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図3-3参照)

##### ① 地区別

「AEDの使用」については、南区、西蒲区を除くすべての地区で8割を超え、特に北区(91.2%)、江南区(90.0%)で割合が高く、約9割となった。「反応(意識や呼吸)の確認」については、南区(90.0%)、西蒲区(85.2%)で割合が高い。

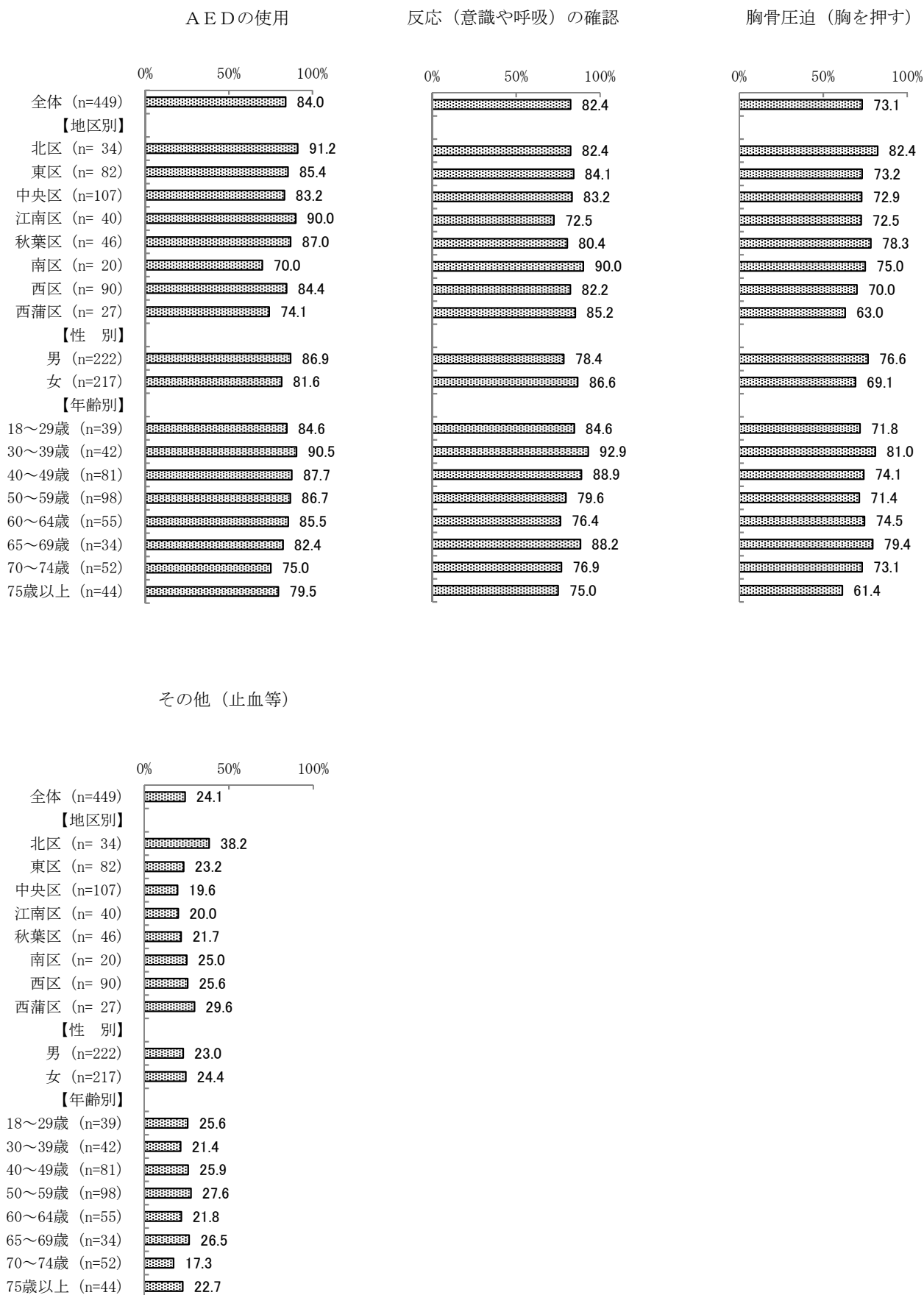
##### ② 性別

「AEDの使用」、「胸骨圧迫(胸を押す)」については、女性(各81.6%、69.1%)と比較して、男性(各86.9%、76.6%)で割合が高い。「反応(意識や呼吸)の確認」については、男性(78.4%)と比較して、女性(86.6%)で割合が高い。

##### ③ 年齢別

「AEDの使用」、「反応(意識や呼吸)の確認」については、30~39歳(各90.5%、92.9%)で割合が高く、9割を超えた。

図 3-3 実施できる応急手当（地区別/性別/年齢別）



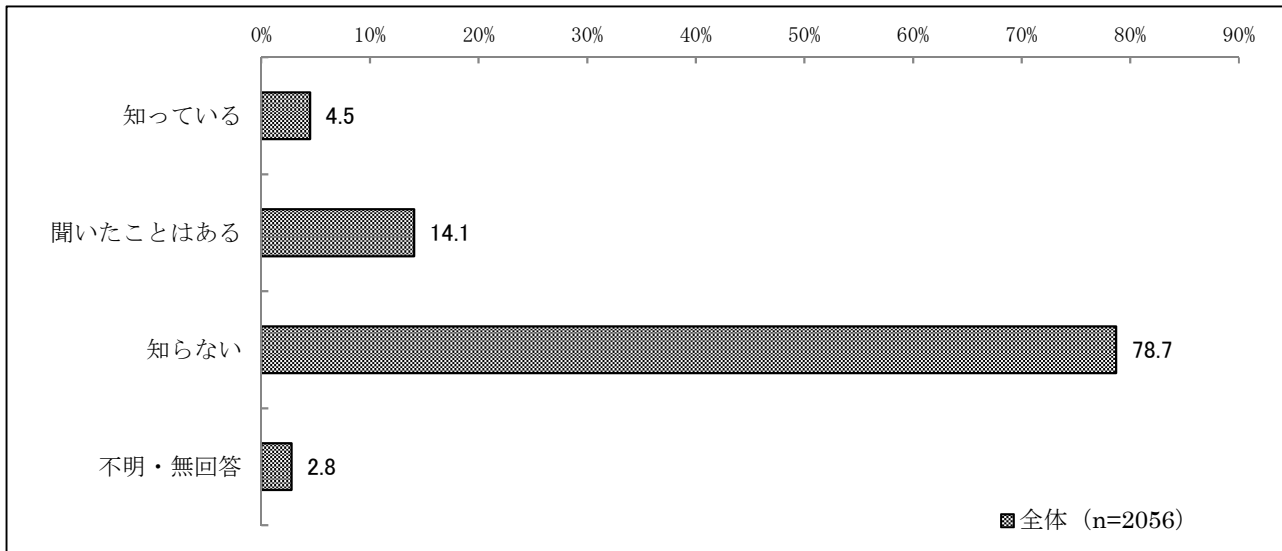
## 4. 自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて

### (1) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）・人生会議の認知度

問16 あなたはアドバンス・ケア・プランニング（ACP）※1や人生会議※2について知っていますか。（○は1つだけ）

※1…あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うこと

※2…国が決定したアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の愛称



— 「知っている」は1割未満 —

#### 【全体結果】

「知っている」(4.5%)は1割に満たなかった。「知らない」(78.7%)が約8割を占め、「聞いたことはある」(14.1%)が1割半ばとなった。

#### 【属性別結果】(次ページ図4-1参照)

##### ① 地区別

いずれの地域でも「知っている」は1割に満たなかった。

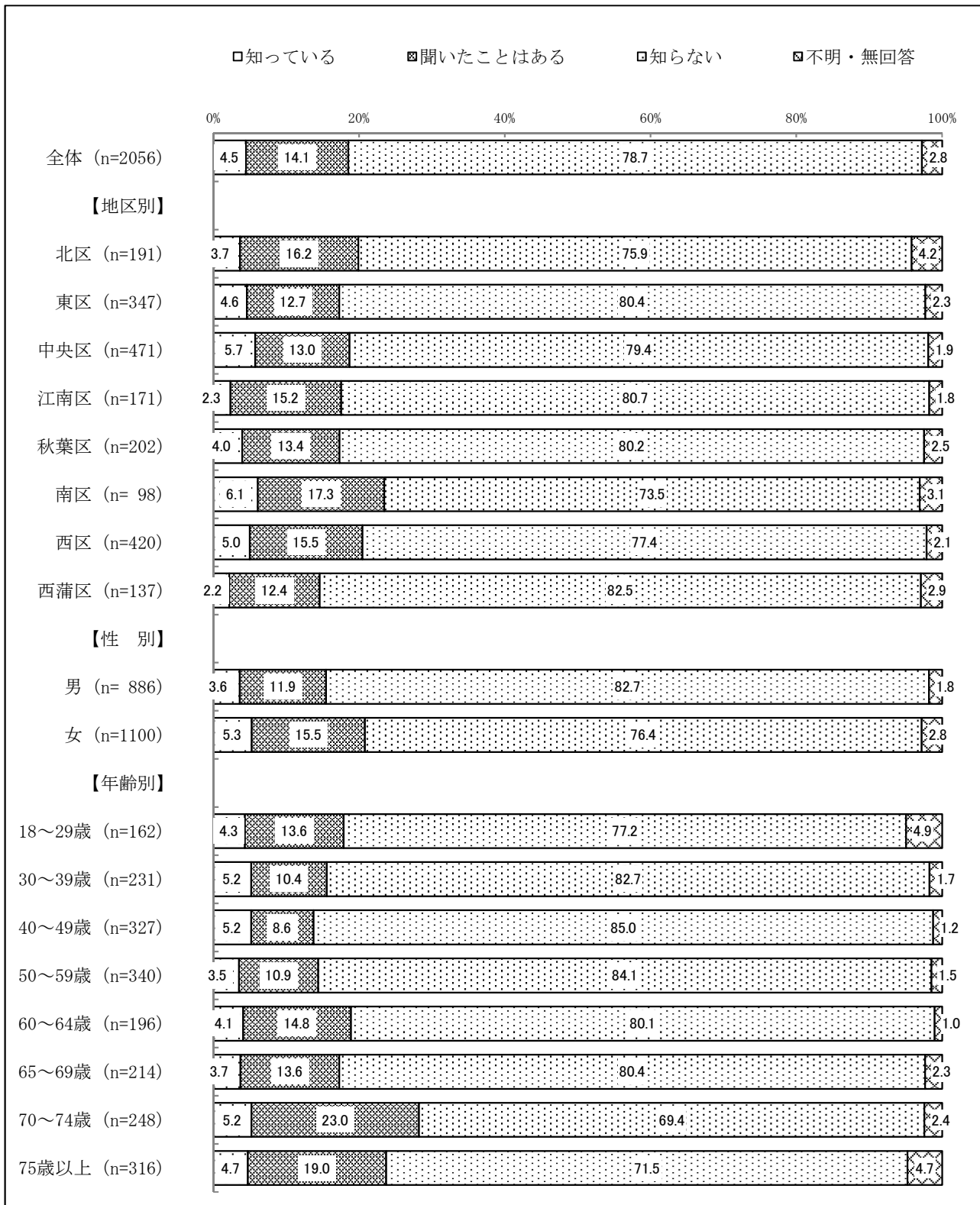
##### ② 性別

「知っている」、「聞いたことはある」については、男性(各3.6%、11.9%)と比較して、女性(各5.3%、15.5%)で割合がやや高い。

##### ③ 年齢別

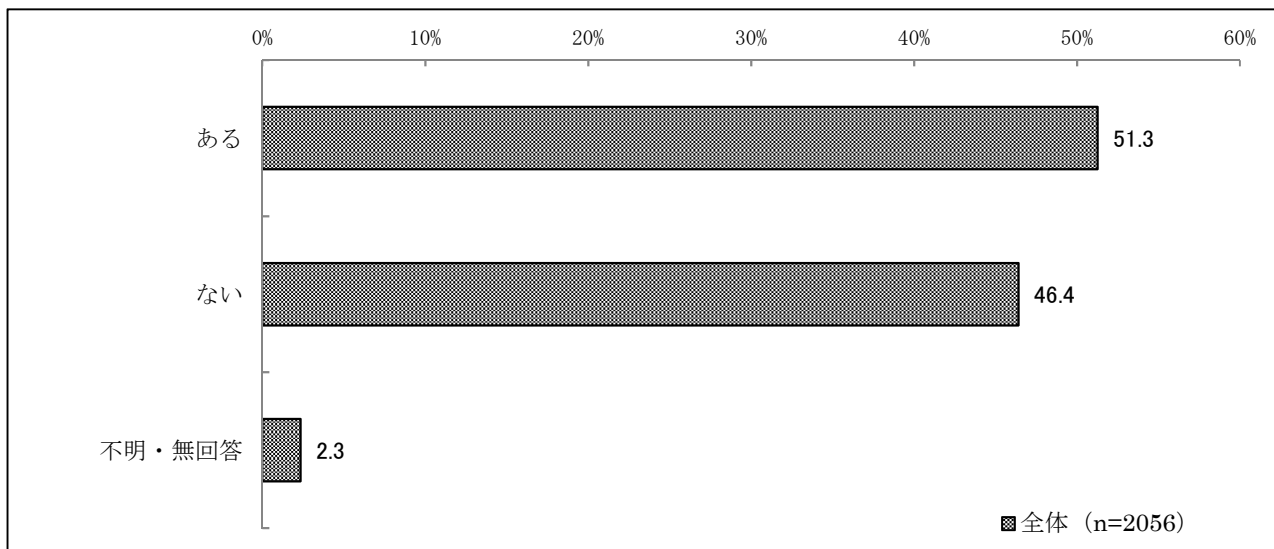
すべての年代で「知っている」は1割に満たなかった。「聞いたことはある」については、70～74歳(23.0%)で2割を超え、他の年代と比較して割合が高い。

図 4-1 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）・人生会議の認知度（地区別/性別/年齢別）



## (2) 人生の最終段階における医療・ケアについて

問17 あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて、これまで考えたことはありますか。  
(○は1つだけ)



— 「ある」は約5割 —

### 【全体結果】

「ある」(51.3%)は約5割、「ない」(46.4%)は4割半ばとなった。

### 【属性別結果】(次ページ図4-2参照)

#### ① 地区別

西区で「ある」(56.4%)の割合がやや高く、西蒲区で「ない」(54.0%)の割合がやや高い。

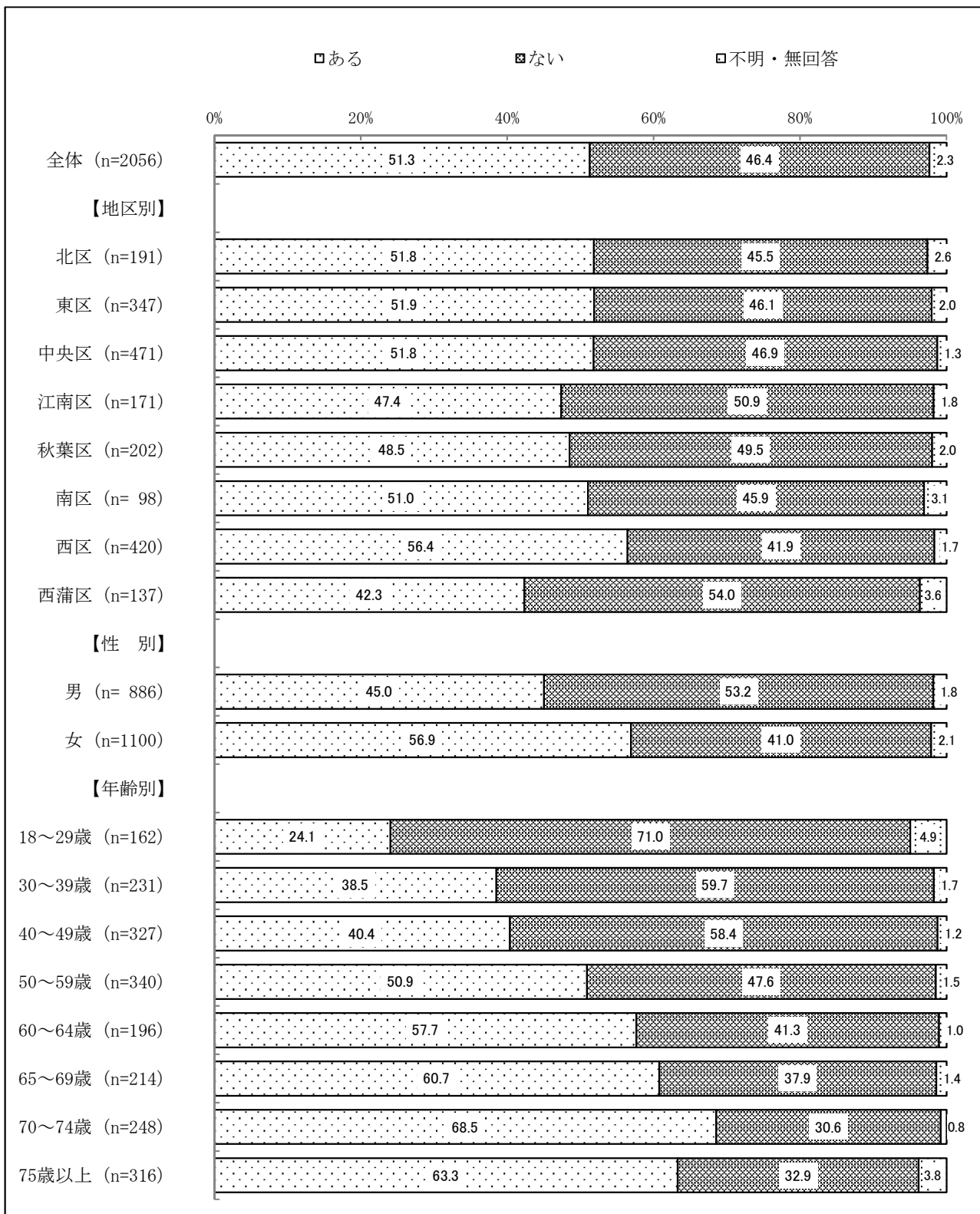
#### ② 性別

「ある」と回答した割合は、男性(45.0%)と比較して、女性(56.9%)で高い。

#### ③ 年齢別

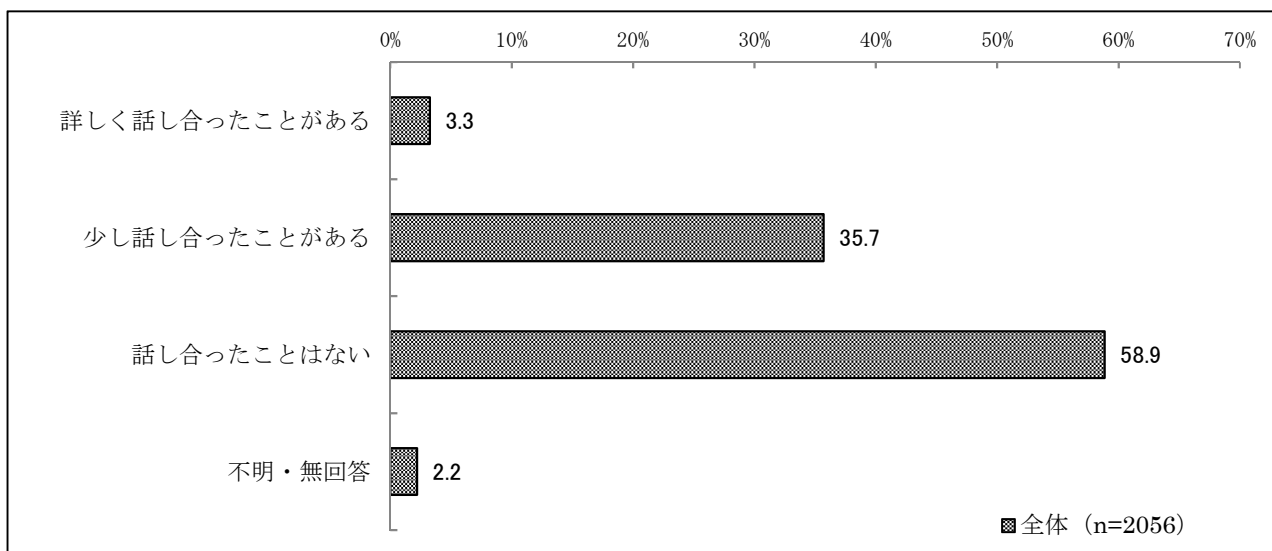
「ある」と回答した割合は、50歳以上で5割を超え、年代が高いほど割合も高い傾向にある。「ない」と回答した割合は、18~29歳(71.0%)で最も高く、約7割を占めた。

図 4-2 人生の最終段階における医療・ケアについて（地区別/性別/年齢別）



### (3) 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合いの有無

問18 あなたはご自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、ご家庭や友人・知人、医療介護関係者とどれくらい話し合ったことがありますか。(〇は1つだけ)



— 『話し合ったことがある』は約4割 —

#### 【全体結果】

「詳しく話し合ったことがある」(3.3%)、「少し話し合ったことがある」(35.7%)を合わせた『話し合ったことがある』(39.0%)は約4割となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図4-3参照)

##### ① 地区別

中央区、江南区、西蒲区を除くすべての地区で『話し合ったことがある』は、4割を超えた。

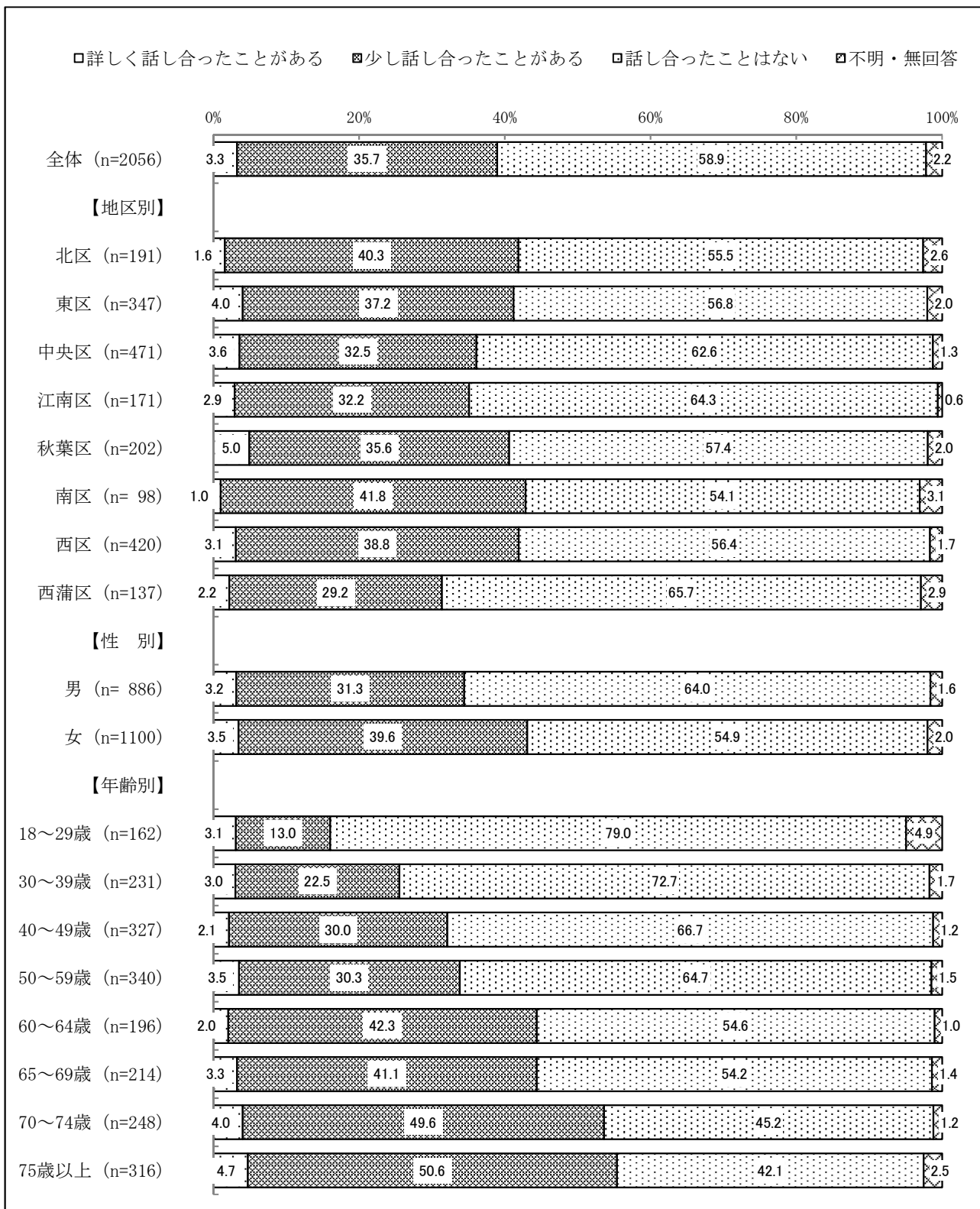
##### ② 性別

『話し合ったことがある』については、男性(34.4%)と比較して、女性(43.1%)で割合が高い。

##### ③ 年齢別

『話し合ったことがある』については、70歳以上で5割を超え、年代が高いほど割合も高い。18～29歳(16.0%)で最も低く、2割に満たなかった。

図 4-3 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合いの有無（地区別/性別/年齢別）

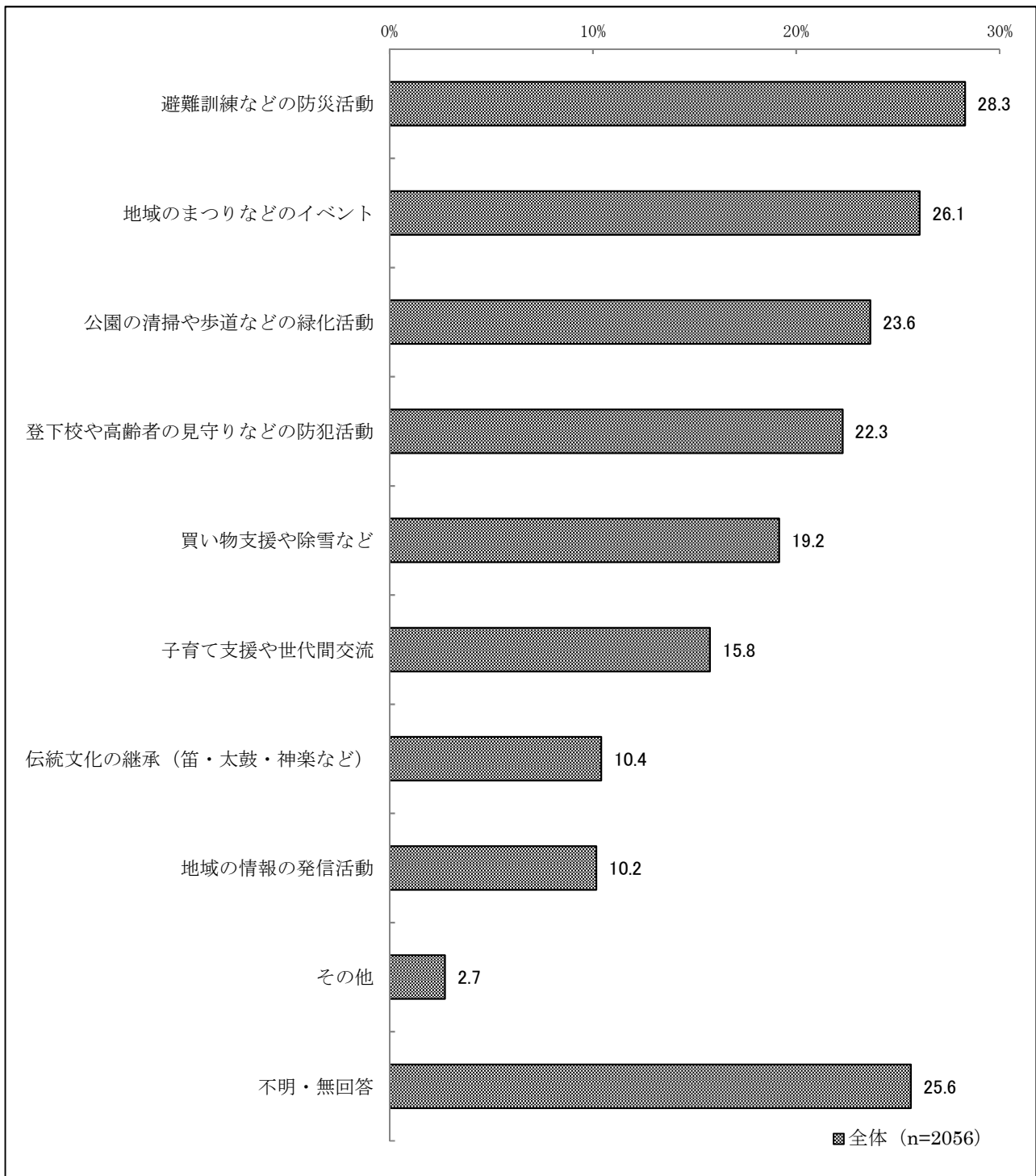




## 5. 地域活動の支援について

### (1) 参加したいと思う地域活動

問19 あなたにとって魅力を感じ、参加したいと思う活動は何ですか。(〇はいくつでも)  
※参加したいと思う活動がない場合は、この設問および問20の回答は不要です。



## — 「避難訓練などの防災活動」が約3割 —

### 【全体結果】

「避難訓練などの防災活動」(28.3%)の割合が最も高く、約3割となった。次いで、「地域のまつりなどのイベント」(26.1%)、「公園の清掃や歩道などの緑化活動」(23.6%)、「登下校や高齢者の見守りなどの防犯活動」(22.3%)が2割台、「買い物支援や除雪など」(19.2%)、「子育て支援や世代間交流」(15.8%)、「伝統文化の継承(笛・太鼓・神楽など)」(10.4%)、「地域の情報の発信活動」(10.2%)が1割台で続く。

### 【属性別結果】(次ページ図5-1参照)

#### ① 地区別

「避難訓練などの防災活動」については、西蒲区(33.6%)、北区(33.5%)、中央区(31.4%)で割合が高く、3割を超えた。「地域のまつりなどのイベント」については、南区(34.7%)、西蒲区(31.4%)で割合が高く、3割を超えた。

#### ② 性別

性別で5%以上差がみられたのは、「公園の清掃や歩道などの緑化活動」で、女性(20.5%)と比較して男性(27.3%)で割合が高く、「子育て支援や世代間交流」で、男性(12.1%)と比較して女性(18.8%)で割合が高かった。

#### ③ 年齢別

「地域のまつりなどのイベント」については、18~29歳(49.4%)で割合が高く、約5割となった。若い年代で割合が高くなっている。

図 5-1 参加したいと思う地域活動（地区別/性別/年齢別） 1/2

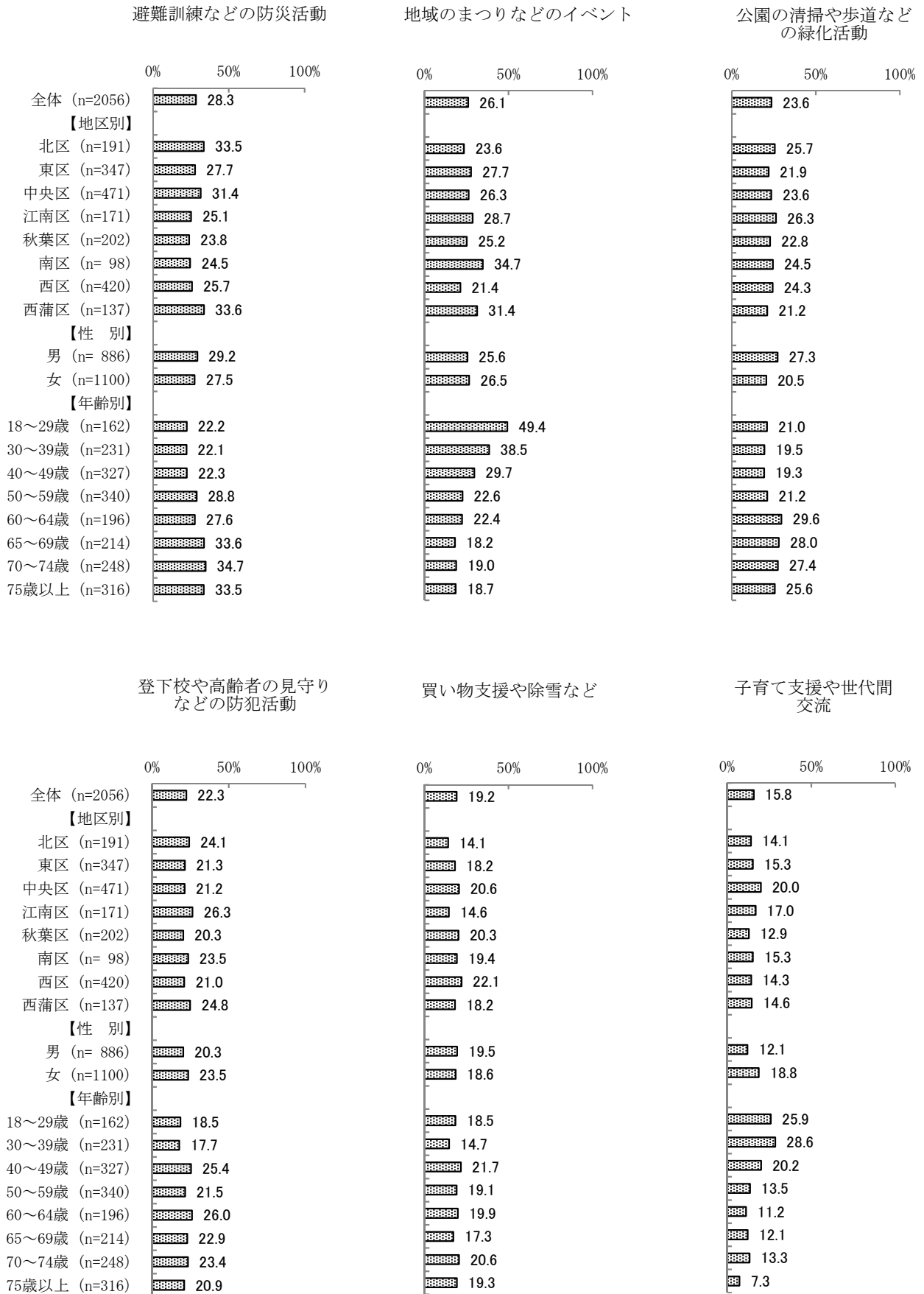
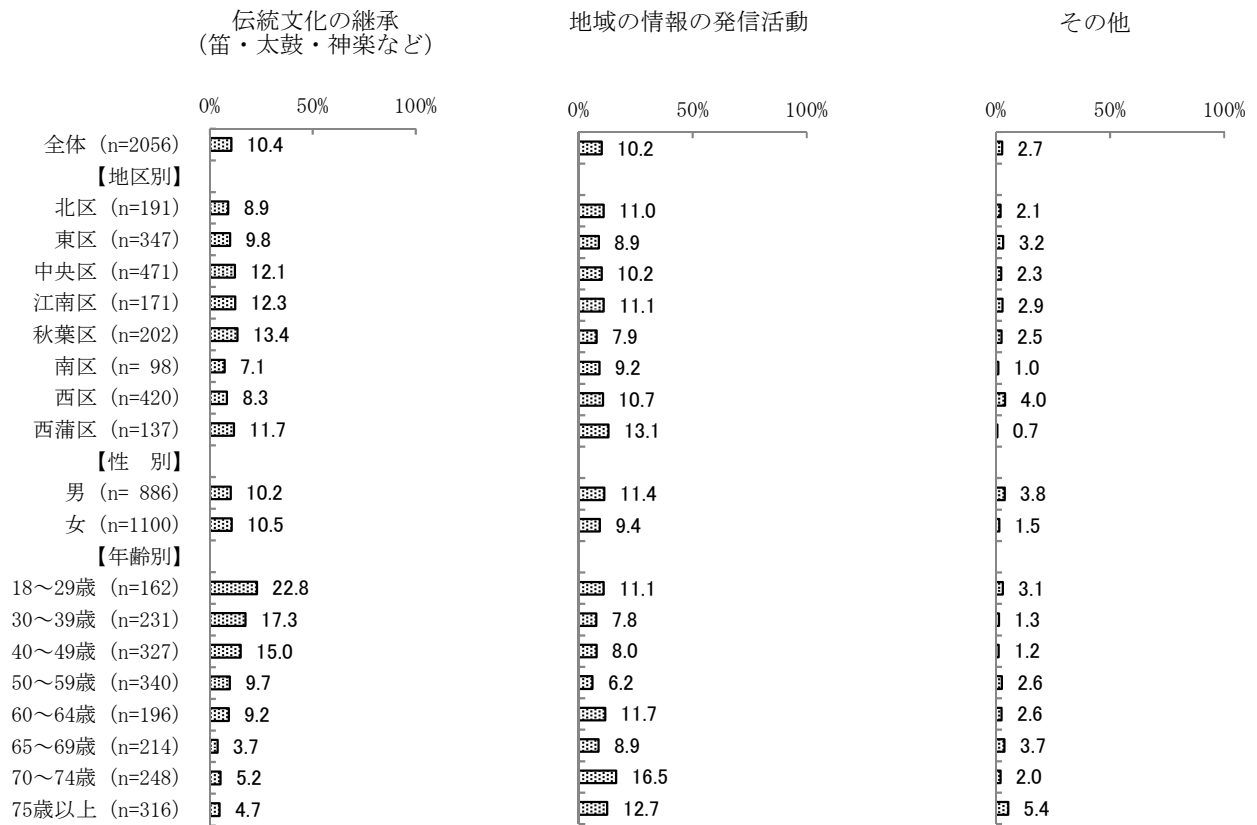
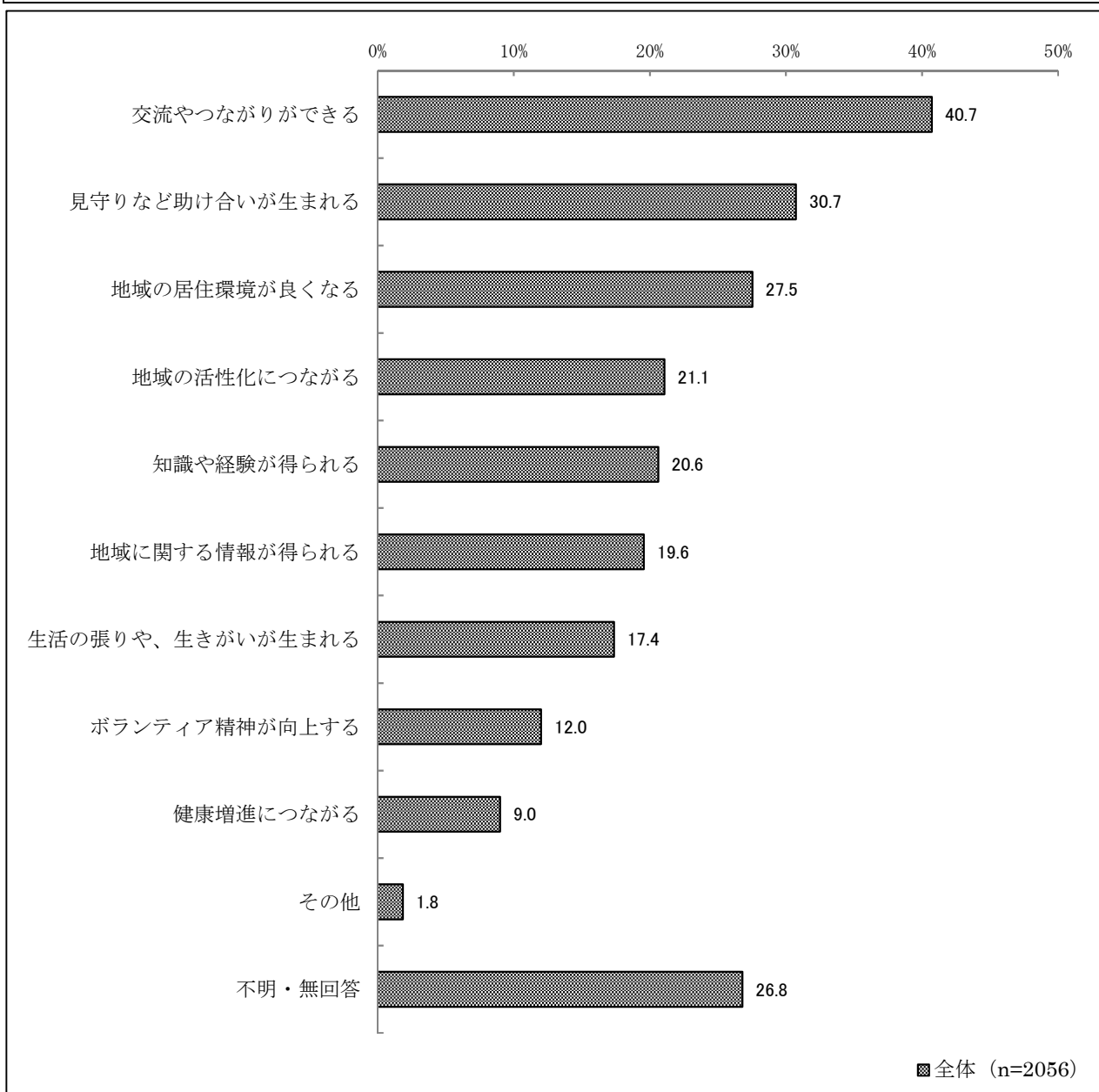


図 5-1 参加したいと思う地域活動（地区別/性別/年齢別） 2/2



## (2) 地域活動から得られるものや魅力

問20 あなたにとって、上記問19の活動から得られるものや魅力は何だと思いますか。  
(〇はいくつでも)



— 「交流やつながりができる」が約4割 —

### 【全体結果】

「交流やつながりができる」(40.7%)の割合が最も高く、約4割となった。次いで、「見守りなど助け合いが生まれる」(30.7%)が3割台、「地域の居住環境が良くなる」(27.5%)、「地域の活性化につながる」(21.1%)、「知識や経験が得られる」(20.6%)が2割台、「地域に関する情報が得られる」(19.6%)、「生活の張りや、生きがい生まれる」(17.4%)、「ボランティア精神が向上する」(12.0%)が1割台で続く。

## 【属性別結果】（次ページ図 5-2 参照）

### ① 地区別

「交流やつながりができる」については、いずれの地区でも割合が最も高く、4割前後となった。特に南区（49.0%）で割合が高く、約5割となった。

### ② 性別

性別で5%以上差がみられたのは、「知識や経験が得られる」で、男性（17.7%）と比較して女性（23.0%）で割合が高かった。

### ③ 年齢別

「交流やつながりができる」については、すべての年代で割合が最も高くなった。「地域の活性化につながる」、「知識や経験が得られる」は、18～29歳（各32.7%、35.8%）で割合が高く、若年層で割合が高い傾向がみられる。

図 5-2 地域活動から得られるものや魅力（地区別/性別/年齢別） 1/2

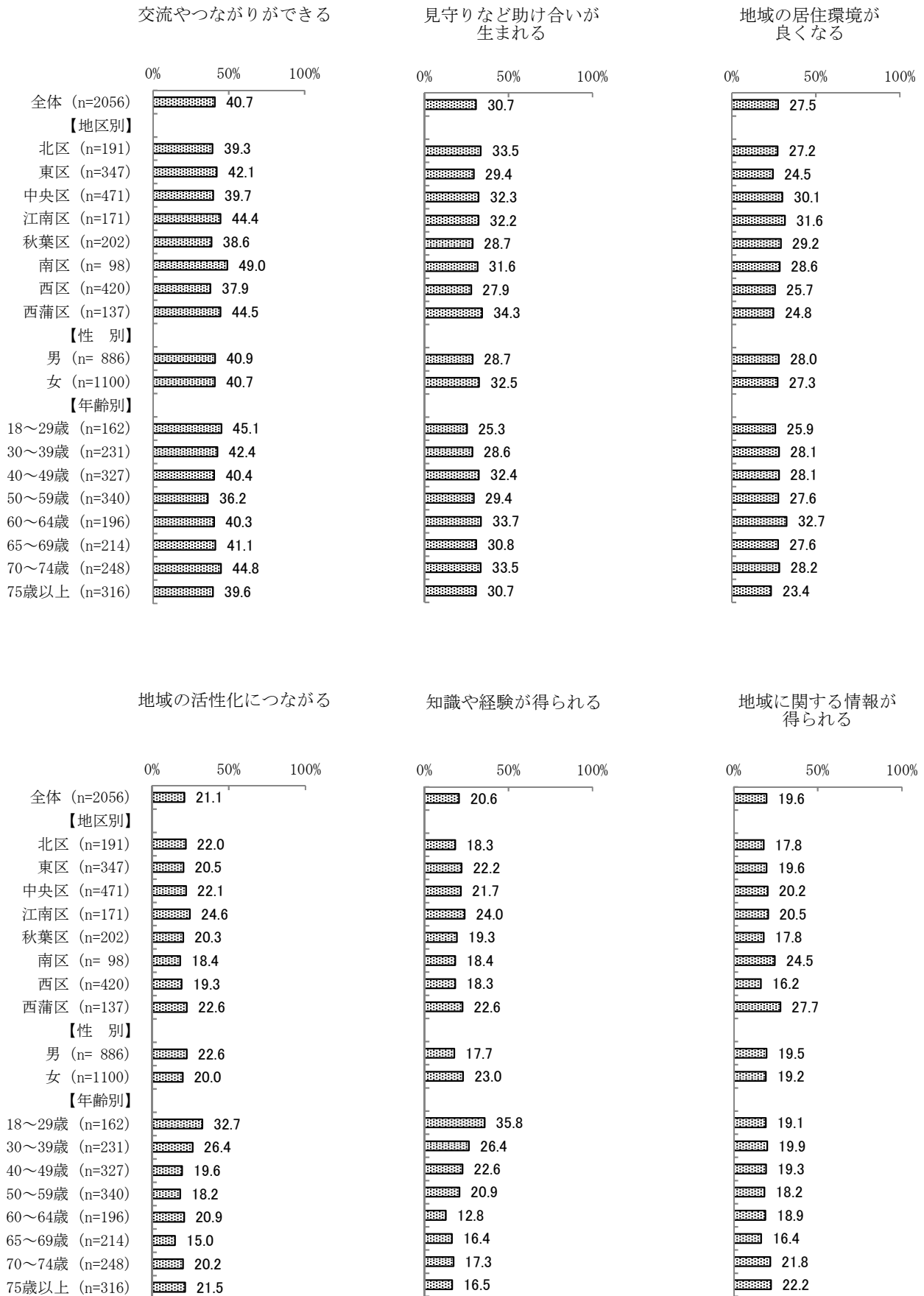
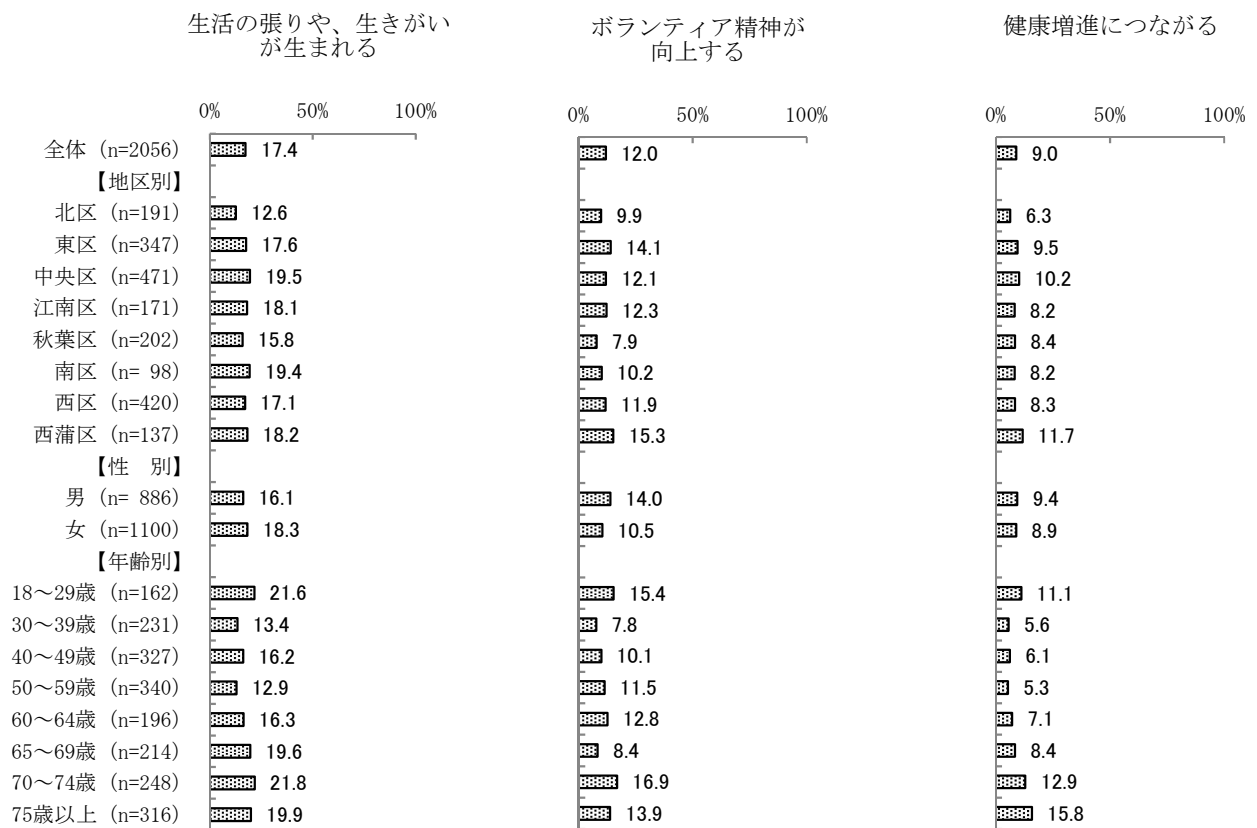
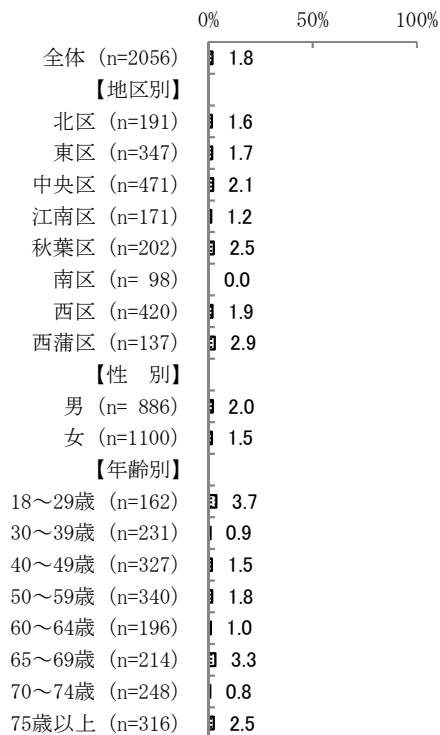


図 5-2 地域活動から得られるものや魅力（地区別/性別/年齢別） 2/2



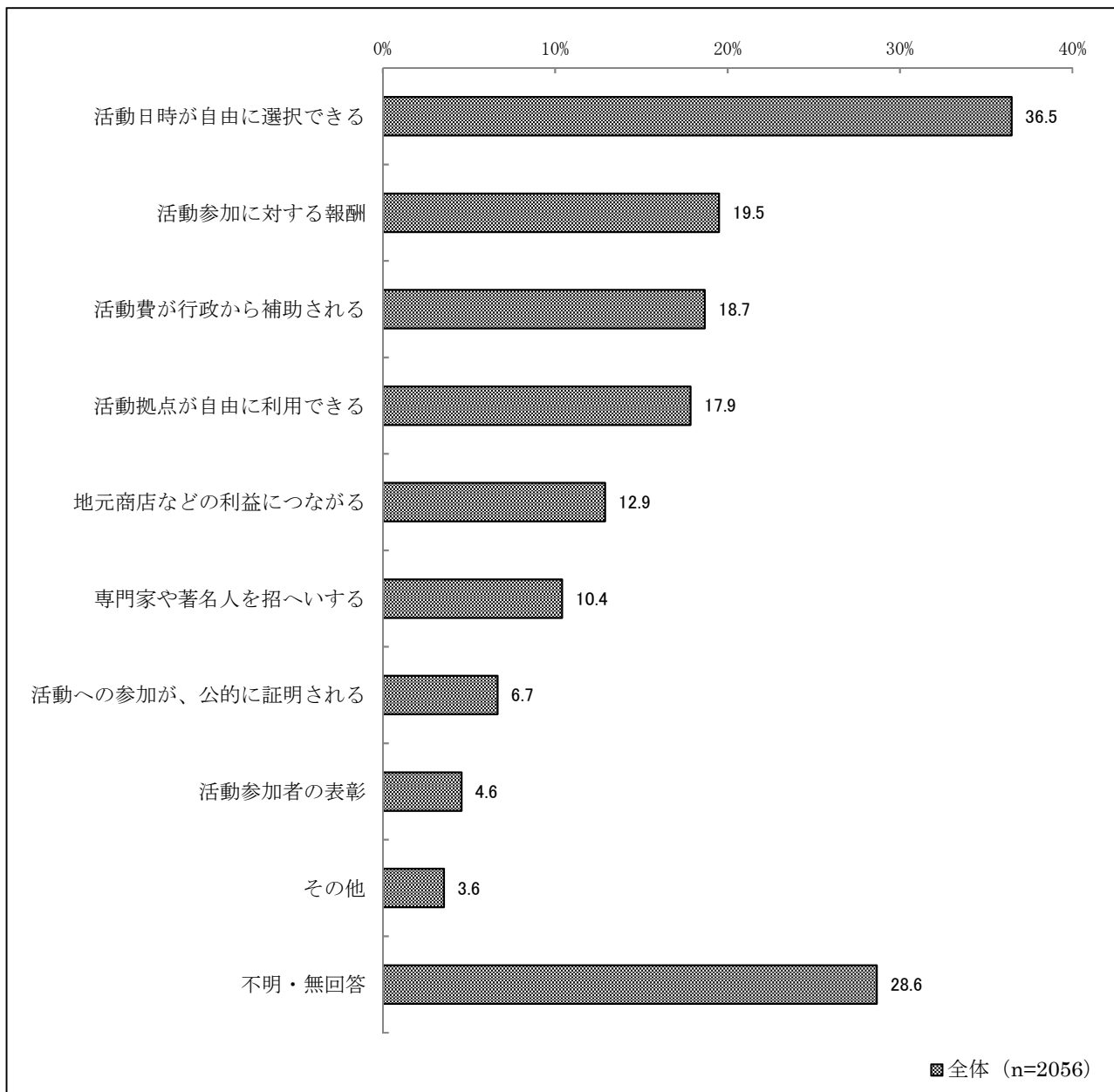
その他





### (3) 魅力を感じない、参加したいと思わない地域活動への参加

問21 あなたにとって、魅力を感じない、参加したいと思わない地域活動がある場合、何があれば参加したいと思えますか。(〇はいくつでも) ※全て魅力を感じている、または参加したいと思っている場合は、この設問の回答は不要です。



— 「活動日時が自由に選択できる」が3割半ば —

#### 【全体結果】

「活動日時が自由に選択できる」(36.5%)の割合が最も高く、3割半ばとなった。次いで、「活動参加に対する報酬」(19.5%)、「活動費が行政から補助される」(18.7%)、「活動拠点が自由に利用できる」(17.9%)、「地元商店などの利益につながる」(12.9%)、「専門家や著名人を招へいする」(10.4%)、が1割台で続き、以下、1割に満たなかった。

## 【属性別結果】（次ページ図 5-3 参照）

### ① 地区別

「活動日時が自由に選択できる」については、いずれの地区でも割合が最も高くなった。他の地区と比べて、南区（24.5%）、西蒲区（29.2%）では割合が低く、3割に満たなかった。

### ② 性別

性別で5%以上差がみられたのは、「活動費が行政から補助される」で、女性（15.8%）と比較して男性（22.6%）で割合が高かった。

### ③ 年齢別

「活動日時が自由に選択できる」については、18～29歳を除くすべての年代で割合が最も高くなった。「活動参加に対する報酬」については、18～29歳（38.3%）で割合が最も高く、若い年代ほど割合が高い傾向がみられる。

図 5-3 魅力を感じない、参加したいと思わない地域活動への参加（地区別/性別/年齢別） 1/2

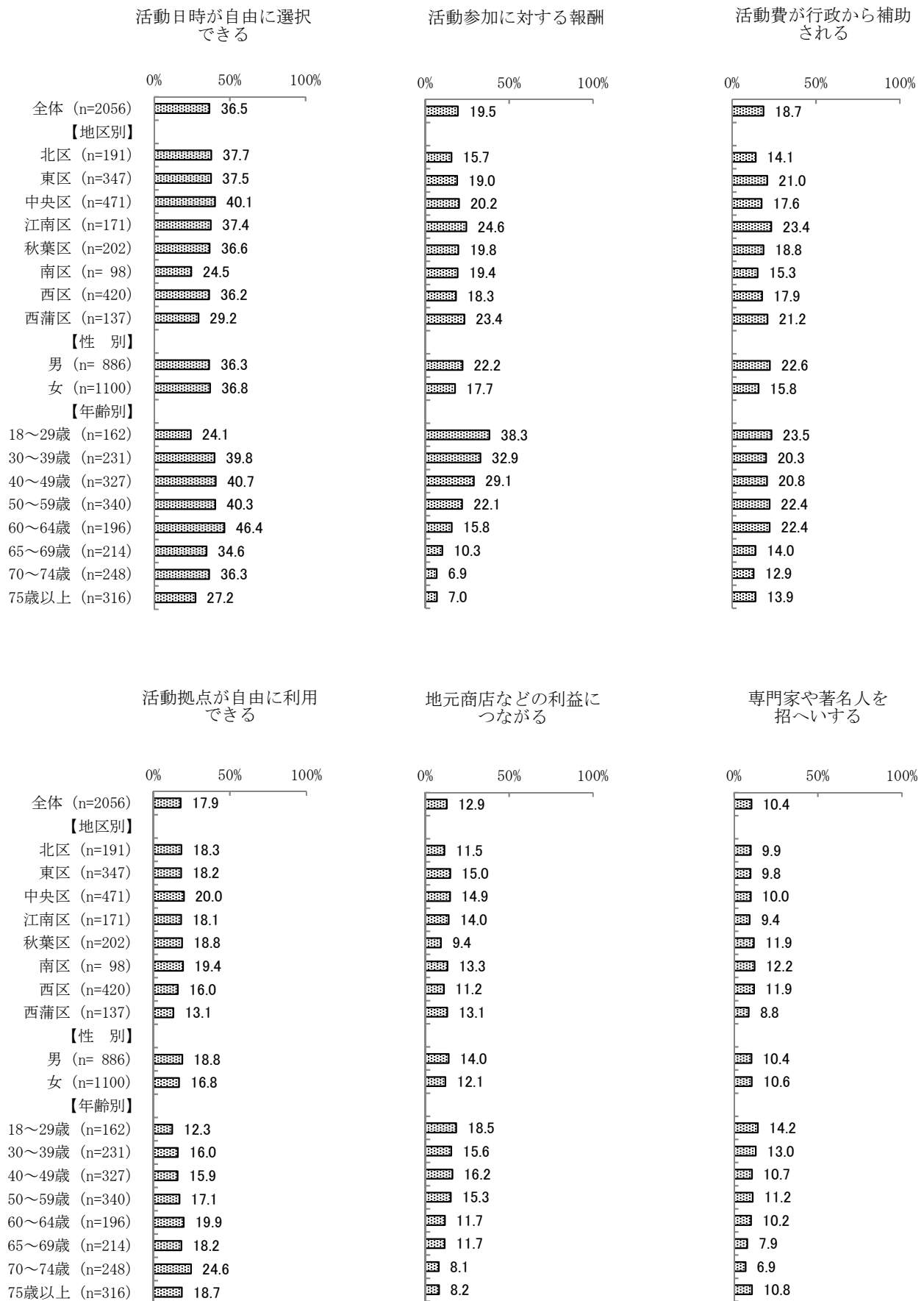
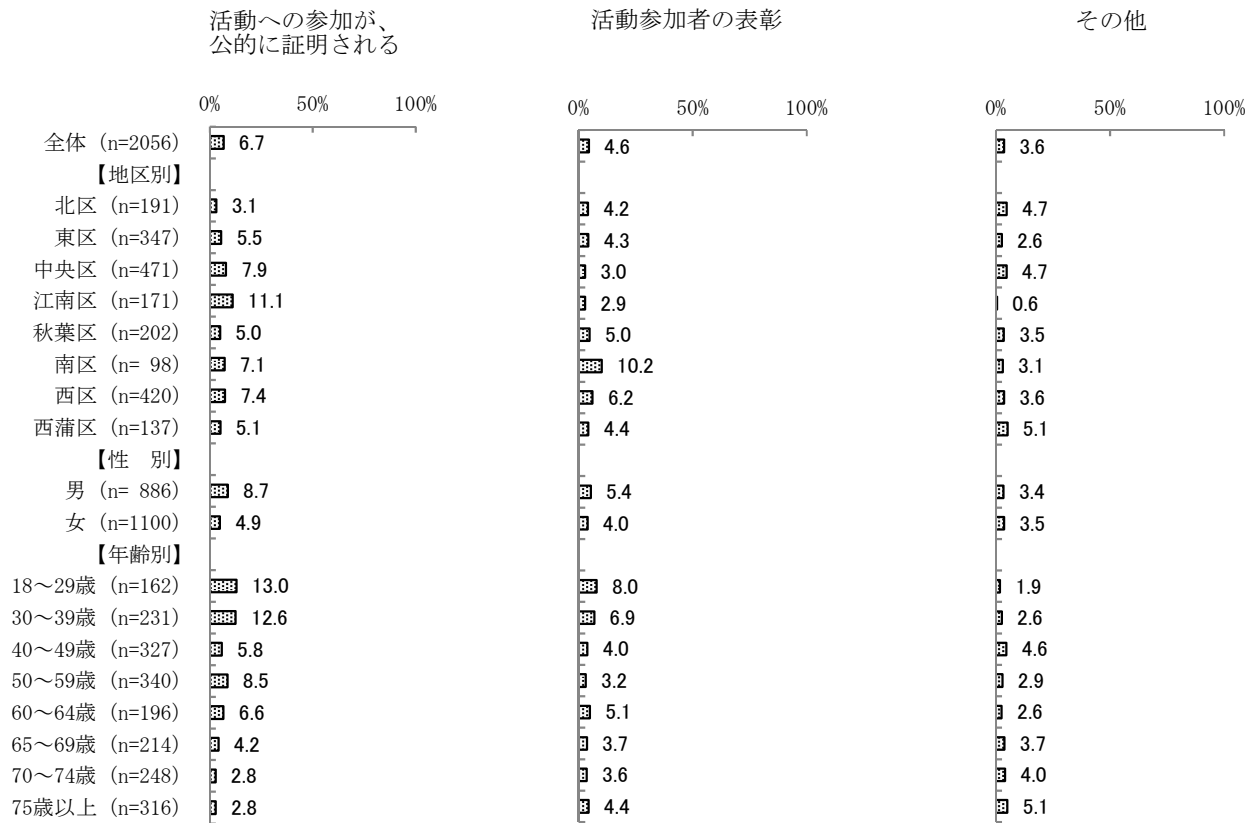
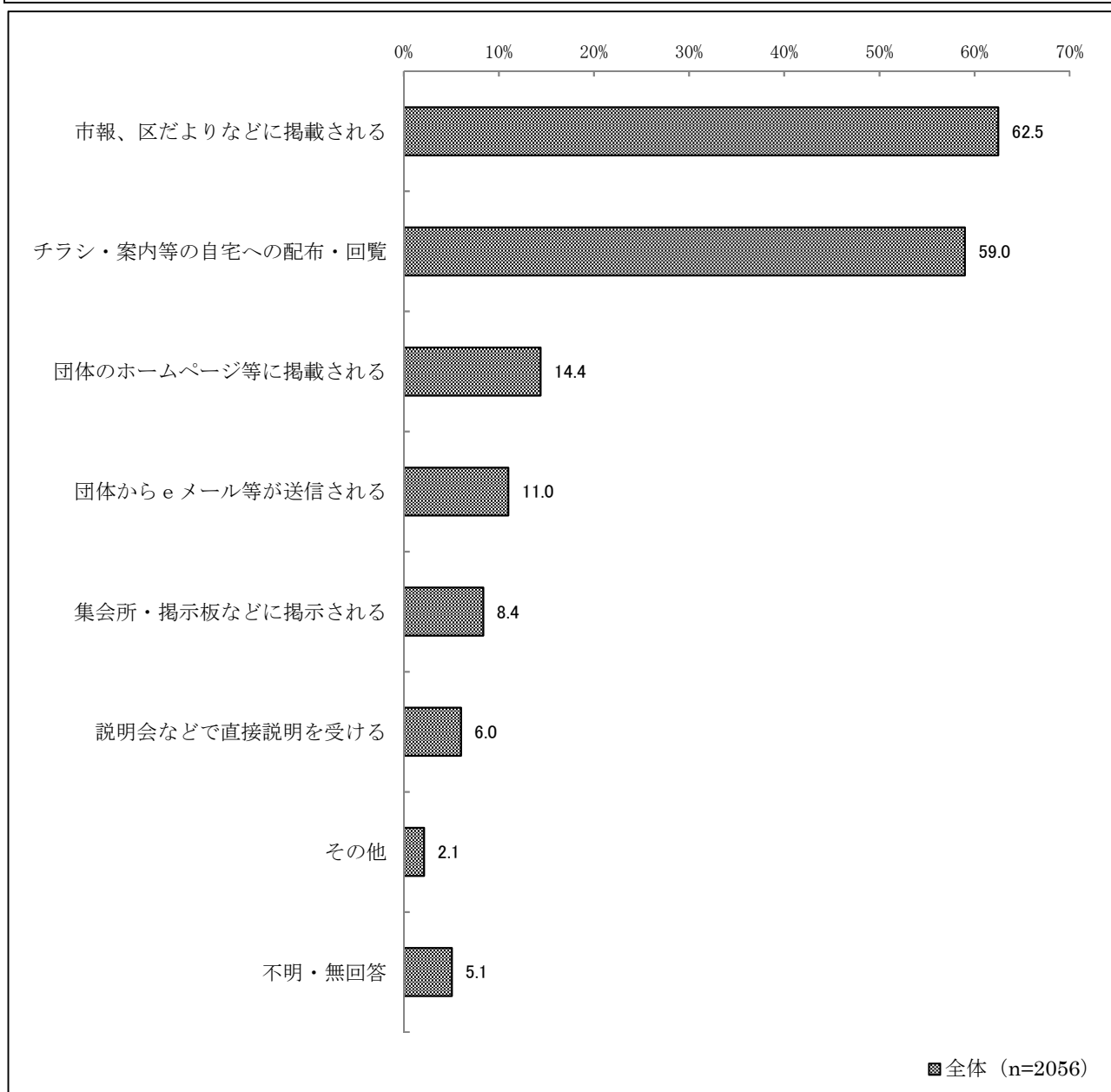


図 5-3 魅力を感じない、参加したいと思わない地域活動への参加（地区別/性別/年齢別） 2/2



#### (4) 地域活動情報を取得しやすい方法

問22 あなたが地域の団体の情報や、活動に参加するための情報を取得しやすい方法は何ですか。(〇はいくつでも)



— 「市報、区だよりなどに掲載される」が約6割 —

#### 【全体結果】

「市報、区だよりなどに掲載される」(62.5%)の割合が最も高く、次いで「チラシ・案内等の自宅への配布・回覧」(59.0%)が約6割となった。「団体のホームページ等に掲載される」(14.4%)、「団体からeメール等が送信される」(11.0%)が1割台で続き、以下、1割に満たなかった。

## 【属性別結果】（次ページ図 5-4 参照）

### ① 地区別

「市報、区だよりなどに掲載される」については、北区を除くすべての地区で割合が最も高くなった。北区では、「チラシ・案内等の自宅への配布・回覧」（65.4%）の割合が最も高い。

### ② 性別

性別で5%以上差がみられたのは、「市報、区だよりなどに掲載される」で、男性（58.5%）と比較して女性（67.0%）で割合が高かった。

### ③ 年齢別

50歳以上では、「市報、区だよりなどに掲載される」の割合が最も高く、6割を超えた。18～29歳では、「チラシ・案内等の自宅への配布」の割合が最も高い。「団体のホームページ等に掲載される」については、若い年代ほど割合が高く、18～29歳（30.2%）で約3割となった。

図 5-4 地域活動情報を取得しやすい方法（地区別/性別/年齢別） 1/2

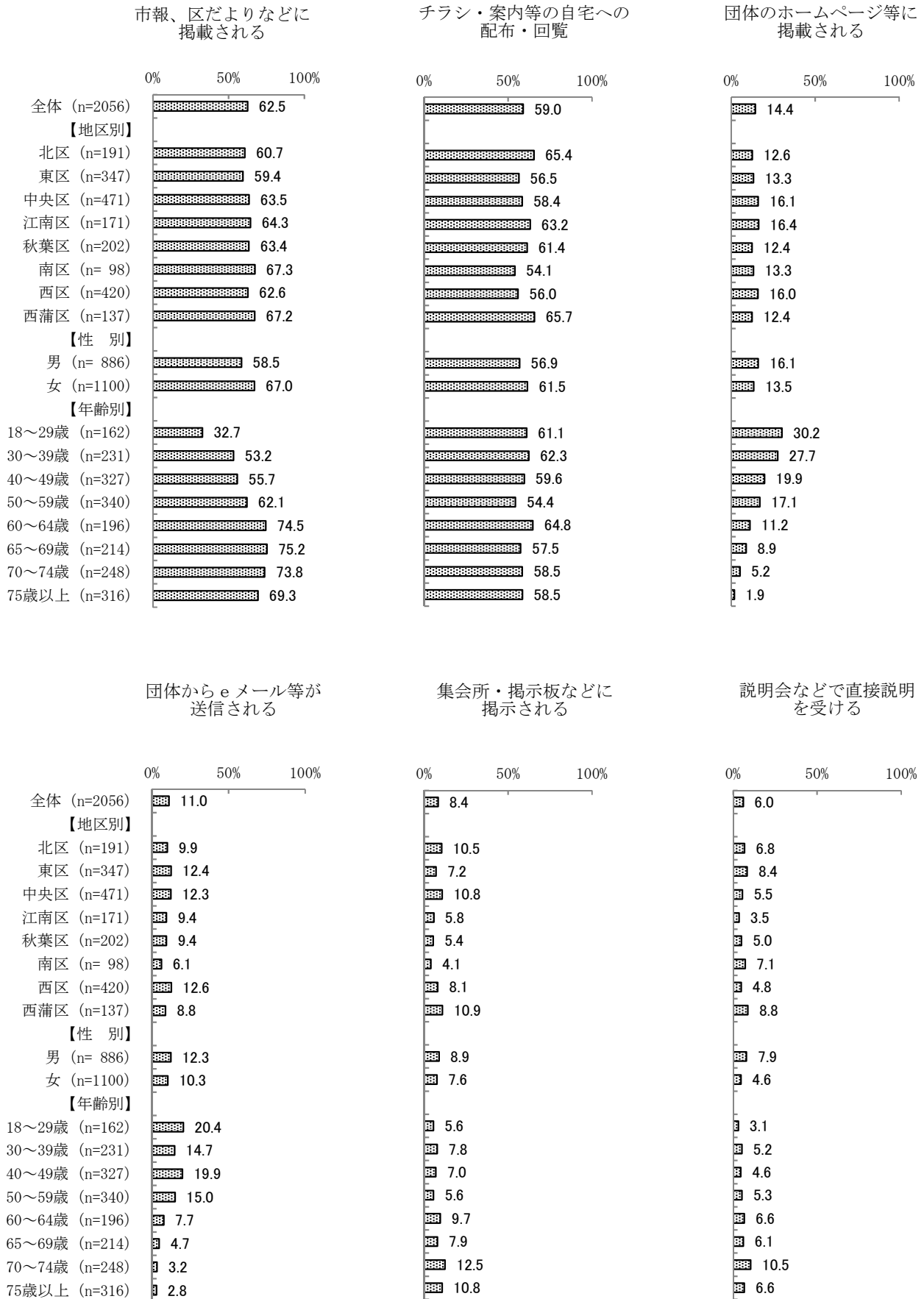
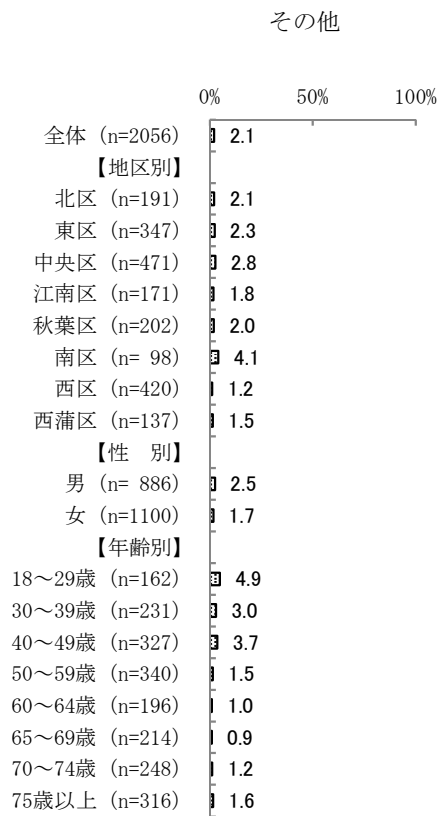


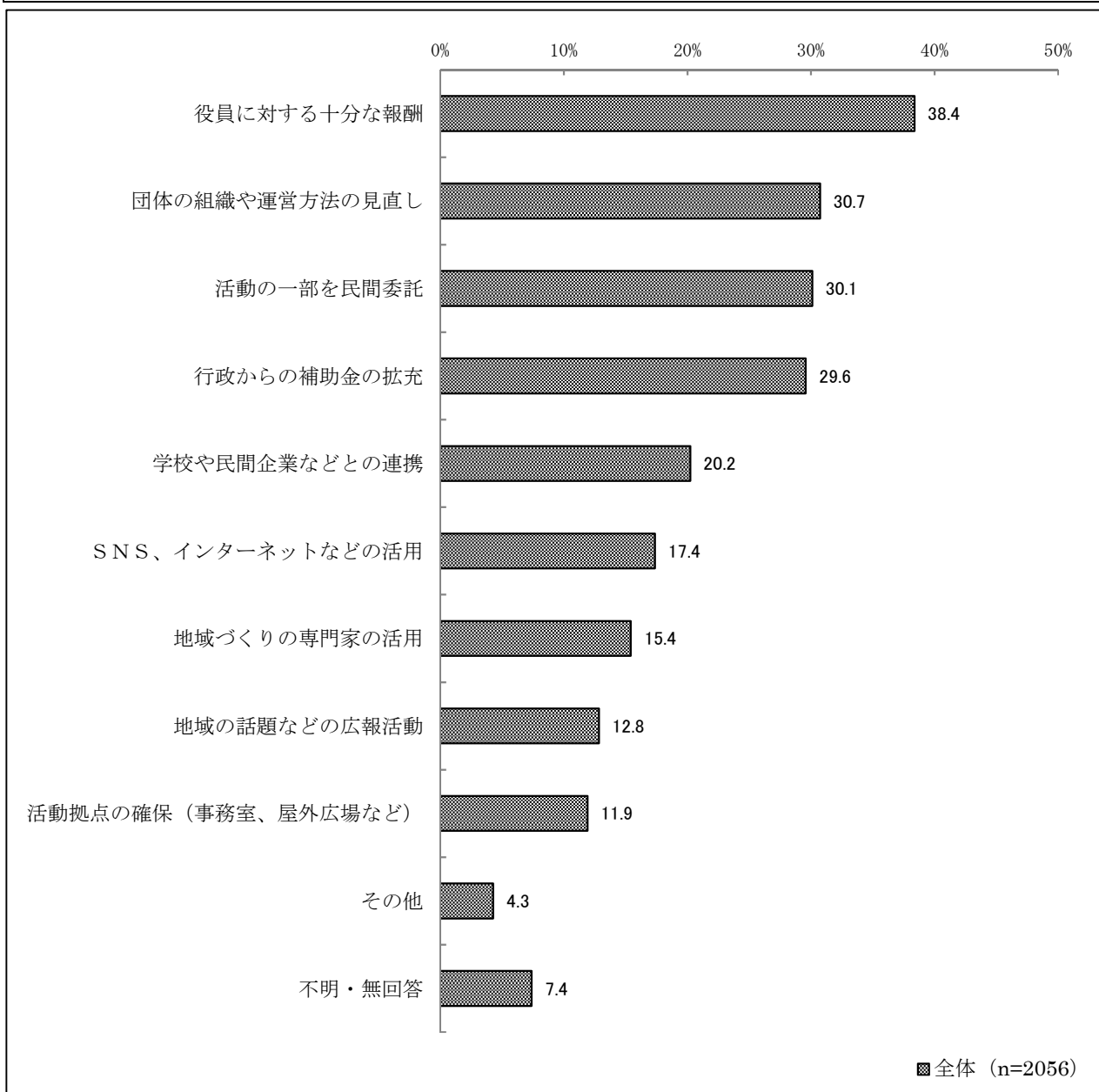
図 5-4 地域活動情報を取得しやすい方法（地区別/性別/年齢別） 2/2





## (5) 地域活動団体の役員交代

問 2 3 地域活動団体の役員を担う方は大きな負担を感じる、また、新しい担い手が見つからず役員  
の交代ができないという声があります。どのような対応が必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)



— 「役員に対する十分な報酬」が約4割 —

### 【全体結果】

「役員に対する十分な報酬」(38.4%)の割合が最も高く、約4割となった。次いで、「団体の組織や運営方法の見直し」(30.7%)、「活動の一部を民間委託」(30.1%)が3割台、「行政からの補助金の拡充」(29.6%)、「学校や民間企業などとの連携」(20.2%)が2割台、「SNS、インターネットなどの活用」(17.4%)、「地域づくりの専門家の活用」(15.4%)、「地域の話題などの広報活動」(12.8%)、「活動拠点の確保(事務室、屋外広場など)」(11.9%)が1割台で続く。

## 【属性別結果】（次ページ図 5-5 参照）

### ① 地区別

「役員に対する十分な報酬」については、いずれの地区でも割合が最も高い。秋葉区（44.6%）で割合が最も高く、4割半ばとなった。

### ② 性別

性別で5%以上差がみられたのは、「役員に対する十分な報酬」で、女性（34.5%）と比較して男性（44.6%）で割合が高く、「団体の組織や運営方法の見直し」、「地域づくりの専門家の活用」で、男性（各 27.5%、11.9%）と比較して女性（各 33.3%、18.3%）で割合が高い。

### ③ 年齢別

18～59歳では、「役員に対する十分な報酬」の割合が最も高い。60～64歳では「団体の組織や運営方法の見直し」、65～69歳では「活動の一部を民間委託」、70歳以上では「行政からの補助金の拡充」の割合が高かった。

「SNS、インターネットなどの活用」については、18～29歳（43.2%）で4割強となり、若い年代ほど割合が高い。

図 5-5 地域活動団体の役員交代（地区別/性別/年齢別） 1/2

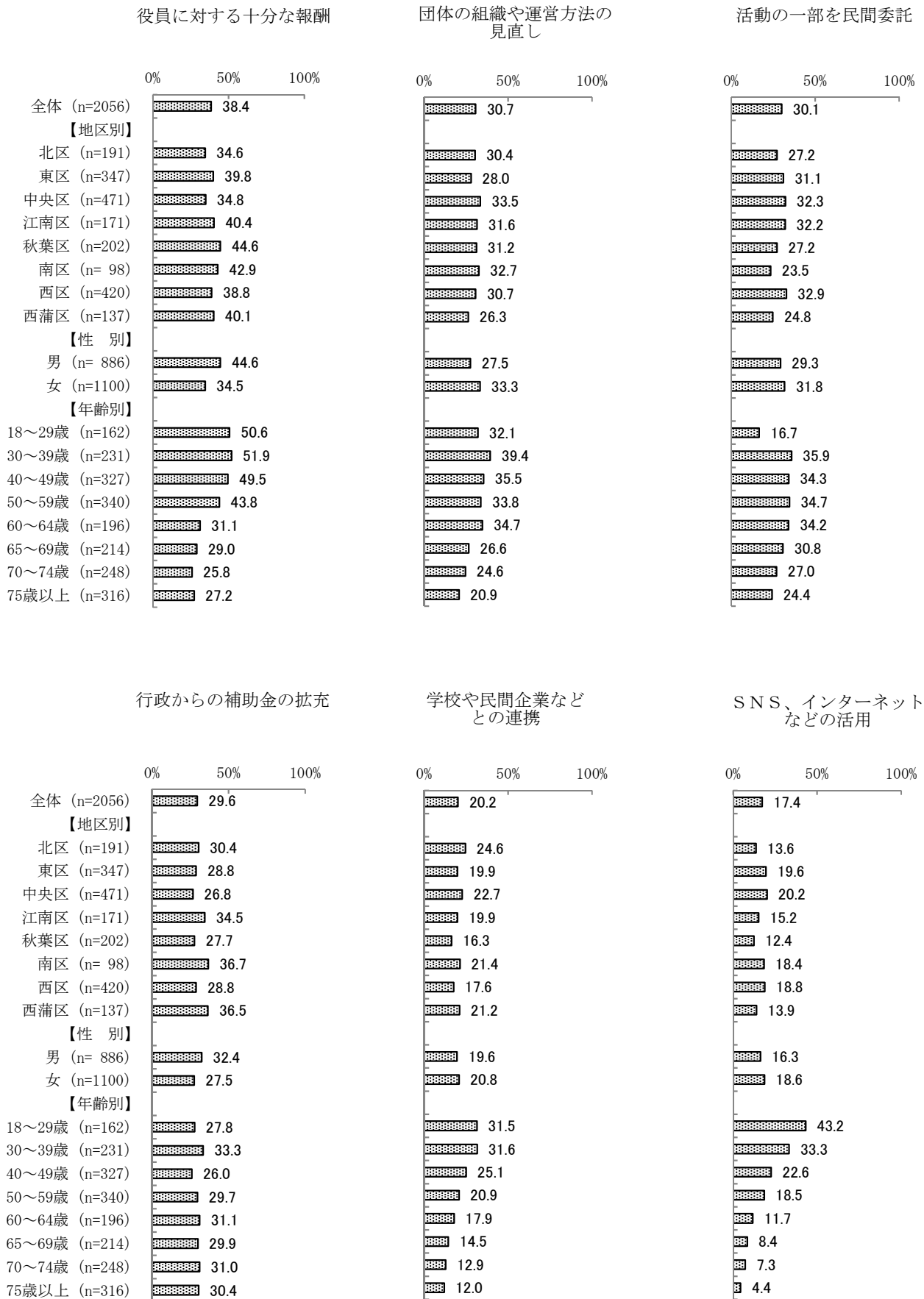
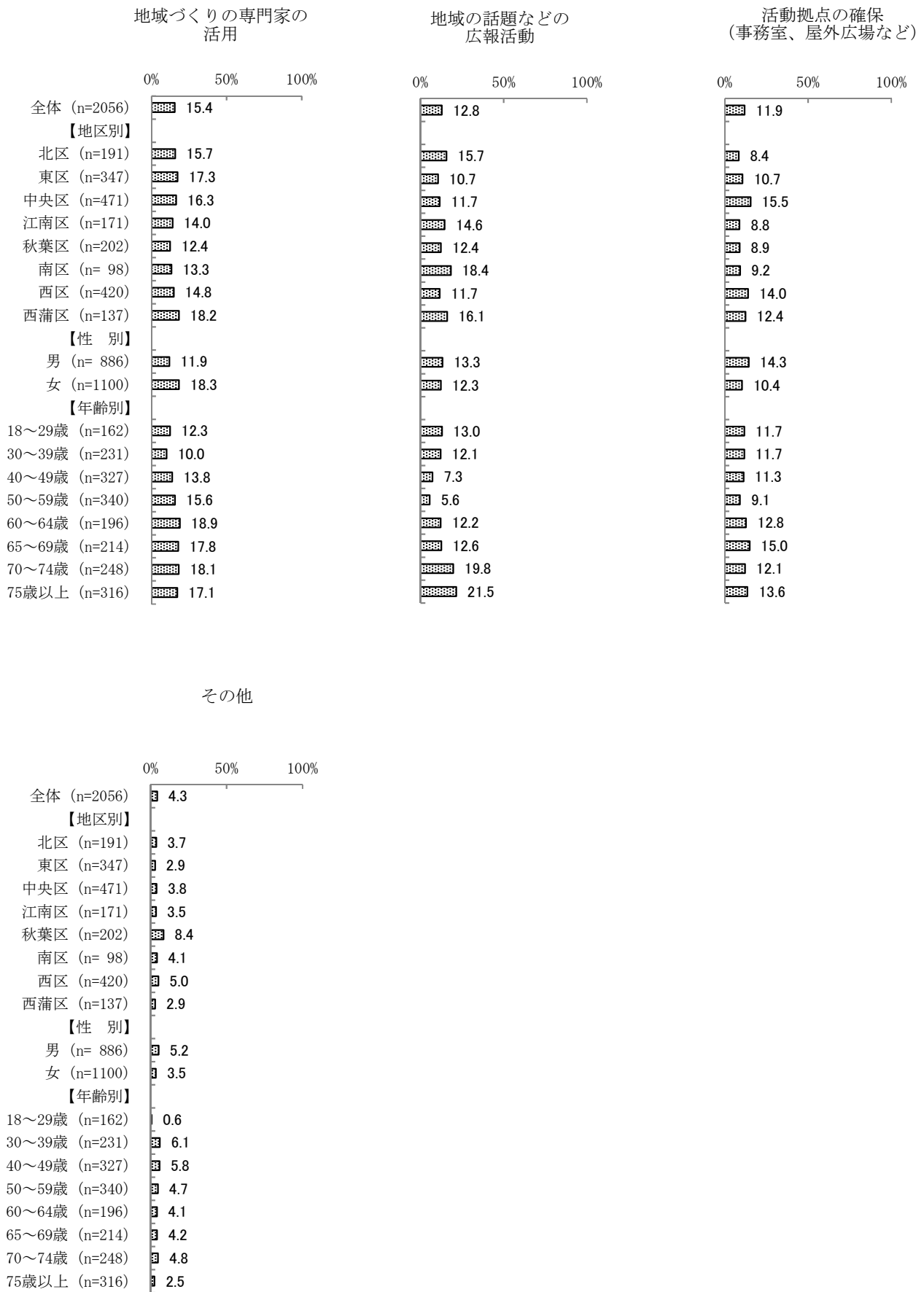


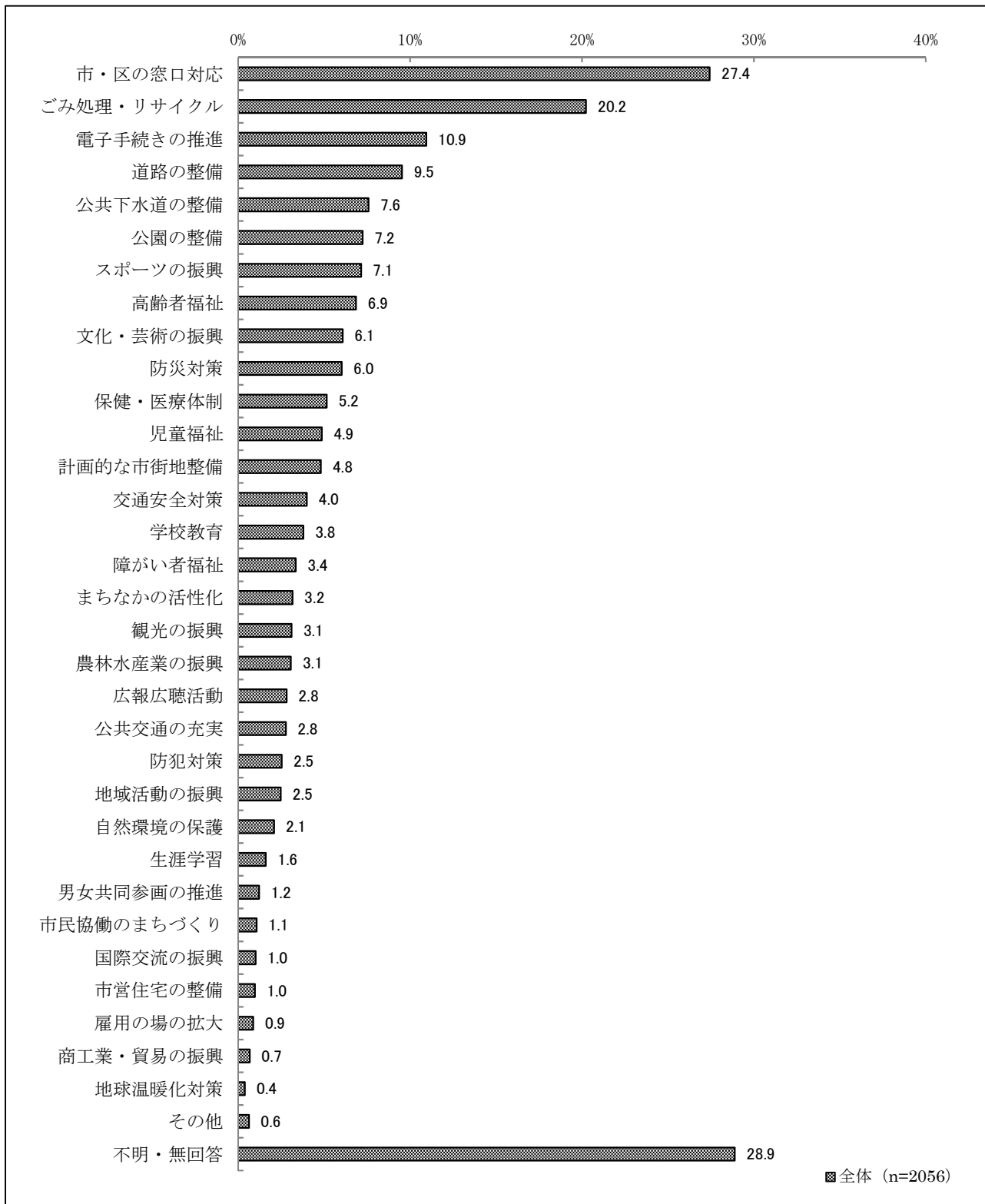
図 5-5 地域活動団体の役員交代（地区別/性別/年齢別） 2/2



## 6. 市政全般と区政について

### (1) 新潟市として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



**【全体結果】**

新潟市として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(27.4%)の割合が最も高く、3割弱となった。次いで、「ごみ処理・リサイクル」(20.2%)が約2割となった。次に「電子手続きの推進」(10.9%)が続くが、以下は1割未満となった。

**【属性別結果】(次ページ図6-1参照)**

① 地区別

「市・区の窓口対応」については、東区(31.7%)で割合が最も高く、次いで、中央区(31.4%)、江南区(30.4%)で3割を超えている。割合が最も低いのは南区(17.3%)となった。

② 性別

性別による差はほとんどみられない。

③ 年齢別

「市・区の窓口対応」は、60歳以上で割合が高く3割を超え、18～29歳(13.0%)で割合が最も低い。

18～29歳では、「計画的な市街地整備」(11.7%)の割合が、30～39歳では、「道路の整備」(17.3%)、「公園の整備」(12.6%)、「児童福祉」(10.0%)の割合が高く、他の年代と差がみられた。

図 6-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

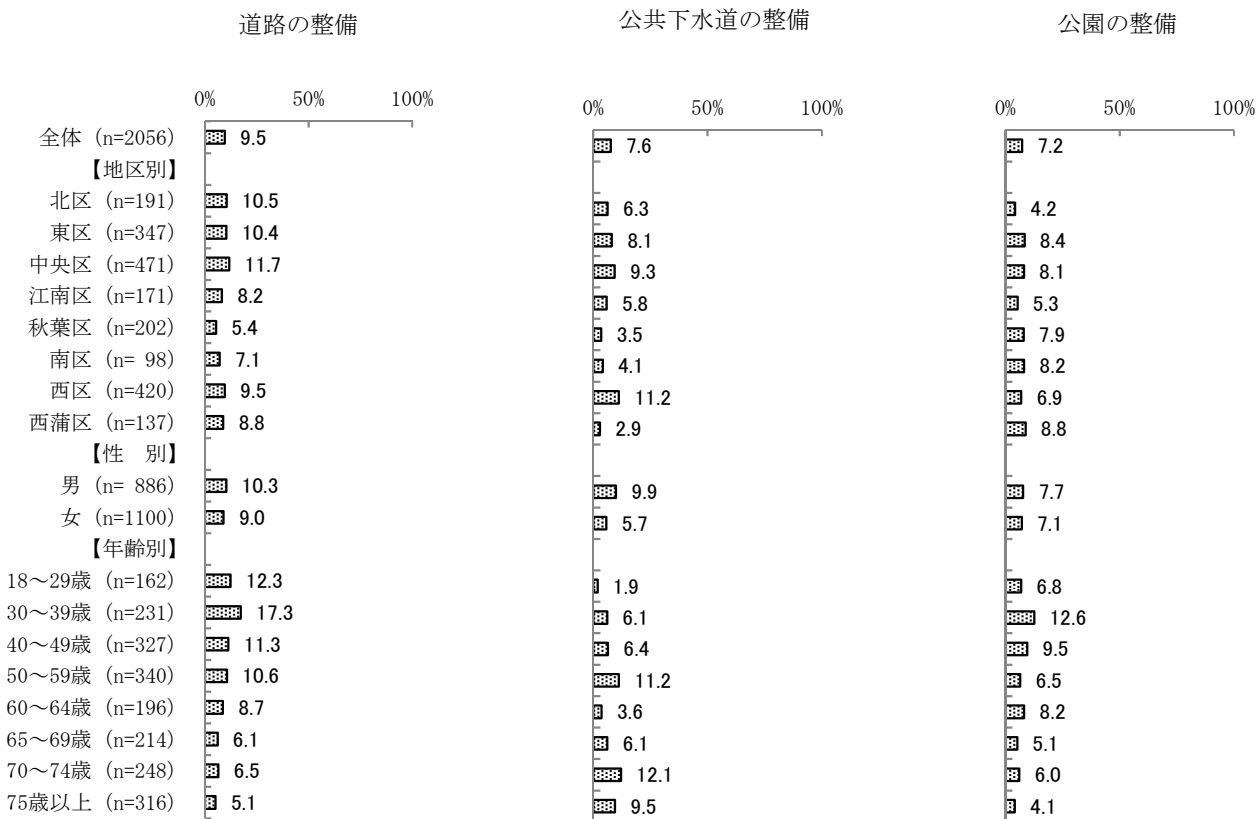
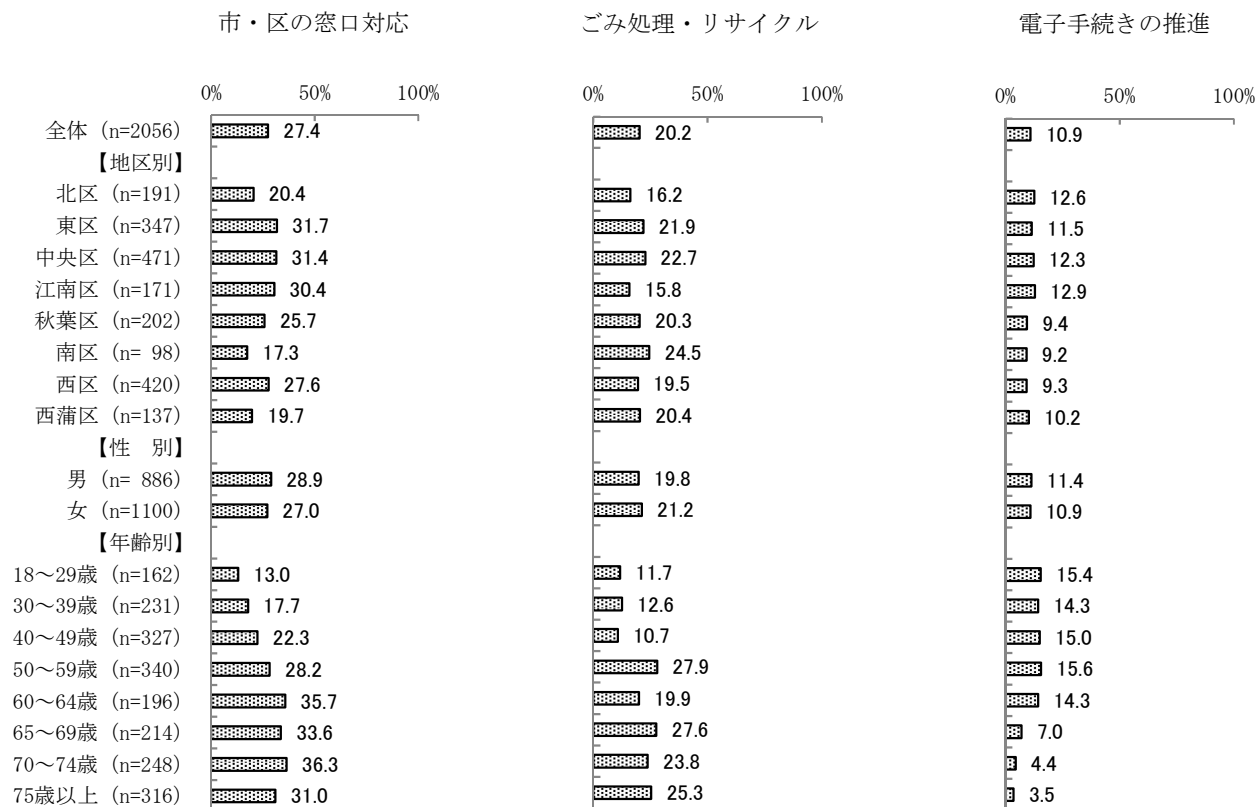


図 6-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

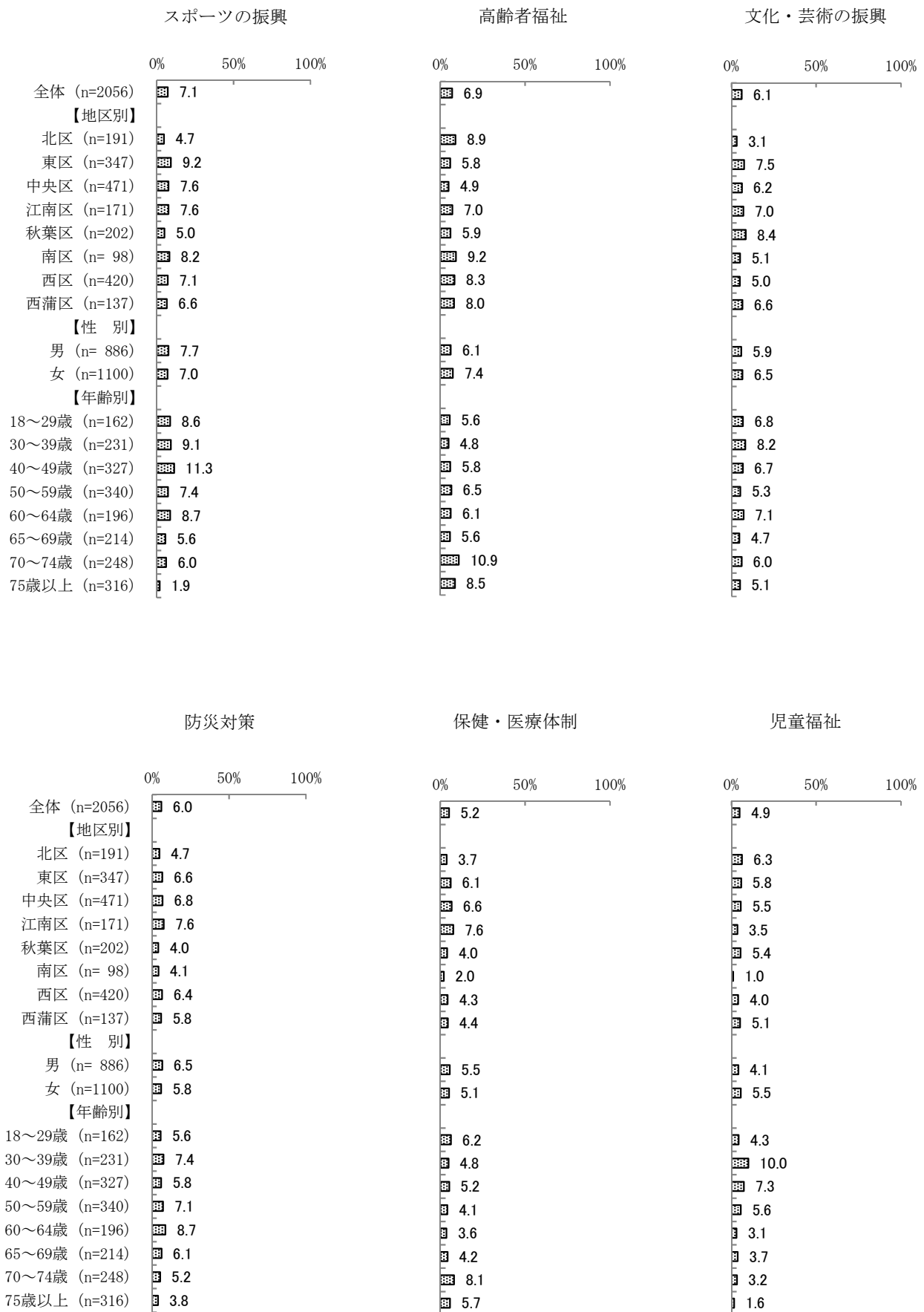




図 6-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

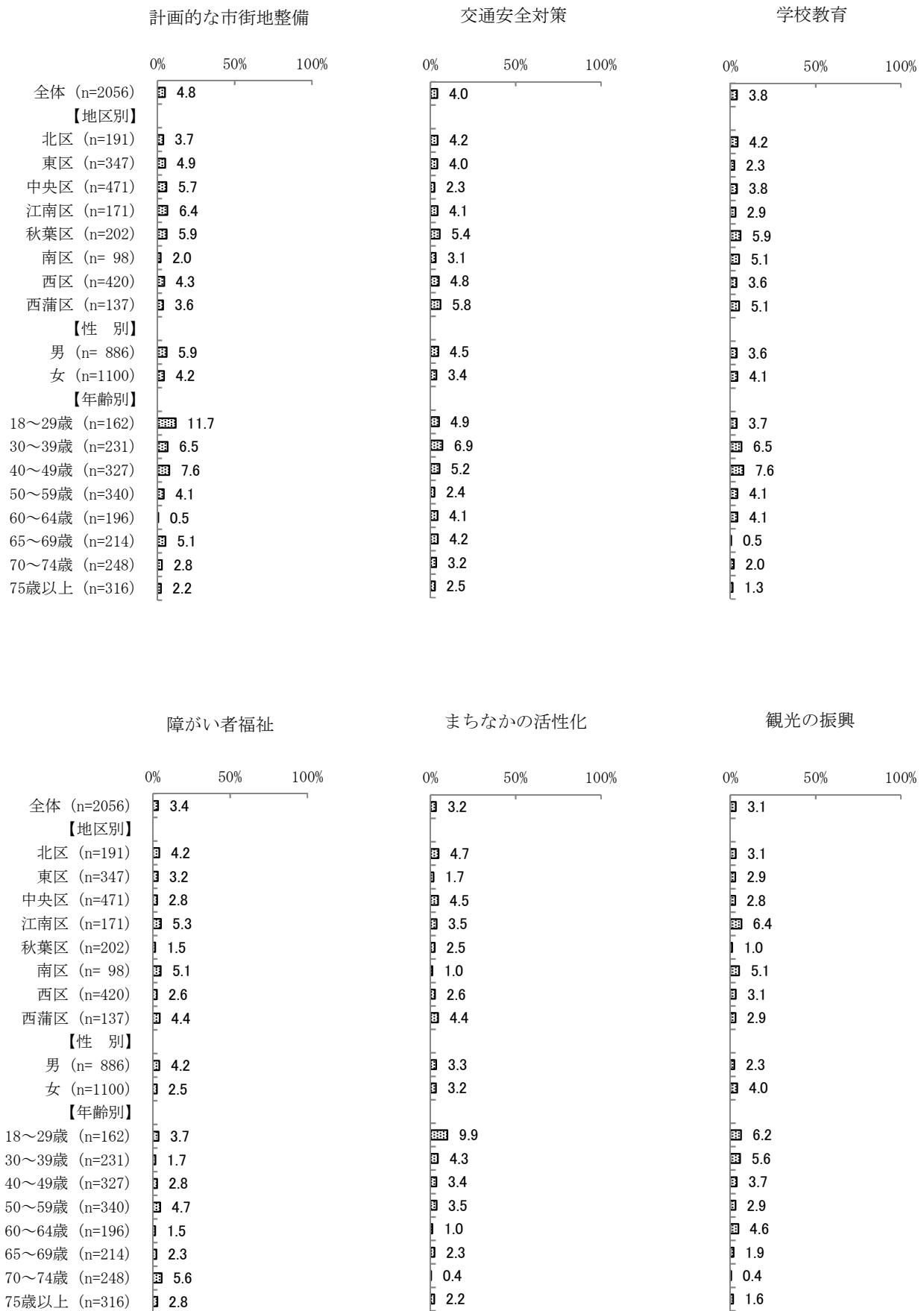


図 6-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

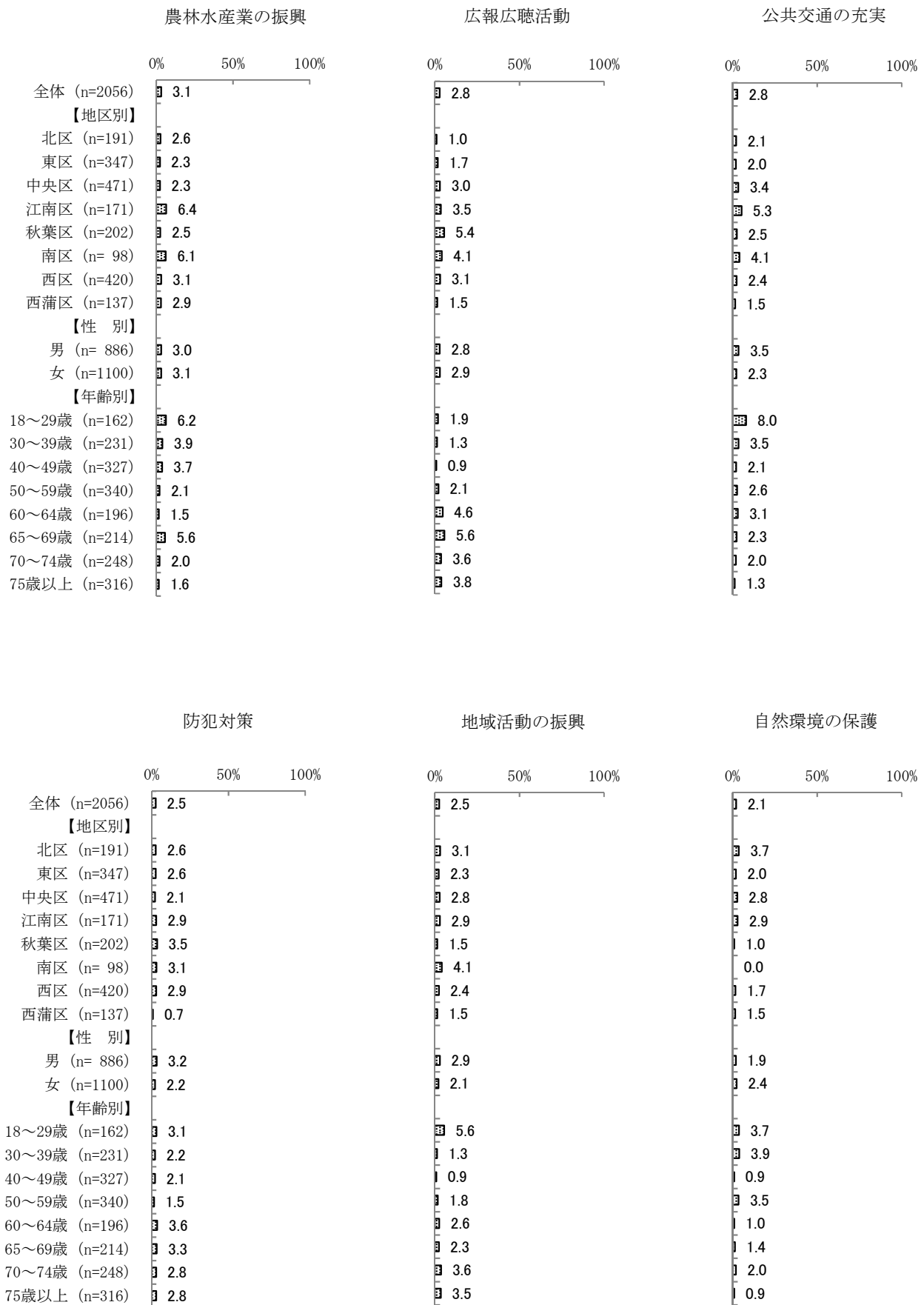


図 6-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

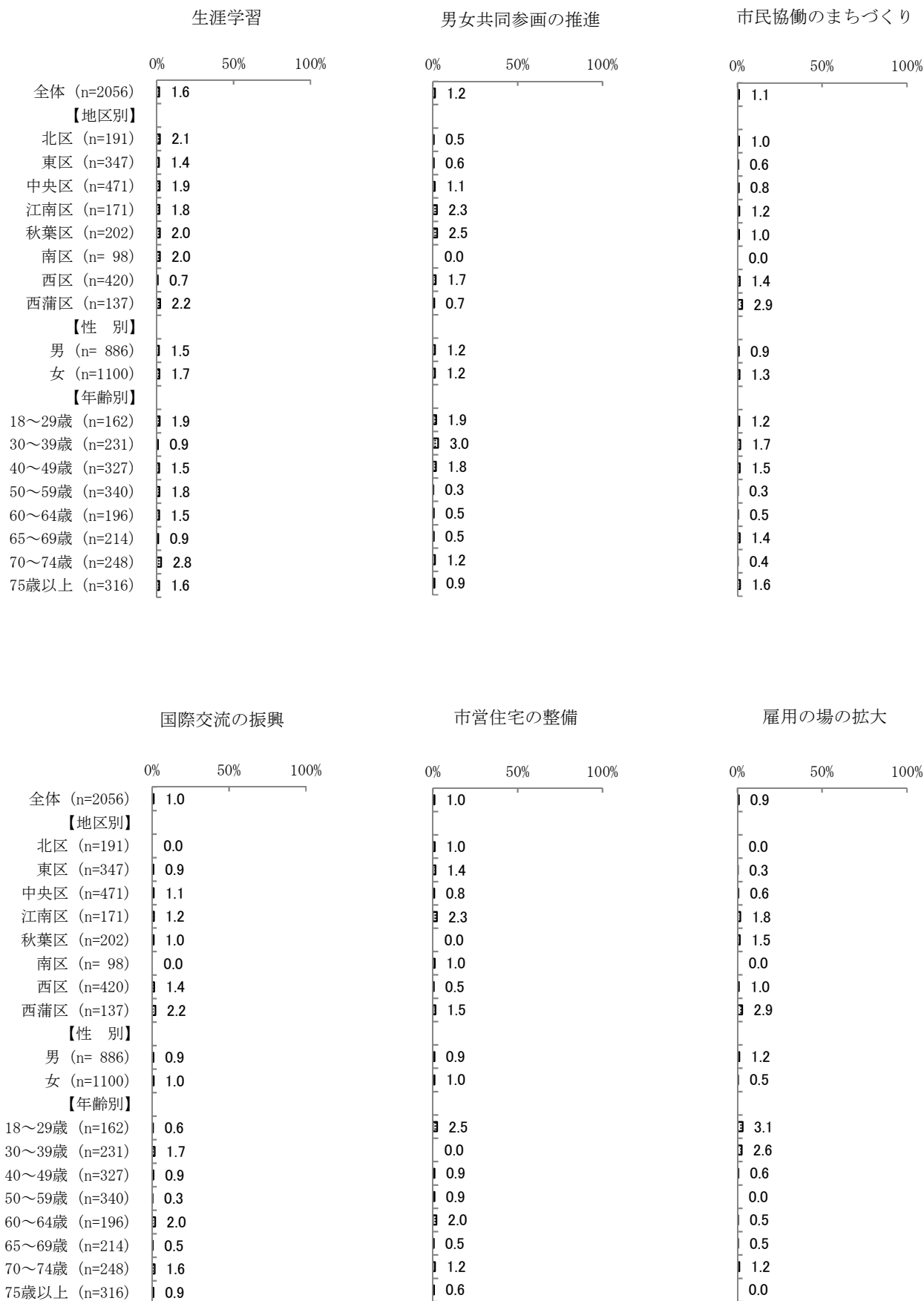
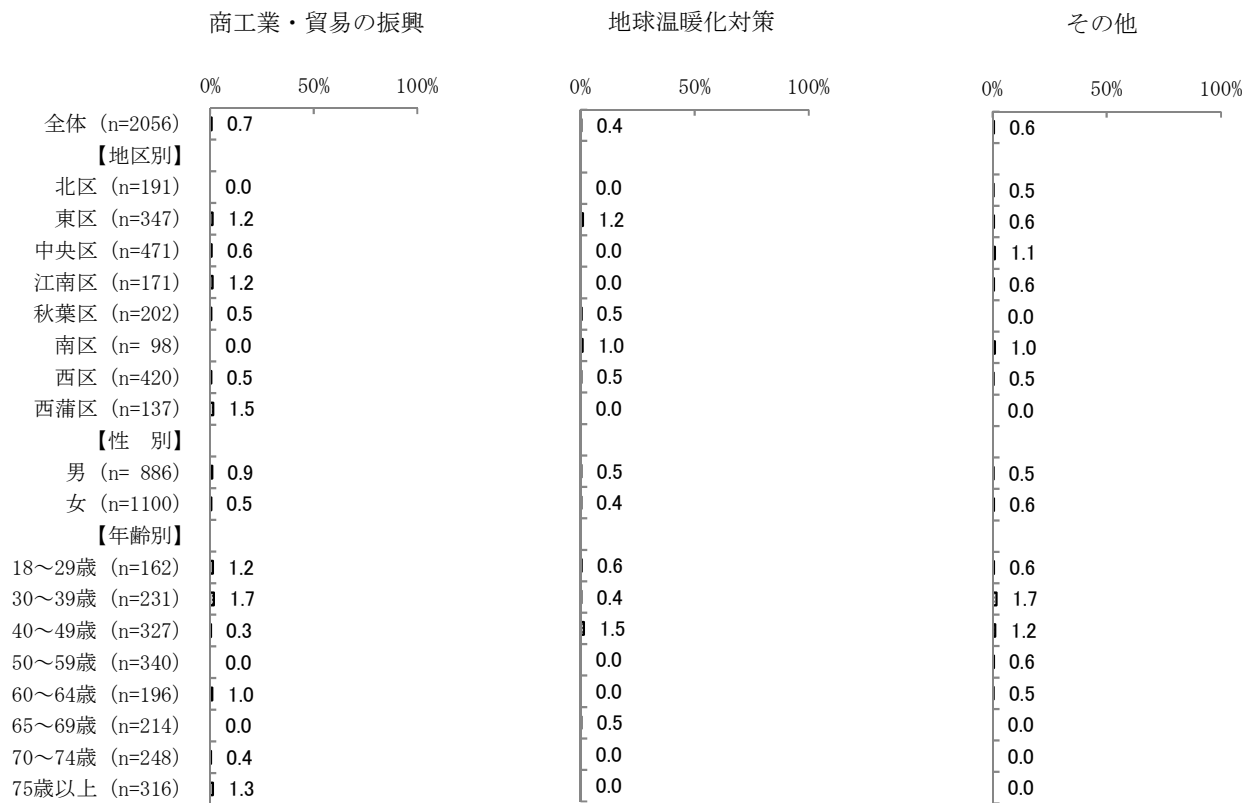
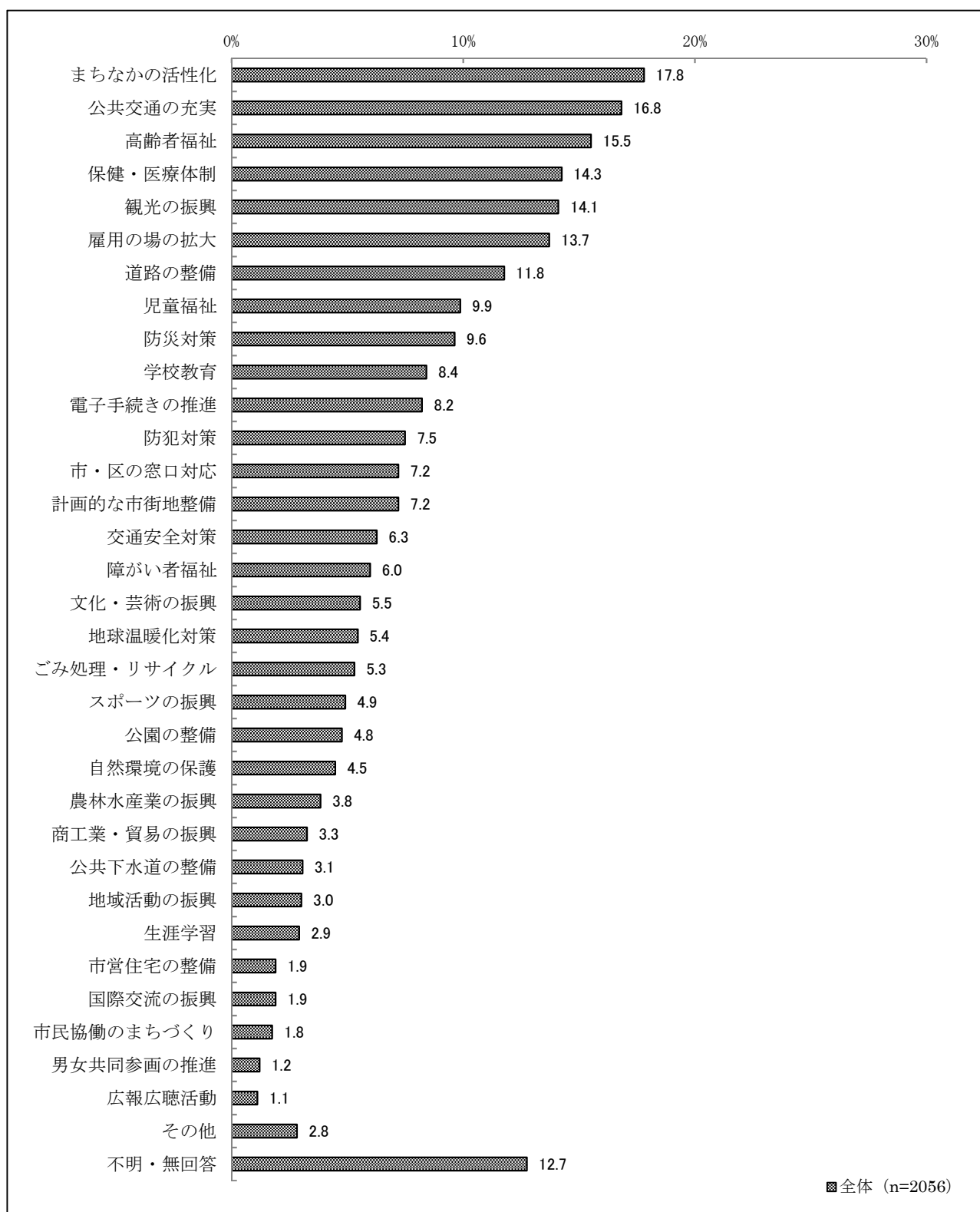


図 6-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



## (2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



## — 2 割弱が「まちなかの活性化」を要望 —

### 【全体結果】

新潟市として今後もっと力を入れてほしいものは、「まちなかの活性化」（17.8％）が最も高く、2割弱となった。次いで「公共交通の充実」（16.8％）、「高齢者福祉」（15.5％）、「保健・医療体制」（14.3％）、「観光の振興」（14.1％）の順に続く。

### 【属性別結果】（次ページ図 6-2 参照）

#### ① 地区別

「まちなかの活性化」、「公共交通の充実」は、中央区（各 20.8％、20.2％）で割合が最も高く、秋葉区（12.9％、11.4％）で割合が最も低くなった。

江南区では、「観光の振興」（19.9％）が、秋葉区では、「保健・医療体制」（19.3％）が約 2 割と高く、他の区と比べて差がみられた。

#### ② 性別

「電子手続きの推進」は、女性（5.5％）と比べて男性（11.7％）で割合が高い。

#### ③ 年齢別

「まちなかの活性化」は、40～49 歳（22.3％）で割合が最も高い。「公共交通の充実」は、60～64 歳（24.0％）で割合が最も高く、2 割を超えた。

18～29 歳では、「観光の振興」（21.6％）と答えた割合が、30～39 歳では、「児童福祉」（22.1％）と答えた割合が最も高く、2 割を超えている。

図 6-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

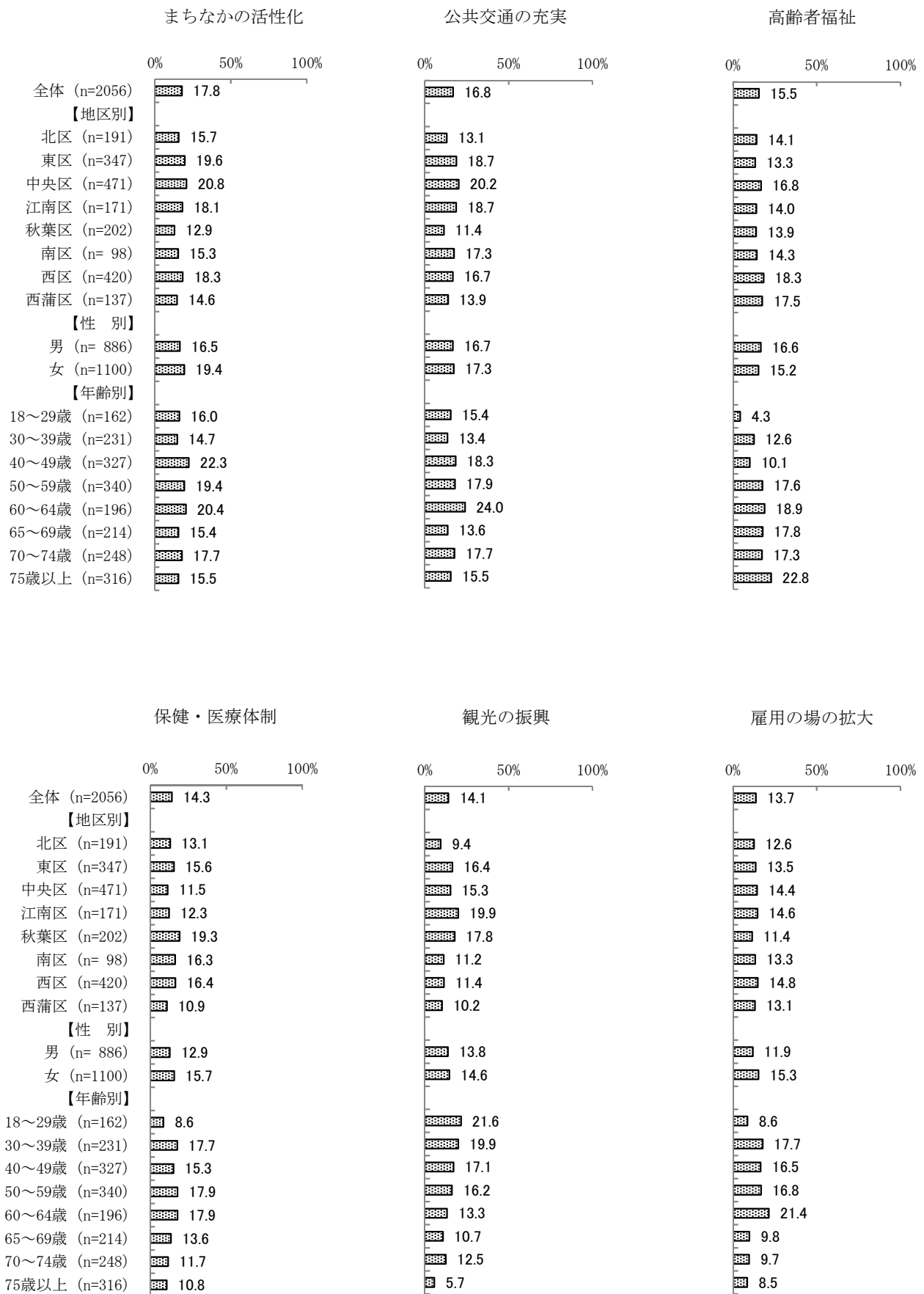


図 6-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

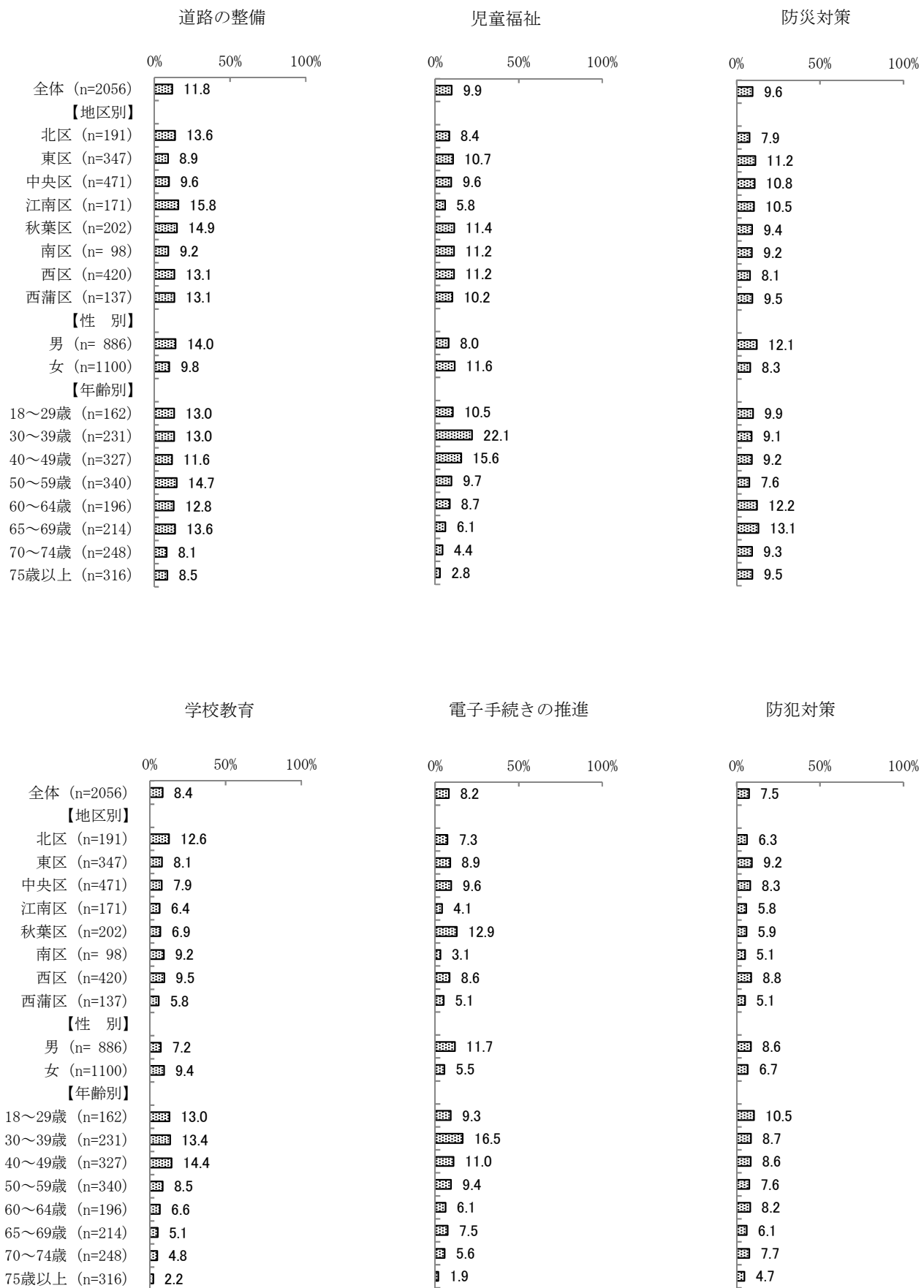




図 6-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

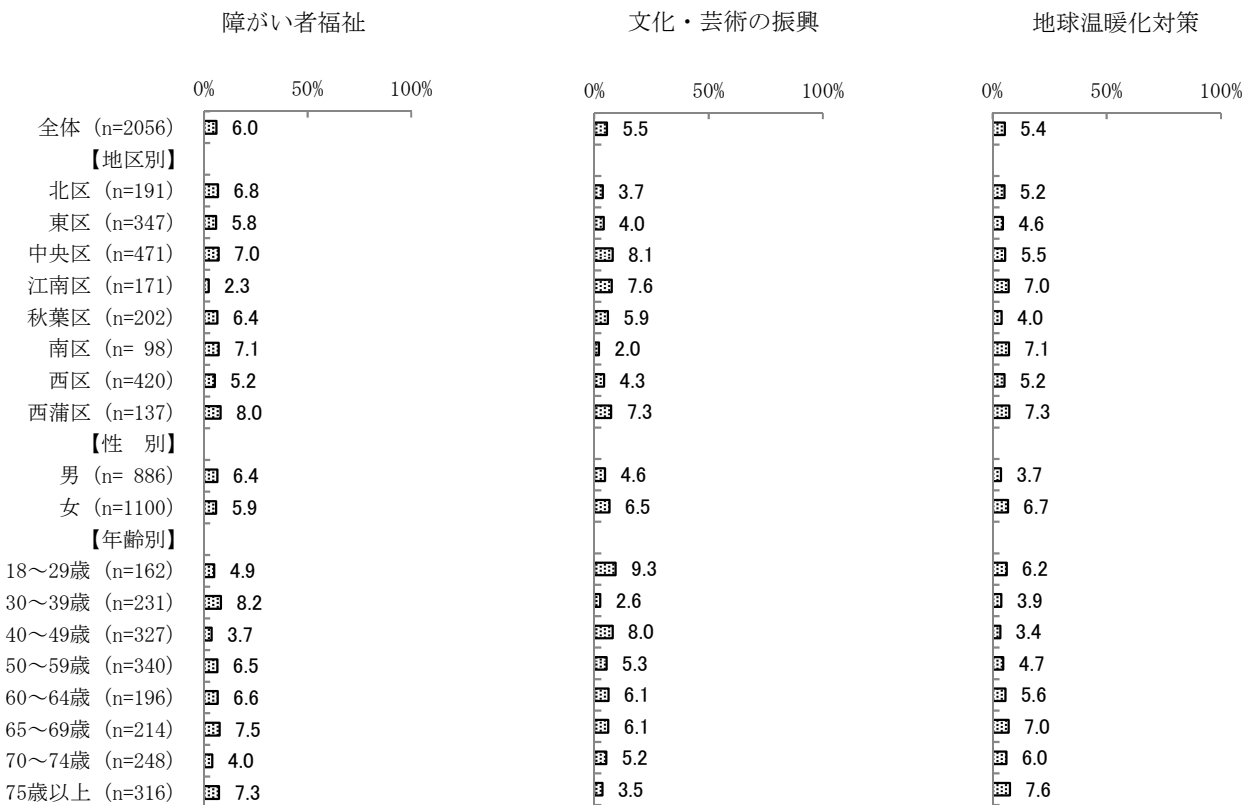
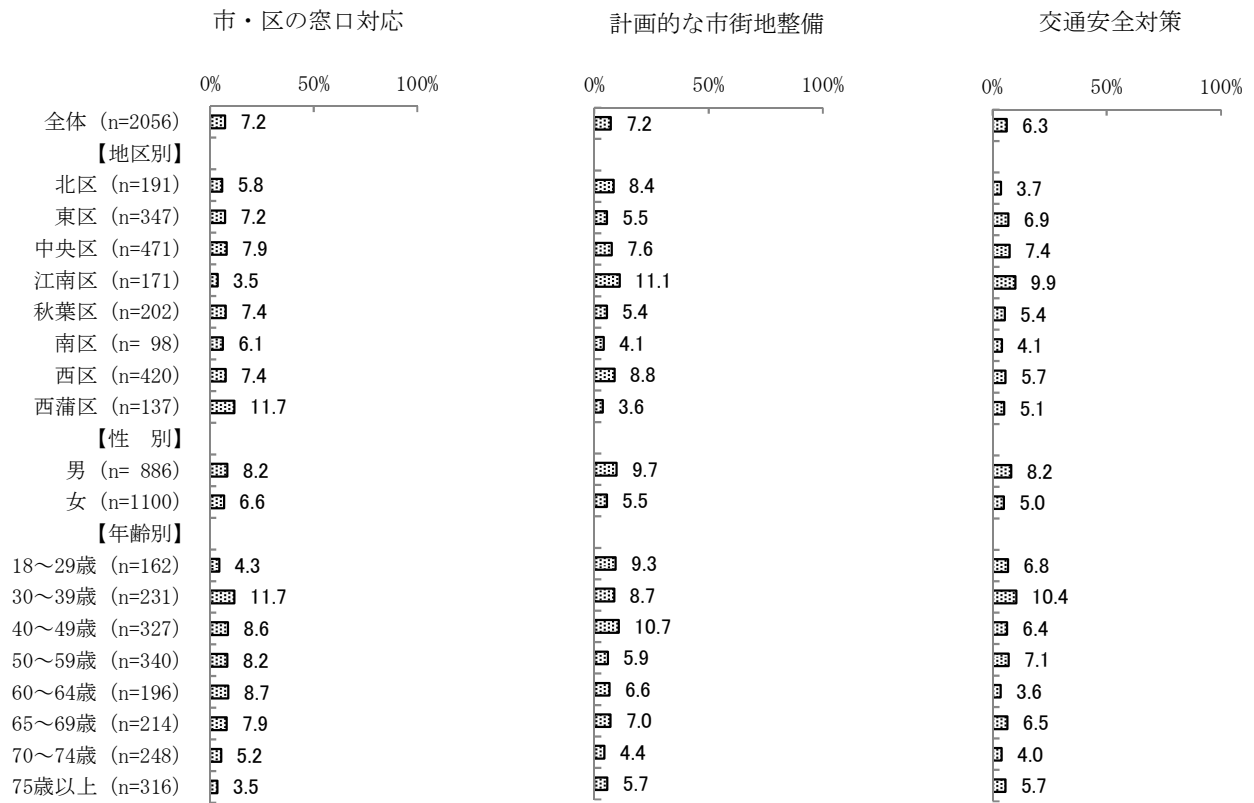


図 6-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

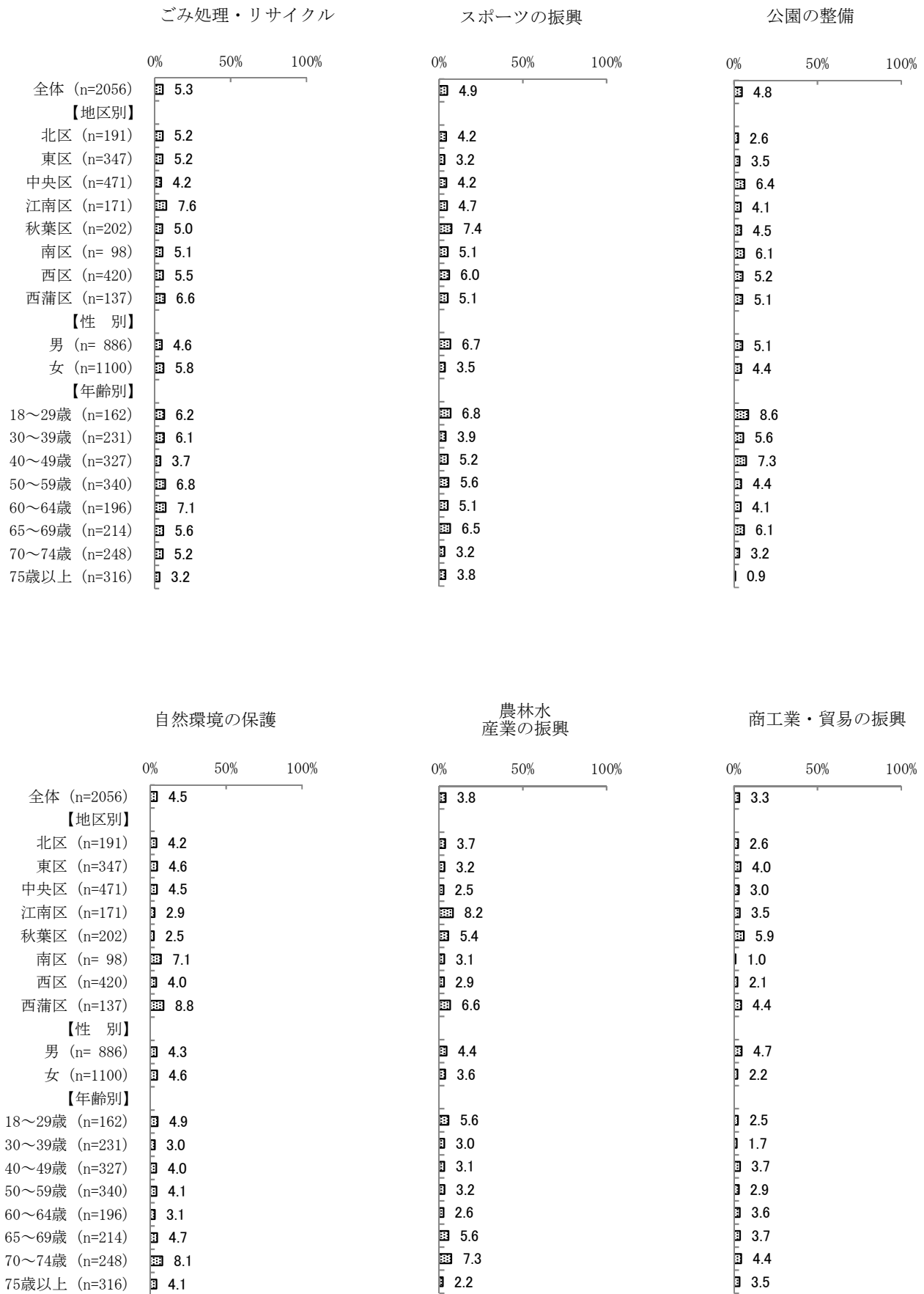


図 6-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

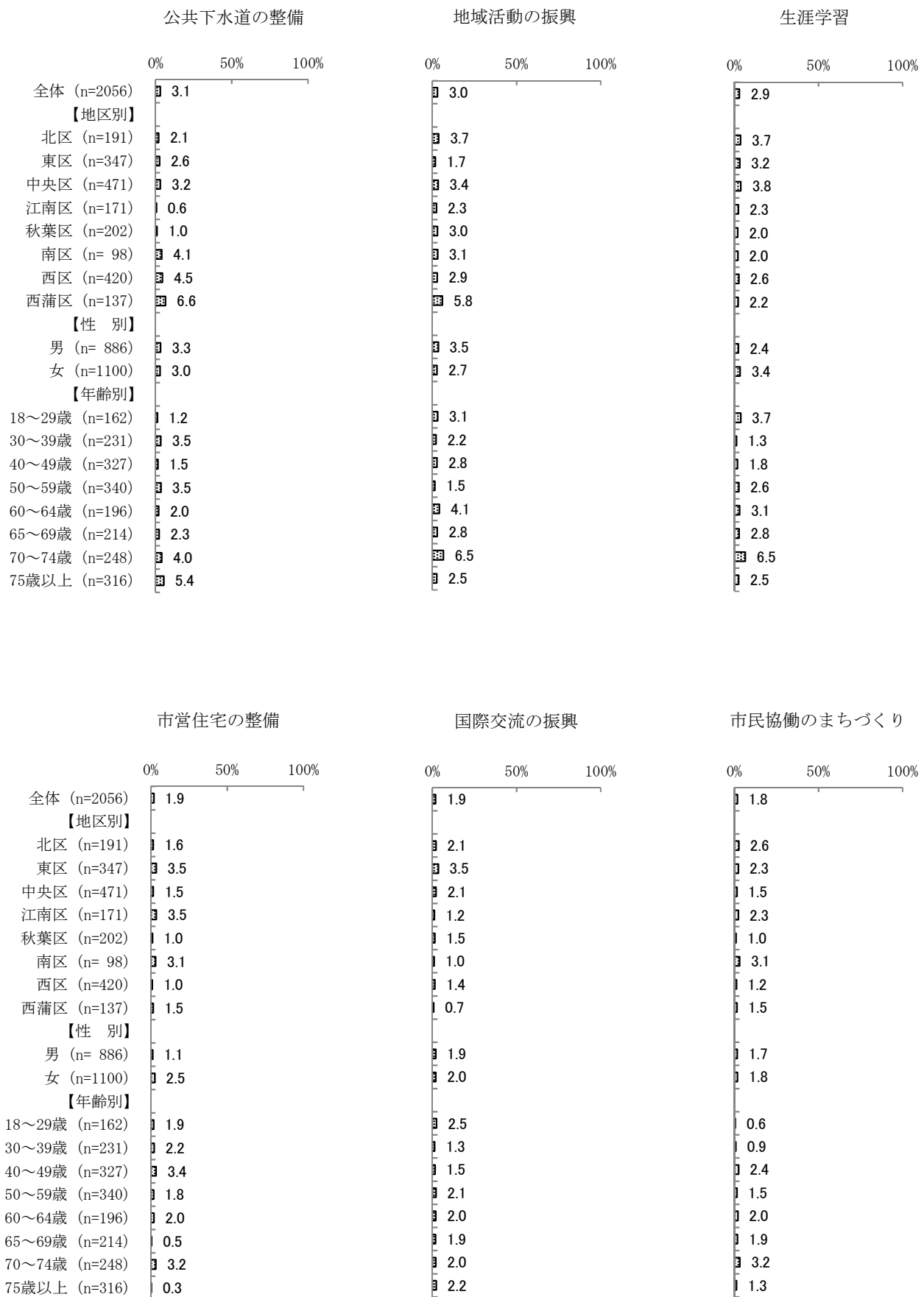
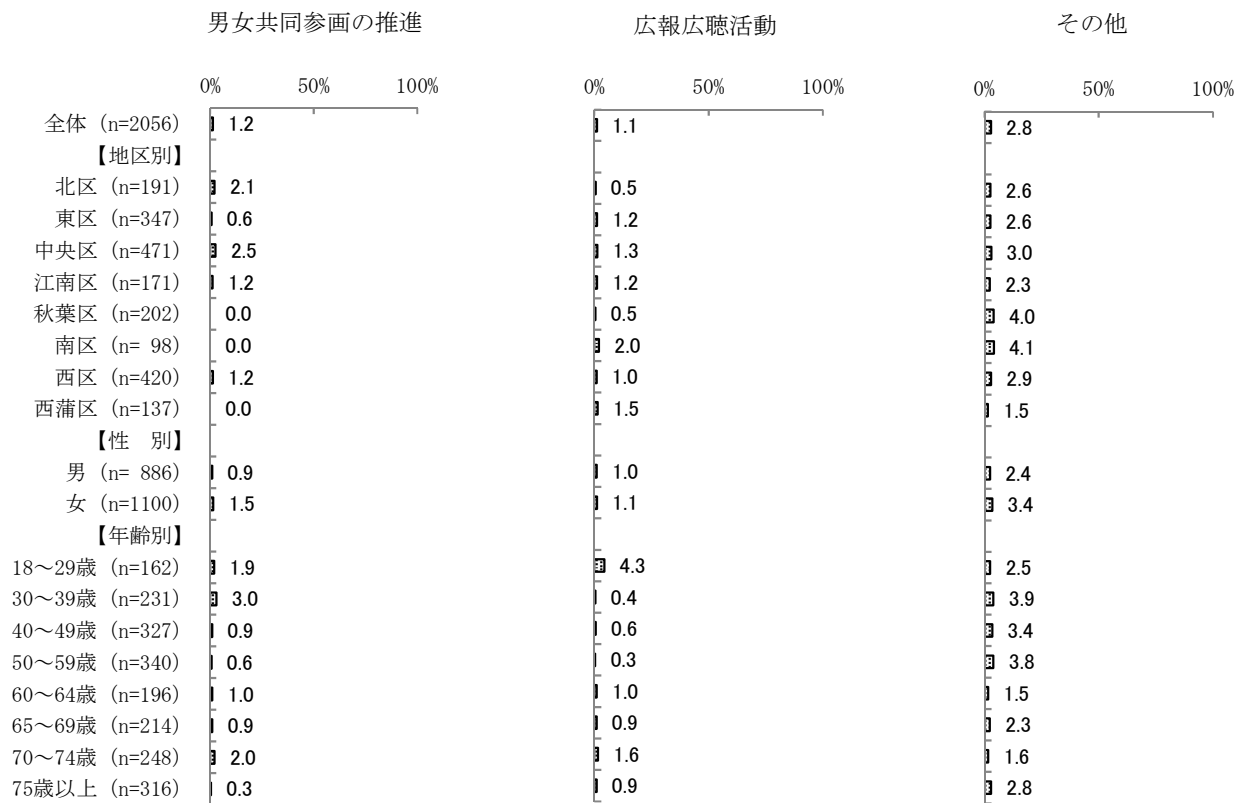
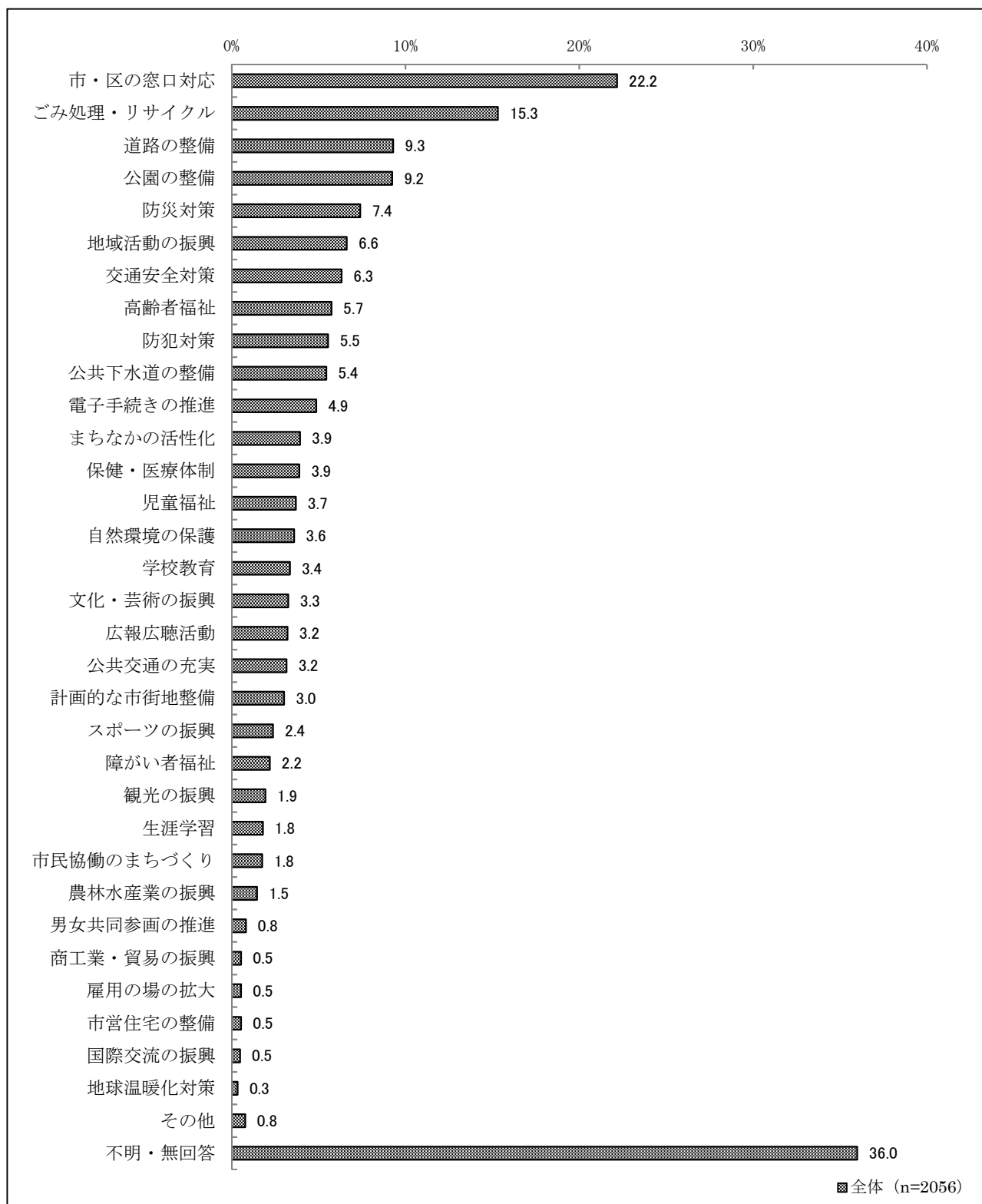


図 6-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



### (3) 区として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄  
 に番号(1~33)をご記入ください。



## — 約2割が「市・区の窓口対応」を評価 —

### 【全体結果】

区として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(22.2%)の割合が最も高い。以下「ごみ処理・リサイクル」(15.3%)、「道路の整備」(9.3%)、「公園の整備」(9.2%)と続くが、以下は1割未満となった。

### 【属性別結果】(次ページ図6-3参照)

#### ① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「市・区の窓口対応」は、西区(27.1%)の割合が最も高く、南区、西蒲区以外のすべて区で2割を超えている。

「道路の整備」は中央区(13.6%)で割合が高く、「公園の整備」は東区(13.0%)、江南区(13.5%)で割合が高い。

#### ② 性別

性別による差はほとんどみられない。

#### ③ 年齢別

「市・区の窓口対応」は、60～64歳(28.6%)で最も割合が高く、約3割となった。

「道路の整備」は、若年層ほど割合が高い傾向にあり、18～29歳(15.4%)で1割半ばとなっている。

図 6-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

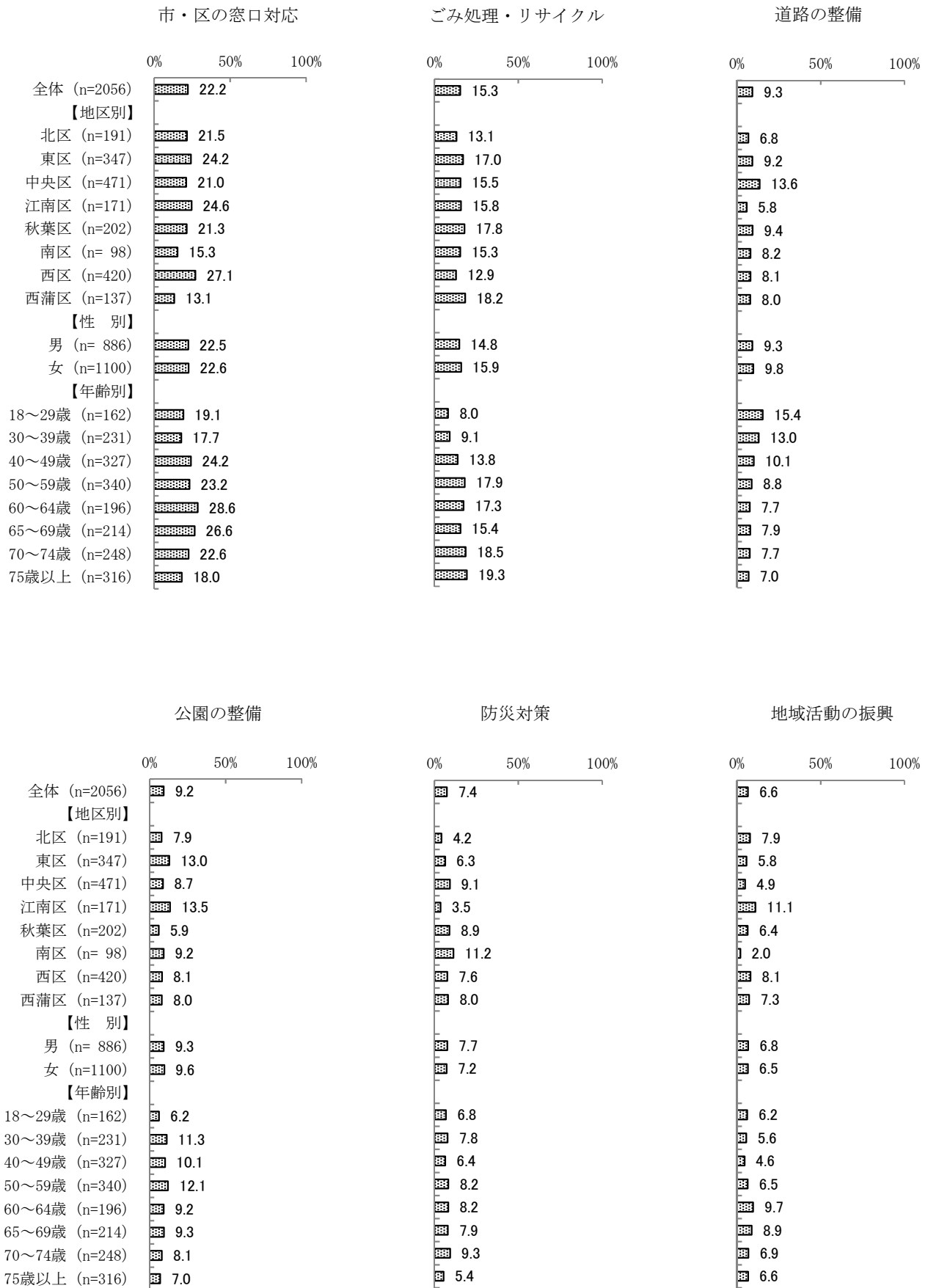


図 6-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

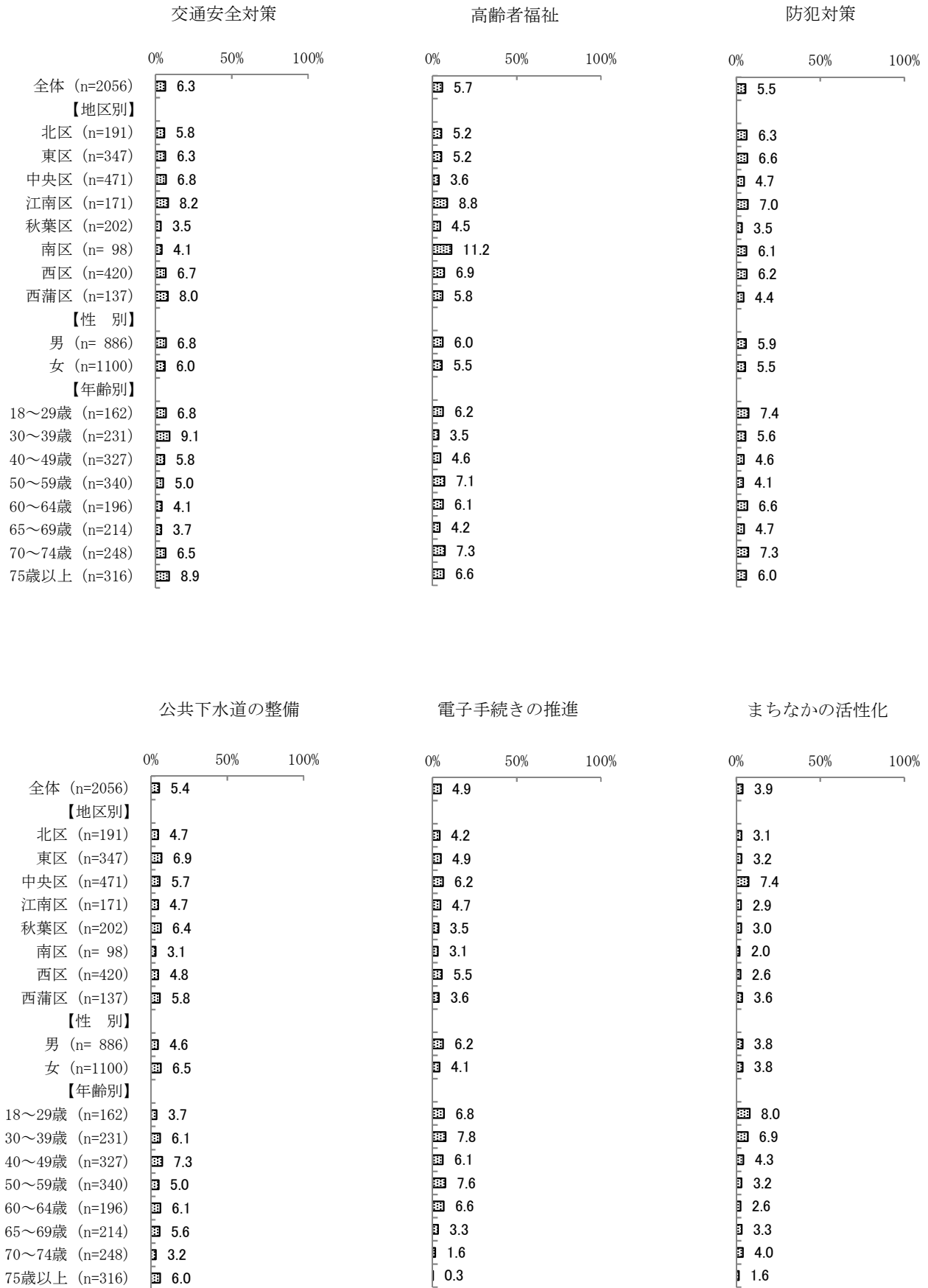




図 6-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

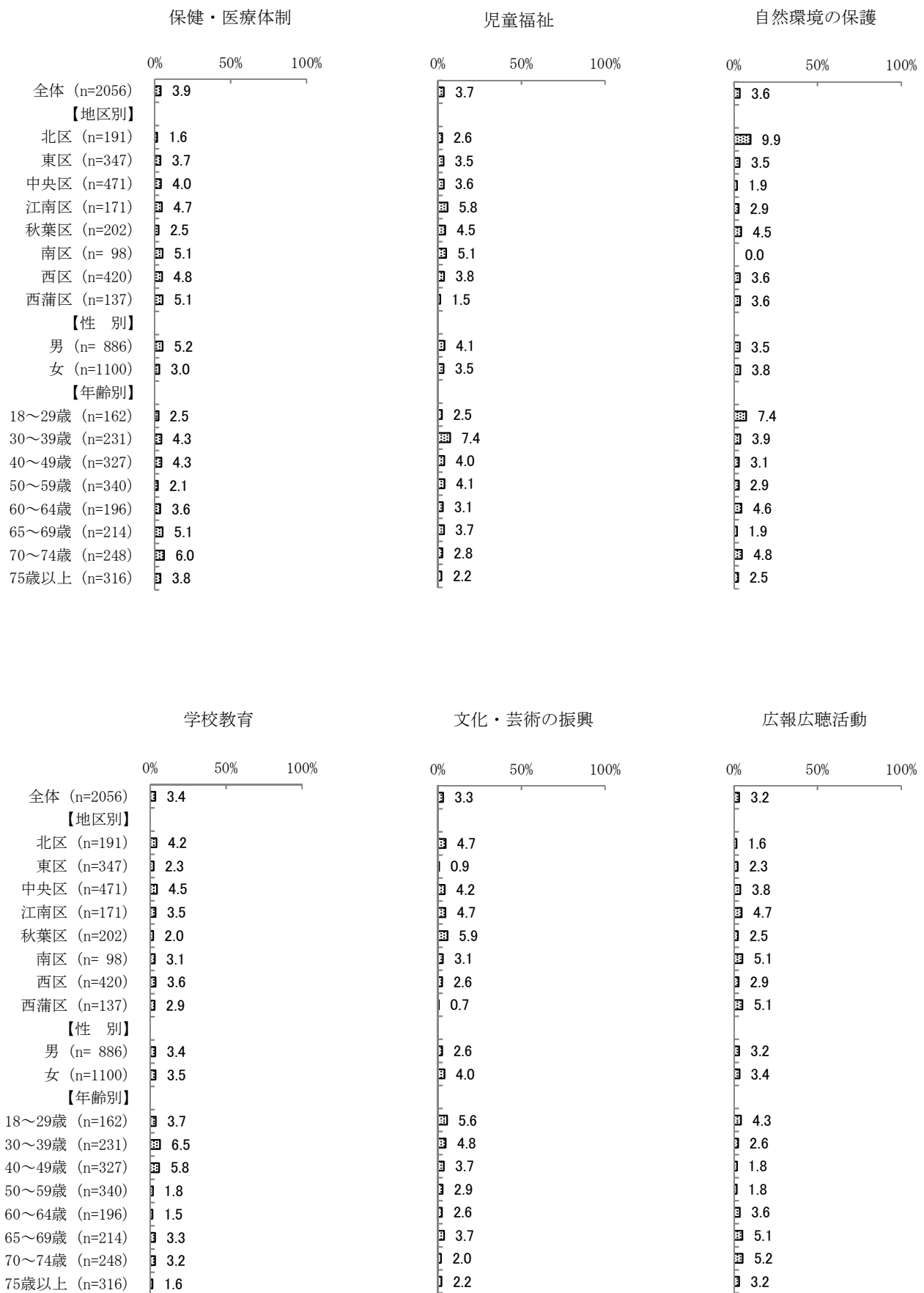


図 6-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

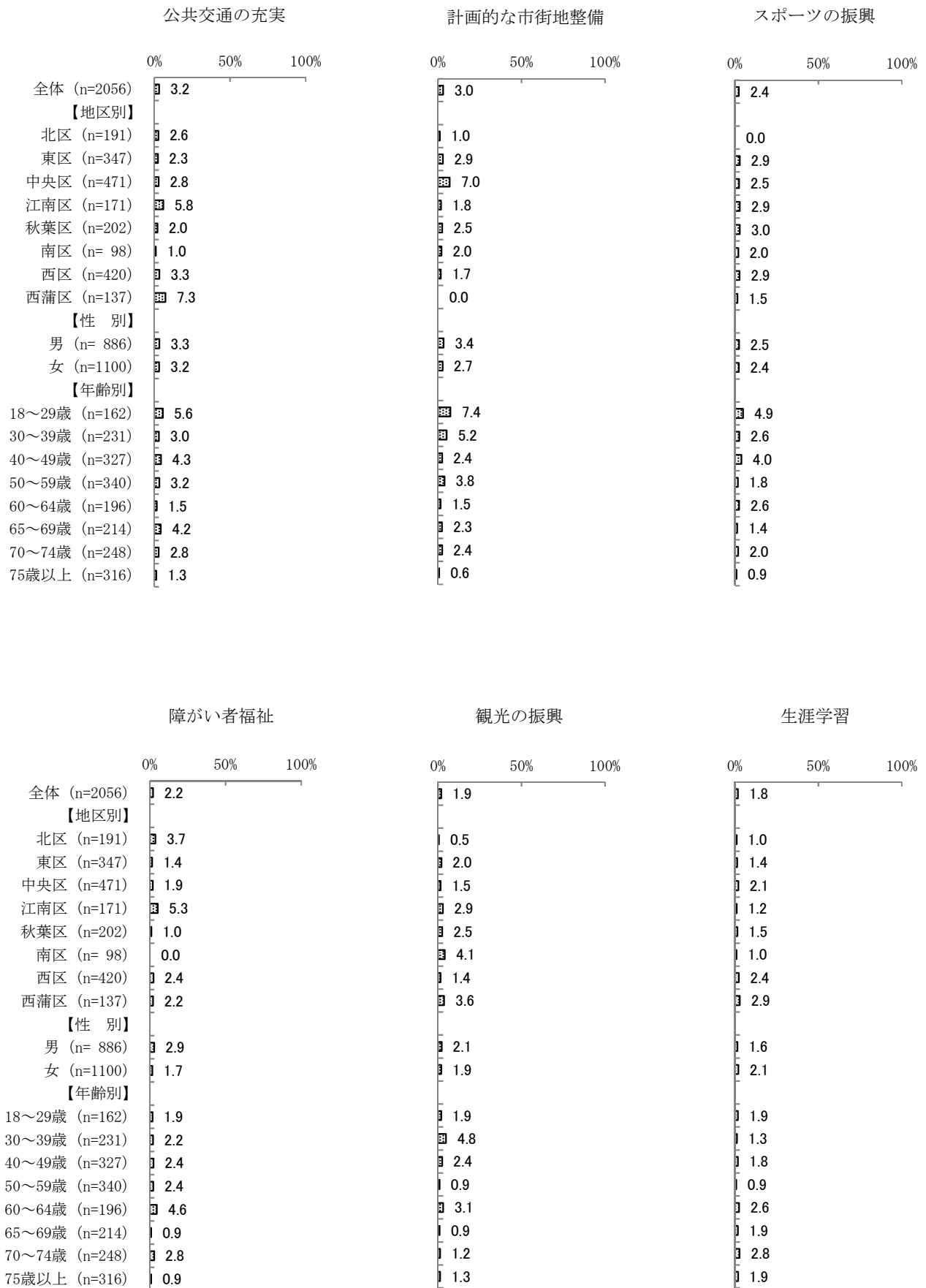


図 6-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

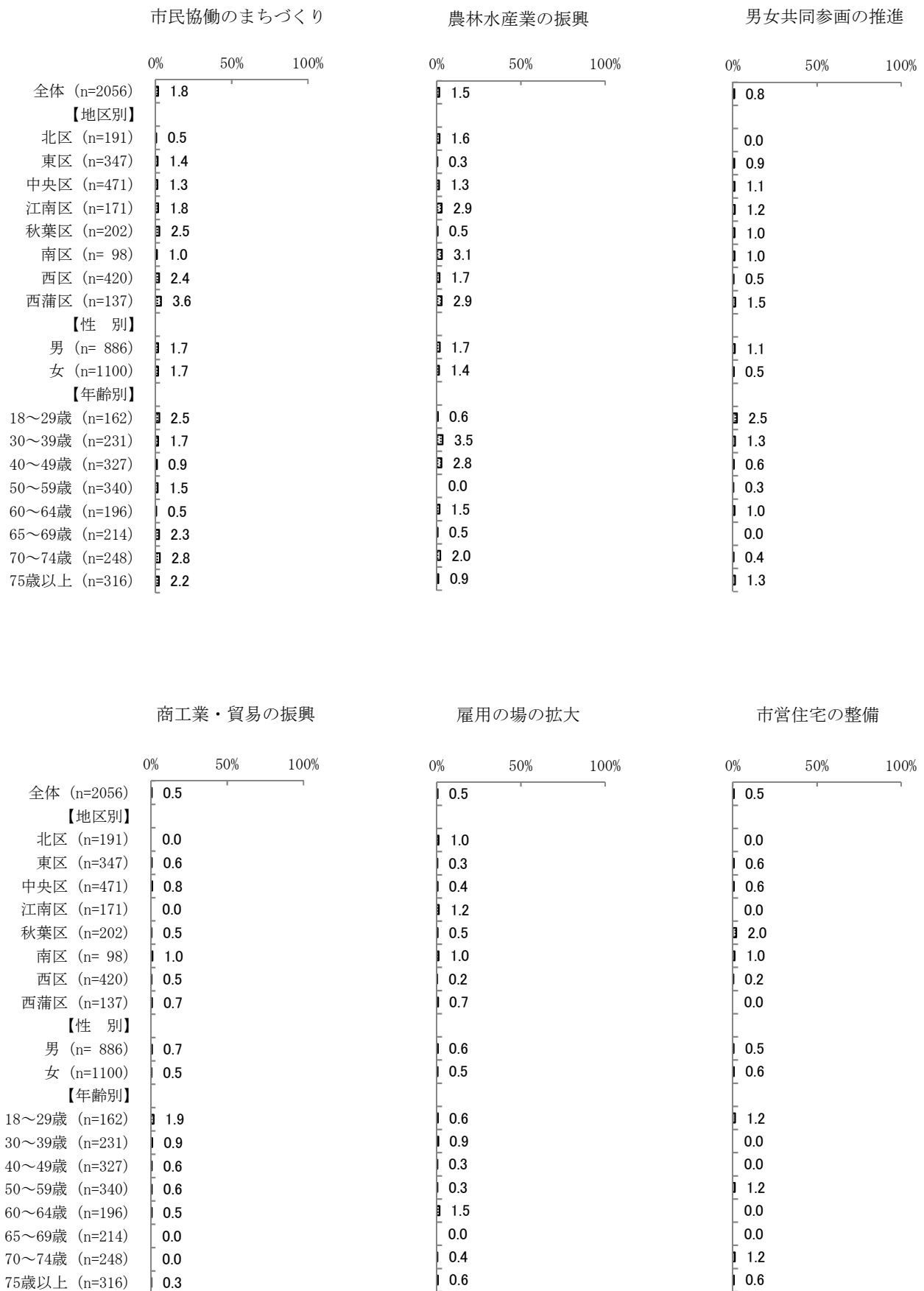
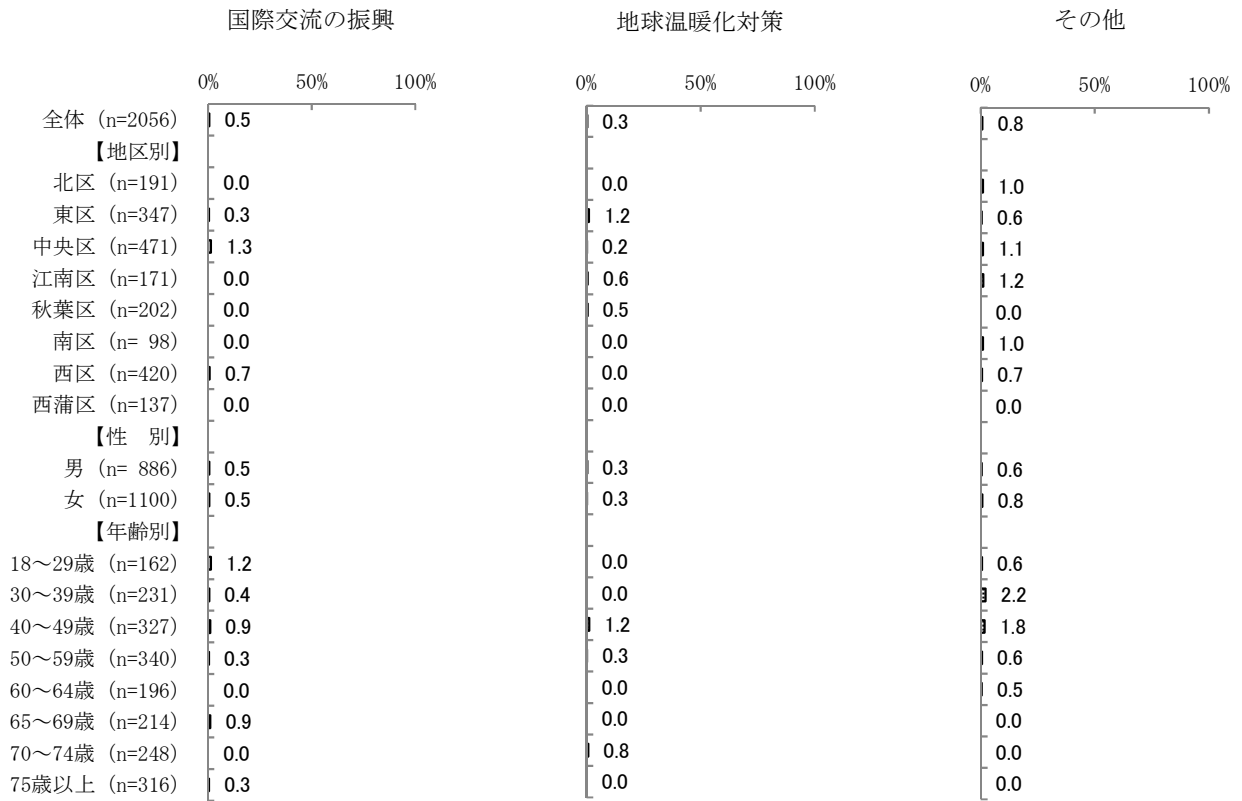
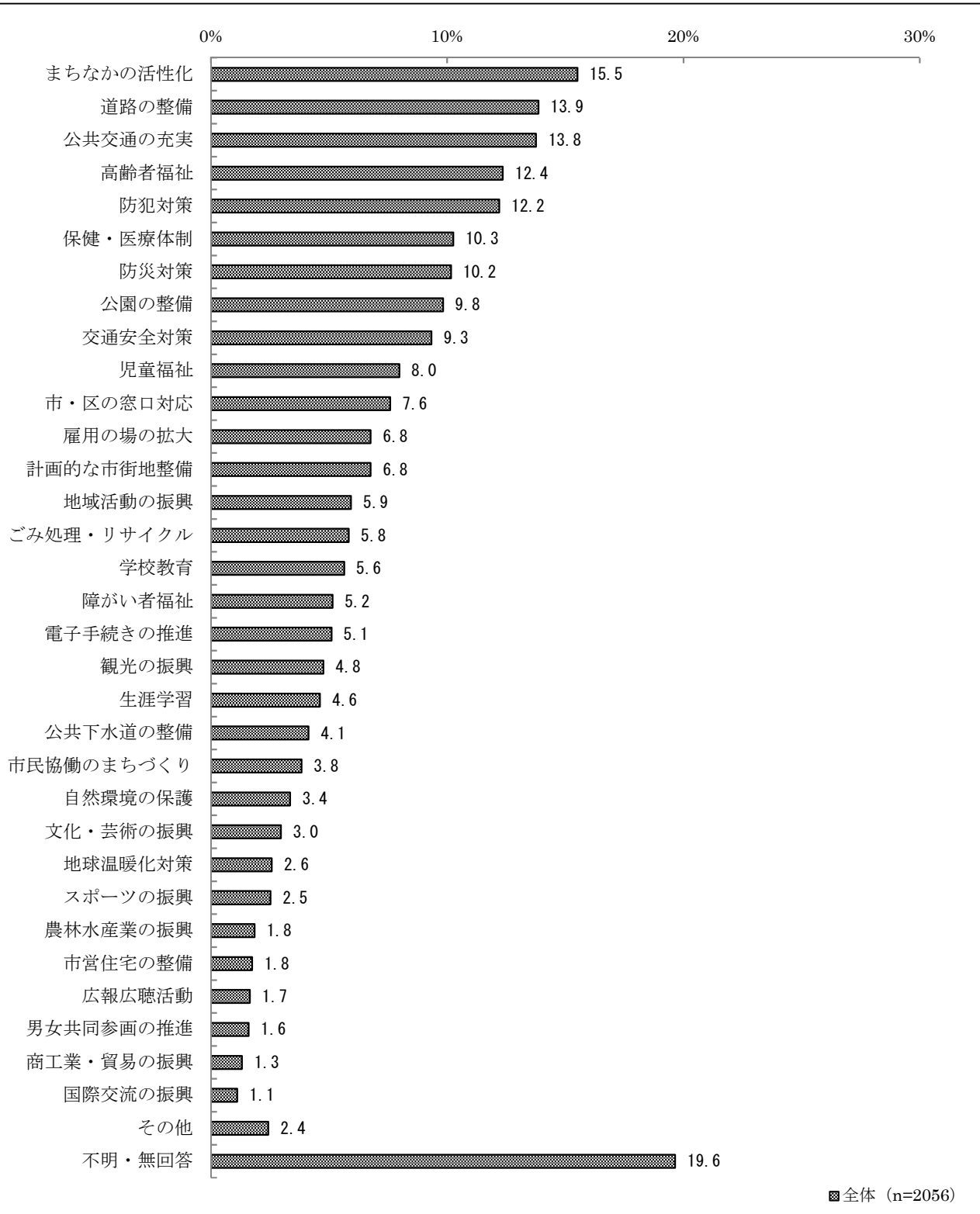


図 6-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



## — 「まちなかの活性化」が1割半ばでトップ —

### 【全体結果】

区として今後もっと力を入れてほしいものは、「まちなかの活性化」(15.5%)の割合が最も高い。以下、「道路の整備」(13.9%)、「公共交通の充実」(13.8%)、「高齢者福祉」(12.4%)、「防犯対策」(12.2%)、「保健・医療体制」(10.3%)、「防災対策」(10.2%)の順で続く。

### 【属性別結果】(次ページ図6-4参照)

#### ① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「まちなかの活性化」は、秋葉区(23.3%)、中央区(21.4%)、西蒲区(21.2%)で割合が高く、2割を超えた。

南区では「公共交通の充実」(21.4%)が、2割を超え、割合が最も高い項目となっている。

東区と西区では「防犯対策」(各17.6%、15.0%)が、割合が最も高い項目となっている。

#### ② 性別

「公共交通の充実」は、男性(12.0%)と比べて女性(15.6%)で割合がやや高い。

#### ③ 年齢別

「まちなかの活性化」は、30~39歳(21.2%)で割合が最も高く、約2割となっている。

18~29歳は、「道路の整備」(18.5%)が、30~39歳は、「児童福祉」(16.9%)、「電子手続きの推進」(13.0%)が他の年齢層と比べて割合が高く、差がみられた。

図 6-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

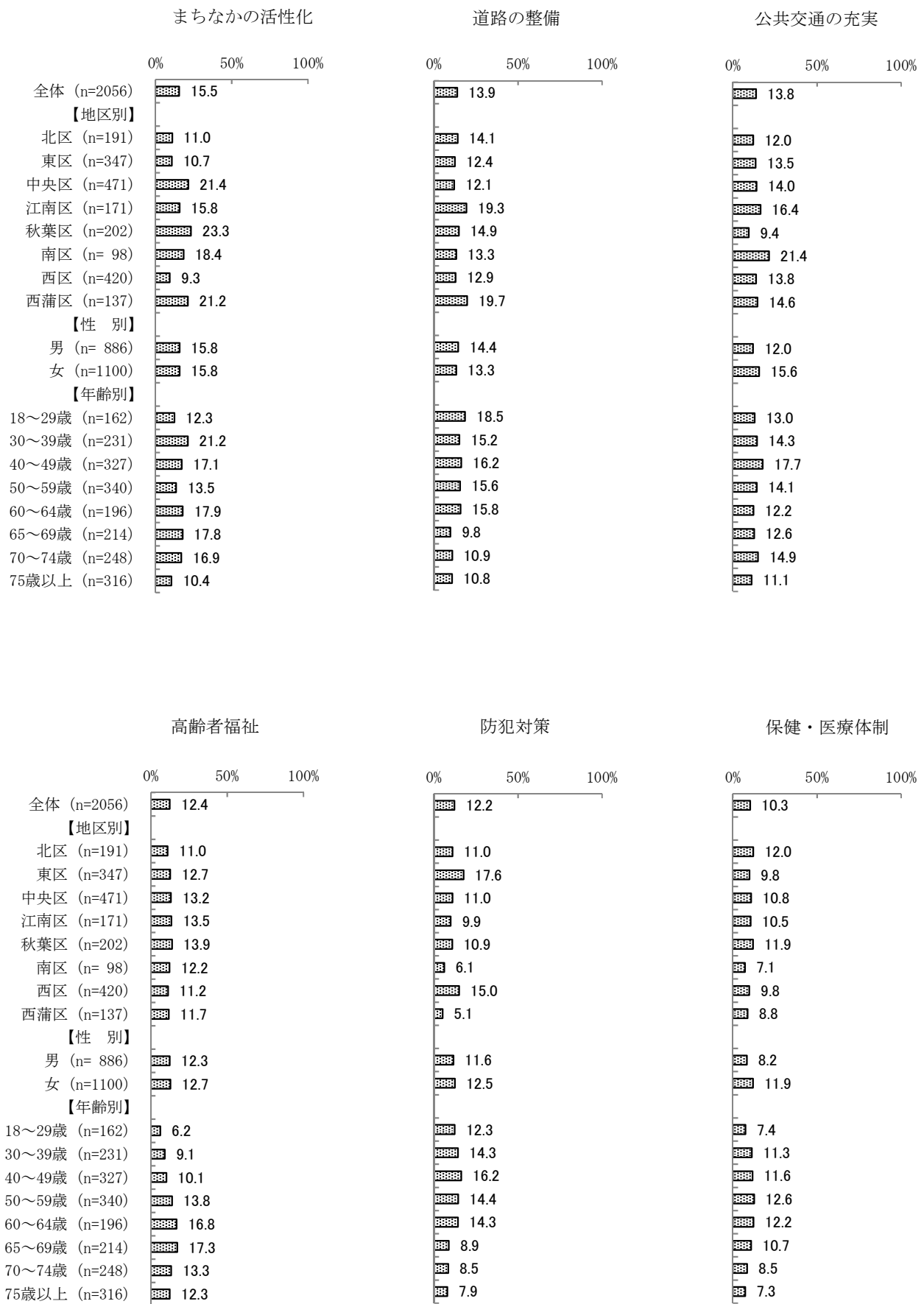


図 6-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

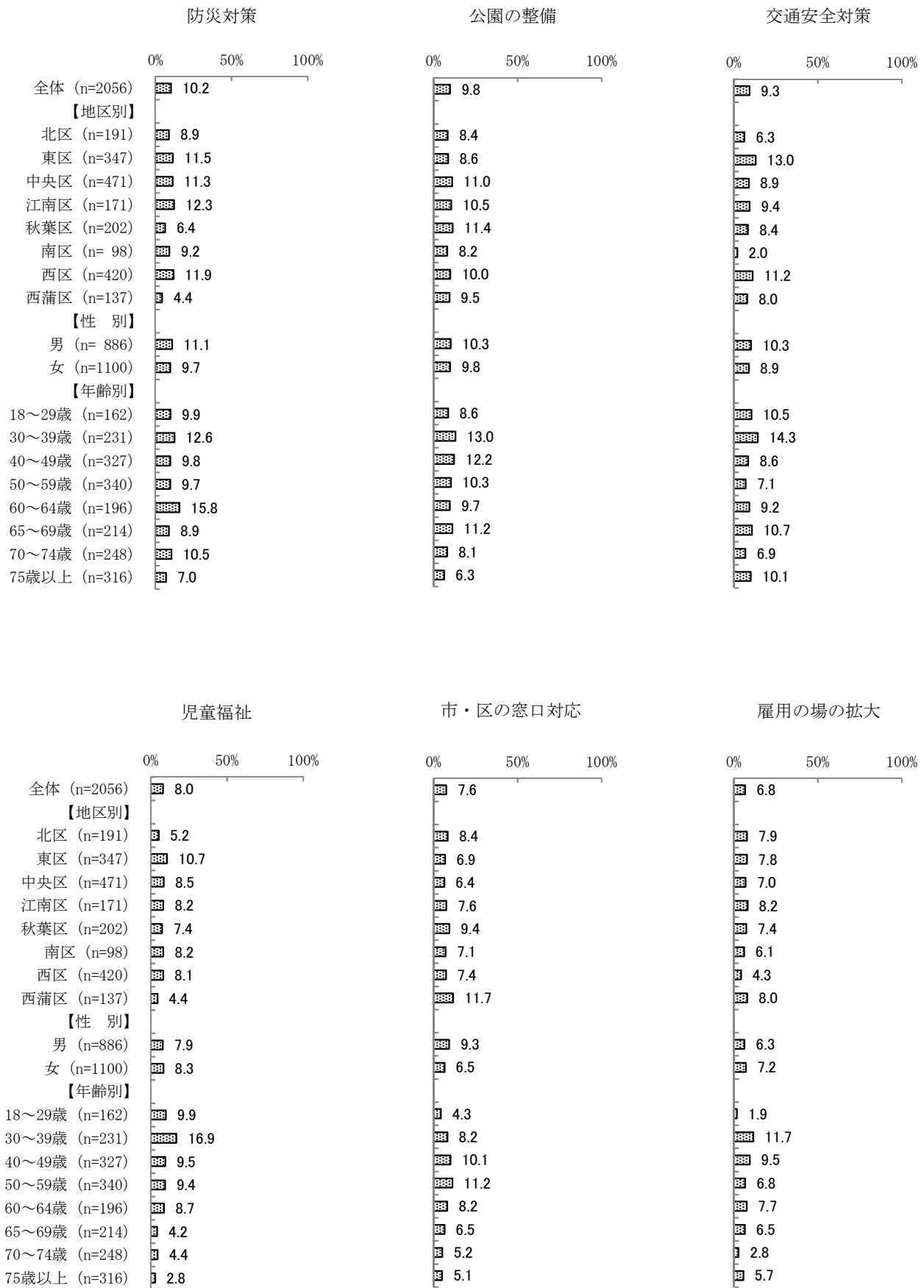




図 6-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

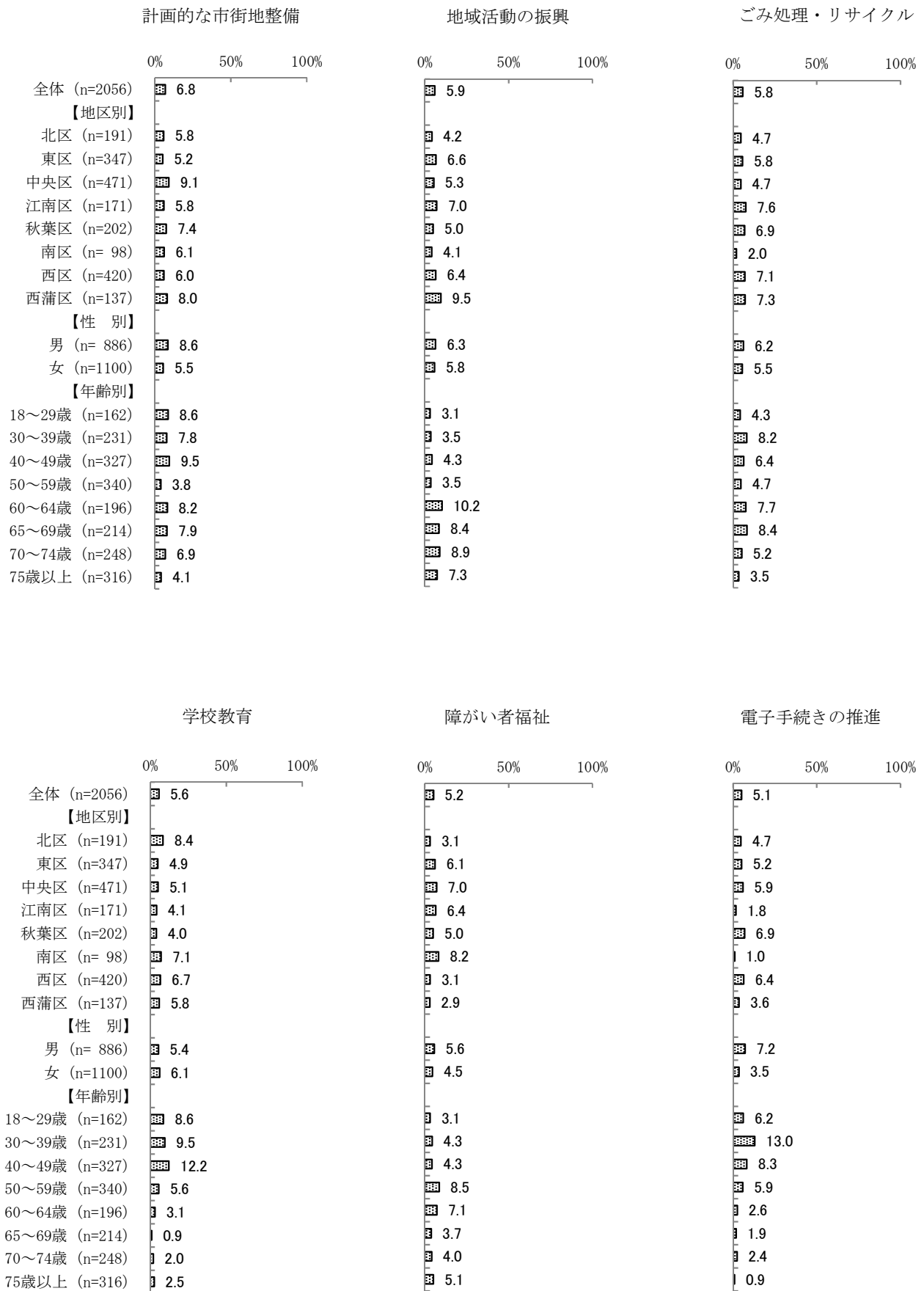


図 6-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

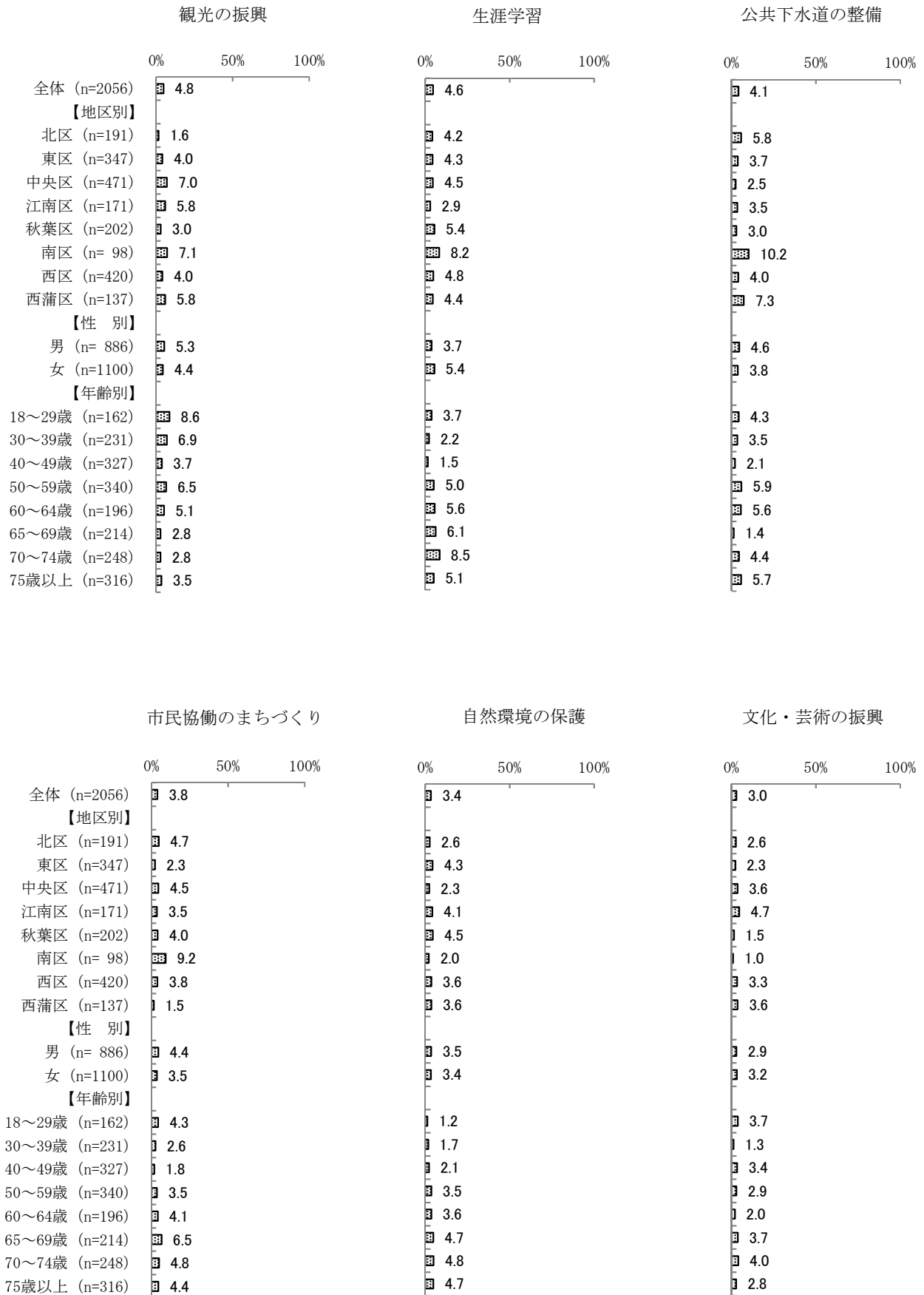


図 6-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

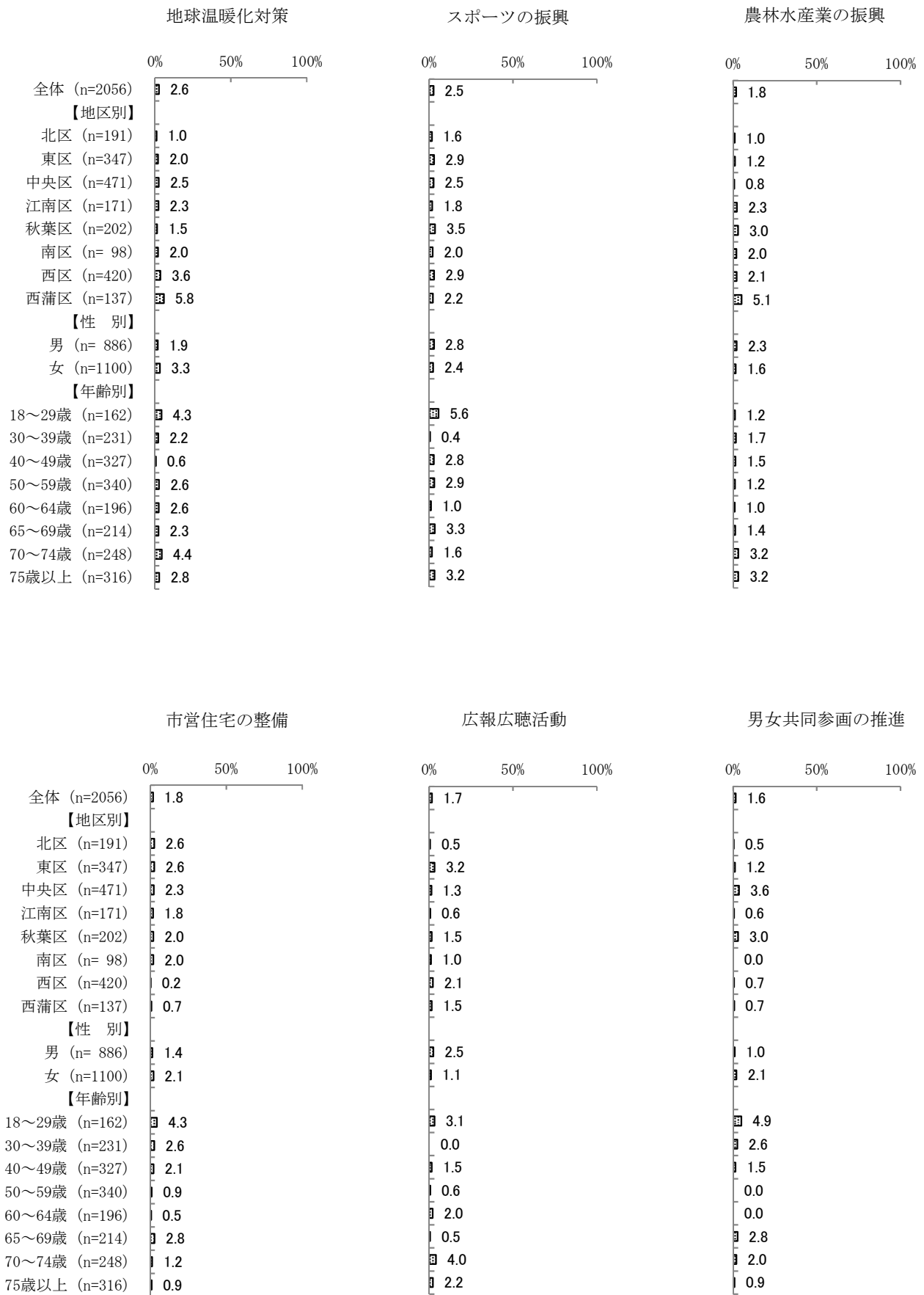
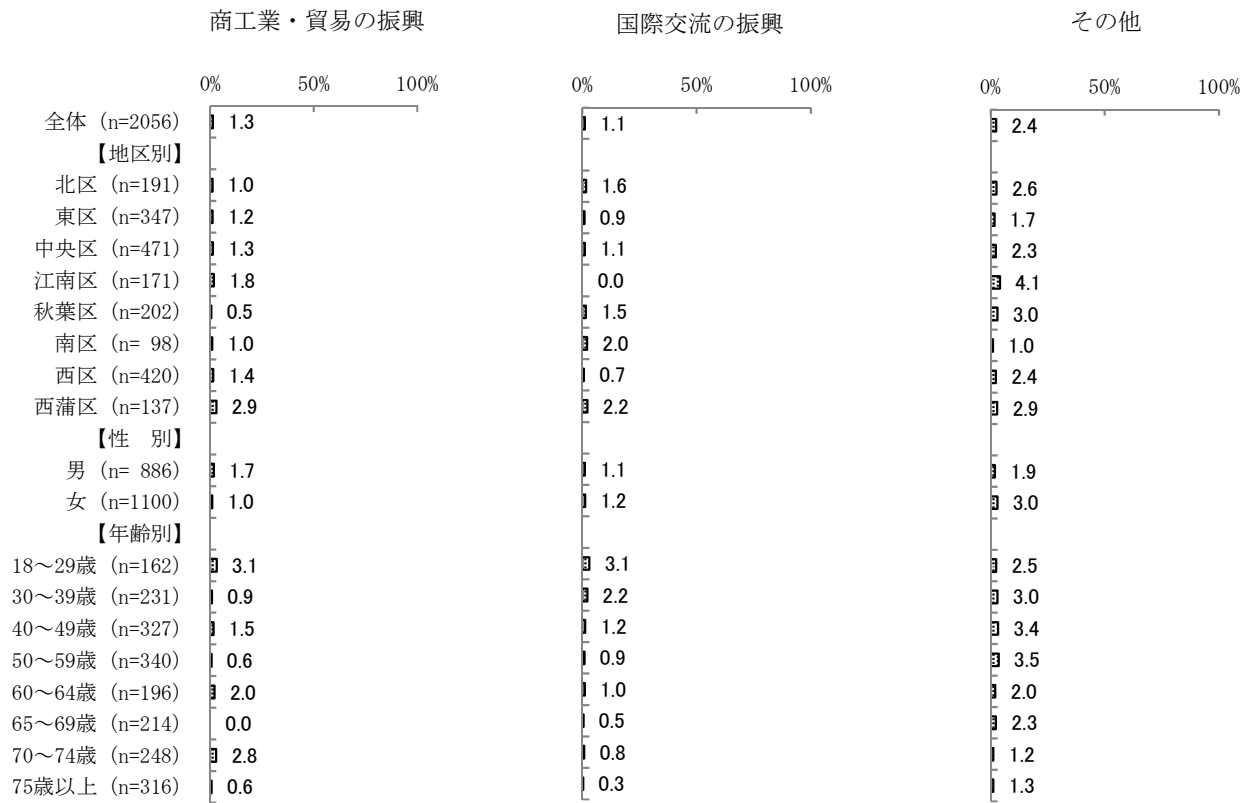


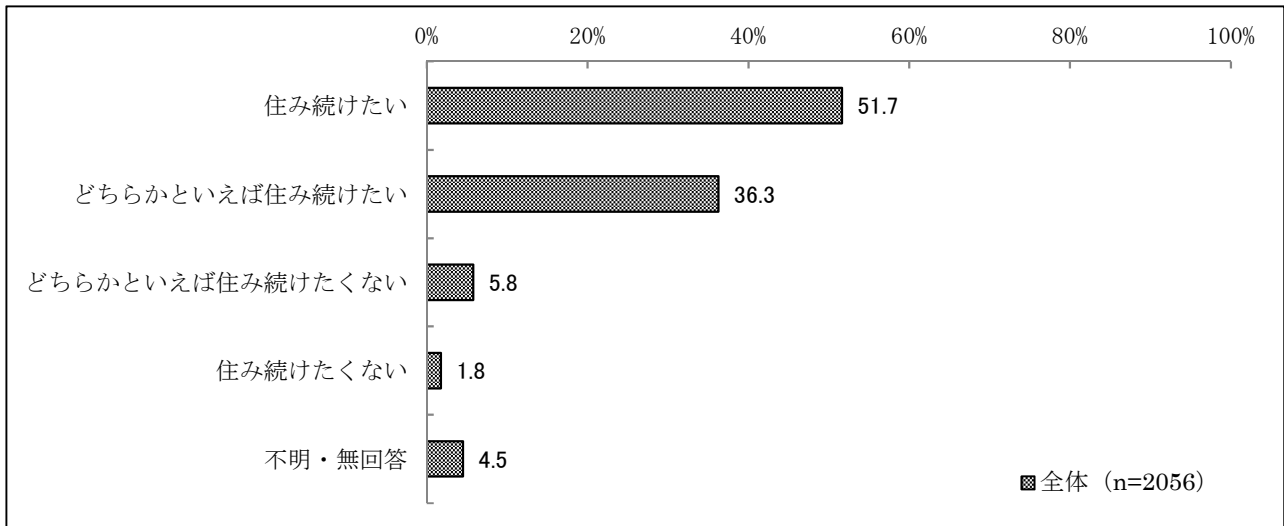
図 6-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



## 7. 市の取り組みについて

### (1) 新潟市に住み続けたいか

問25 新潟市は、総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき、人口減少、少子・超高齢化の進行に対応し、「将来にわたって活力ある、住みよいまち、暮らしたいまち」を目指した取り組みを進めています。そこで、あなたの感想をお聞かせください。あなたは「新潟市」に住み続けたいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選び、○を付けてください。



### — 『住み続けたい』が9割弱 —

#### 【全体結果】

「住み続けたい」(51.7%)の割合が最も高く、5割を超えた。「どちらかといえば住み続けたい」(36.3%)を合わせた『住み続けたい』(87.9%)は9割弱となった。

「どちらかといえば住み続けたくない」(5.8%)、「住み続けたくない」(1.8%)を合わせた『住み続けたくない』(7.5%)は1割に満たなかった。

#### 【属性別結果】(次ページ図7-1参照)

##### ① 地区別

『住み続けたい』の割合は、東区(90.2%)で最も高く、いずれの地区でも9割前後となった。『住み続けたくない』の割合は、南区(11.2%)、西蒲区(10.2%)以外の地区では1割に満たなかった。

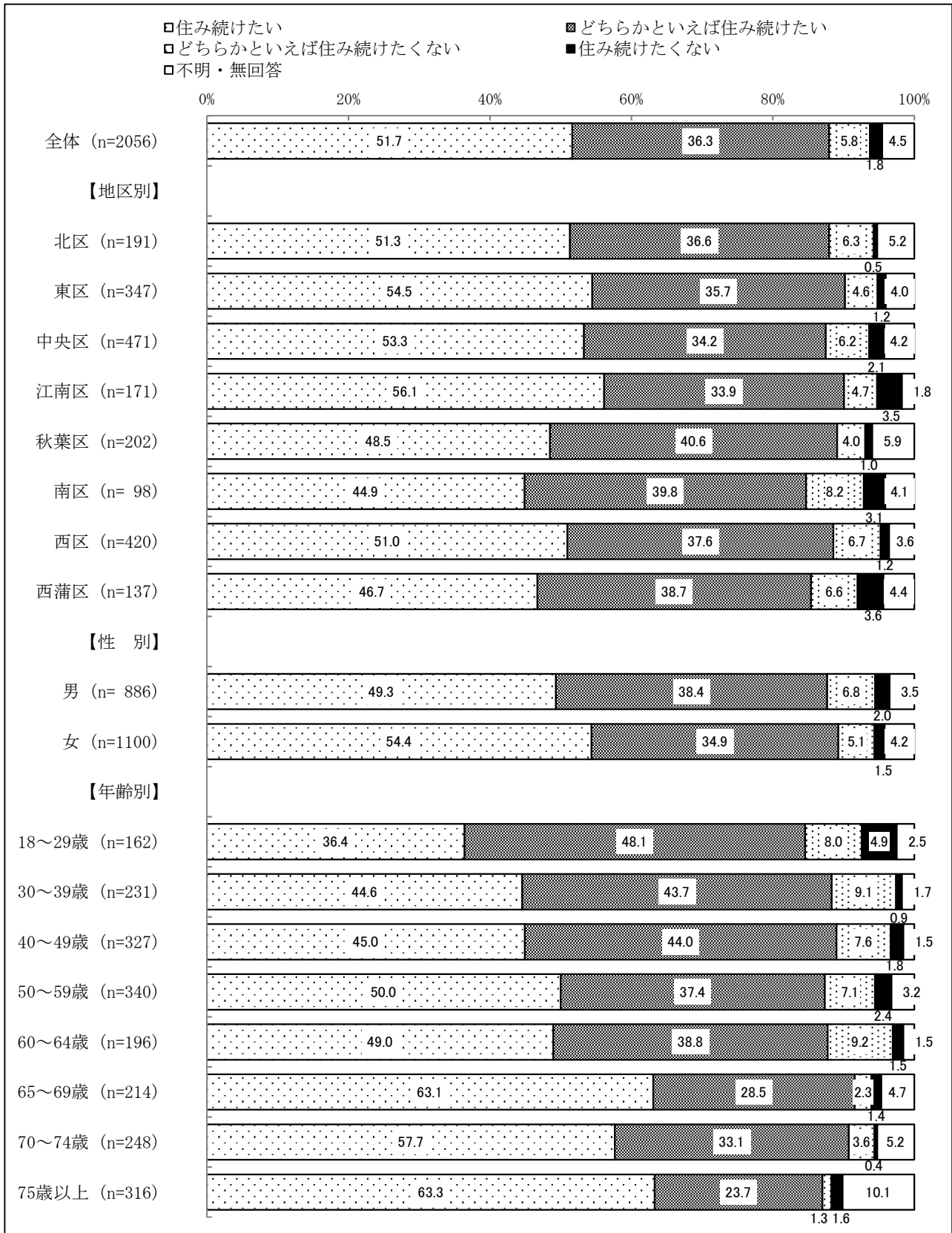
##### ② 性別

ほとんど差はみられない。

##### ③ 年齢別

『住み続けたい』の割合は、すべての年代で8割以上となったが、18~29歳(84.6%)で最も低い。

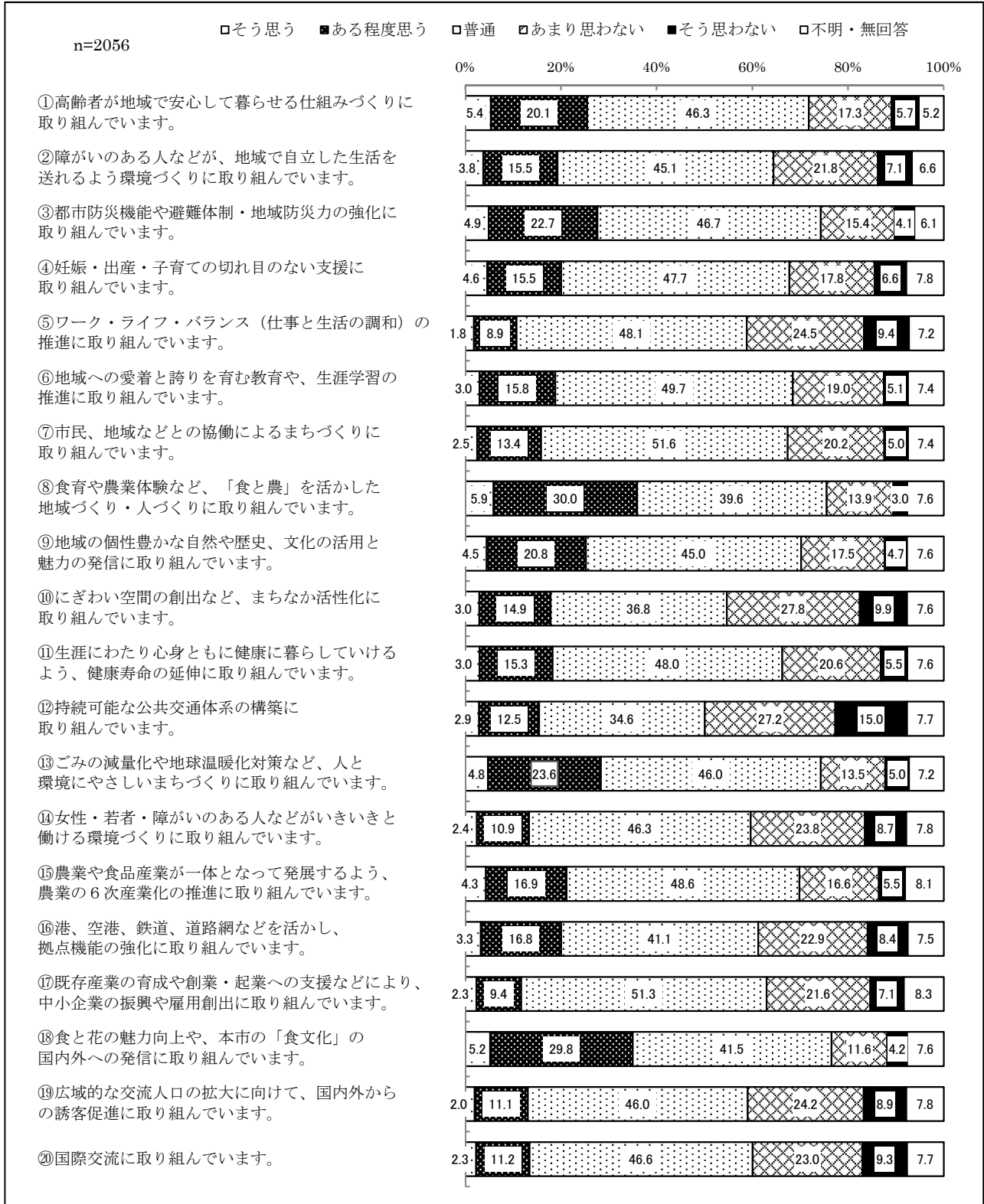
図 7-1 新潟市に住み続けたいか（地区別/性別/年齢別）



(2) 取り組みへの感想

問26 新潟市が進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで○をつけてください。

【取り組みへの感想】



### 【全体結果】

市の取り組み状況への感想について、「そう思う」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(5.9%)で最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(5.4%)、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(5.2%)の順に続く。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(15.0%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(9.9%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(9.4%)、「⑳国際交流に取り組んでいます。」(9.3%)、「⑲広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。」(8.9%)の順に続く。

感想について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(35.9%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(35.0%)と続き、3割以上となっている。

また、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(28.4%)、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(27.6%)、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(25.5%)、「⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。」(25.2%)、「⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。」(21.2%)、「④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。」(20.1%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(20.1%)が2割台で続いている。

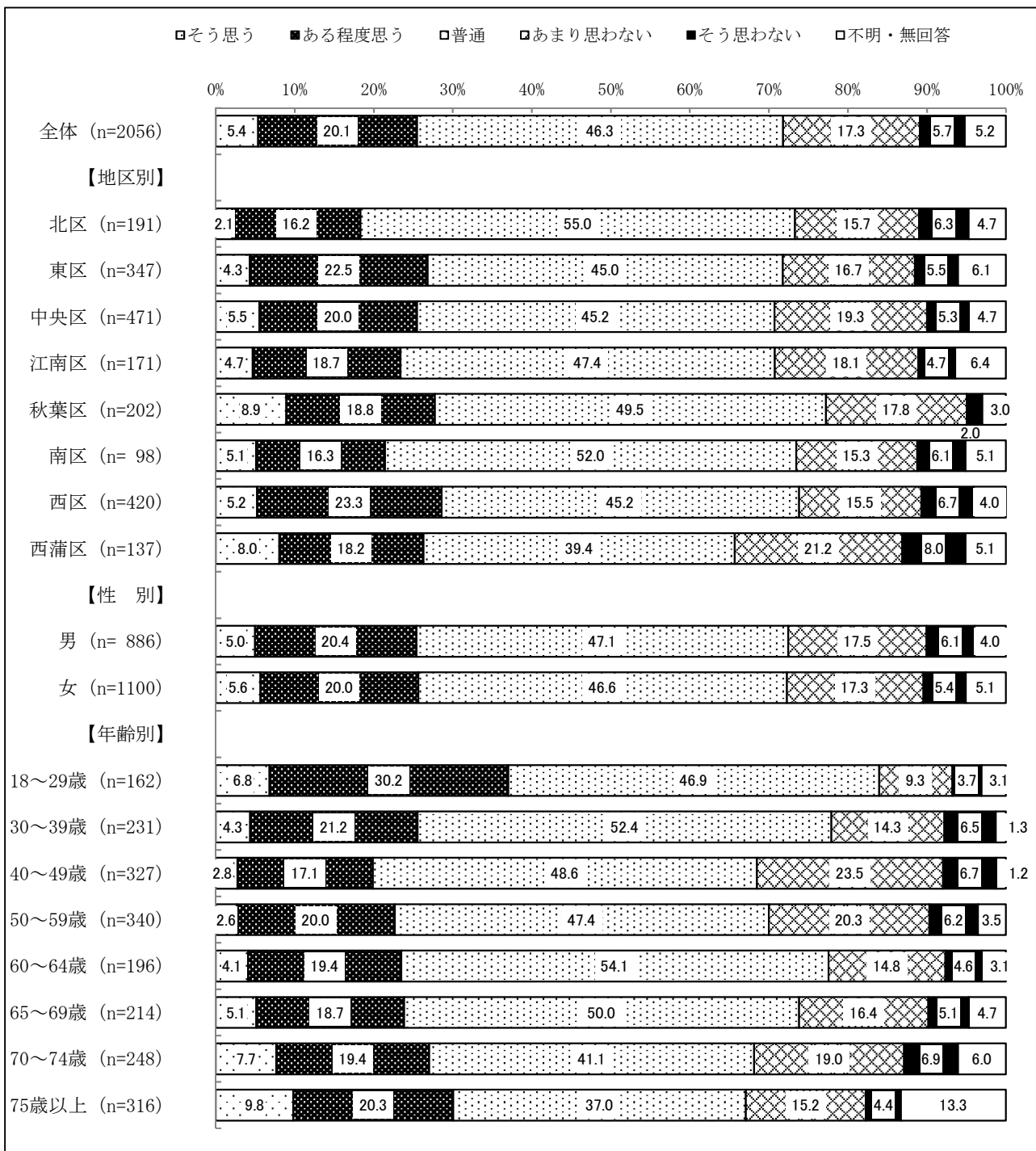
一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(42.2%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(37.7%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(33.9%)、「⑲広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。」(33.1%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(32.5%)の順に続く。

### 【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。



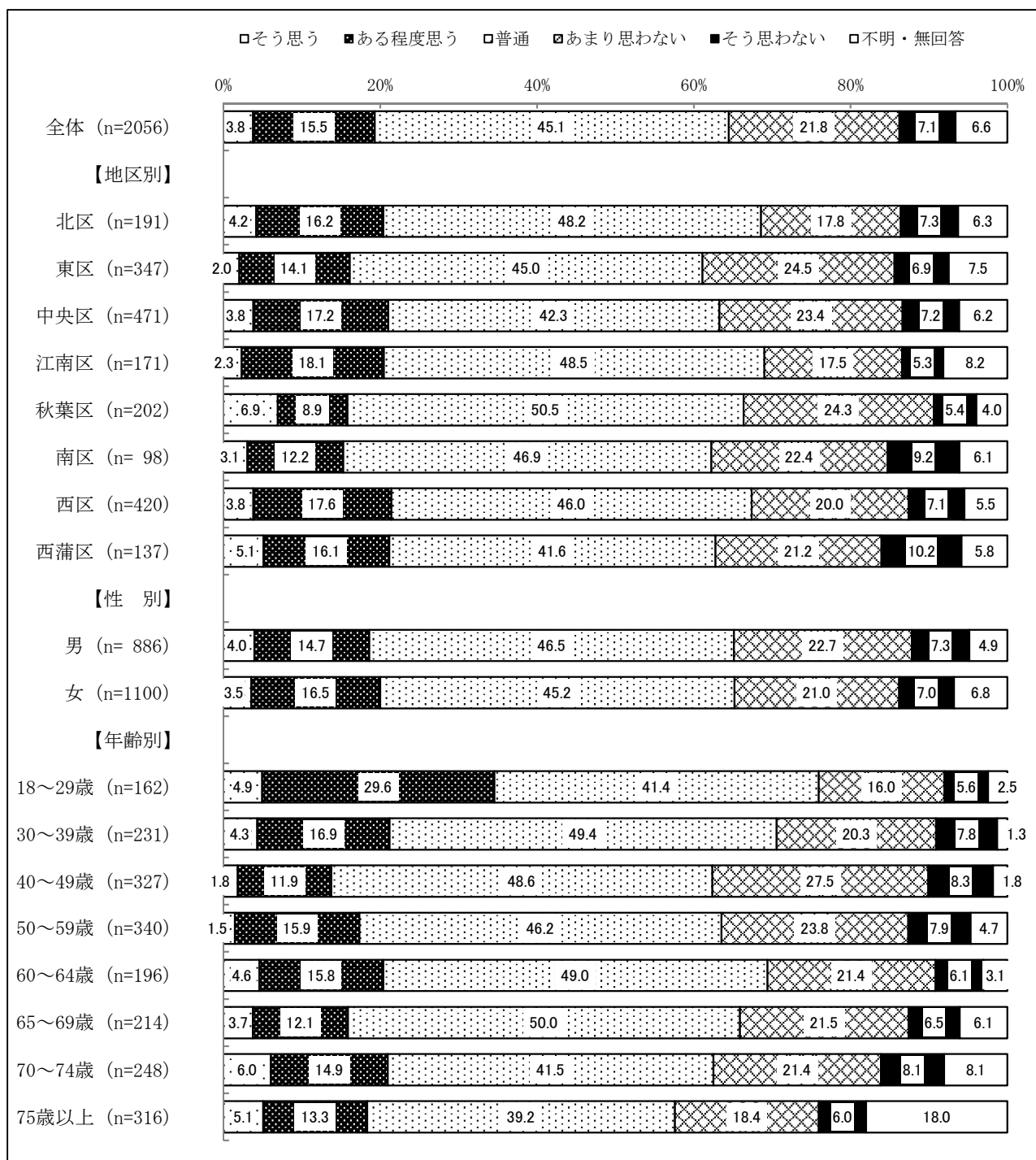
①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（28.6%）が最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（37.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（29.2%）が最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、40～49歳（30.3%）で最も高い。

②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。

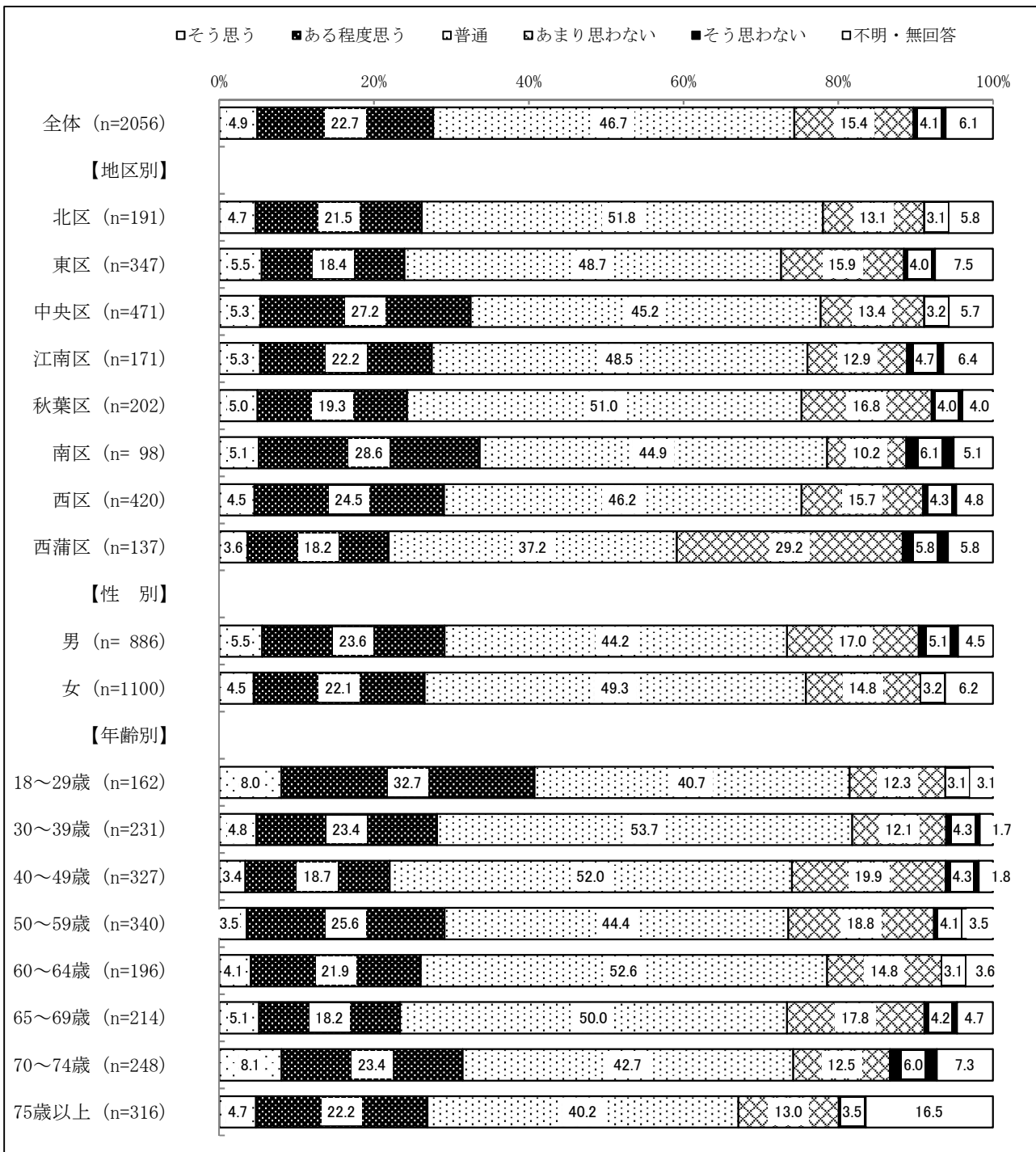


地区別・性別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（21.4%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（34.6%）で最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（31.6%）が最も高い。性別による大きな差はない。年齢別では、40～49歳（35.8%）で最も高い。

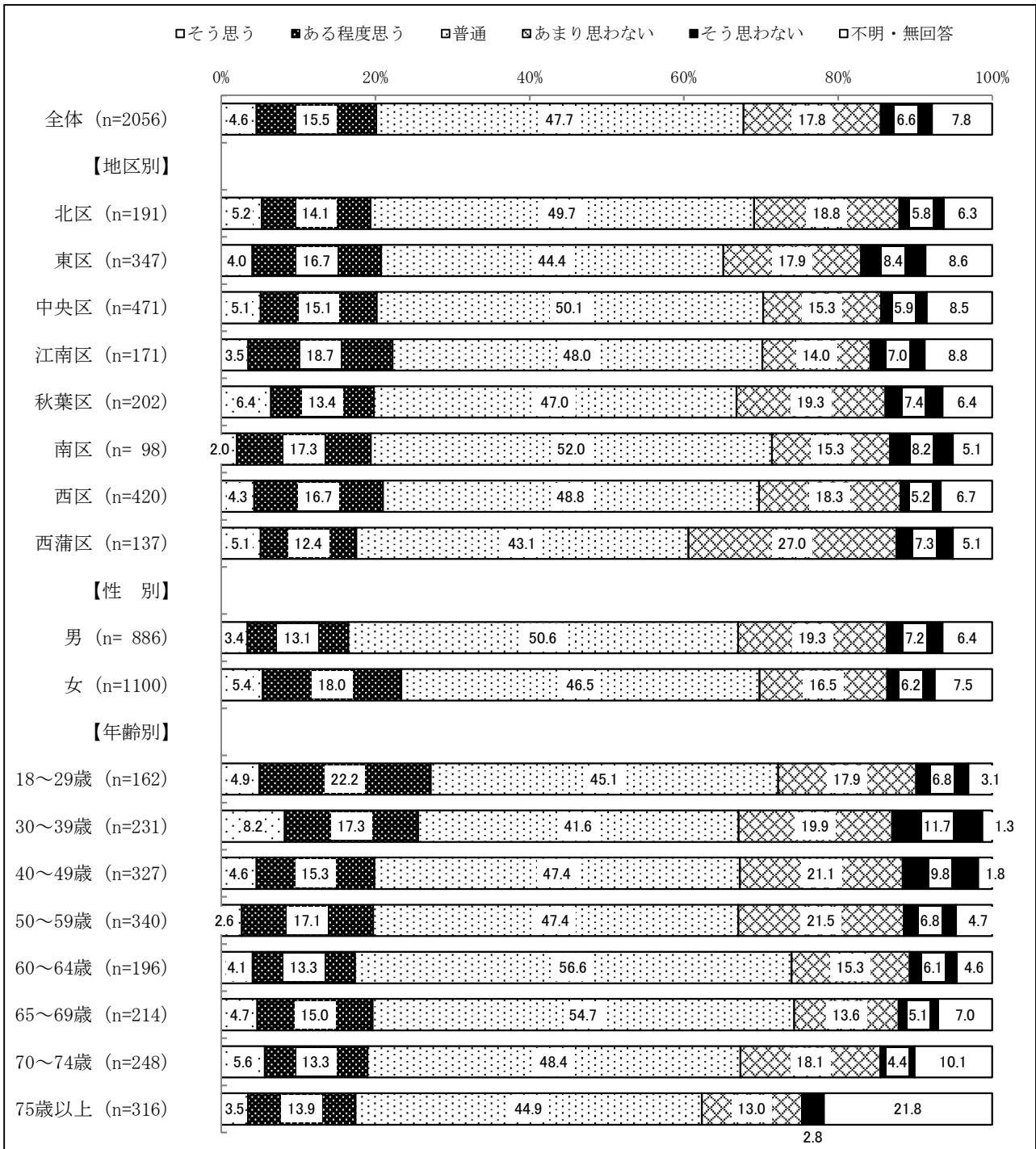
③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（33.7%）で最も高い。性別では、女性（26.5%）より男性（29.1%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（40.7%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（35.0%）で最も高い。性別では、女性（18.0%）より男性（22.1%）の割合がやや高く、年齢別では、40～49歳（24.2%）で最も高い。

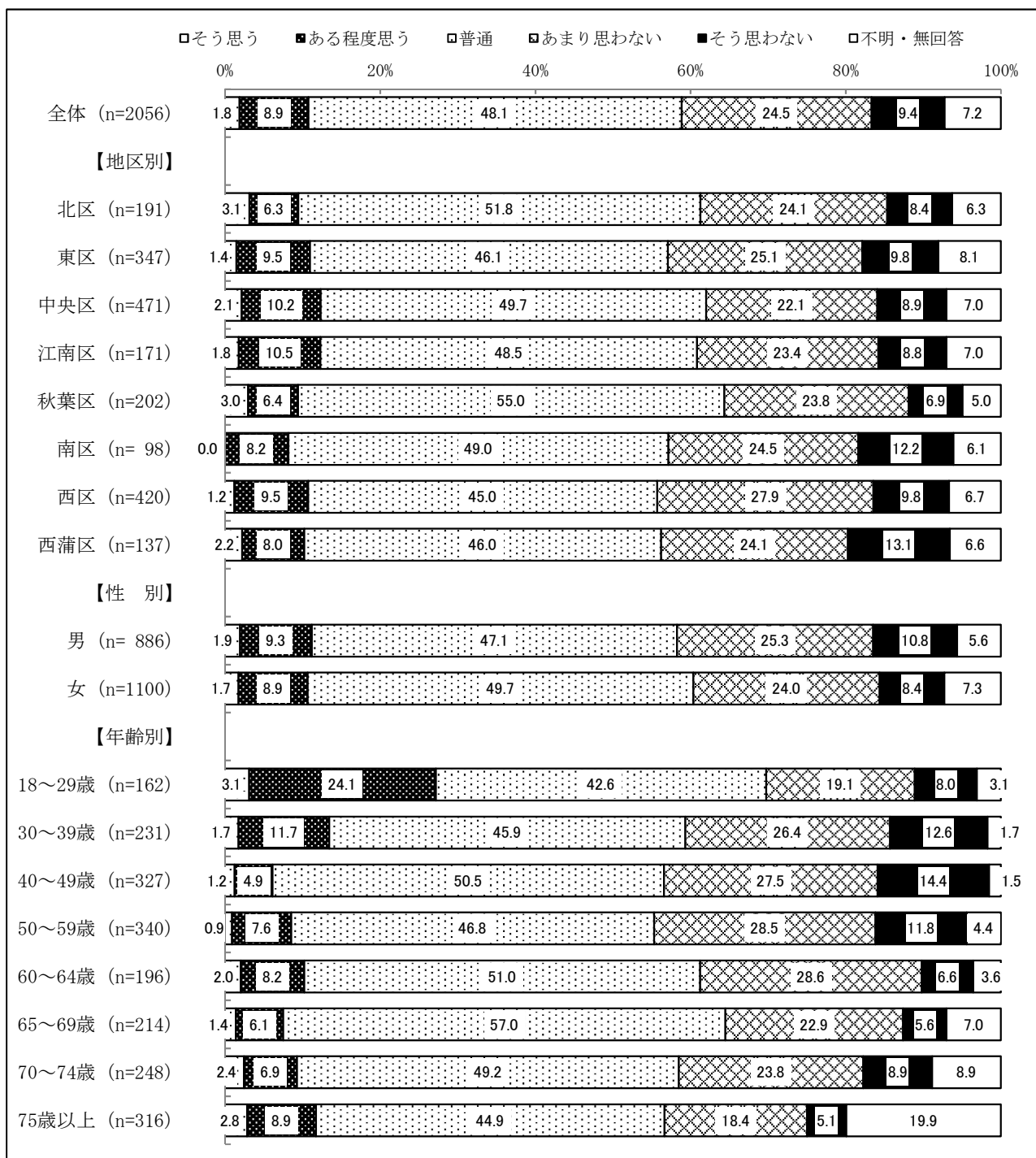
④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（22.2%）で最も高い。性別では、男性（16.5%）より女性（23.4%）の割合が高く、年齢別では、18～29歳（27.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（34.3%）で最も高い。性別では、女性（22.7%）より男性（26.5%）の割合がやや高く、年齢別では、30～39歳（31.6%）で最も高い。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

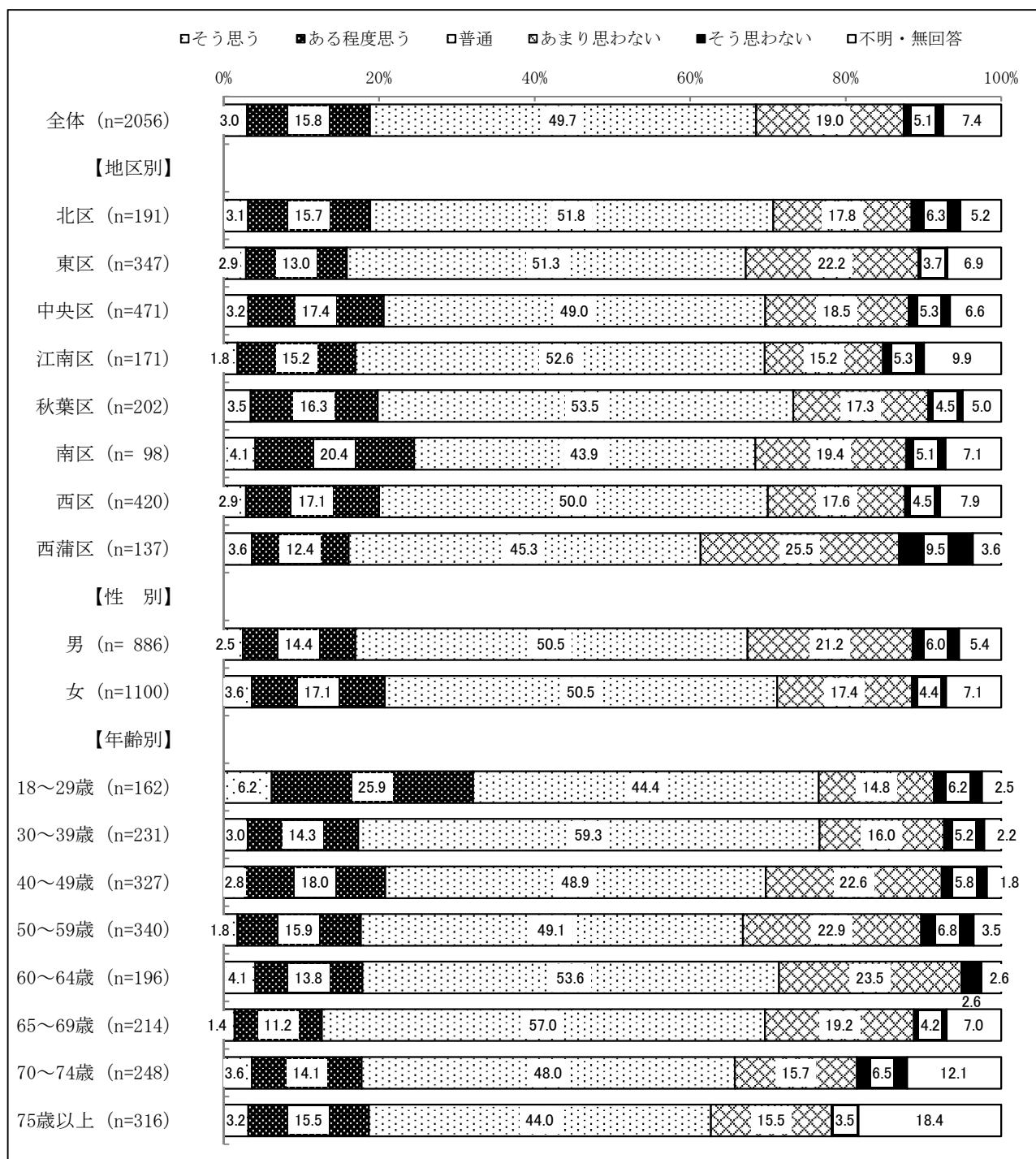


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区、江南区（いずれも12.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（27.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西区（37.6%）で最も高い。性別では、女性（32.4%）より男性（36.1%）の割合がやや高く、年齢別では、40～49歳（41.9%）で最も高い。

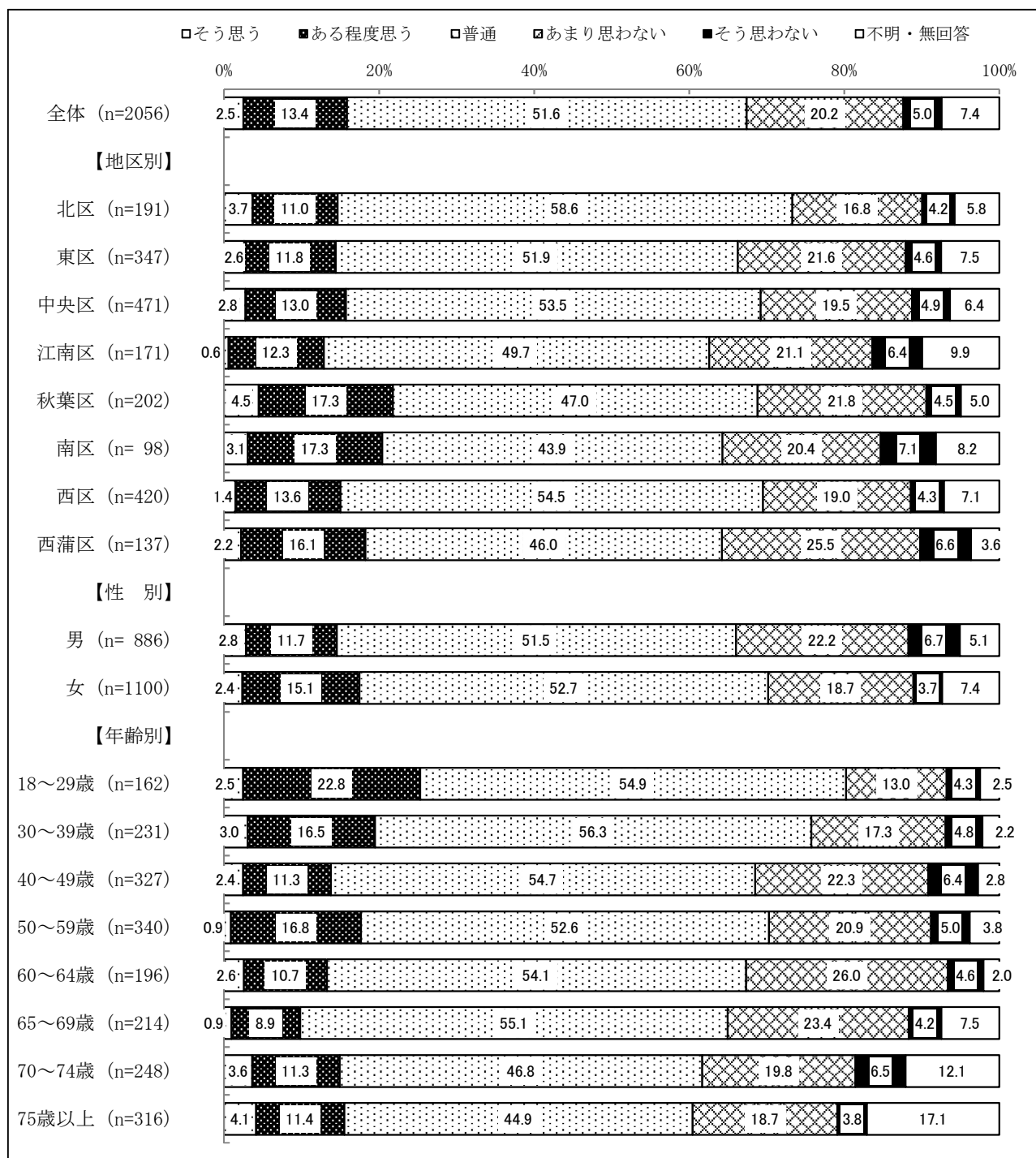
⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.5%）で最も高い。性別では、男性（16.9%）より女性（20.7%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（32.1%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（35.0%）で最も高い。性別では、女性（21.7%）より男性（27.2%）の割合が高く、年齢別では、50～59歳（29.7%）で最も高い。

⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。

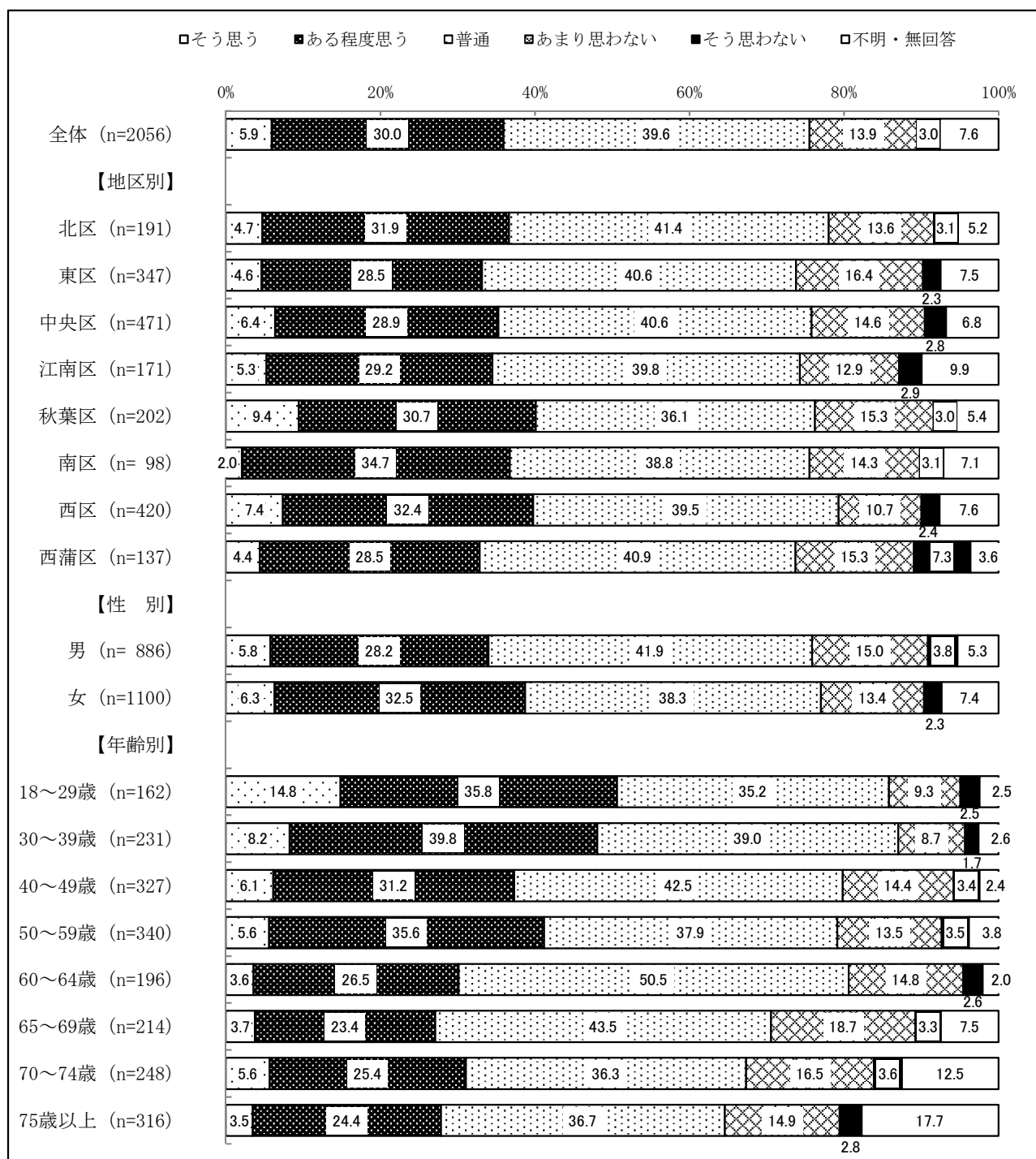


地区別・性別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（21.8%）で最も高い。性別では、男性（14.6%）より女性（17.5%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（25.3%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（32.1%）で最も高い。性別では、女性（22.5%）より男性（28.9%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（30.6%）で最も高い。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。



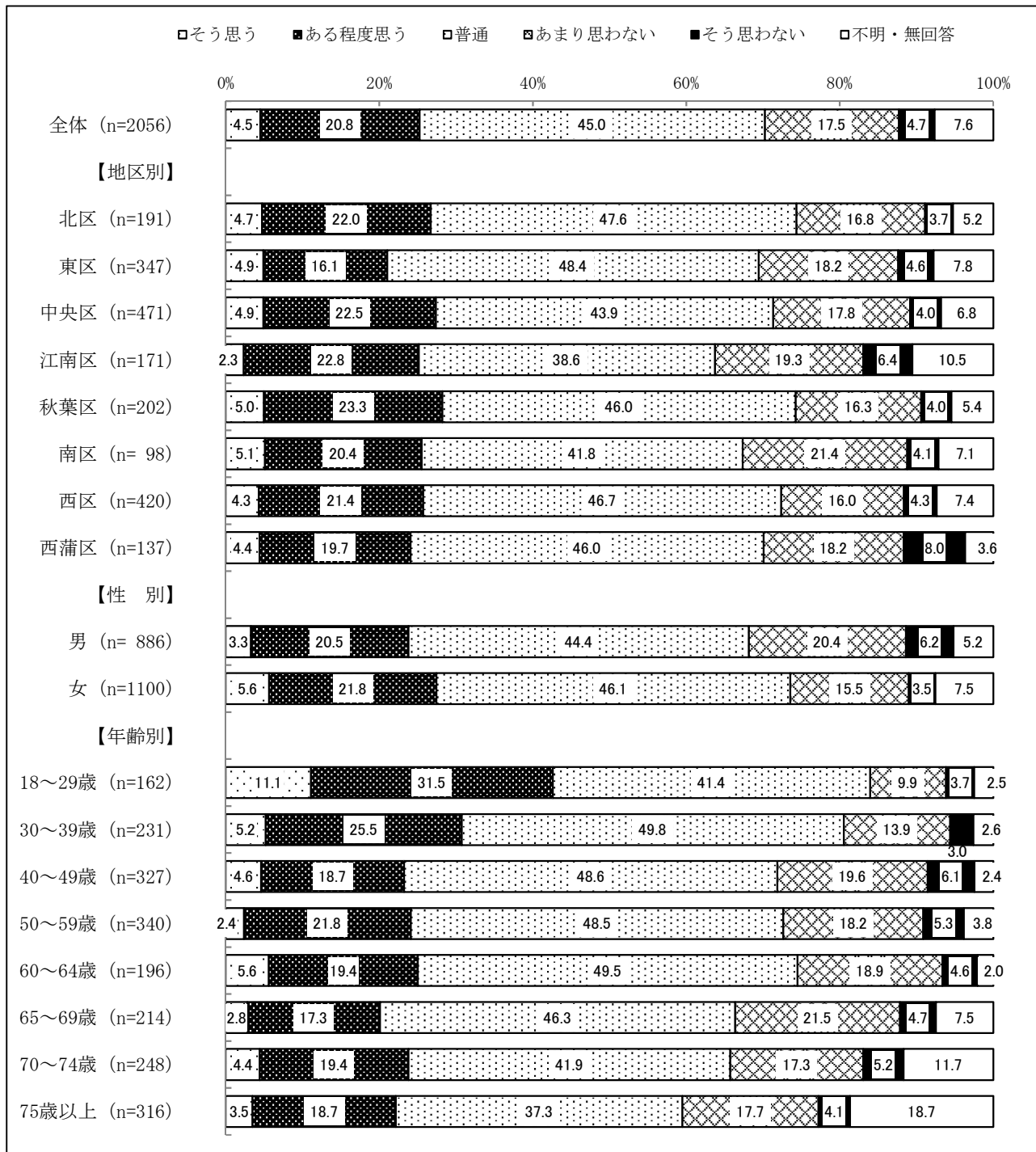
地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（40.1%）で最も高い。性別では、男性（34.0%）より女性（38.7%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（50.6%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（22.6%）で最も高い。性別では、女性（15.6%）より男性（18.8%）の割合がやや高く、年齢別では、65～69歳（22.0%）で最も高い。



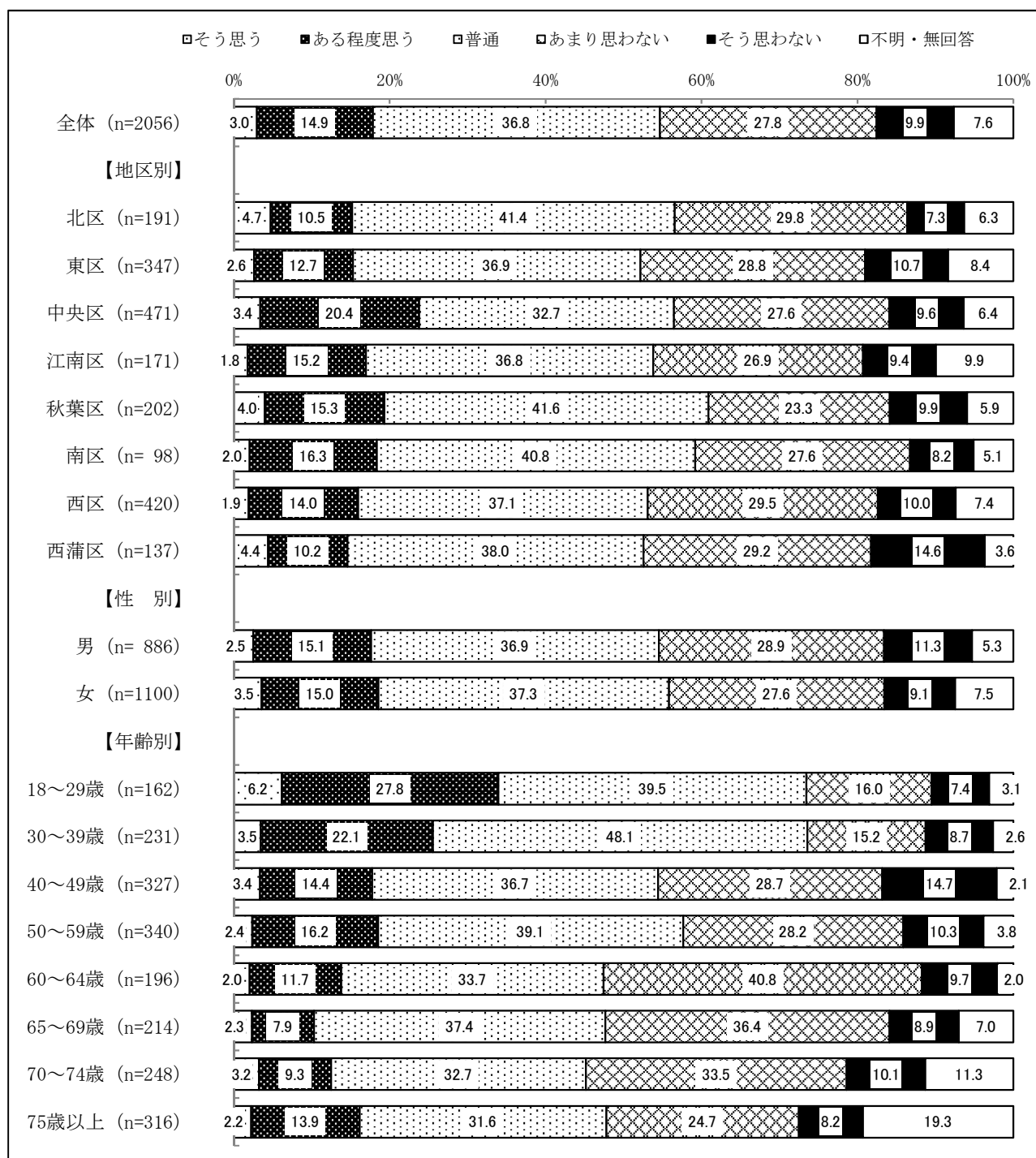
⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（28.2%）で最も高い。性別では、男性（23.8%）より女性（27.5%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（42.6%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（26.3%）で最も高い。性別では、女性（18.9%）より男性（26.6%）の割合が高く、年齢別では、65～69歳（26.2%）で最も高い。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。

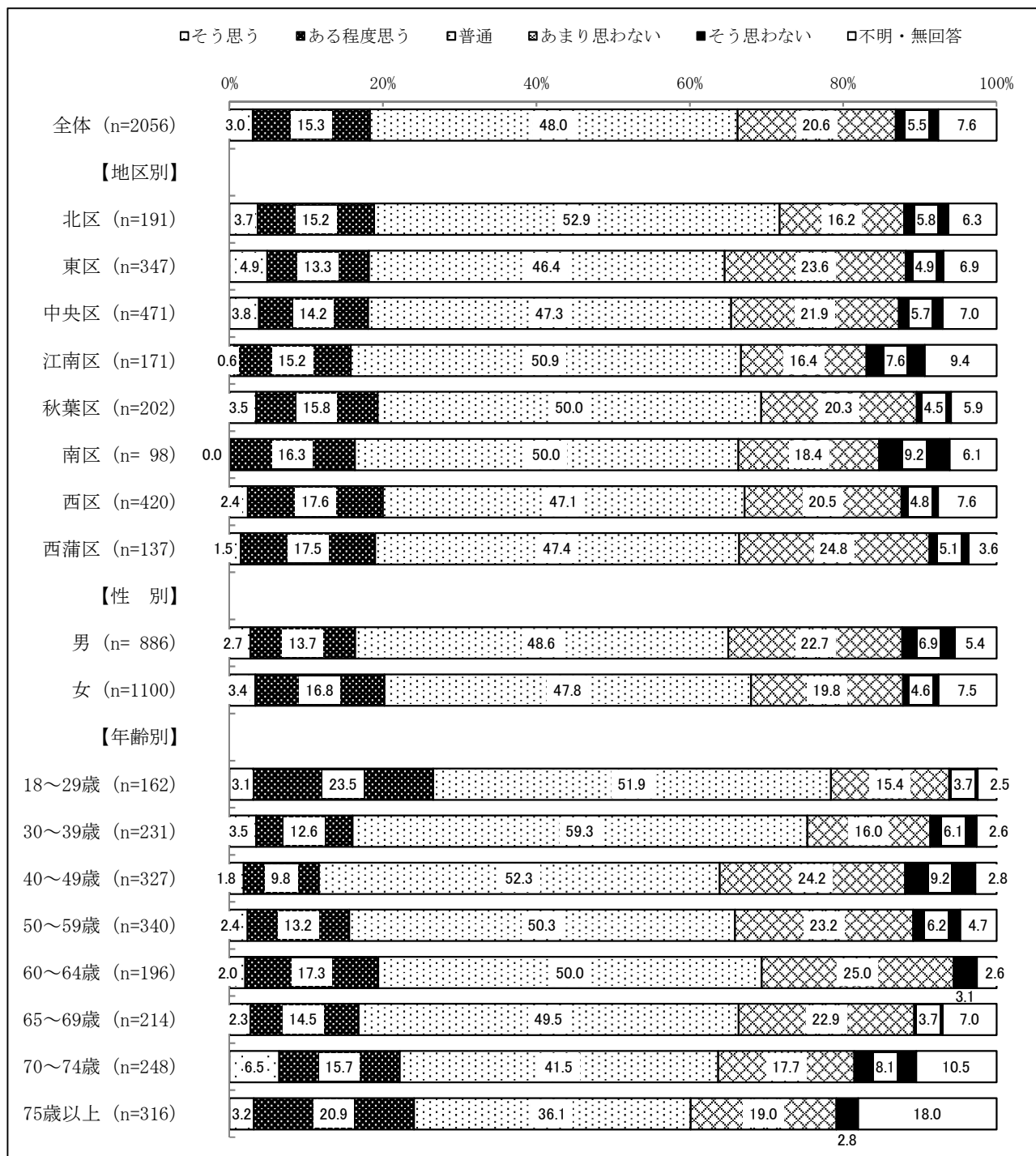


地区別・性別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（23.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（34.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（43.8%）で最も高い。性別では、女性（36.7%）より男性（40.2%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（50.5%）で最も高い。

⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。

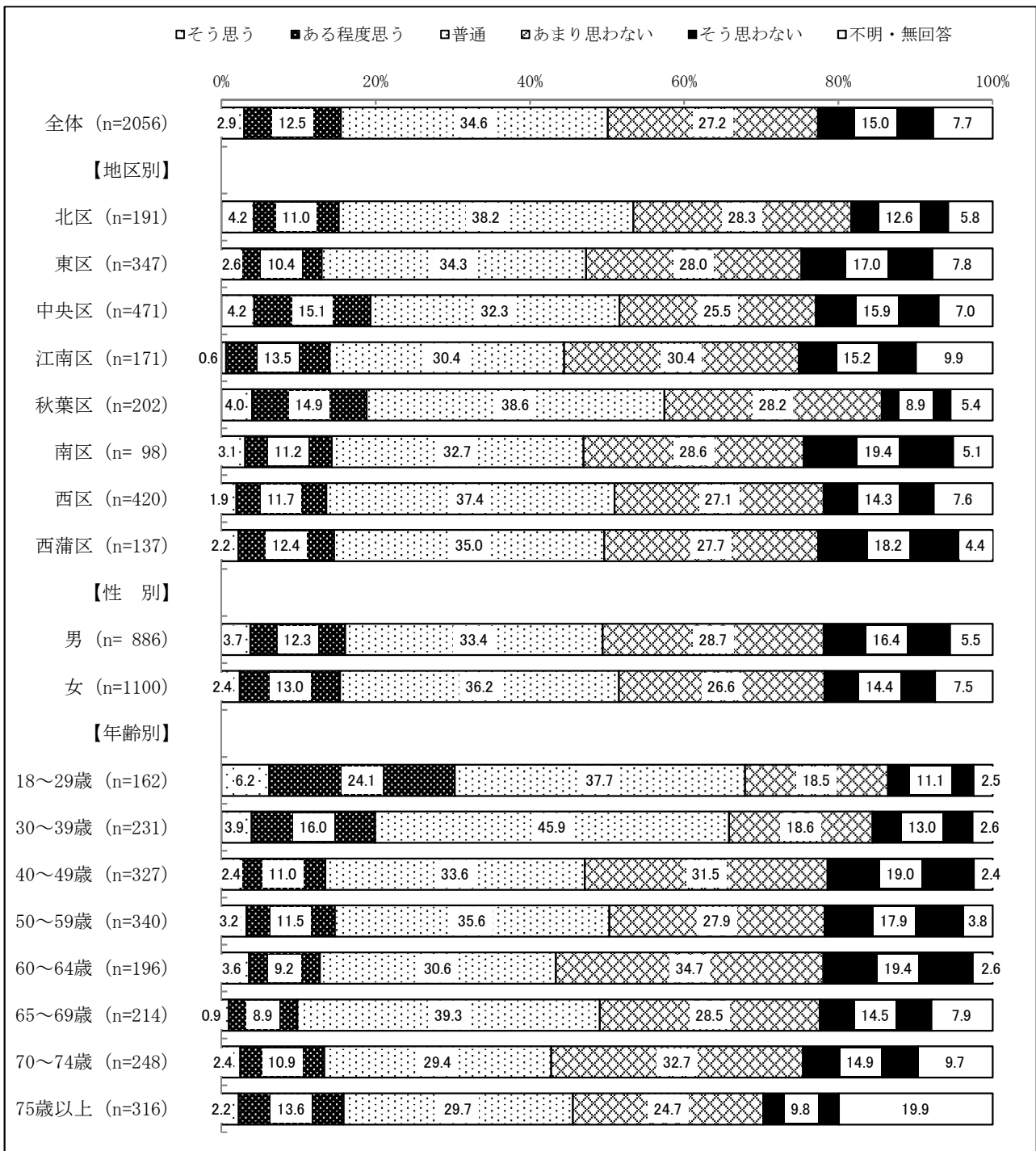


地区別・性別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（20.0%）で最も高い。性別では、男性（16.4%）より女性（20.2%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（26.5%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（29.9%）で最も高い。性別では、女性（24.5%）より男性（29.6%）の割合が高く、年齢別では、40～49歳（33.3%）で最も高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

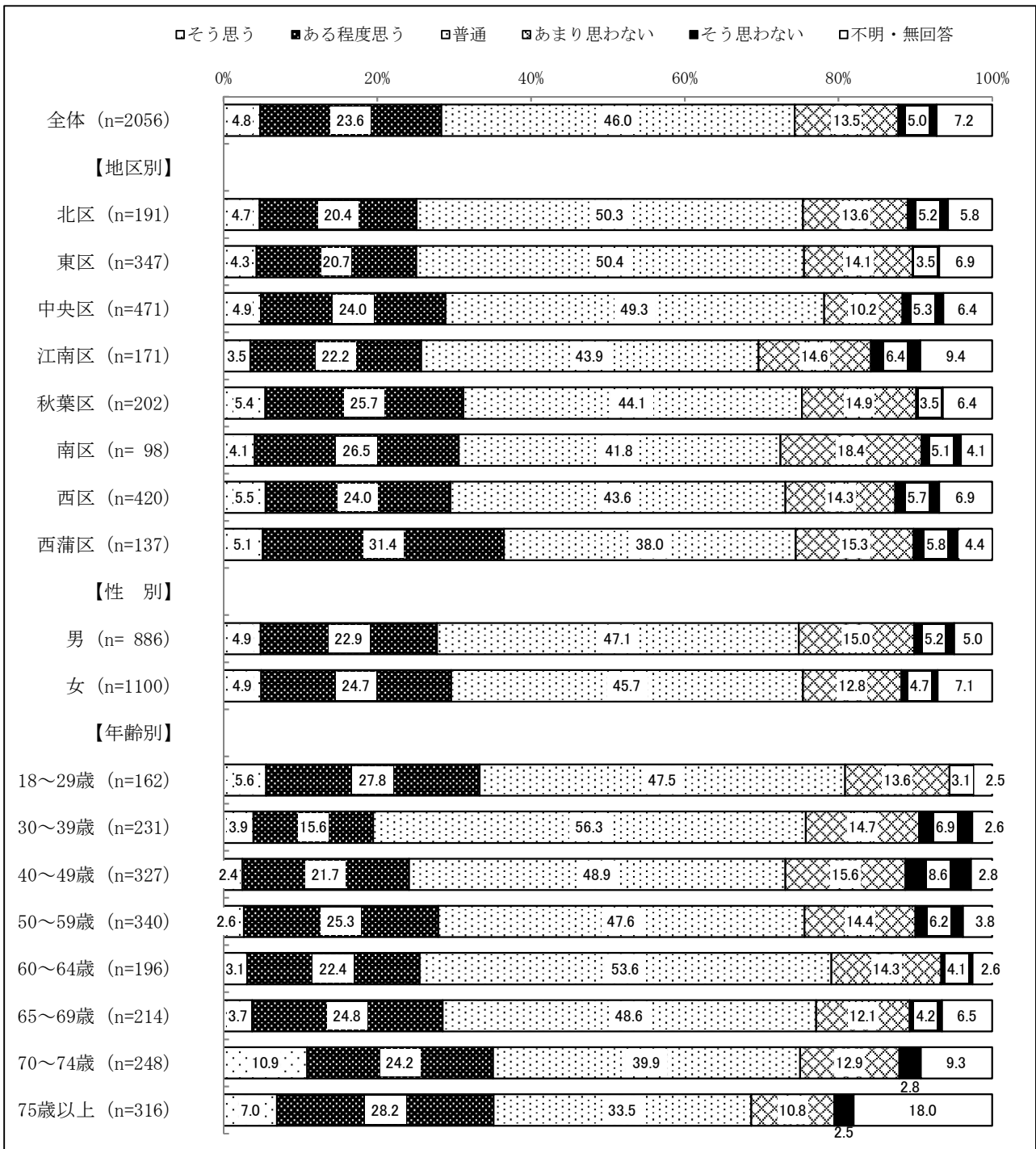


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（19.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（30.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（48.0%）で最も高い。性別では、女性（41.0%）より男性（45.0%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（54.1%）で最も高い。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

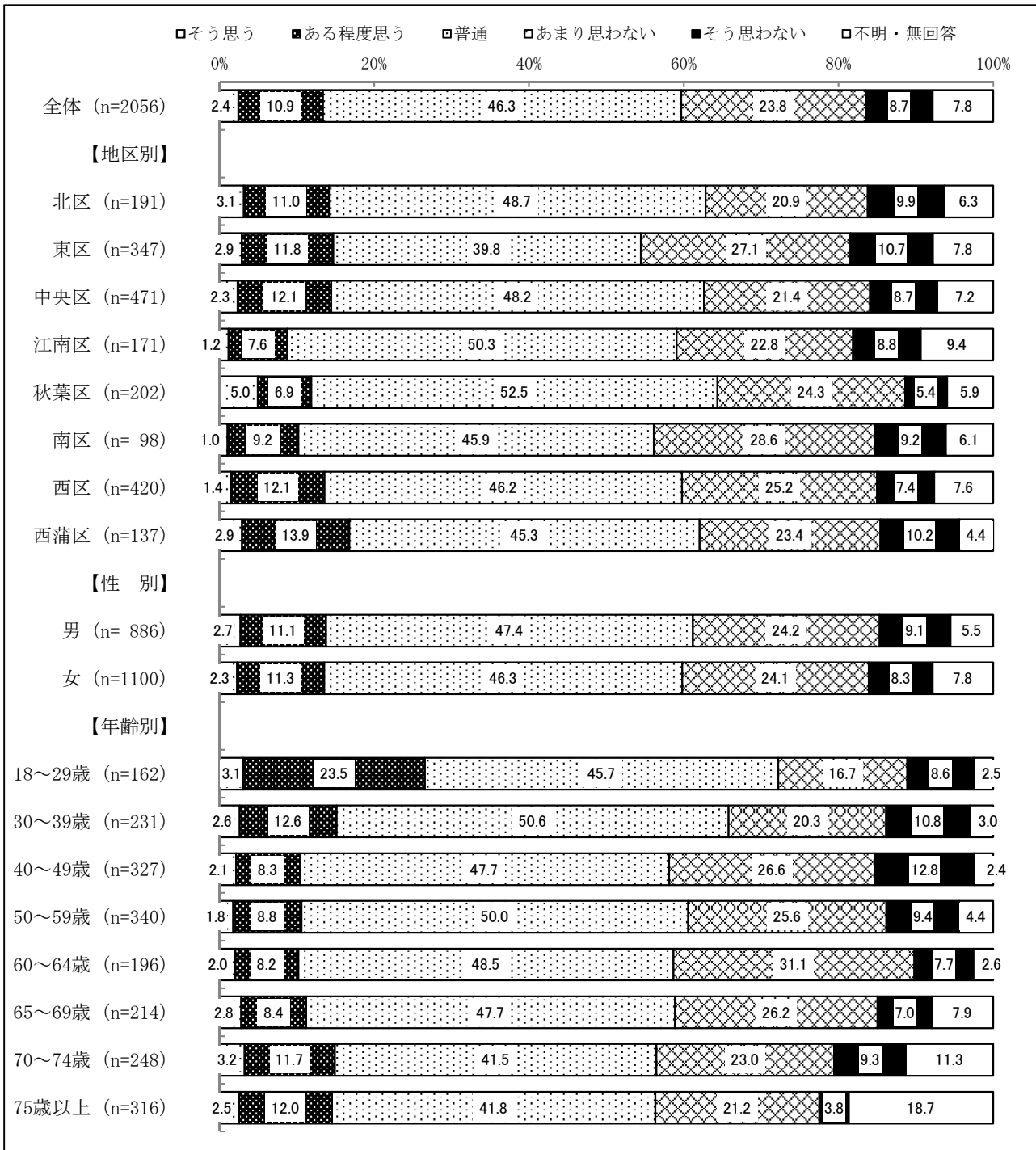


地区別・性別の属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（36.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、70～74歳、75歳以上（いずれも35.1%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（23.5%）で最も高い。性別では、女性（17.5%）より男性（20.2%）の割合がやや高く、年齢別では、40～49歳（24.2%）で最も高い。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

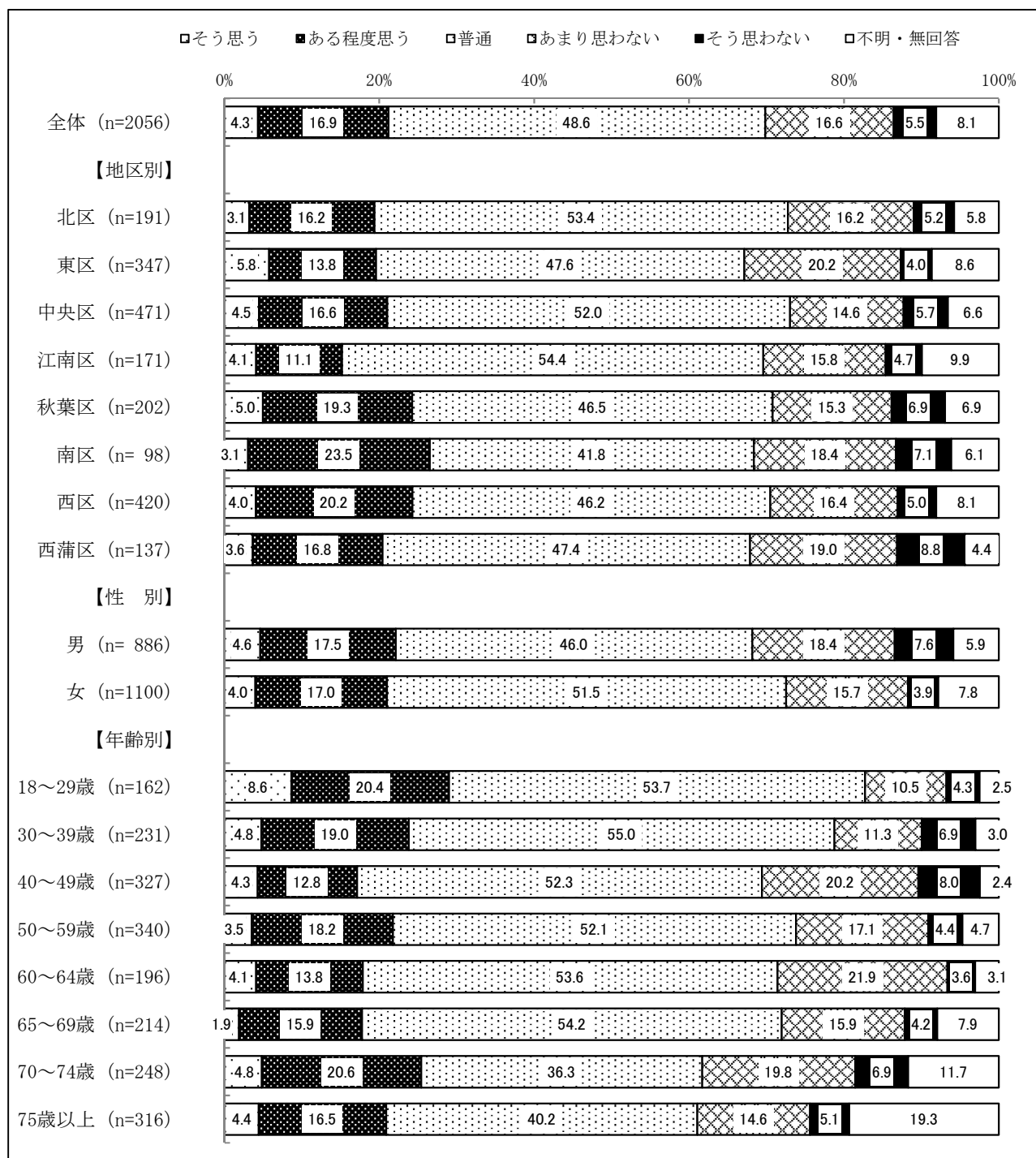


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（16.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（26.5%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区、南区（いずれも37.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、40～49歳（39.4%）で最も高い。

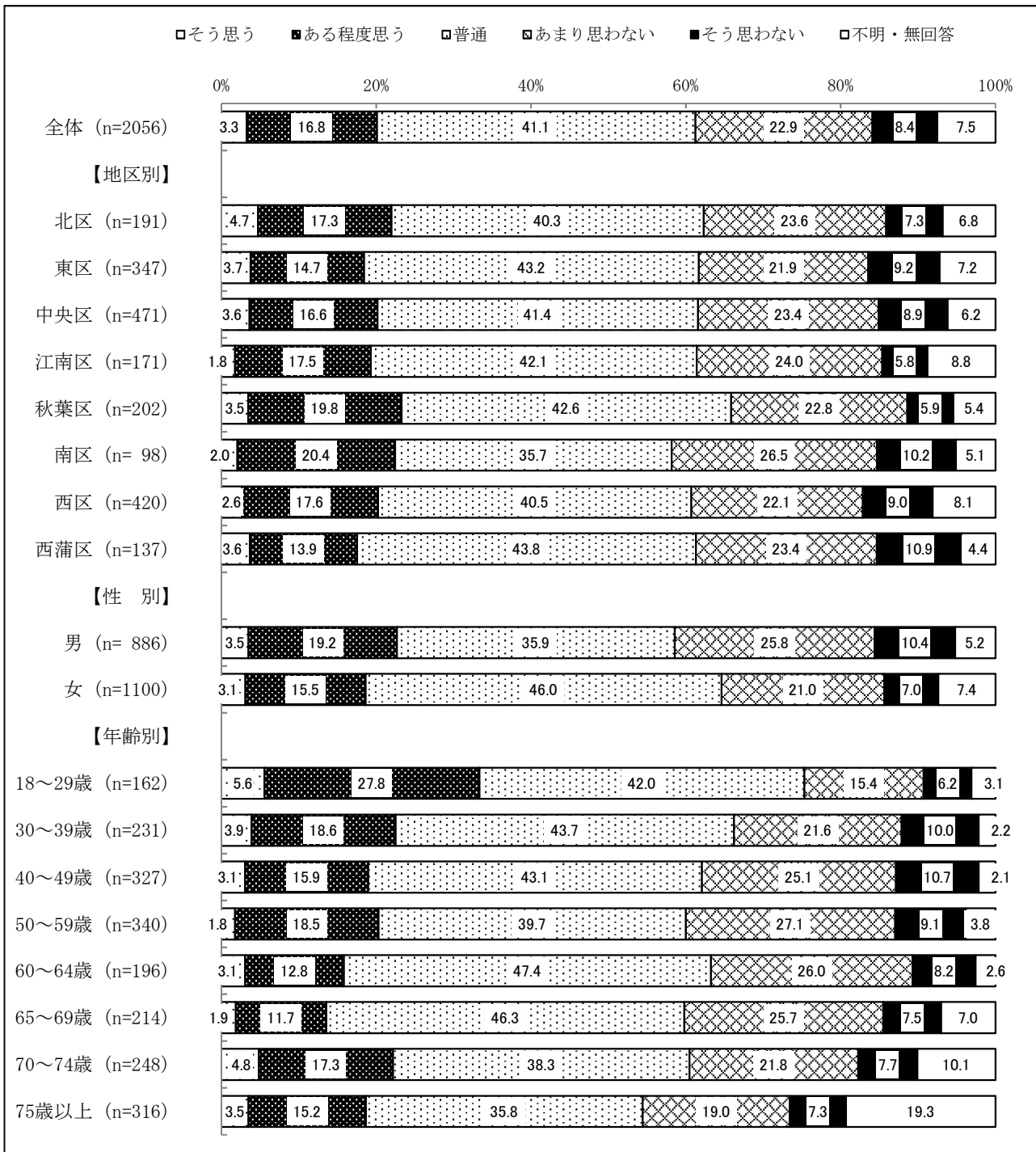
⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（26.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18~29歳（29.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（27.7%）で最も高い。性別では、女性（19.6%）より男性（26.0%）の割合が高く、年齢別では、40~49歳（28.1%）で最も高い。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。



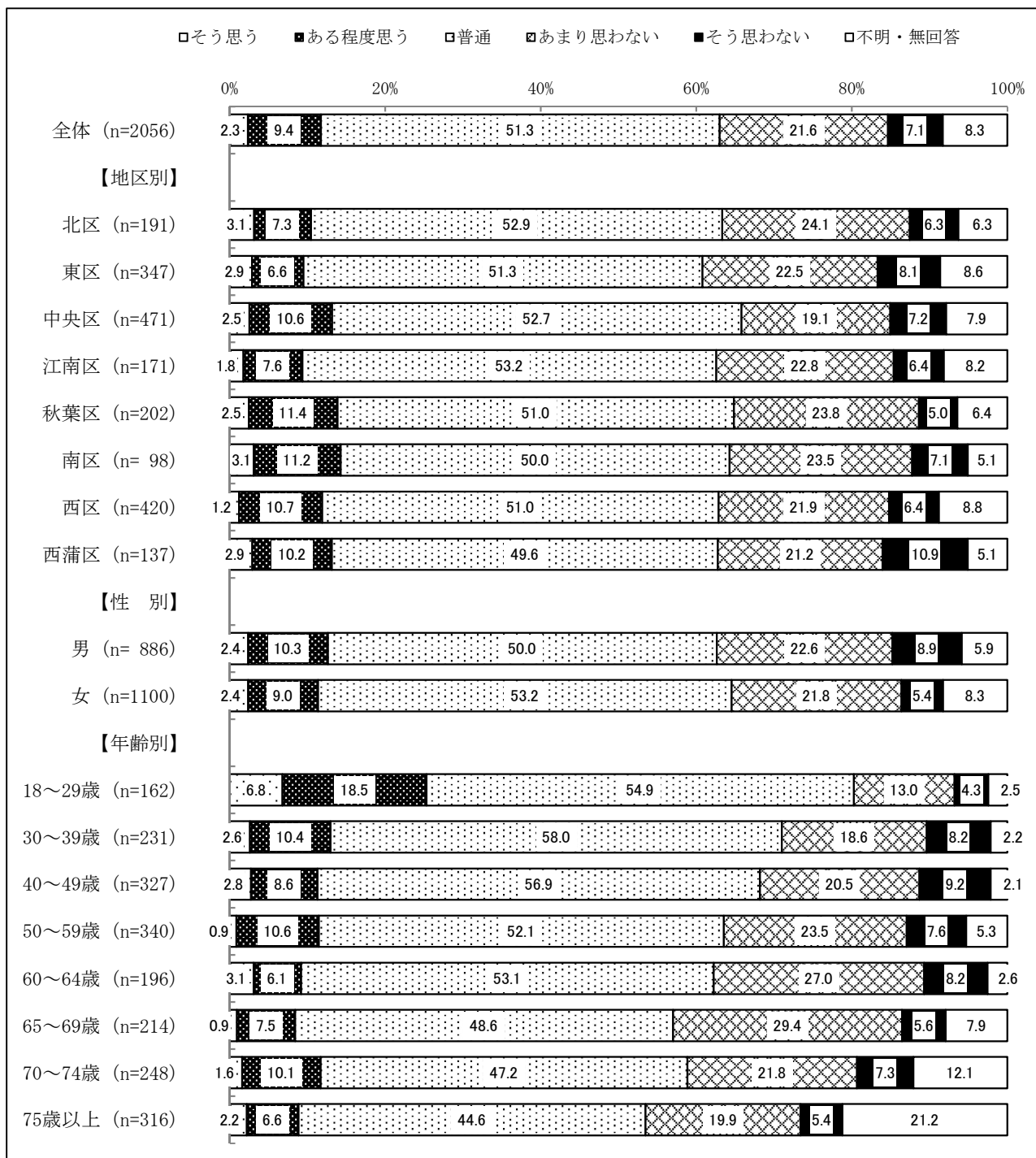
18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（23.3%）で最も高い。性別では、女性（18.6%）より男性（22.7%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（33.3%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（36.7%）で最も高い。性別では、女性（28.0%）より男性（36.2%）の割合が高く、年齢別では、50～59歳（36.2%）で最も高い。



⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

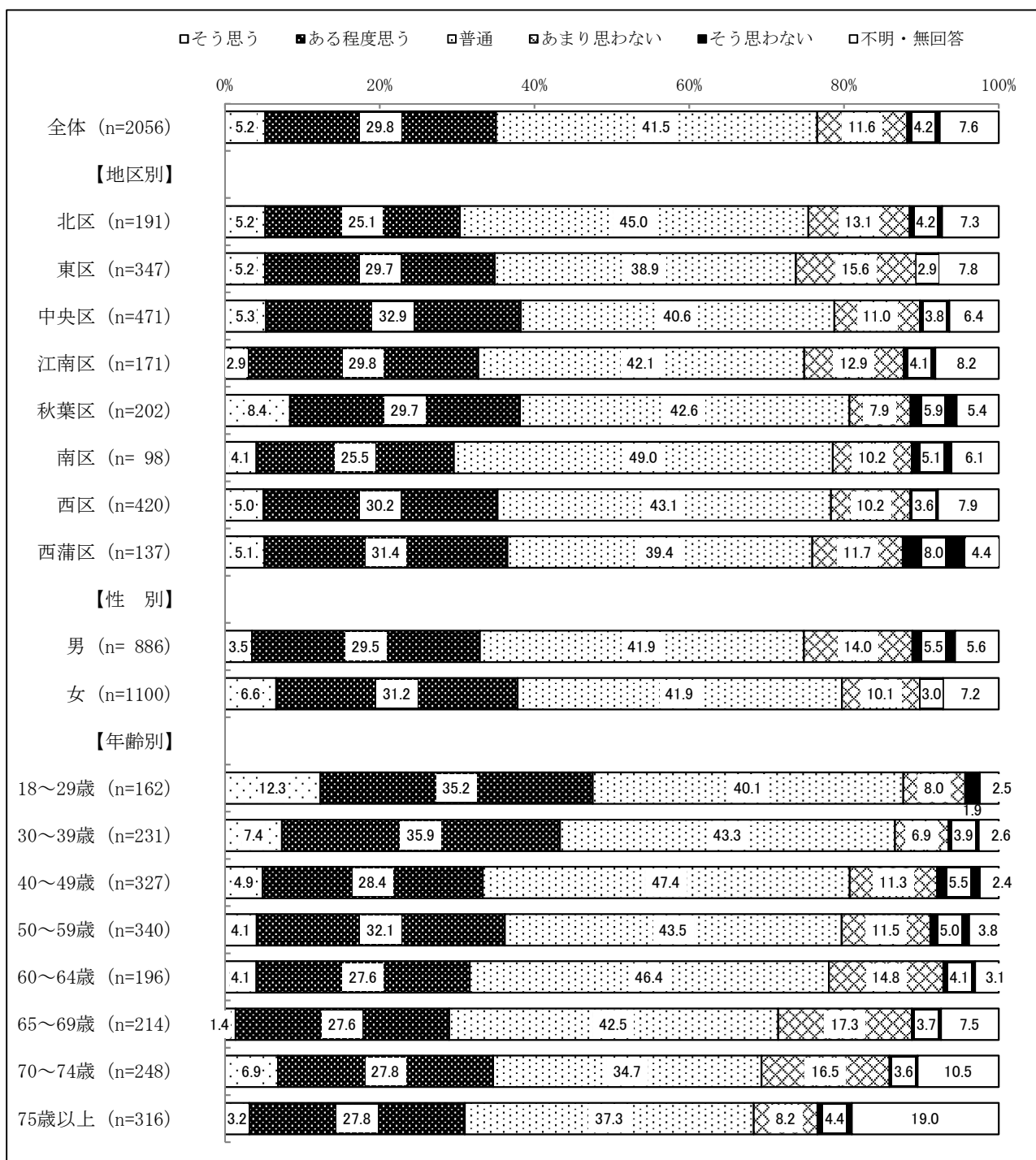


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（14.3%）で最も高い。性別では、性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（25.3%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（32.1%）で最も高い。女性（27.2%）より男性（31.5%）の割合がやや高く、年齢別では、60～64歳（35.2%）で最も高い。

⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。

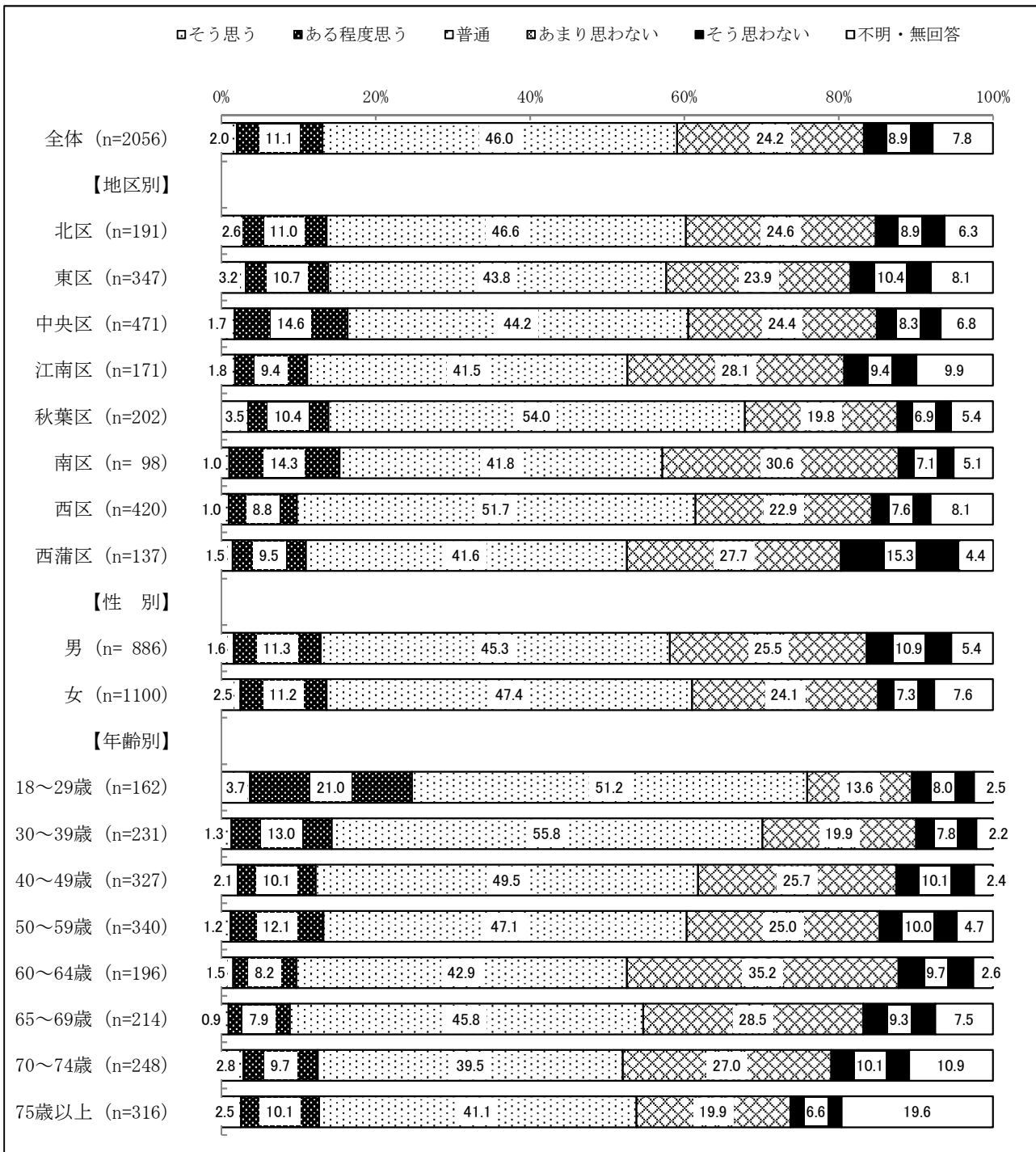


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（38.2%）で最も高い。性別では、男性（33.0%）より女性（37.8%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（47.5%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.7%）で最も高い。性別では、女性（13.1%）より男性（19.5%）の割合が高く、年齢別では、65～69歳（21.0%）で最も高い。

⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

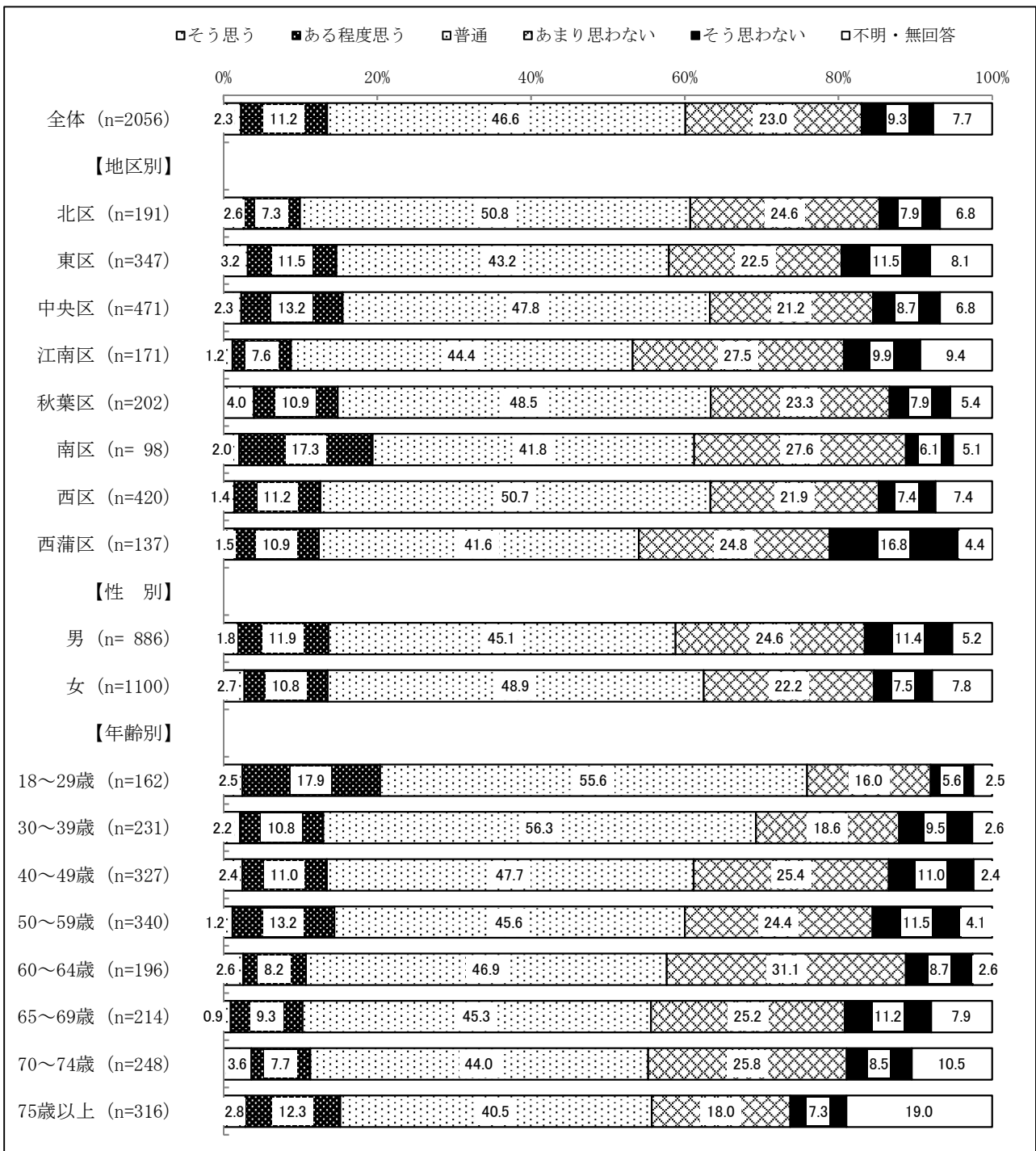


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（16.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（24.7%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（43.1%）で最も高い。性別では、女性（31.4%）より男性（36.5%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（44.9%）で最も高い。

⑳国際交流に取り組んでいます。



地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

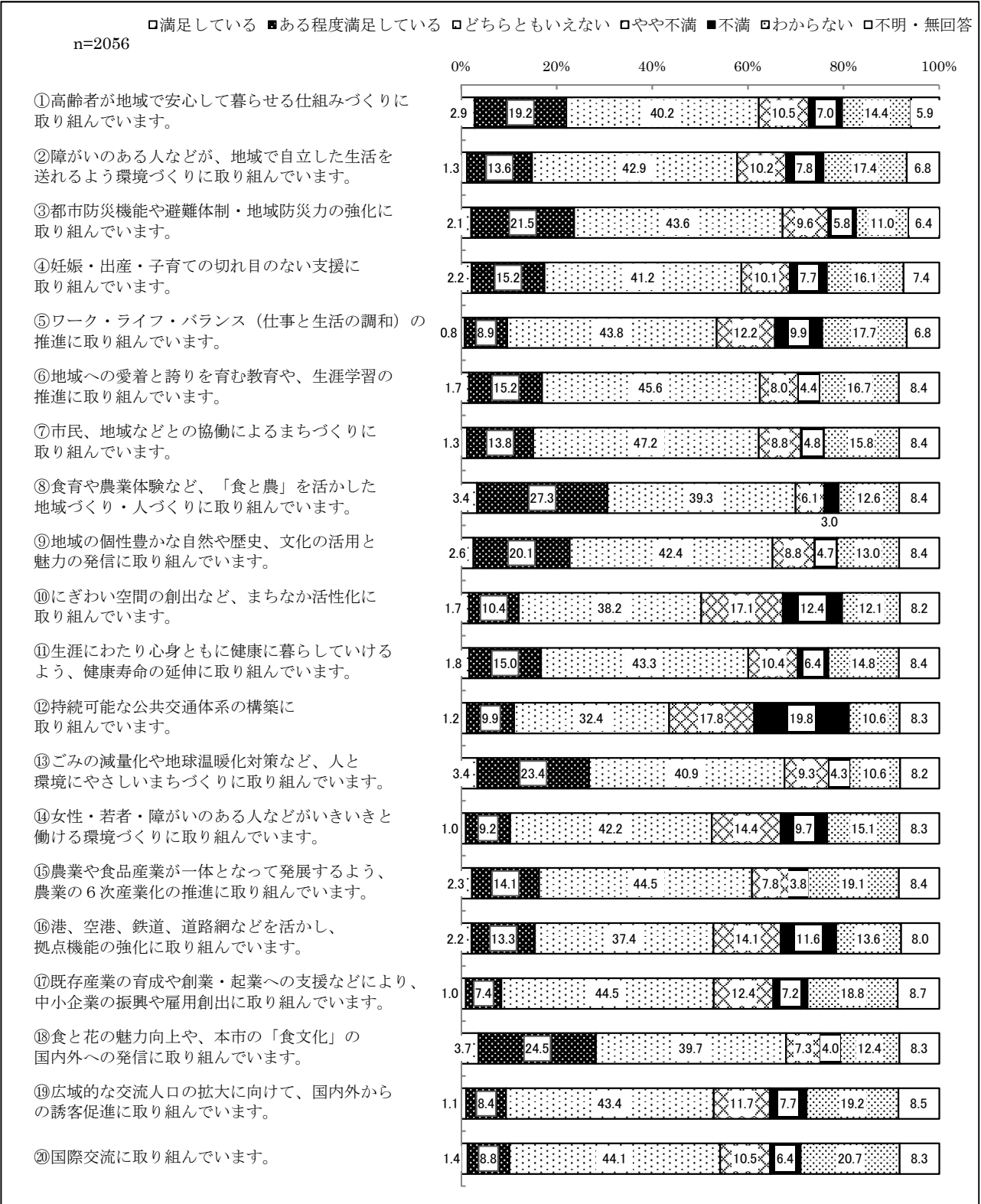
「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（19.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（20.4%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（41.6%）で最も高い。性別では、女性（29.7%）より男性（36.0%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（39.8%）で最も高い。

### (3) 取り組みへの満足度

問26 新潟市が進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで○をつけてください。

【取り組みへの満足度】



### 【全体結果】

市の取り組み状況への満足度について、「満足している」の割合は、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(3.7%)で最も高い。以下、「満足している」の割合は、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(3.4%)、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(3.4%)、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(2.9%)の順で高くなっている。

一方、「不満」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(19.8%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(12.4%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(11.6%)の順で高くなっている。

満足度について、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合、及び、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

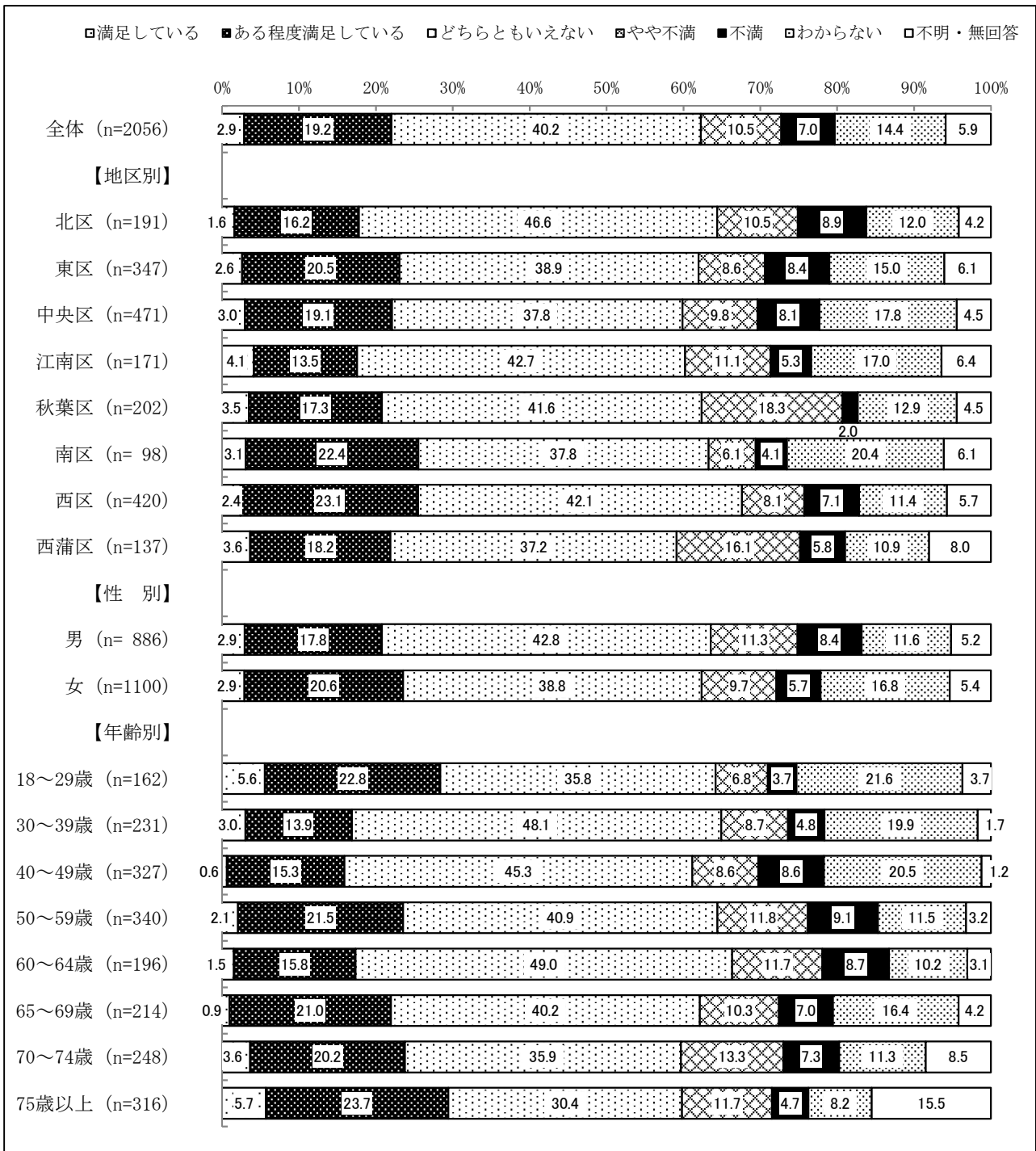
「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(30.6%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(28.2%)、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(26.8%)と続いている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(37.6%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(29.4%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(25.6%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(24.1%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(22.1%)が2割台で続いている。

### 【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

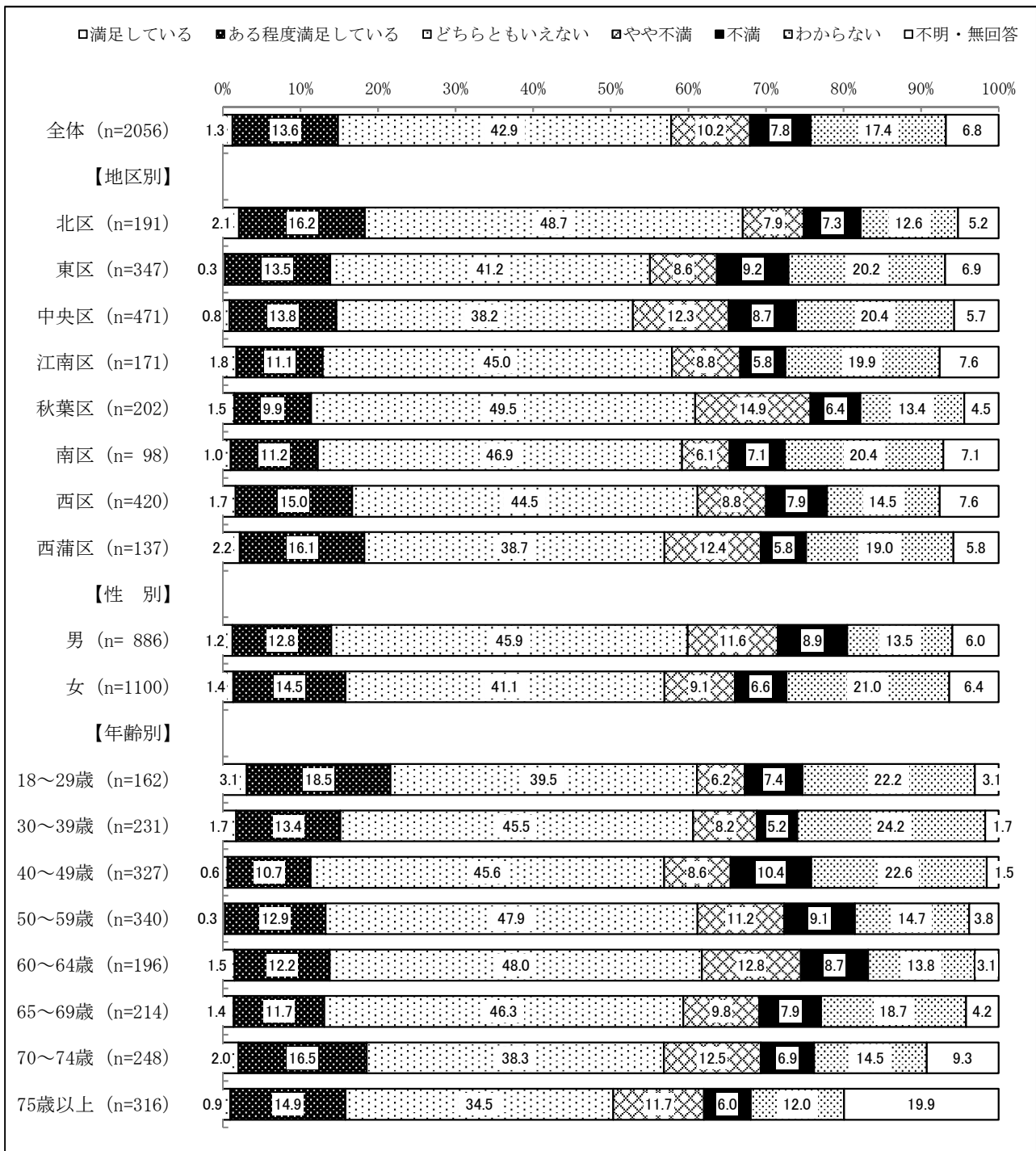
①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区、西区（いずれも 25.5%）で最も高い。性別では、男性（20.8%）より女性（23.5%）の割合がやや高く、年齢別では、75歳以上（29.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（21.9%）で最も高い。性別では、女性（15.5%）より男性（19.6%）の割合がやや高く、年齢別では、50～59歳（20.9%）で割合が高い。

②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。

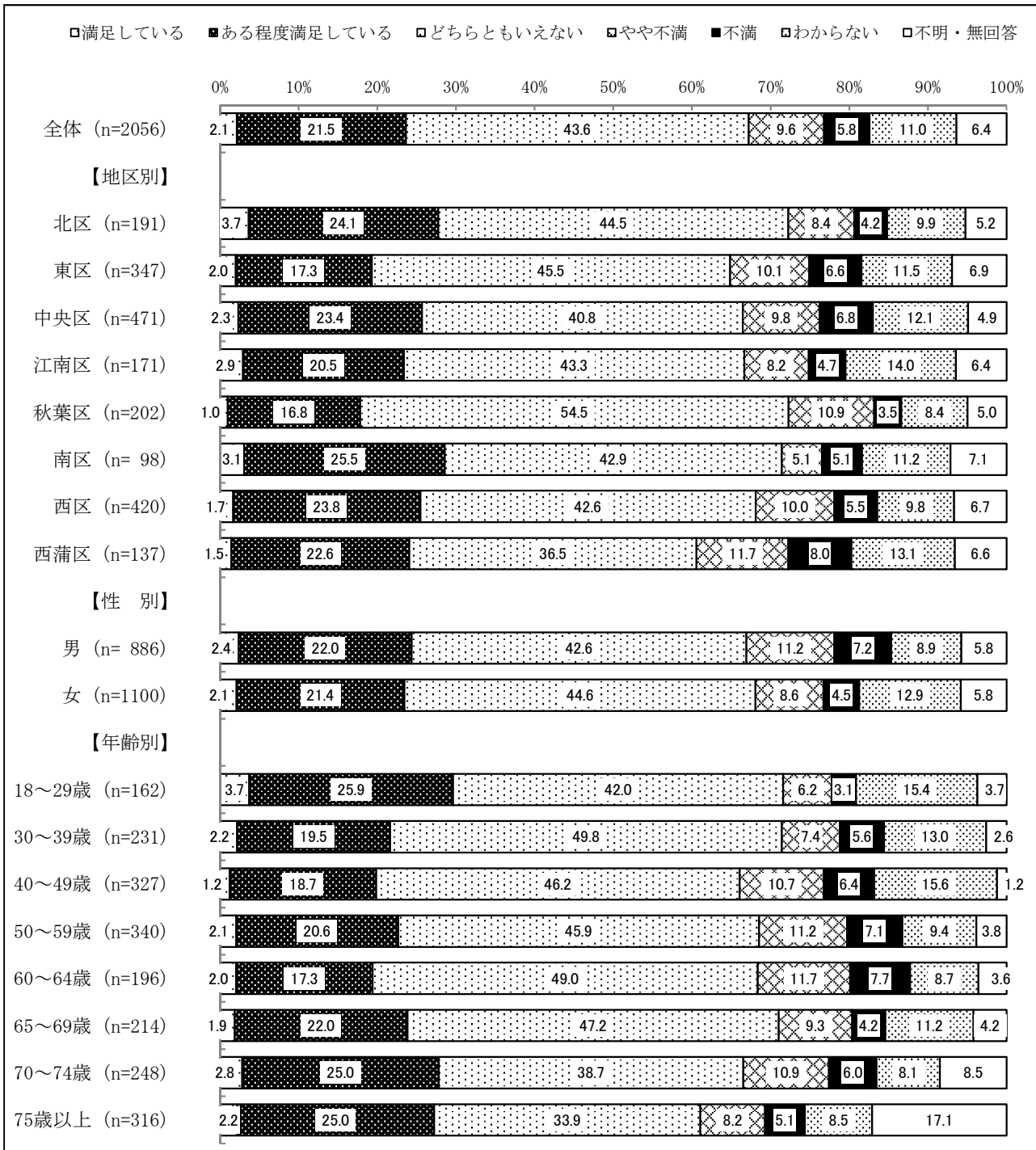


「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（18.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（21.6%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（21.3%）で最も高い。性別では、女性（15.7%）より男性（20.5%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（21.4%）で割合が高い。



③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。

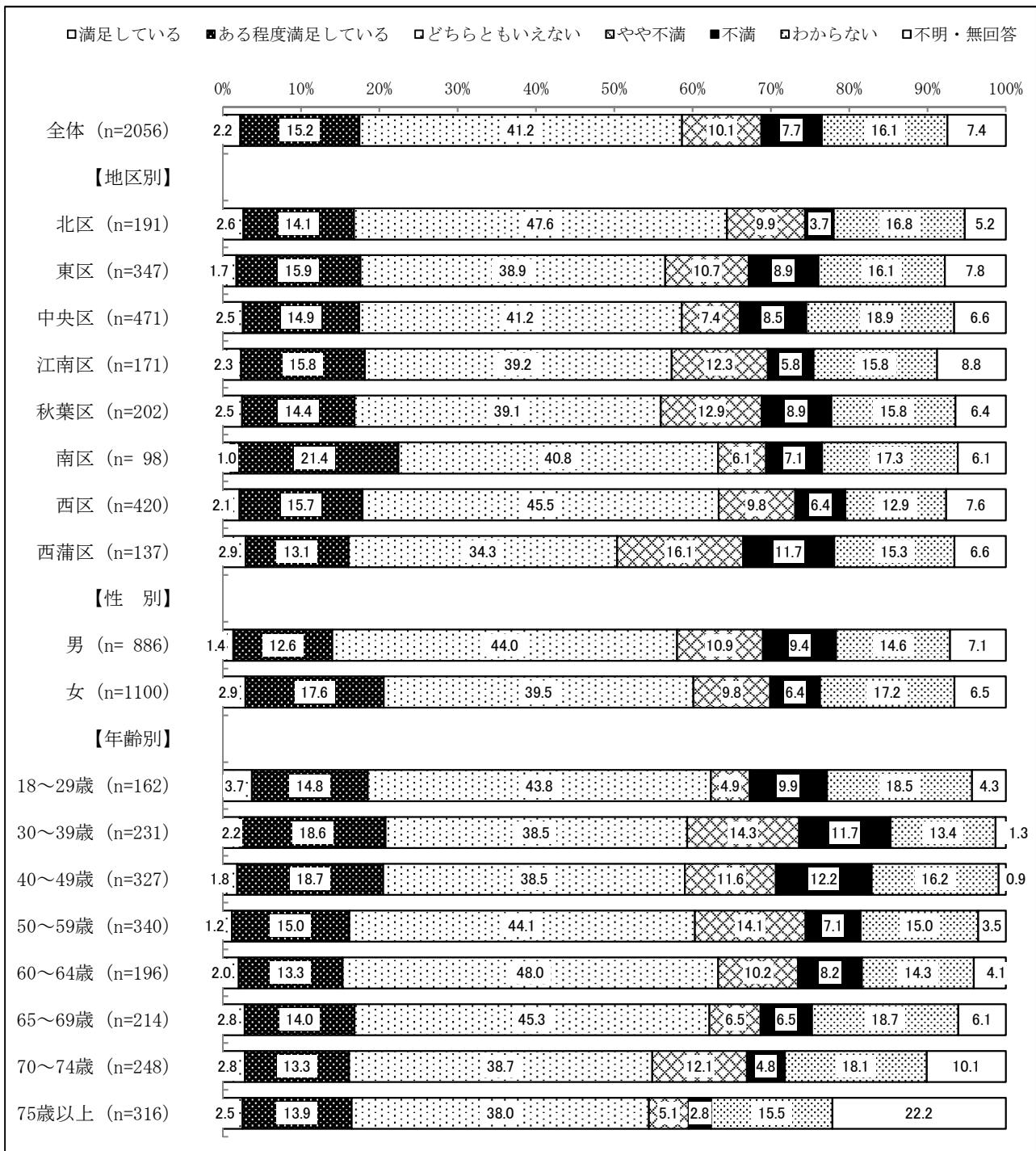


60～64歳を除く地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（28.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（29.6%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.7%）で最も高い。性別では、女性（13.2%）より男性（18.4%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（19.4%）で割合が高い。

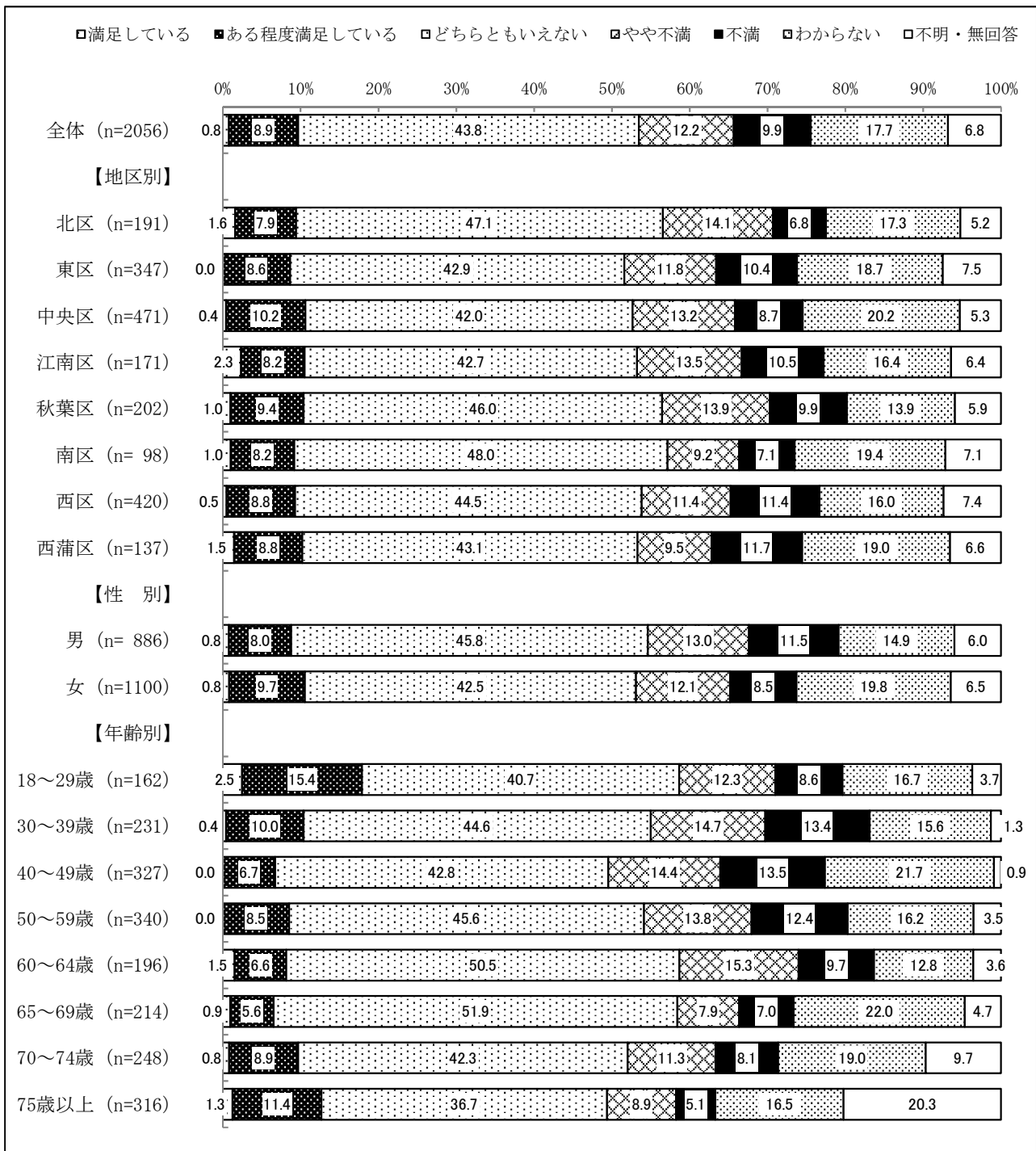
④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（22.4%）で最も高い。性別では、男性（14.0%）より女性（20.5%）の割合が高く、年齢別では30～39歳（20.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（27.7%）で最も高い。性別では、女性（16.2%）より男性（20.3%）の割合がやや高く、年齢別では、30～39歳（26.0%）で割合が高い。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

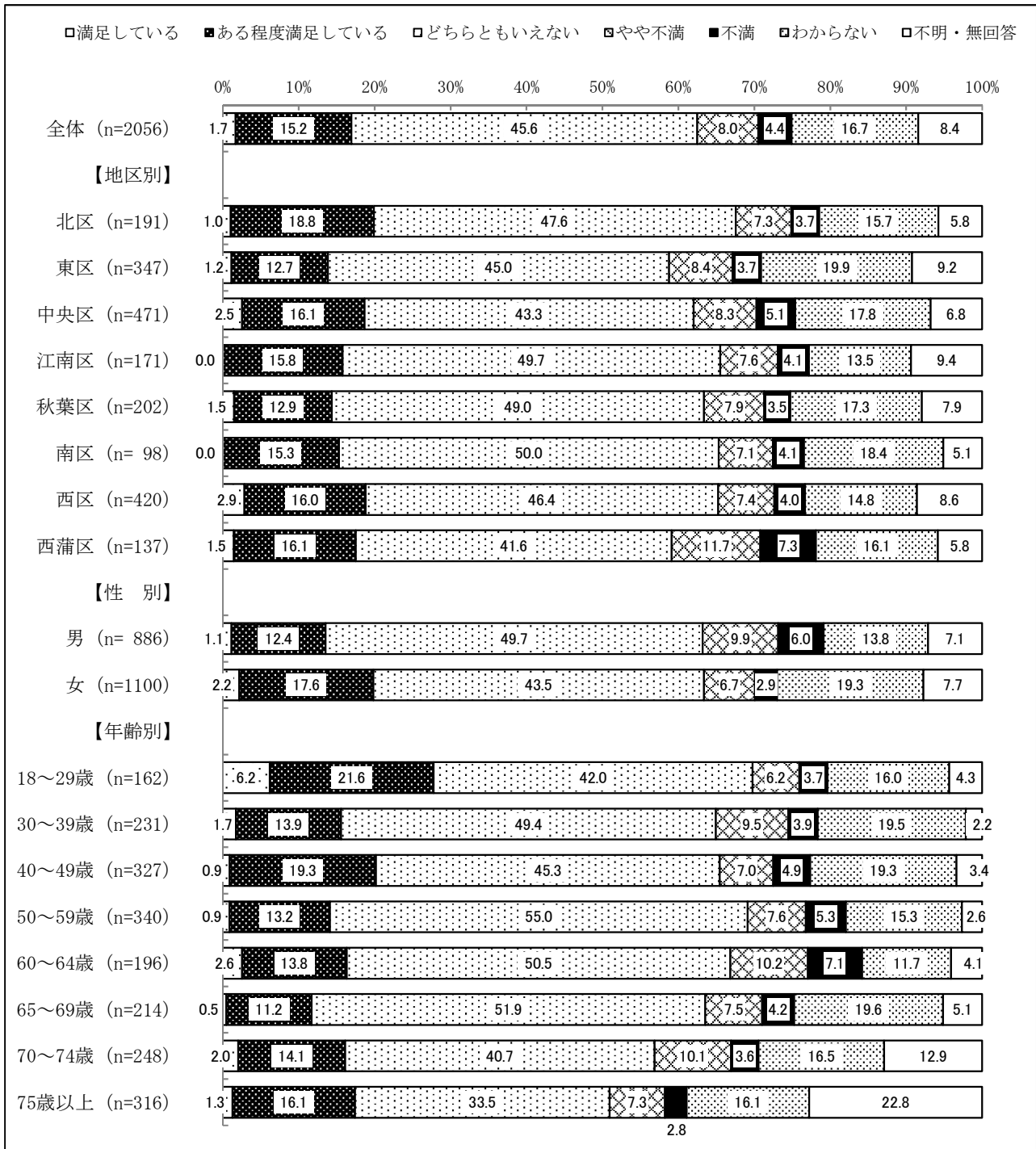


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（10.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（17.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、江南区（24.0%）で最も高い。性別では、女性（20.6%）より男性（24.5%）の割合がやや高く、年齢別では、30～39歳（28.1%）で割合が高い。

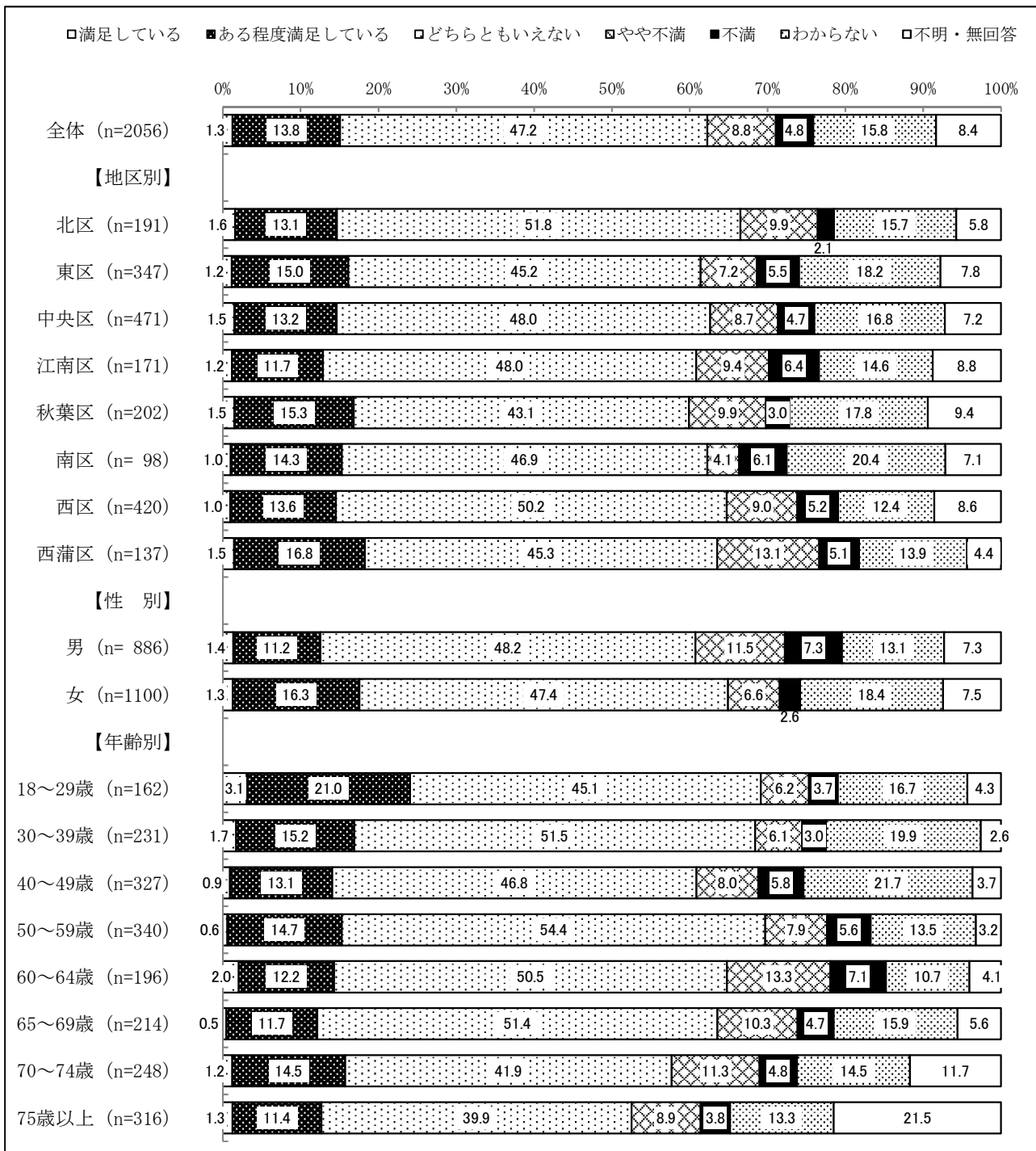
⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（19.9%）で最も高い。性別では、男性（13.5%）より女性（19.8%）の割合が高く、年齢別では18～29歳（27.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.0%）で最も高い。性別では、女性（9.6%）より男性（15.9%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（17.3%）で割合が高い。

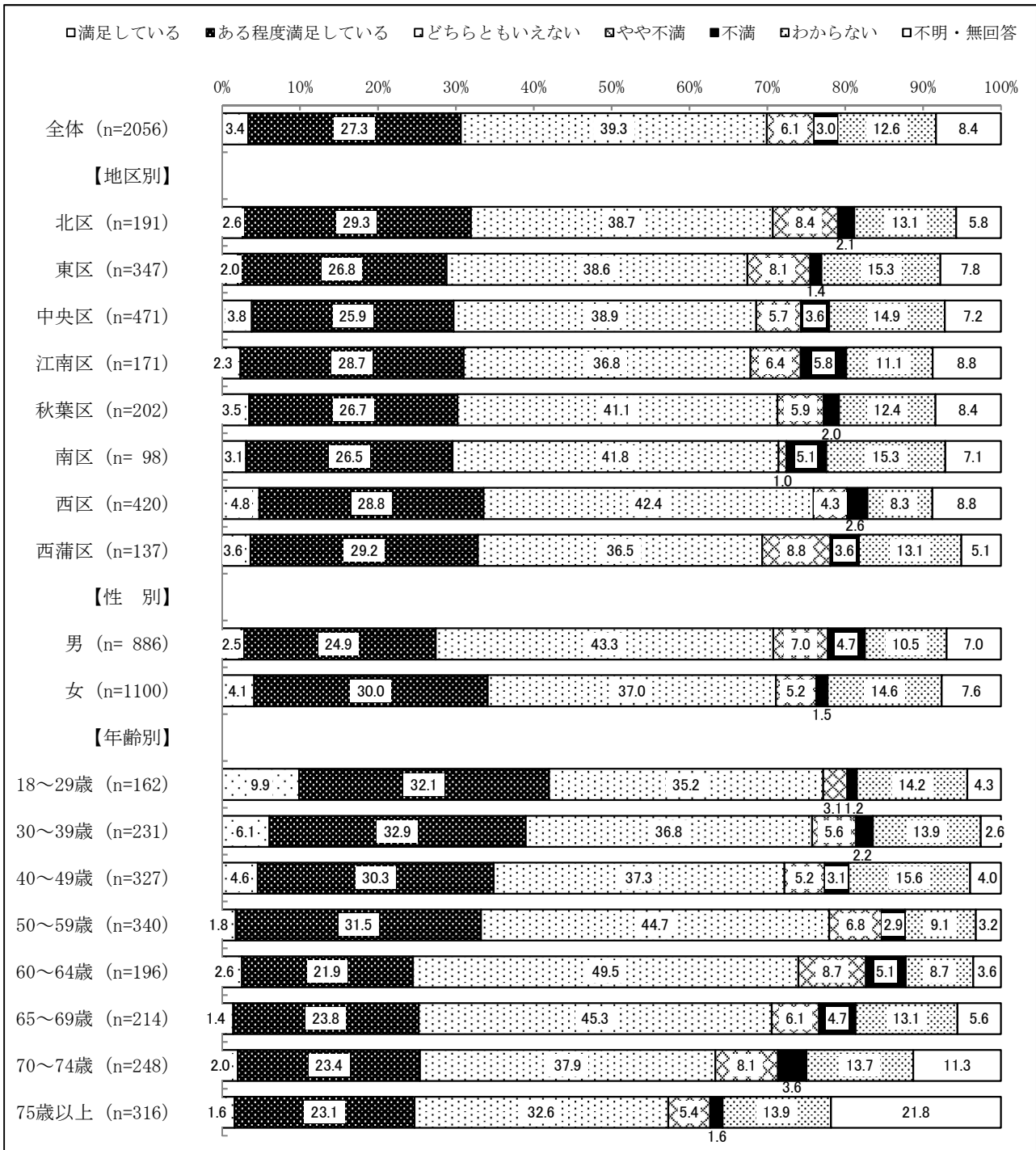
⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（18.2%）で最も高い。性別では、男性（12.5%）より女性（17.5%）の割合が高く、年齢別では18～29歳（24.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（18.2%）で最も高い。性別では、女性（9.3%）より男性（18.8%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（20.4%）で割合が高い。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。

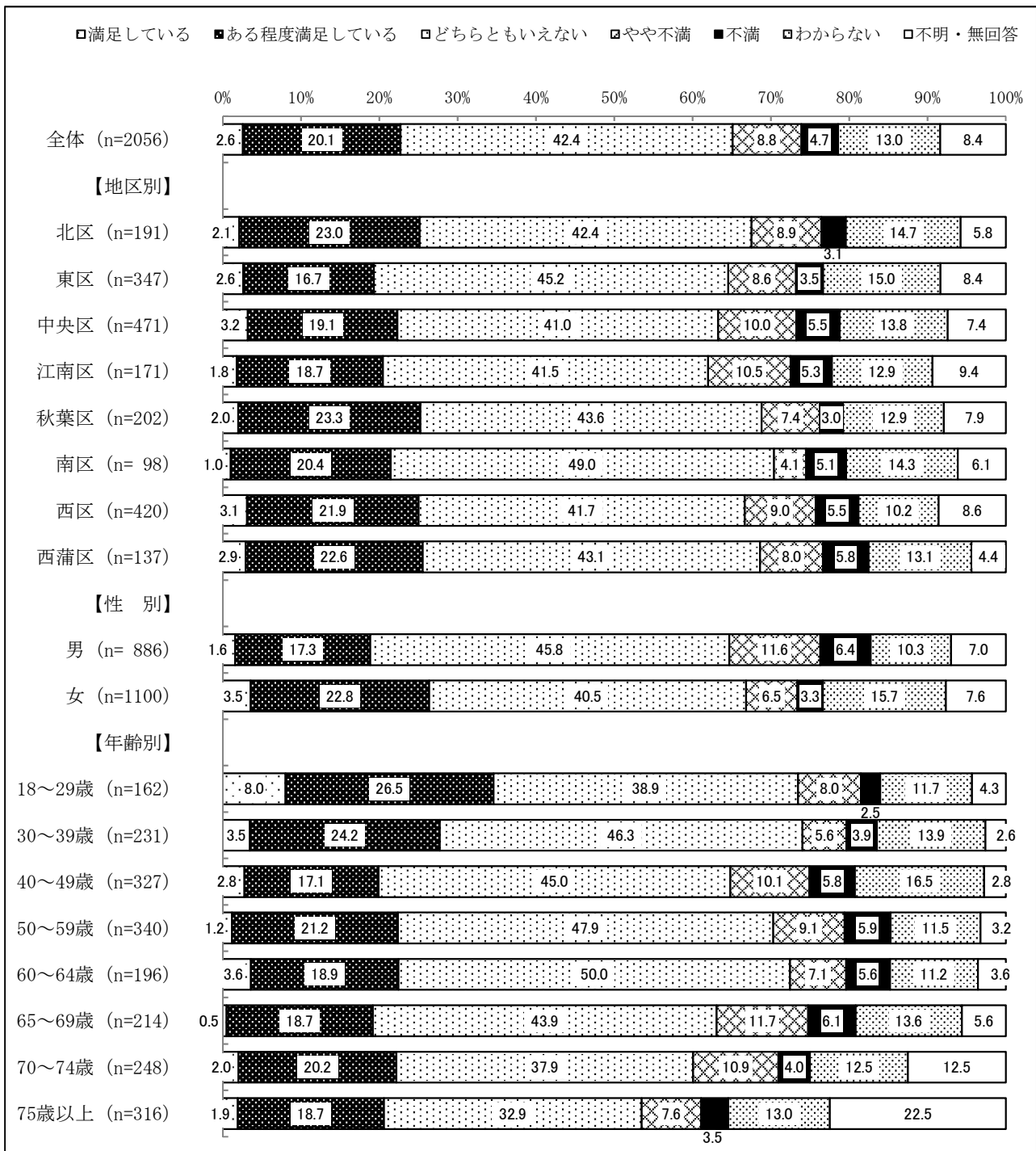


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（33.6%）で最も高い。性別では、男性（27.4%）より女性（34.1%）の割合が高く、年齢別では18～29歳（42.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（12.4%）で最も高い。性別では、女性（6.6%）より男性（11.7%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（13.8%）で割合が高い。

⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。

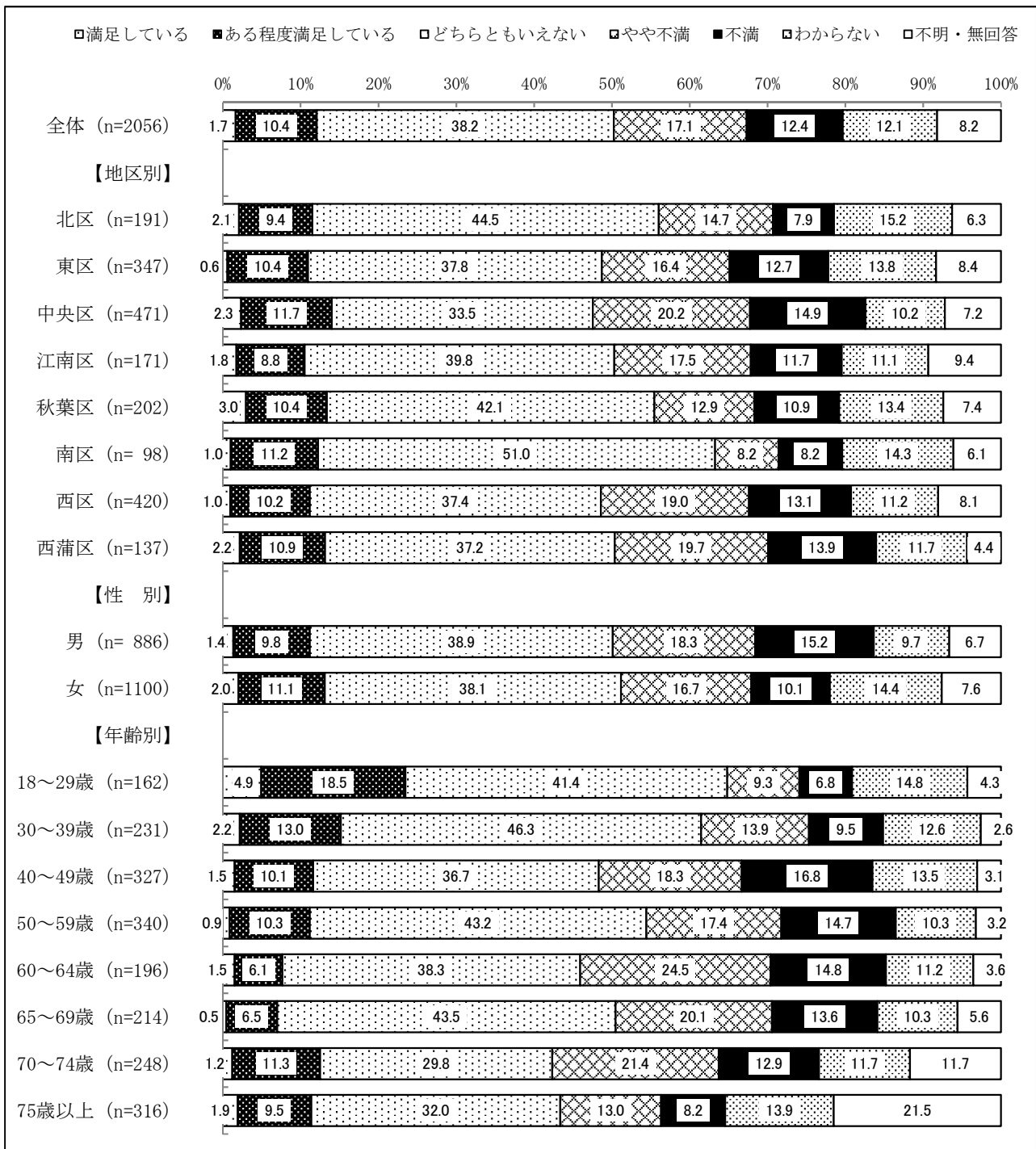


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（25.5%）で最も高い。性別では、男性（18.8%）より女性（26.4%）の割合が高く、年齢別では18～29歳（34.6%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、江南区（15.8%）で最も高い。性別では、女性（9.8%）より男性（18.1%）の割合が高く、年齢別では、65～69歳（17.8%）で割合が高い。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。



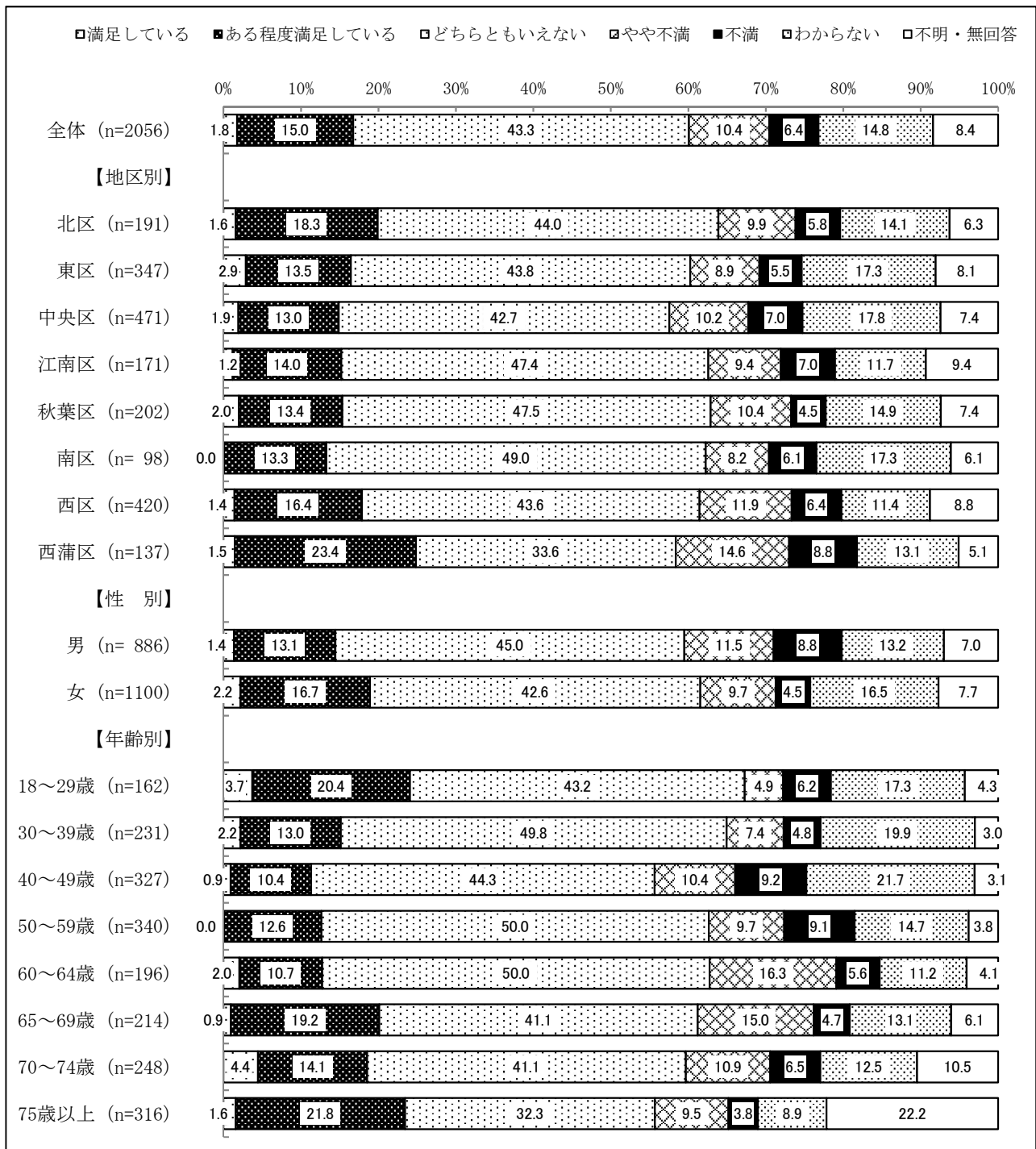
18～29歳の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（14.0%）で最も高い。性別では、男性（11.2%）より女性（13.1%）の割合がやや高く、年齢別では18～29歳（23.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（35.0%）で最も高い。性別では、女性（26.8%）より男性（33.5%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（39.3%）で割合が高い。



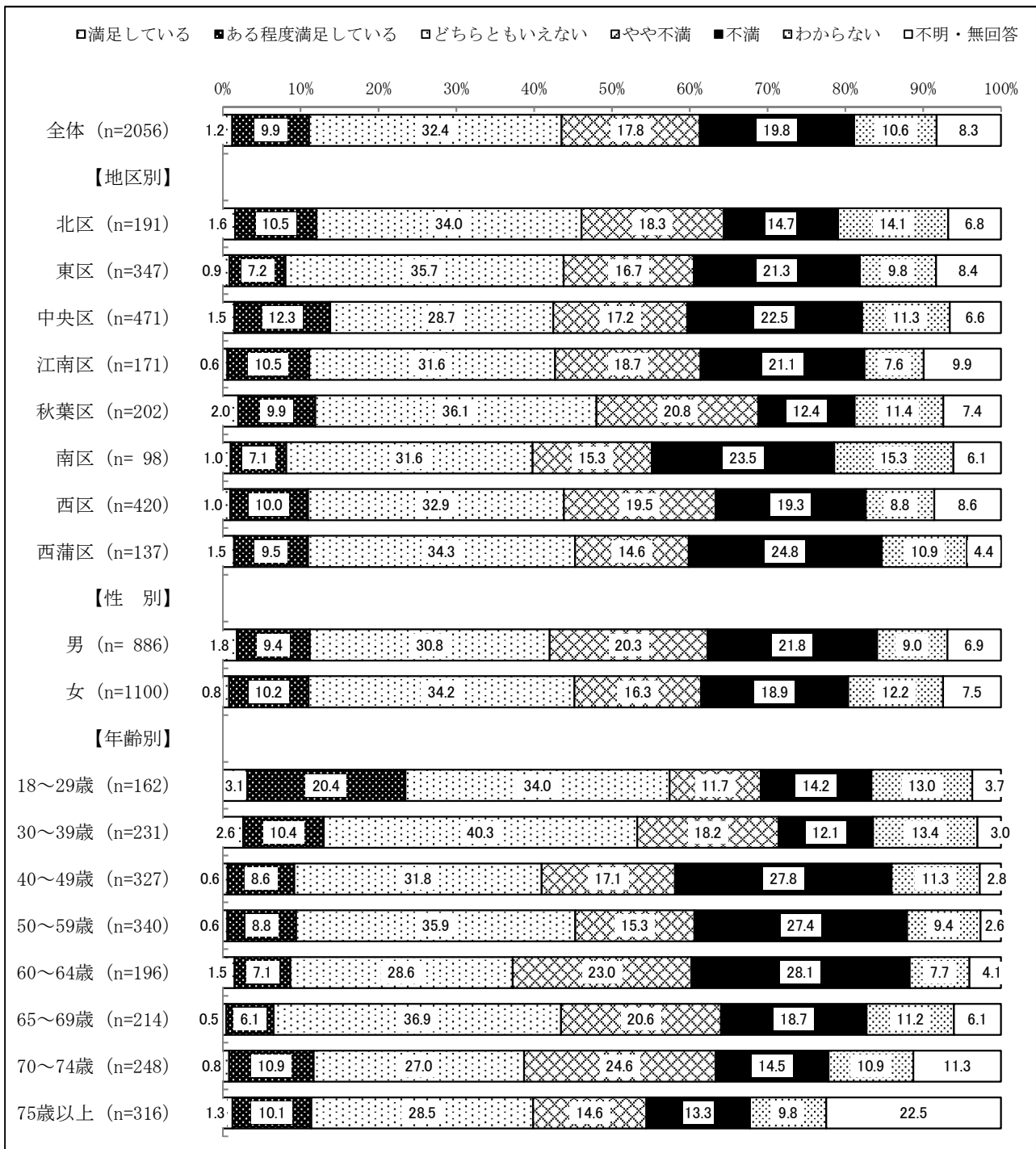
⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（24.8%）で最も高い。性別では、男性（14.4%）より女性（18.9%）の割合がやや高く、年齢別では18～29歳（24.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（23.4%）で最も高い。性別では、女性（14.2%）より男性（20.3%）の割合がやや高く、年齢別では、60～64歳（21.9%）で割合が高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

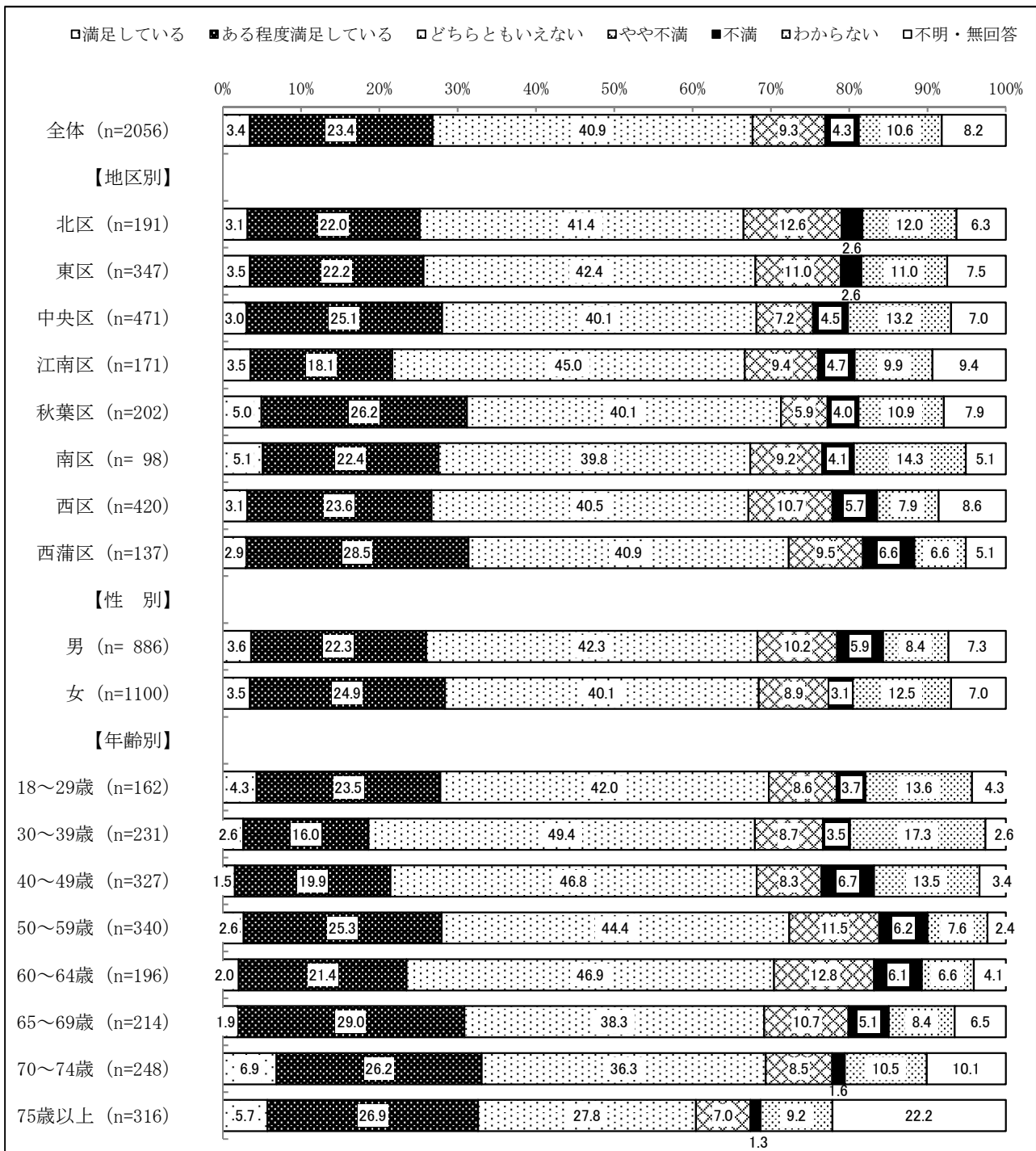


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（13.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（23.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、江南区（39.8%）で最も高い。性別では、女性（35.2%）より男性（42.1%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（51.0%）で割合が高い。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

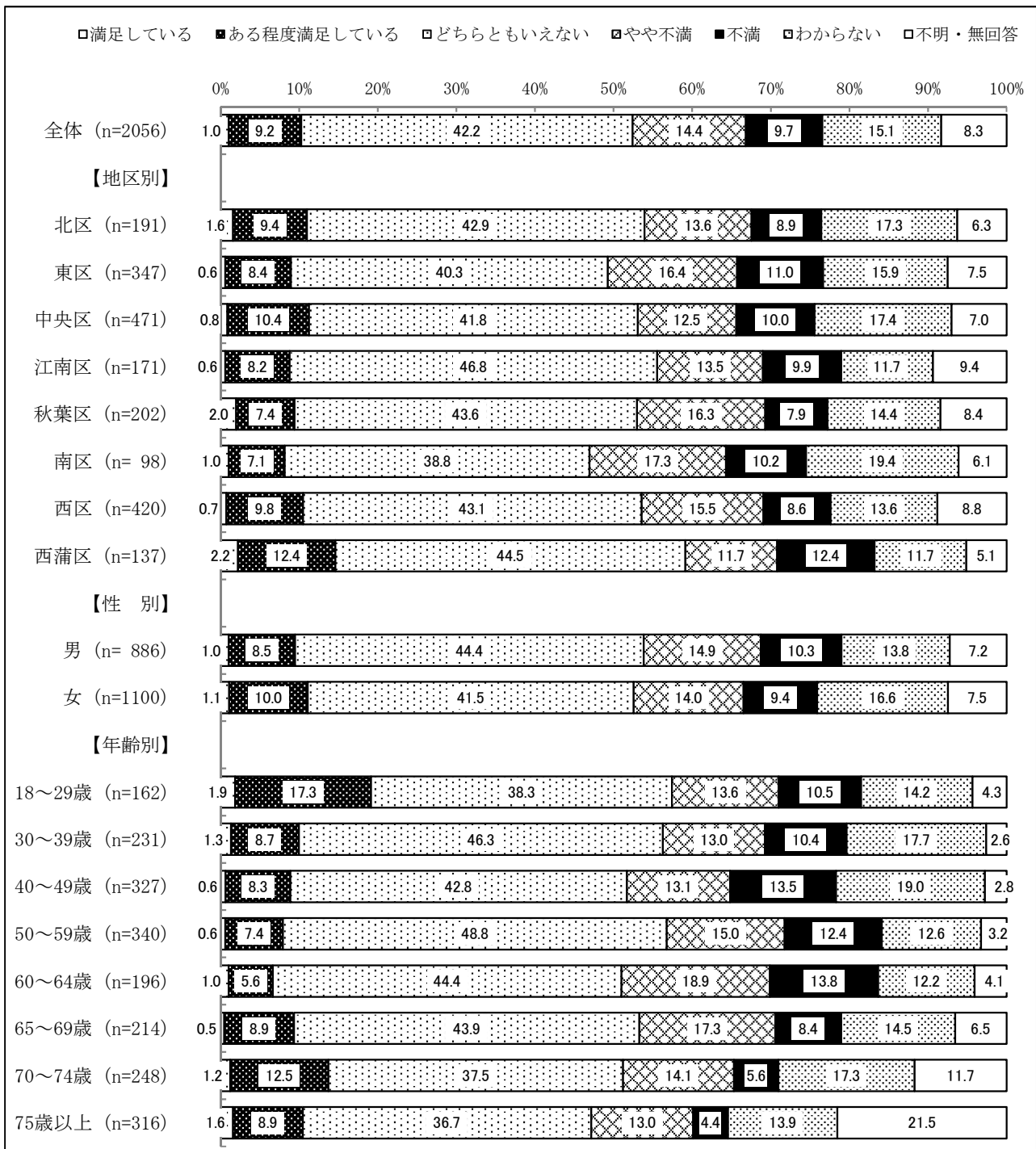


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（31.4%）で最も高い。性別では、男性（26.0%）より女性（28.4%）の割合がやや高く、年齢別では70～74歳（33.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西区（16.4%）で最も高い。性別では、女性（12.0%）より男性（16.0%）の割合がやや高く、年齢別では、60～64歳（18.9%）で割合が高い。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

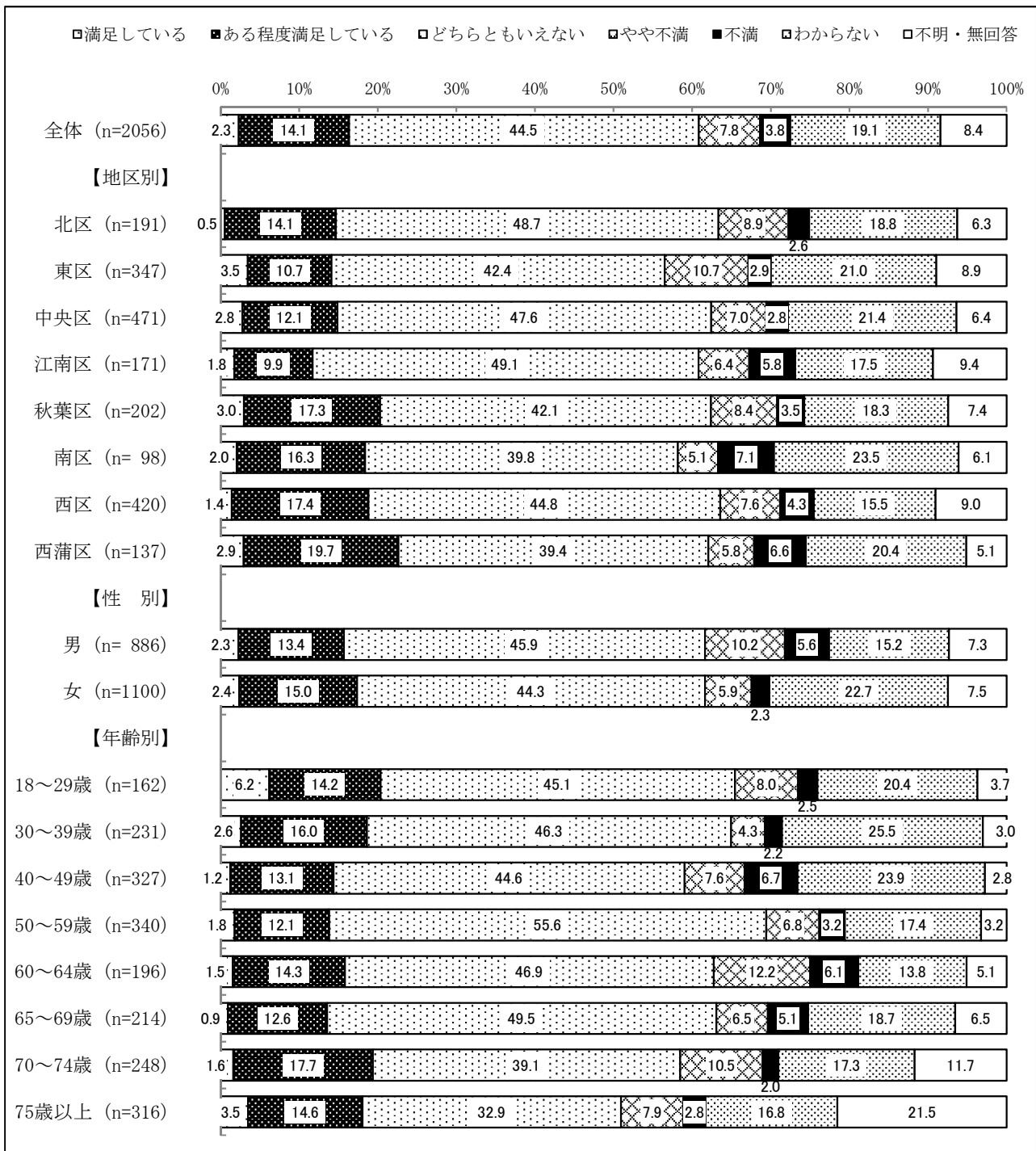


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（14.6％）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（19.1％）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（27.6％）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、60～64歳（32.7％）で割合が高い。

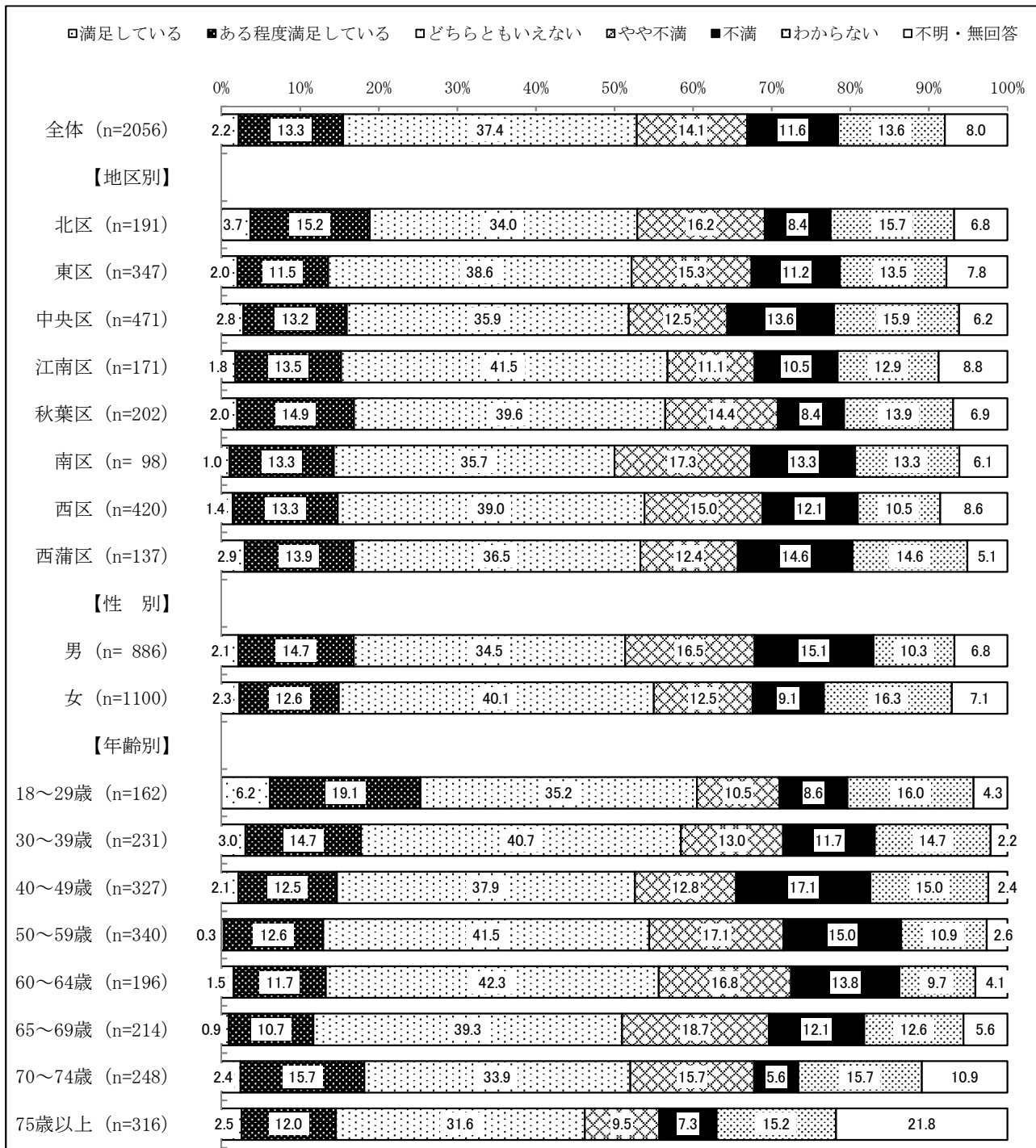
⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（22.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（20.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（13.5%）で最も高い。性別では、女性（8.2%）より男性（15.8%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（18.4%）で割合が高い。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

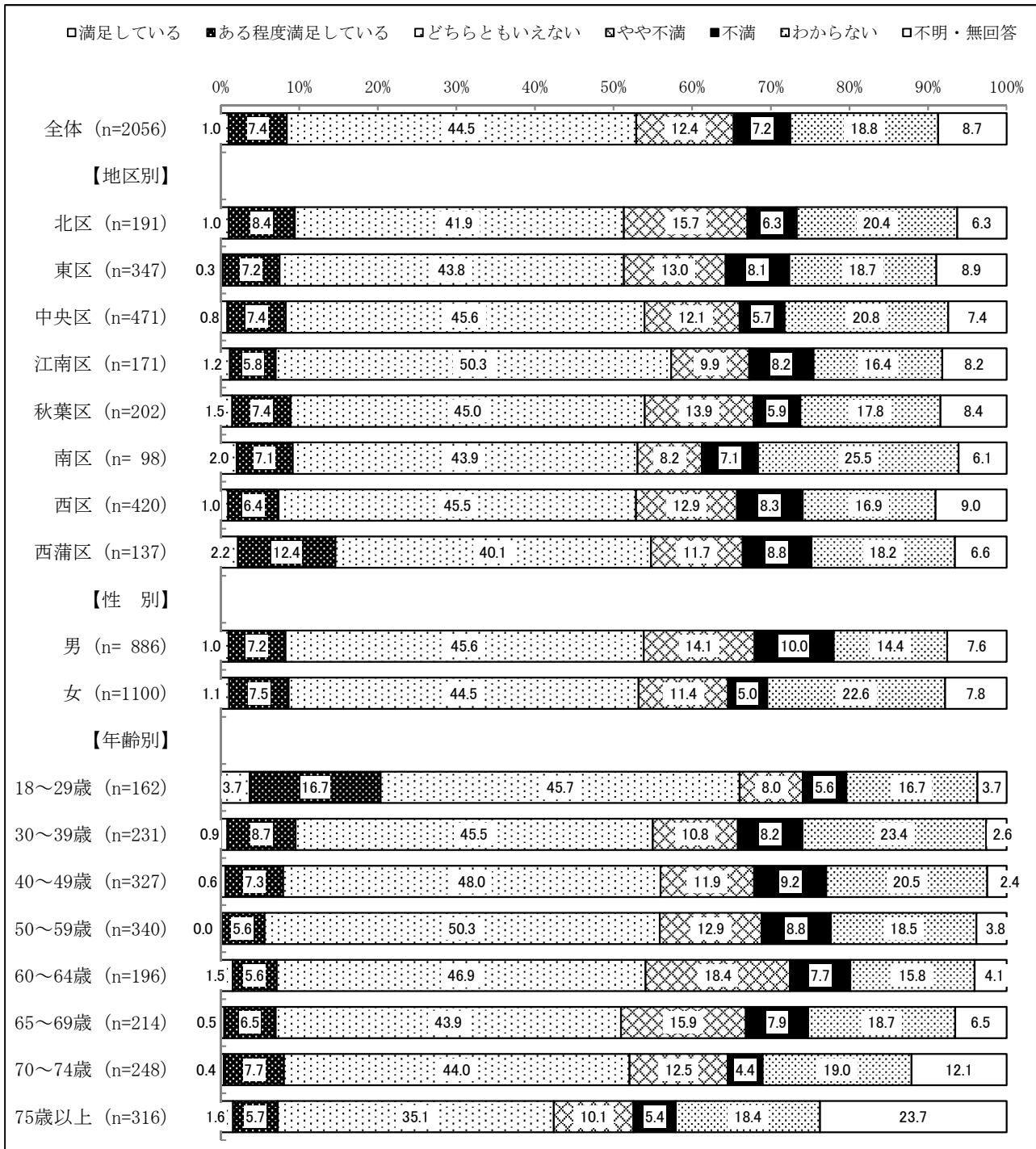


18～29歳の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（18.8%）で最も高い。性別では、女性（14.9%）より男性（16.8%）の割合がやや高く、年齢別では18～29歳（25.3%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（30.6%）で最も高い。性別では、女性（21.6%）より男性（31.6%）の割合が高く、年齢別では、50～59歳（32.1%）で割合が高い。

⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

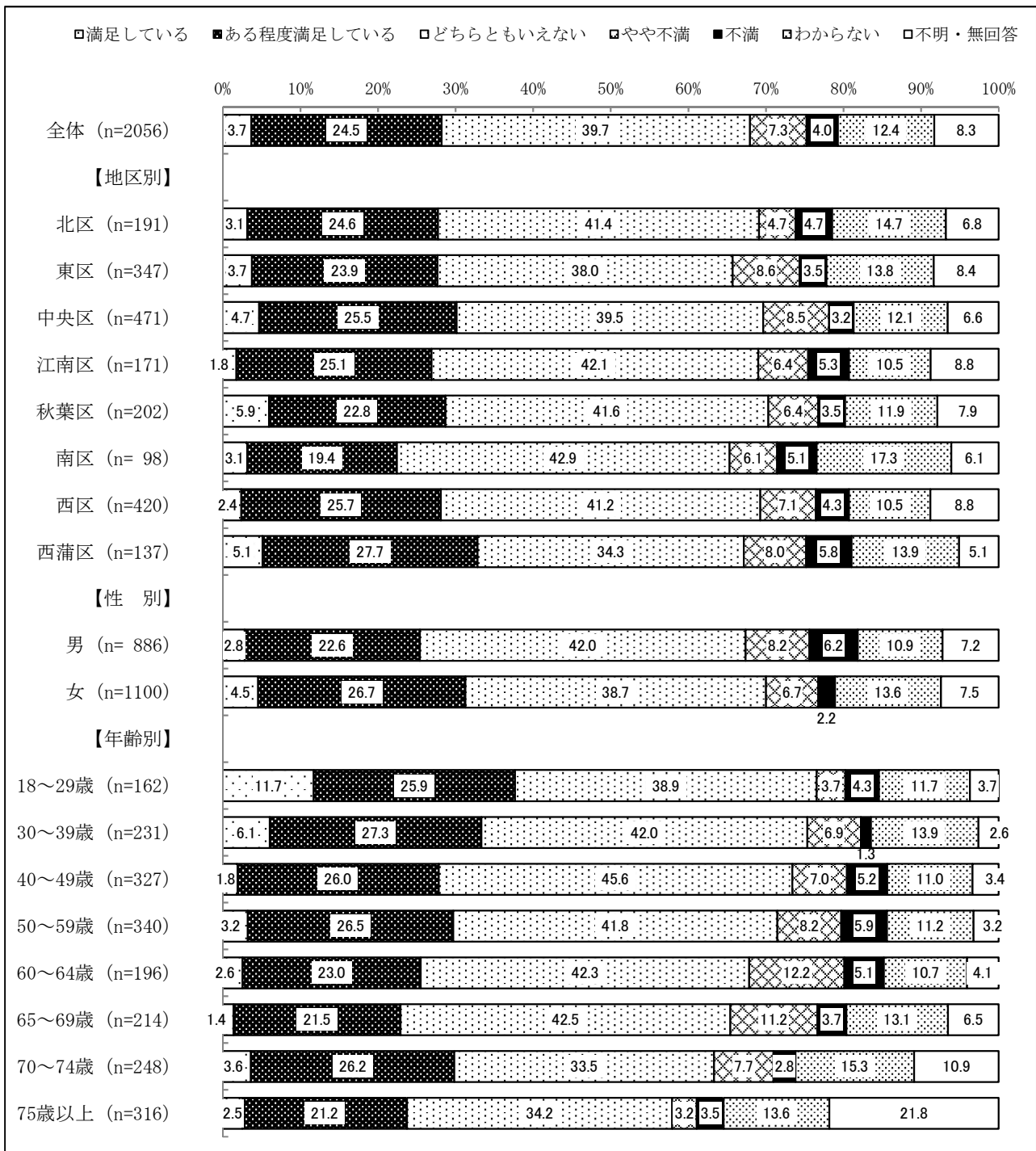


18～29歳の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（14.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（20.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、北区（22.0%）で最も高い。性別では、女性（16.4%）より男性（24.2%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（26.0%）で割合が高い。

⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。



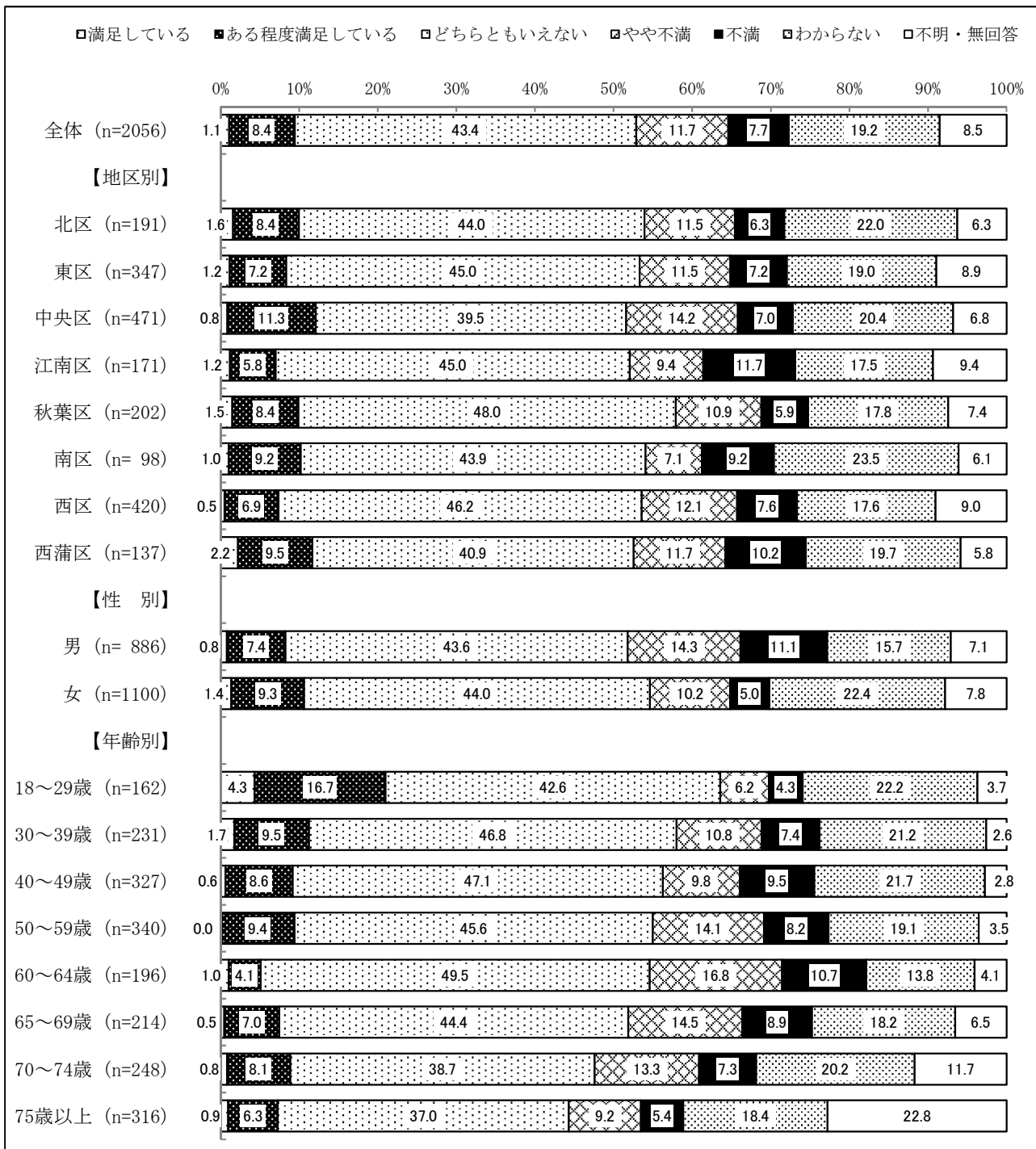
地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（32.8%）で最も高い。性別では、男性（25.4%）より女性（31.3%）の割合が高く、年齢別では18～29歳（37.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（13.9%）で最も高い。性別では、女性（8.9%）より男性（14.4%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（17.3%）で割合が高い。



⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

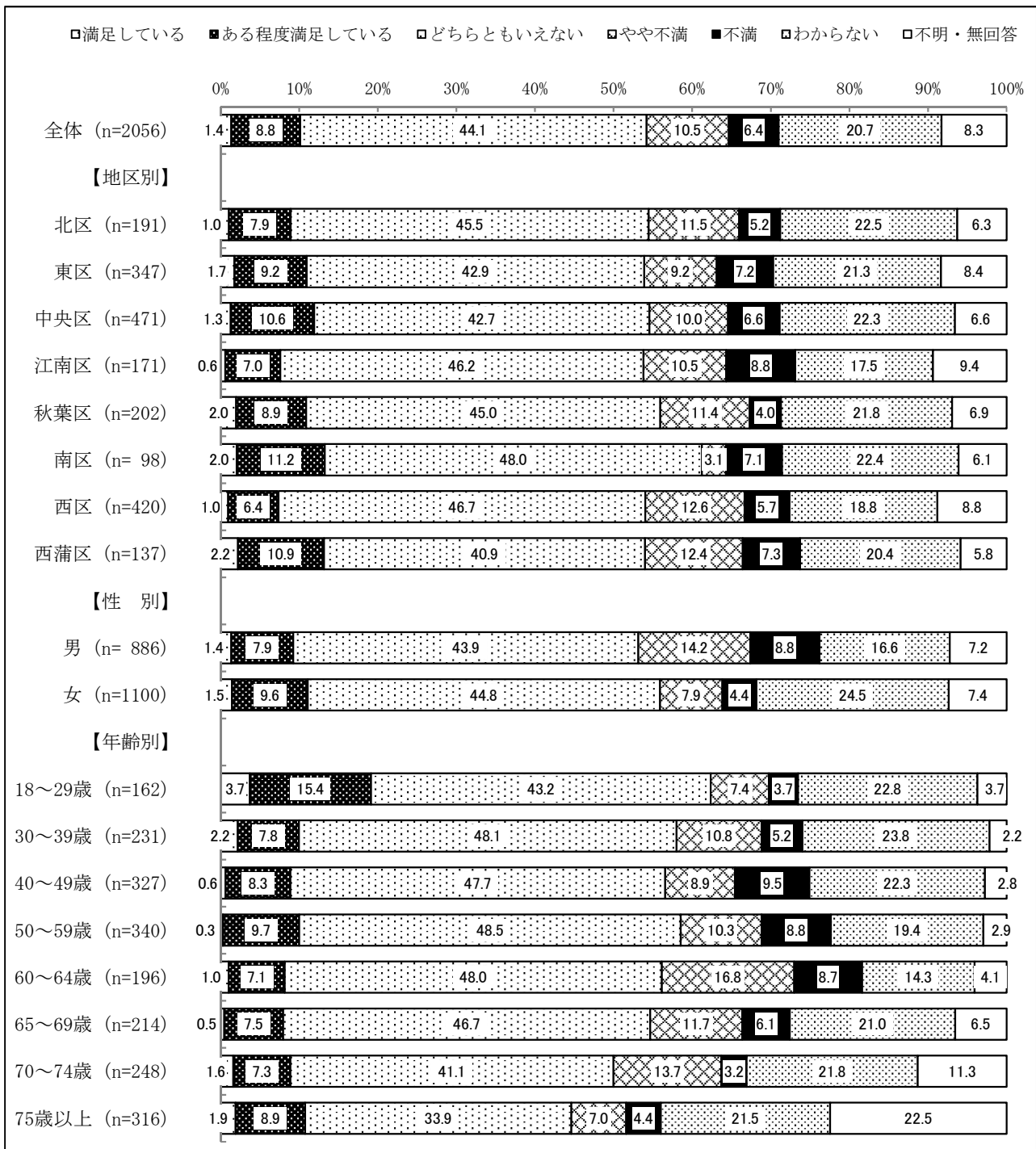


18～29歳の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（12.1%）で最も高い。性別では、男性（8.2%）より女性（10.6%）の割合が高く、年齢別では18～29歳（21.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（21.9%）で最も高い。性別では、女性（15.2%）より男性（25.4%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（27.6%）で割合が高い。

⑳国際交流に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（13.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（19.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.7%）で最も高い。性別では、女性（12.3%）より男性（23.0%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（25.5%）で割合が高い。



### Ⅲ 調査票様式